



Clavinova[®]

CLP-870





安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願い致します。

記号表示について

この機器の裏側に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れあり キャビネットをあけるな		注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。 この機器の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。 点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または 巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。
---	-------------------------------------	---	--

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。上記の場合、△は機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。また、△は注意が必要なことを示しています。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

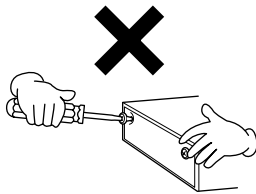
警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。



電源コード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおい煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



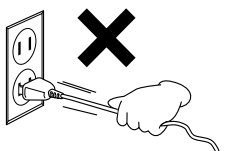
電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



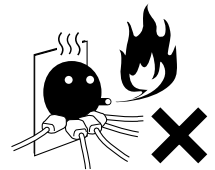
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



タコ足配線をしない。

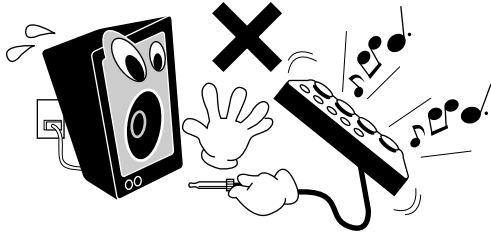
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



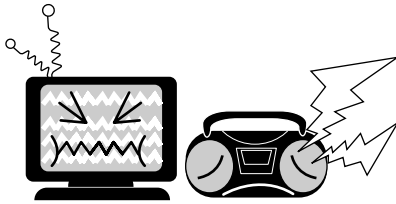
長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。

- ! 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。感電または機器の損傷のおそれがあります。



- ⊘ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。
- ⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



- ⊘ 不安定な場所に置かない。機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- ! 本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

- ⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- ⚠ キーカバーで指などはさまないように注意する。また、キーカバーのすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。

- ⊘ キーカバーや鍵盤のすき間から金属や紙片などを落とさない。感電、ショート、発火や故障などの原因になります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

- ⊘ 本体を壁につけない。換気が十分でない、本体内部に熱がこもり、火災が発生するおそれがあります。

- ! 組み立てる前に、必ず本書または別紙の組み立て方の説明をよくお読みください。手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしったりする原因になります。

- ⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。

イスについて

- ⊘ イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。このイスは楽器演奏用です。イスを遊び道具や踏み台にすると、イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

- ⊘ イスには二人以上ですわらない。イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

- ⊘ イスにすわったままでイスの高さを調節しない。イスにすわったままイスの高さを調節すると、高低調節機構に無理な力が加わり、高低調節機構がこわれたりお客様がけがをしったりする原因になります。

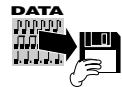
- ! イスを長期間使用すると、イスのボルトがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

メモリーバックアップについて

- ! この機器は、バックアップの設定(P88)によって、各種の設定内容を、電源を切ったあと約1週間保持することができます。約1週間以上過ぎるとバックアップされている内容は消えてしまいますので、少なくとも1週間以内に数分間は電源を入れてください。

作成したデータの保存について


- ! 作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、必ずフロッピーディスクに保存することをおすすめします。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、楽しい生活環境を守りましょう。

* この製品は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

このたびは、ヤマハクラビノーバCLP-870をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。CLP-870の優れた機能を十分に生かして演奏をお楽しみいただくために、本書をご活用いただきますようご案内申し上げます。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してくださいよう、お願い申し上げます。

付属品(お確かめください)

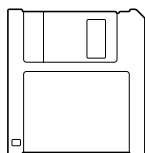
「ミュージックソフト・コレクション」ディスク

取扱説明書(本書)のガイダンス編に掲載されている楽譜の模範演奏と、市販ディスクソフトをご紹介するフレーズ集(音のカタログ)が収録されています。ご活用ください。(P21、66)



録音用ディスク

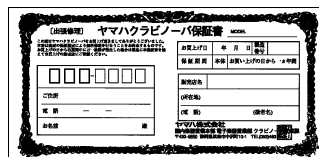
ご自分の演奏をCLP-870で録音するときを使うディスクです。(P42、70)



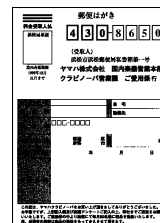
ヘッドフォン



保証書



ご愛用者カード

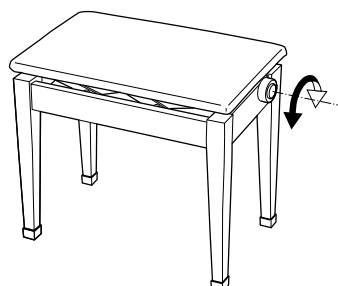


取扱説明書(本書)



高低自在イス BC-15

ご自分の演奏しやすい高さに調節してお使いいただけます。



CLP-870でこんなことができます

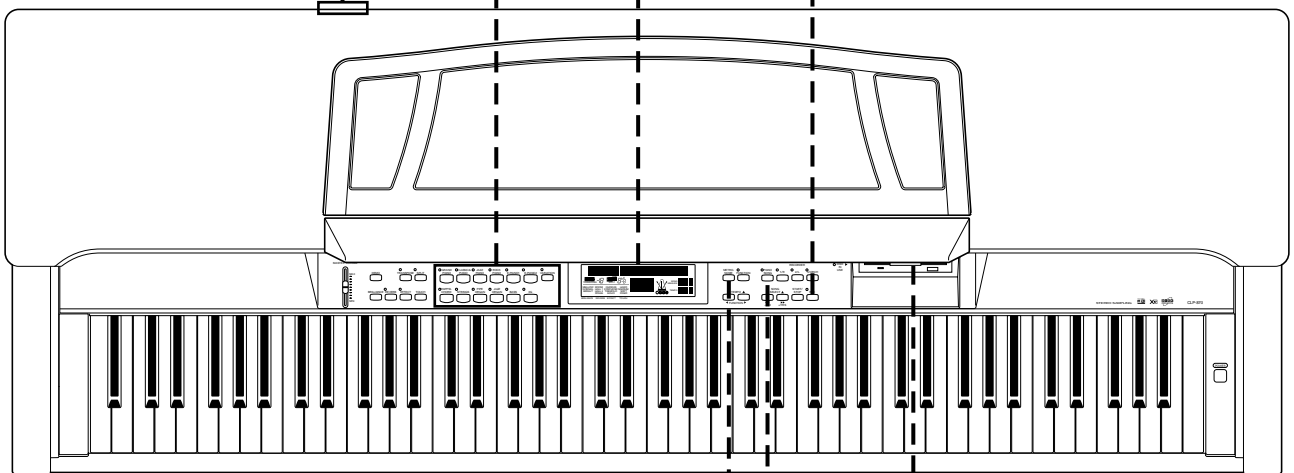
リアルなピアノ音色とリアルなタッチで、
本格的なピアノらしい演奏が楽しめます。(P28、59)

11種類のクラビノーバ音色と492種類(480音色+12ドラム
キット)のXG音色をお楽しみいただけます。(P28、59)

大きな画面を見ながら、確実な操作が
できます。(P12、52)

リアパネルの【TO HOST】^{トウ ホスト}端子を
使ってコンピューターと接続し、
コンピューターミュージックを
楽しむことができます。(P92)

ご自分の演奏を録音/再生できます。
(P42、70)



「音量調節ができる」(P10)
「ヘッドフォンで練習できる」(P10)
「軽量コンパクト」
「調律不要」
と、便利で経済的です。

市販の各種ディスクソフトを
再生したり(P21、66)、アンサ
ンプル演奏したり(P23、67)
できます。

本体にピアノ50曲の演奏データが
入っています。これらを鑑賞するだ
けでなく、便利な練習機能を使って
練習することもできます。(P13、54)

メトロノーム機能が、練習の
お役に立ちます。(P65)

目次

準備

安全上のご注意	2
付属品(お確かめください)	4
CLP-870でこんなことができます	5
取扱説明書(本書)はこんなふうにお役に立ちます	6
フロッピーディスクの取り扱い	8
ご使用前の準備	9

ガイドンス編

はじめに 操作の基本	12
ステップ1 CLP-870に入っている 音色デモ曲とピアノ50曲を聞く	13
ステップ2 CLP-870に入っている ピアノ50曲を練習する	16
ステップ3 ディスクソフトに入っている曲を聞く	21
ステップ4 ディスクソフトに入っている 曲を練習する	23
ステップ5 音色を選んで弾く	28
ステップ6 演奏を録音する	42

本編

各部の名前	50
操作の基本と共通機能	52
デモ曲/ピアノ曲を楽しむ	54
デモ曲を聞く	55
ピアノ50曲を聞く	56
ピアノ50曲の片手練習	57
ピアノ50曲の部分練習	58
音色を選んで弾く	59
音色を選ぶ	59
ペダルを使う	60
音に変化を付ける...【 <small>バリエーション</small> VARIATION】/【 <small>ブリリアンス</small> BRILLIANCE】/ 【 <small>リバーブ</small> REVERB】/【 <small>エフェクト</small> EFFECT】	60
【 <small>タッチ</small> TOUCH】	62
【 <small>トランスポーズ</small> TRANSPOSE】	63
「デュアル」で弾く(2つの音色を混ぜて弾く)	63
「スプリット」で弾く(鍵域を左右に分けて 別々の2つの音色で弾く)	64
【 <small>メトロノーム</small> METRONOME】を使う	65
ディスクソフトと録音データの再生	66
再生の基本手順	66
再生に関する便利な機能	67
各々の音楽データの再生	69
演奏の録音(記録)	70
録音の準備(ディスクのフォーマット)	70
録音の手順(1つのトラックへの録音)	71
録音し直す場合	73
続いて2つめ(3つめ)のトラックへ録音する場合	73
録音(記録)されるデータの種類	73
初期値の変更	74
ディスクを入れないで録音してしまったら	74
録音した曲の再生	74

ファンクション	75
ファンクションでの基本操作	77
各ファンクション項目の説明	78
[- F1.Tune](全鍵盤の音程の微調整)	78
[- F2.Scale](音律調律法)の設定	78
[- F3.DualFunc.](デュアルの諸設定)	79
[- F4.SplitFunc.](スプリットの諸設定)	80
[- F5.PedalFunc.](ペダルの諸設定)	80
[- F6.Metronome](メトロノーム音量の設定)	81
[- F7.DiskFunc.](ディスクを使う操作と設定)	81
[- F8.MIDIFunc.](MIDI機能の諸設定)	86
[- F9.CancelVol](ピアノ50曲のパート再生 OFF時の音量設定)	87
[- F10.Backup](バックアップON/OFFの設定)	88
[- F11.Language](画面表示言語の設定)	89
他の機器と接続する端子	90
パーソナルコンピューターとの接続	92
メッセージ一覧	94
故障かな? と思ったら	96

付録

MIDI及びデータの互換性について	98
CLP-870で再生できる別売ディスクソフトのご紹介	100
デモ曲 曲名一覧表	102
付属の「ミュージックソフト・コレクション」 ディスクの内容一覧表	103
基本設定一覧表	104
音色のご紹介	105
音色一覧表	106
ドラムキット一覧表	109
MIDIデータフォーマット	111
MIDIインプリメンテーションチャート	126
別売品のご紹介	127
仕様	127
CLP-870の組み立て方	128
索引	130
保証とアフターサービス	131

準備

ガイドンス編

本編

付録

目次

7

フロッピーディスクの取り扱い

フロッピーディスク(ドライブ)をご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

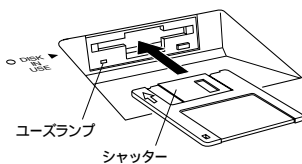
フロッピーディスクの種類

- ・ 3.5インチの2DD、または、2HDフロッピー ディスクがご使用になります。

フロッピーディスクの挿入/取り出し

フロッピーディスクの入れかた

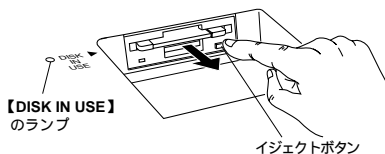
- ・ フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、イラストのように、ディスク挿入口にカチッと音がするまで、ていねいに差し込みます。



- ノート** 電源を入れると、ディスク挿入口左下のユーズランプは常に点灯して、フロッピーディスクドライブが使用可能であることを示します。

フロッピーディスクをディスク挿入口から取り出すときのご注意

- ・ フロッピーディスクを取り出すときは、あらかじめ、ディスク挿入口左の【DISK IN USE】のランプが消えたことを確認した上で(ディスクドライブが実行中でないことを確認した上で)、ディスク挿入口の右下にあるイジェクトボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出たことを確認してから、ディスクを取り出してください。



- ・ 録音中や再生中などは、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ディスクのデータがこわれるだけでなく、ディスクドライブユニットの故障の原因になります。
- ・ イジェクトボタンを中途半端に押したり、あわてて押し、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなる場合があります。この場合、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクがこわれたりディスクドライブユニットが故障したりする原因になります。このような場合は、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んで、もう一度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして取り出してください。
- ・ 電源を切るときは、フロッピーディスクをあらかじめディスクドライブユニットから取り出してください。電源を切った後、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。
- ・ イジェクトボタンを押してディスクが半分出た状態(ディスクを手で抜き取っていない状態)のままで、キーカバーを開閉しないでください。キーカバーとディスクが接触してディスクやディスクドライブユニットが破損するおそれがあります。

磁気ヘッドの定期的なクリーニング

- ・ ディスクドライブユニットは、高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生(データの書き込みや読み取り)にエラーが生じることがあります。
- ・ ディスクドライブユニットを良い状態でお使いいただくために、磁気ヘッドを定期的に(1か月に1回程度)クリーニングしていただくことをお勧めします。
- ・ 磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、ヤマハ推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

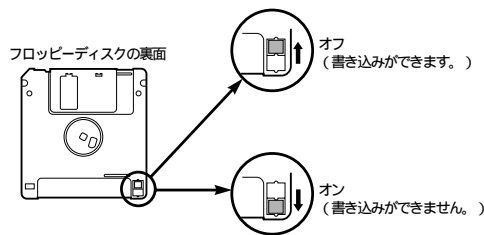
フロッピーディスクについてのご注意

フロッピーディスクの取り扱いと保管

- ・ (持ち運ぶ場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落としたり、物を乗せたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やホコリなどが入らないようにしてください。
- ・ 直射日光の当たる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。
- ・ ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- ・ 磁気を帯びた物(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ・ シャッターやディスク自体が変形しているようなフロッピーディスクは、使用しないでください。
- ・ フロッピーディスクには、ラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置に、はがれないようにしっかりと貼ってください。

誤消去防止

フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまうことがないように、ライトプロテクトタブ(書き込み禁止タブ)が付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして、書き込みができないようにしてください。逆に、録音する場合などは、ご使用前にディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。



データのバックアップ

- ・ フロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータは、バックアップとして予備のディスクに保存しておかれることをお勧めします。(FileCopy - P82 - をご参照ください。)

市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご確認の上、お求めください。

フロッピーディスクのフォーマット(初期化)

- ・ 新しいディスクや他の機器で使っていたディスクは、そのままでは使うことができません。この製品で使えるように、最初にフォーマット(初期化)しておく必要があります。フォーマットのしかたについてはP70、81をご参照ください。

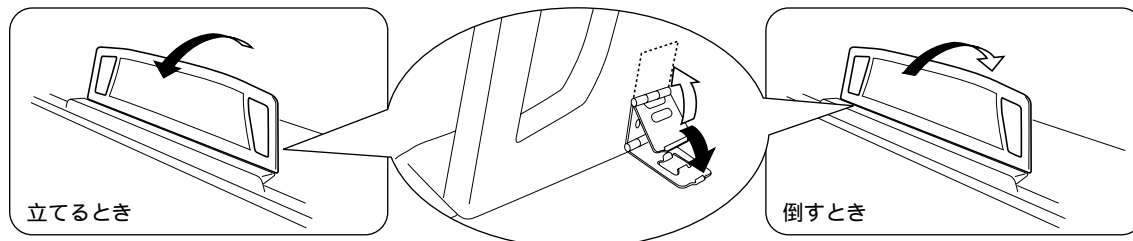
ご使用前の準備

■ 譜面立てについて

立てるとき

1. 譜面立てを、止まるまで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を、下向きに開きます。
3. 金具が固定される位置まで、譜面立てを戻します。

図のように、金具が固定される位置によって、譜面立ての角度を3段階に調節できます。
金具は左右共同じ位置に固定してください。



倒すとき

1. 譜面立てを、止まるまで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を、上向きに閉じます。
3. 譜面立てに手を添えて、ゆっくり戻します。

⊘ 譜面立ては、金具が固定されない位置で使用または放置しないでください。
また、譜面立てを倒すときは、途中で手を離さないでください。

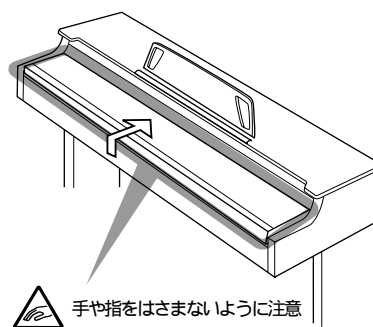
■ キーカバーについて

開けるとき

1. 少しだけ持ち上げます。
持ち上げすぎないように、ご注意ください。
2. 奥へすべらせて開けます。

閉めるとき

1. 下へすべさせます。
2. 手を添えたまま静かに降ろします。



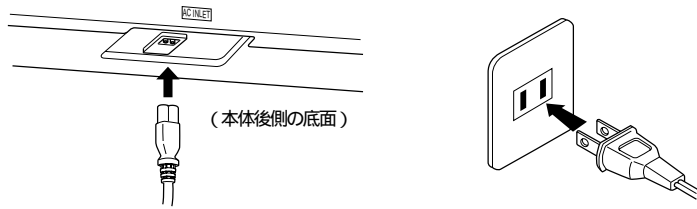
⚠ キーカバーを開閉するときは、両手で静かに行い、途中で手を離さないでください。
また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、キーカバーの端と本体の間に手や指をはさまないようにご注意ください。

⊘ キーカバーを開けるとき、キーカバーの上に金属や紙片などを置かないでください。本体の内部に落ちて取り出せなくなり、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。

■ 電源を入れる

1. 電源コードを接続する

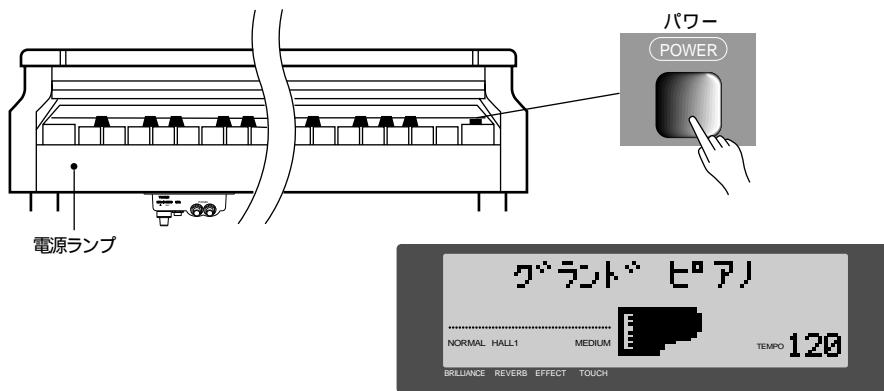
最初に本体側のプラグを差し込み、次にコンセント側(家庭用AC100V)のプラグを差し込みます。



2. 電源を入れる

本体パネル右の【POWER】を押すと

⇒ 電源が入ります。本体パネル中央の画面に表示が現れます。また、本体前面左の電源ランプも点灯します。



POWER = 電力、電気

電源ランプについて...

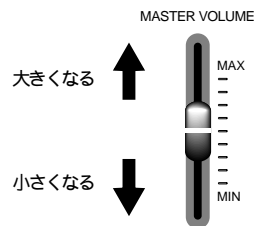
クラビノーバのご使用后、電源を切り忘れてキーカバーを閉めてしまった場合、電源ランプの点灯が、電源が入ったままであることを知らせてくれます。

電源を切るときは、もう一度【POWER】を押します。

⇒ 画面の表示が消え、本体前面左の電源ランプも消灯します。

■ 音量(ボリューム)調節

本体パネル左の【MASTER VOLUME】を上下に動かして調節します。実際に鍵盤を弾いたりなど音を出しながら、音量を調節してください。



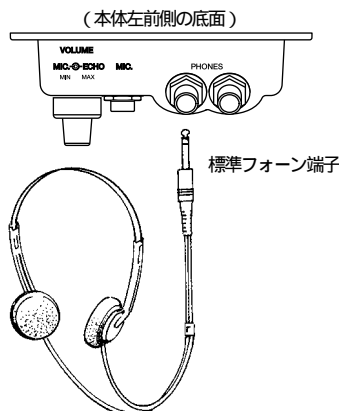
MASTER = 全体を制御する
VOLUME = 音量

【MASTER VOLUME】で、【PHONES】の出力レベルやAUX INからの入力レベルも調節できます。

■ ヘッドフォンを使う場合

ヘッドフォンを【PHONES】端子に接続して使います。

ヘッドフォンを接続するとクラビノーバ本体のスピーカーからは音が出ません。また、【PHONES】端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。(1本だけ接続する場合は、どちらの端子をご使用いただいても構いません。)



別売ヘッドフォン...

YAMAHAヘッドフォン HPE-16Q(税別価格:5,500円)

ガイドンス編

最初にP9「ご使用前の準備」を必ずお読みください。

このガイドンス編を読みながら、CLP-870で実際に操作や演奏を試みてください。また、ガイドンス編に掲載されている楽譜の模範演奏を、CLP-870本体や付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクから聞いてみることもできます。

詳細をお知りになりたいときは、項目ごとに書いてある「本編」や「付録」のページをご覧ください。

はじめに	操作の基本	P12
ステップ1	CLP-870に入っている音色デモ曲とピアノ50曲を聞く ...	P13
ステップ2	CLP-870に入っているピアノ50曲を練習する	P16
	《例題曲》 アラベスク	
ステップ3	ディスクソフトに入っている曲を聞く	P21
ステップ4	ディスクソフトに入っている曲を練習する	P23
	《例題曲》 メヌエット G dur	
ステップ5	音色を選んで弾く	P28
	《例題曲》 ロンドンデリーの歌	
	《例題曲》 枯葉	
ステップ6	演奏を録音する	P42
	《例題曲》 きらきらぼし	
	《例題曲》 ロング・ロング・アゴー	

操作の基本

最初にP9「ご使用前の準備」をお読みになり、CLP-870の電源を入れてください。

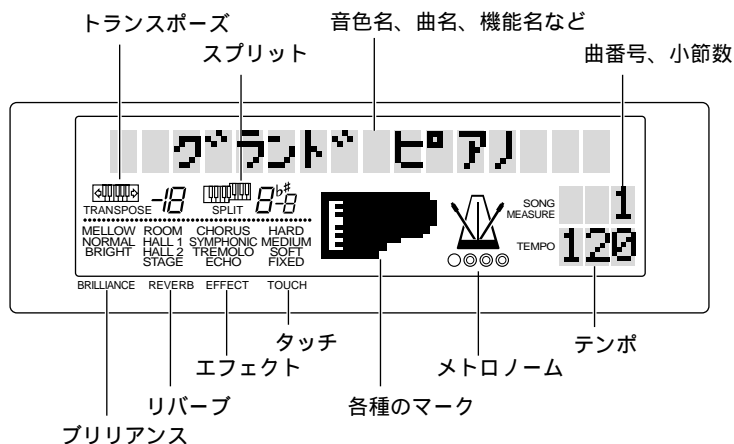
⇒ パネル中央のLCD画面に表示が出ます。



■ 操作の基本

操作の基本はパネルのボタンを押すだけです。

操作の結果をパネル中央のLCD画面で確認しながら進めてください。



ステップ 1

CLP-870に入っている 音色デモ曲とピアノ50曲を聞く

CLP-870には、音色の特長を生かした音色デモ曲12曲と有名なピアノ曲50曲が入っています。聞いてみましょう。

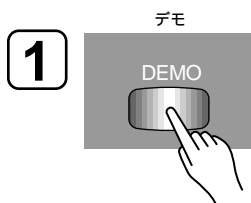
また、このピアノ曲を使って片手練習や部分練習ができる機能もあります。P16とP19で紹介しません。

■ 音色デモ曲を聞く

||||||| ここで使うボタン |||||||

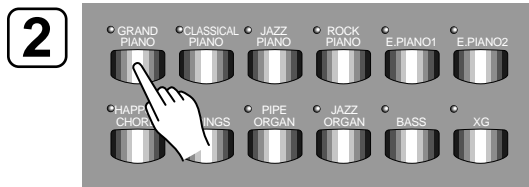


||||||| 操作 |||||||



1 を押します。..... 本編P54

曲名一覧表
付録P102

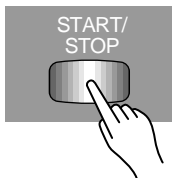


デモ曲を聞いてみたい
音色ボタンを押すと
曲の再生がスタートします。
⇒ 音色ボタンのランプが点滅

ノート マスターボリューム
【MASTER VOLUME】で
聞きやすい音量に調節してください。

3 再生をストップする

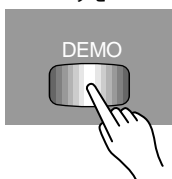
スタート/ストップ



を押します。

4

デモ

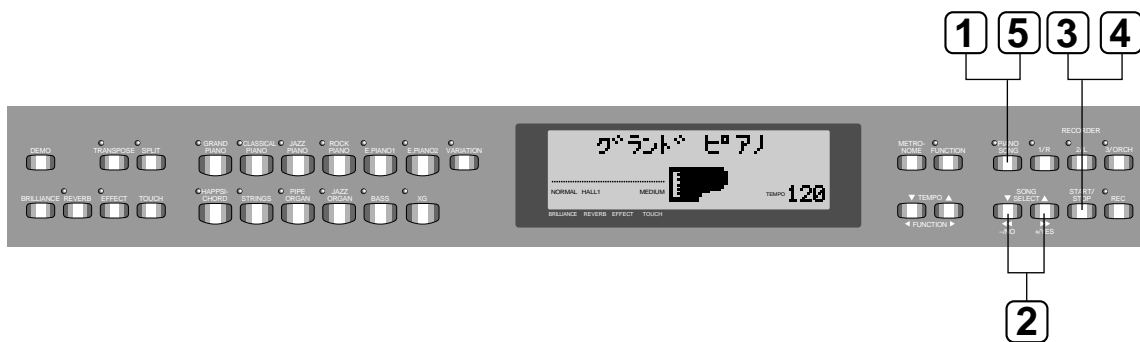


を押して終わります。

■ピアノ50曲を聞く

このピアノ50曲を使った片手練習や部分練習の方法はP16とP19で紹介します。

||||||| ここで使うボタン |||



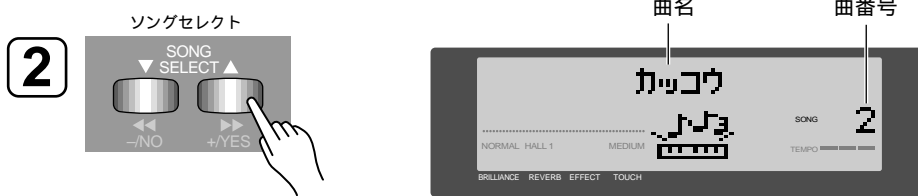
||||||| 操作 |||

1

ピアノソング



を押します。..... 本編P54



で再生したい曲番号を選びます。..... 本編P56

曲名一覧表
付録P102

ヒント ここで ^{オール}ALL を選ぶと全曲連続再生に、
^{ランダム}[RND] を選ぶと 順不同の全曲連続再生になります。..... 本編P56

3 再生をスタートする



を押します。

4 再生をストップする

曲が終わると自動的に再生が止まります。
曲の途中でストップする場合は、



を押します。



を押して終わります。

CLP-870に入っている ピアノ50曲を練習する

CLP-870に入っているピアノ50曲は、片手練習や部分練習など電子ピアノならではの練習機能を使って弾くことができます。レポートリー作りに挑戦してみてください。

■片手練習

ピアノ50曲は右手パートと左手パートが別々のボタンに入っていますので、それぞれの再生をOFF(自分で弾くために再生音量を小さくする、あるいは消すこと)として片手ずつの練習ができます。50曲の中には、連弾アレンジになっていて、【1/R】にPrimo(プリモ)、【2/L】にSecond(セコンド)パートが入っている曲もあります。

《例題曲》SONG 28「アラベスク」

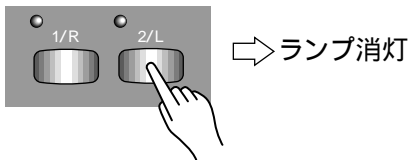
||||||| ここで使うボタン |||



||||||| 操作 |||

P14、15の操作 ①、② に続いて

③ 練習したいパートの再生をOFFにする(再生音量を小さくする)..... 本編P57



右手パートの再生をOFFするときは
【1/R】を押してランプを消します。

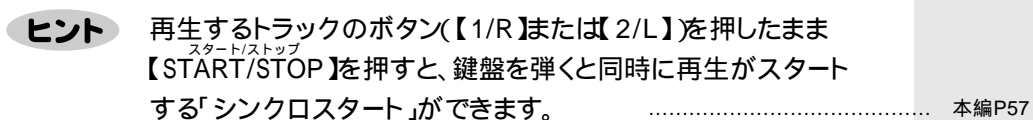
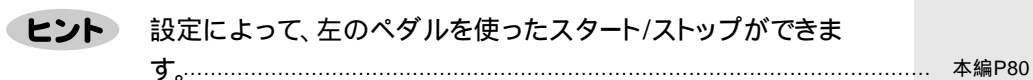
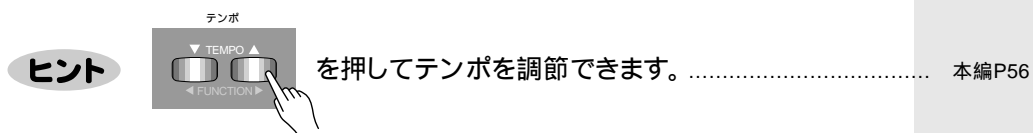
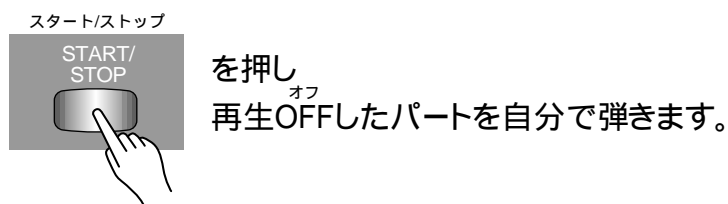
左手パートの再生をOFFするときは
【2/L】を押してランプを消します。

ヒント 再生をOFFしたパートの再生音量を設定できます。..... 本編P87
ここでα(α)に設定するとキャンセルしたパートはまったく鳴らなくなります。特に設定をしなくても基本の再生音量が自動的に設定されています。

4 鍵盤での手弾き用音色を選ぶ



5 再生をスタートし演奏する



6 再生をストップする

曲が終わると自動的に再生が止まります。
曲の途中でストップする場合は、



||||||| 演奏 |||

「アラベスク」を弾いてみましょう。

ヒント 片手練習の仕方:P16 部分練習の仕方:P19

ヒント 左手パートを練習するときは、P17 **ヒント** にある「シンクロスタート」を使うと便利です。

アラベスク

作曲：J.F.Burgmüller

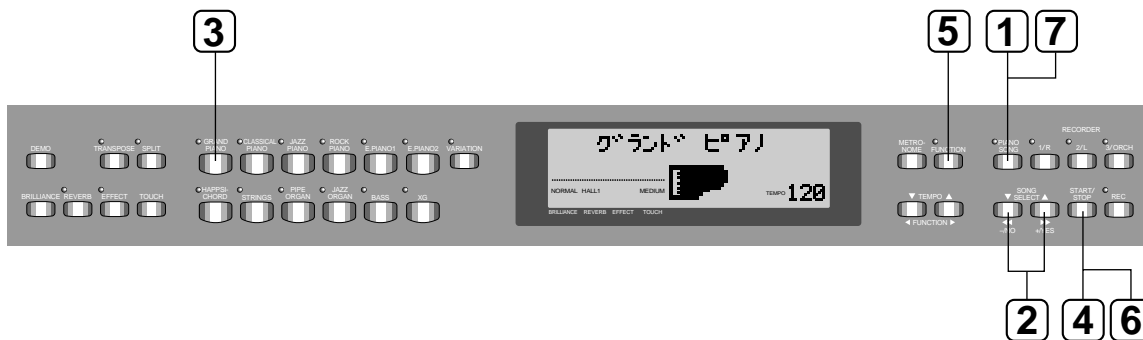
Allegro scherzando

p
p leggiero
cresc.
sf
f
dimin. e poco rall.
in tempo
p dolce
ten.
cresc.
risoluto
sf

■ 部分練習

曲の一部分だけを繰り返し再生して部分練習ができます。繰り返しをする範囲は自由に設定できます。

||||||| ここで使うボタン |||||||



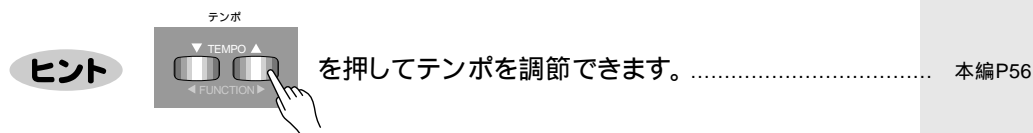
||||||| 操作 |||||||

P14、15の操作 ①、② に続いて

③ 鍵盤での手弾き用音色を選ぶ



④ 再生をスタートする



5 繰り返し(部分練習)をする範囲を設定する..... 本編P58



を押して繰り返しを始める位置 A を決めます。

ノート 曲の先頭位置に繰り返しを始める位置 A を設定することはできません。

もう一度



を押して繰り返しを終わる位置 B を決めます。

⇒自動的に繰り返し再生が始まります。再生に合わせて練習します。

ヒント 片手練習のときにもこの機能が使えます。..... 本編P57

ヒント もう一度【^{ファンクション}FUNCTION】を押すと、A-Bの位置設定が解除されます。..... 本編P58

6 再生をストップする



ステップ 3

ディスクソフトに入っている曲を聞く

CLP-870ではフロッピーディスクが使えます。

市販のディスクソフト(演奏データの入ったディスク)を再生して

- ・鑑賞
- ・オーケストラ伴奏データをバックに演奏を楽しむことができます。

付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクには、No.1～13にこの「取扱説明書ガイドンス編」に掲載されている楽譜の模範演奏、No.14～60に市販のディスクソフトをご紹介しますフレーズ集(音のカタログ)が収録されています。

「ミュージックソフト・コレクション」ディスクの内容一覧表がP103に掲載されています。

フロッピーディスクに自分の演奏を録音する方法はP42でご紹介します。

■ ディスクソフトの再生

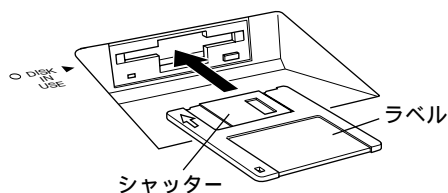
付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクを再生してみましょう。

||||||| ここで使うボタン |||||||

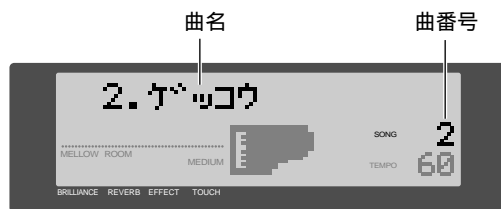
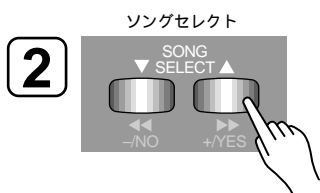


||||||| 操作 |||||||

- 1 ディスクドライブに「ミュージックソフト・コレクション」ディスクを入れます。



- ノート** ラベルが貼ってある面を上向き、シャッター側を奥にして、カチッと音がするまでいねいに差し込みましょう。



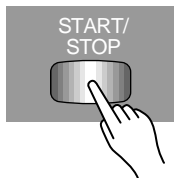
で再生したい曲番号を選びます。

- ヒント** ここで **オール** [ALL] を選ぶと全曲連続再生に、**ランダム** [RND] を選ぶと順不同の全曲連続再生になります。

本編P66

3 再生をスタートする

スタート/ストップ



を押します。

ヒント

テンポ



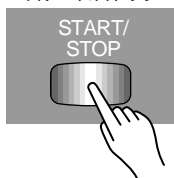
を押してテンポを調節できます。..... 本編P67

4 再生をストップする

曲が終わると自動的に再生が止まります。

曲の途中でストップする場合は、

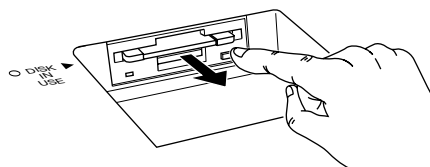
スタート/ストップ



を押します。

ノート

ディスクソフトを使い終わったら、イジェクトボタンを押して、必ずディスクを抜いておきましょう。



ディスクソフトに入っている曲を練習する

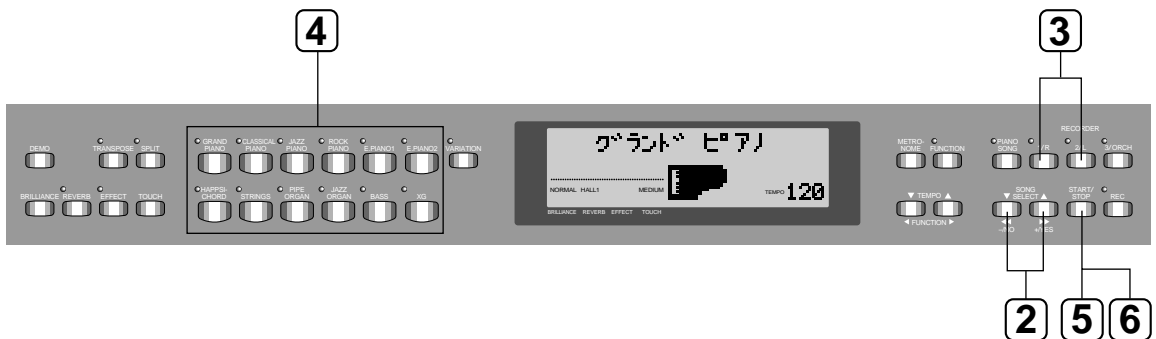
ディスクソフトに入っている曲は、片手練習や部分練習など電子ピアノならではの練習機能を使って弾くことができます。ディスクソフトによってはL/R対応(右手/左手パートキャンセル対応)でないものもあります。その場合は片手練習のためのパートキャンセルはできません。付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクの1曲め「メヌエット G dur」はL/R対応曲です。

■ 片手練習

L/R対応(右手/左手パートキャンセル対応)曲は右手パートと左手パートが別々のボタンに入っていますので、それぞれの再生をOFF(自分で弾くために再生音を消すこと)して片手ずつの練習ができます。

《例題曲》1.「メヌエット G dur」(「ミュージックソフト・コレクション」ディスクの1曲め)

||||||| ここで使うボタン |||||||



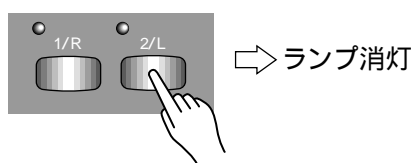
||||||| 操作 |||||||

P21の操作 ① に続いて



で再生したい曲番号を選びます。..... 本編P66
「メヌエット G dur」は「1」です。

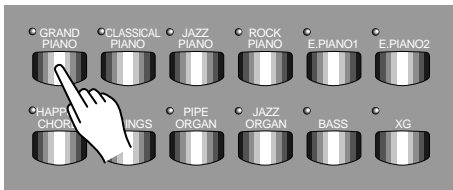
③ 練習したいパートの再生をOFFにする(再生音を消す)..... 本編P67



右手パートの再生をOFFするときは
【1/R】を押してランプを消します。

左手パートの再生をOFFするときは
【2/L】を押してランプを消します。

4 鍵盤での手弾き用音色を選ぶ



演奏したい音色ボタンを押します。

本編P59

⇒ ランプ点灯

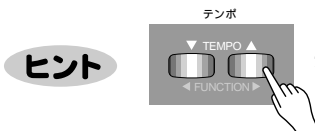
音色解説
付録P105

「メヌエット G dur」では【GRAND PIANO】の音色がおすすめです。

5 再生をスタートし演奏する



を押して再生をOFFしたパートを自分で弾きます。



を押してテンポを調節できます。

本編P67

ヒント 設定によって、左のペダルを使ったスタート/ストップができます。

本編P80

ヒント ディスクソフトの再生音量を調節し、鍵盤での手弾き音量とのバランスをとることができます。

本編P68

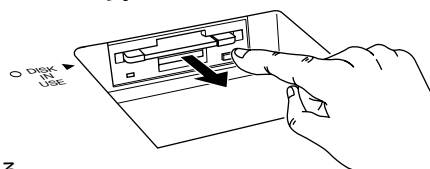
6 再生をストップする

曲が終わると自動的に再生が止まります。
曲の途中でストップする場合は、



を押します。

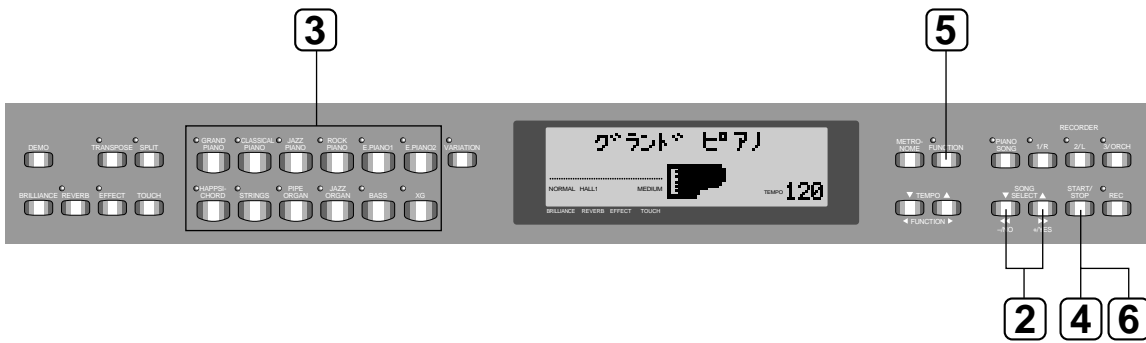
ノート ディスクソフトを使い終わったら、イジェクトボタンを押して、必ずディスクを抜いておきましょう。



部分練習

ディスクソフトに入っている曲の一部分だけを繰り返し再生して部分練習ができます。繰り返しをする範囲は自由に設定できます。

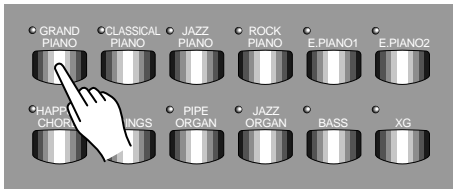
||||||| ここで使うボタン |||



||||||| 操作 |||

P21の操作 ① ② に続いて

③ 鍵盤での手弾き用音色を選ぶ



演奏したい音色ボタンを押します。

本編P59

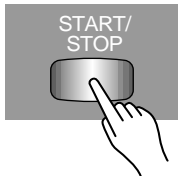
⇒ ランプ点灯

音色解説
付録P105

「メヌエット G dur」では【GRAND PIANO】の音色がおすすめです。

④ 再生をスタートする

スタート/ストップ



を押します。

ヒント

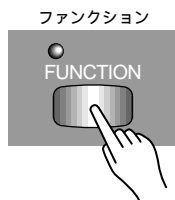


を押してテンポを調節できます。

本編P67

5 繰り返し(部分練習)をする範囲を設定する 本編P68

始める位置 A が設定されました

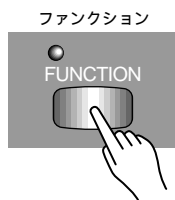


を押して繰り返しを始める位置 A を決めます。

ノート 曲の先頭位置に繰り返しを始める位置 A を設定することはできません。

もう一度

終わる位置 B が設定されました



を押して繰り返しを終わる位置 B を決めます。

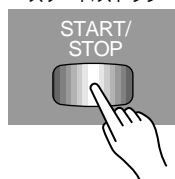
⇒自動的に繰り返し再生が始まります。再生に合わせて練習します。

ヒント 片手練習のときにもこの機能が使えます。 本編P67

ヒント もう一度【^{ファンクション}FUNCTION】を押すと、A-Bの位置設定が解除されます。 本編P68

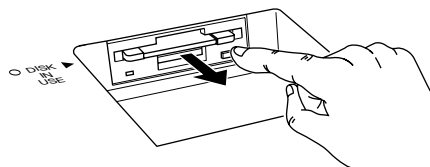
6 再生をストップする

スタート/ストップ



を押します。

ノート ディスクソフトを使い終わったら、イジェクトボタンを押して、必ずディスクを抜いておきましょう。



ステップ 5

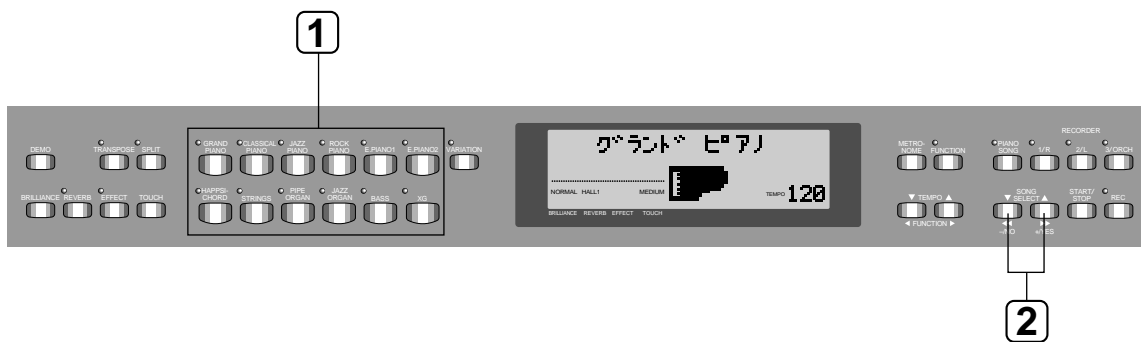
音色を選んで弾く

CLP-870には11種類のクラビノーバ音色と492種類(480音色+12ドラムキット)のXG音色^{エックスジー}が入っています。それぞれの特長を生かしているいろいろな曲を弾いてみてください。
 また、2種類の音色を混ぜて新しい雰囲気^{エクスジュー}の音を作ったり(=デュアル)、
 88個の鍵盤を左右の領域に分け、それぞれ違う音色を設定したり(=スプリット)もできます。
 【VARIATION^{バリエーション}】や【EFFECT^{エフェクト}】を使うと、また違った表情の音色にもなります。

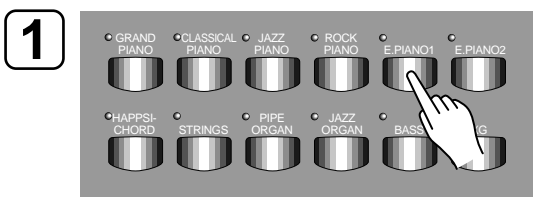
エックスジー
 XG音色とは・・・
 ジーエム
 「GMシステムレベル1音色配列」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にし
 た、ヤマハの音源フォーマット「XGフォーマット」に準拠した音色です。

■ 音色を選ぶ

||||||| ここで使うボタン |||||||



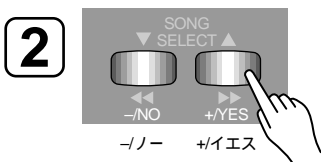
||||||| 操作 |||||||



1 演奏したい音色ボタンを押します。..... 本編P59
 ⇨ ランプ点灯

音色解説
 付録P105

エックスジー
 【XG】を選んだときはさらに



2 エックスジーでXG音色を選びます。..... 本編P59

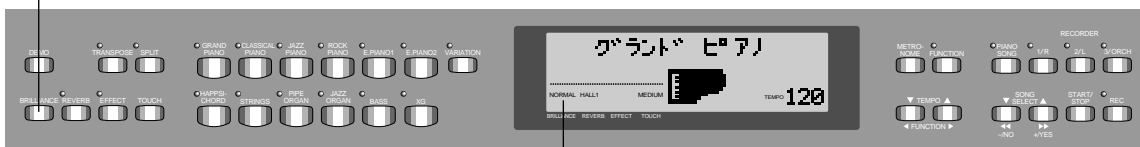
ヒント エックスジー
 【XG】を押したまま音色ボタンを押して
 エックスジー
 XG音色を選ぶことができます。..... 本編P59

ノート マスターボリューム
 【MASTER VOLUME】で聞きやすい音量に
 調節してください。..... 音色一覧表
 付録P106

ヒント

^{ブリリアンス}【BRILLIANCE】を使うと音の明るさが変わります。..... 本編P61
3タイプの中から選べます。通常は ^{ノーマル}【NORMAL】が
選ばれています。

ブリリアンス 【BRILLIANCE】

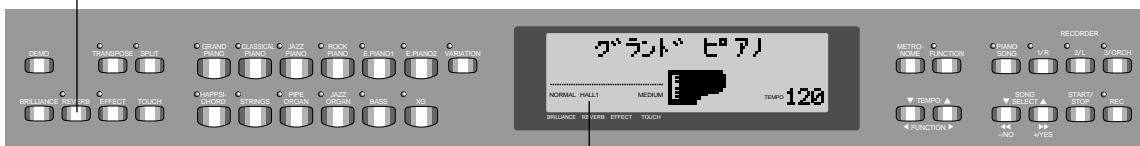


選ばれているタイプが表示されます

ヒント

^{リバーブ}【REVERB】を使うと残響がつかます。..... 本編P61
5タイプの中から選べます(^{オフ}OFFも含む)
また、その深さを変えることもできます。
特に設定をしなくても基本のリバーブが音色ごとに
自動的に選ばれています。

リバーブ 【REVERB】



選ばれているタイプが表示されます

ヒント

^{エフェクト}【EFFECT】を使うと音が揺れ、広がり感がつかます。..... 本編P61
5タイプの中から選べます(^{オフ}OFFも含む)
また、その効果のかかり具合を変えることもできます。
特に設定をしなくても基本のエフェクトが
音色ごとに自動的に選ばれています。

エフェクト 【EFFECT】

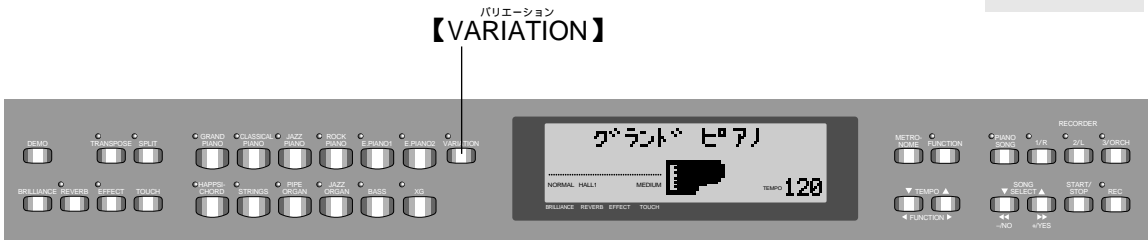


選ばれているタイプが表示されます

ヒント

バリエーション
【VARIATION】を使うと選んだ音色が
違った表情の音になります。……………
エックスジェー バリエーション
【XG】を選んでいるときは、【VARIATION】は使えません。

本編P60



||||||| 演奏 |||||||

音色を選んで弾いてみましょう。

ここでご紹介する楽譜の演奏が、付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクの No.2 ~ 13に入っています。ディスクの再生手順はP21「ディスクソフトの再生」をご覧ください。

GRAND PIANO(グランドピアノ)の音で

ディスクの
2曲め

本編P60

ヒント ペダルを使いましょう。
 右のペダル(ダンパーペダル)を踏むと鍵盤から指を離しても音が長く響きます。○のマークはペダルを踏むマークです。次のマークがあるところの直前まで踏み続けます。

月光

作曲 : L.v.Beethoven

Adagio sostenuto
sempre pp e senza sordino

The musical score consists of three systems. The first system shows a treble clef staff with a key signature of three sharps (F#, C#, G#) and a 4/4 time signature. It features a triplet of eighth notes in the right hand and a half note in the left hand. The second system continues the melody with a *pp* dynamic marking and includes a circle symbol above a note, indicating a pedal point. The third system shows a more complex melodic line with slurs and fingerings (e.g., 4 3, 5, 1) in the right hand, and a steady accompaniment in the left hand.

グランドピアノ
 ピアノ音色には【GRAND PIANO】の他に3種類の音色があります。
 演奏する曲のイメージや気分によって使い分けるのもいいでしょう。

E.PIANO1(エレクトリックピアノ1)の音で

ディスクの
3曲め

ピース・オブ・マイ・ウィッシュ(PIECE OF MY WISH)

作曲：上田知華

Musical score for 'Piece of My Wish' in E-flat major, 4/4 time. The score consists of two systems of piano accompaniment. The first system starts with a mezzo-piano (mp) dynamic. The melody is in the right hand, and the bass line is in the left hand. The piece concludes with a fermata over the final chord.

日本音楽著作権協会 出 許諾第9801614-801号

E.PIANO2(エレクトリックピアノ2)の音で

ディスクの
4曲め

イパネマの娘

作曲：A.C.Jobim

Musical score for 'Garota de Ipanema' in E-flat major, 4/4 time. The score consists of two systems of piano accompaniment. The first system starts with a mezzo-forte (mf) dynamic. The melody is in the right hand, and the bass line is in the left hand. The piece concludes with a fermata over the final chord.

GAROTA DE IPANEMA (THE GIRL FROM IPANEMA)
 WORDS AND MUSIC BY VINICIUS DE MORAES, ANTONIO CARLOS JOBIM AND NORMAN GIMBEL
 © 1963 by MCA-DUGHESS MUSIC CORPORATION
 Assigned for Japan to MCA MUSIC K. K., c/o TAIYO MUSIC, INC. Authorized for sale only in Japan.
 日本音楽著作権協会 出 許諾第9801614-801号

HARPSICHORD(ハープシコード)の音で

ディスクの
5曲め

ヒント ペダルを使わずに弾いてみましょう。

主よ人の望みの喜びよ

作曲 : J.S.Bach

STRINGS(ストリングス)の音で

ディスクの
6曲め

ヒント 音がとぎれないように十分に伸ばして弾きましょう。

タラのテーマ(TARA'S THEME)

作曲 : M.Steiner

Vocal Version Title "MY OWN TRUE LOVE" Music by Max Steiner Words by Mack David
© 1941, 1964 by WARNER BROS. INC. All rights reserved. Used by permission
Rights for Japan administered by WARNER/CHAPPELL MUSIC, JAPAN K.K.,
c/o NICHION, INC.
日本音楽著作権協会 出 許諾第9801614-801号

PIPE ORGAN(パイプオルガン)の音で

ディスクの
7曲め

ヒント ペダルは使わずになるべく長く鍵盤を押さえて
音を伸ばして弾きましょう。

もみの木

トラディショナル

Musical score for 'もみの木' (Momi no Ki) in 3/4 time. The score consists of two systems of music. The first system starts with a treble clef, a key signature of one sharp (F#), and a 3/4 time signature. The melody in the right hand begins with a quarter note D4, followed by quarter notes E4, F#4, and G4. The left hand provides accompaniment with chords. The second system continues the melody and accompaniment. The dynamic marking 'mf' is present in the first system.

JAZZ ORGAN(ジャズオルガン)の音で

ディスクの
8曲め

ヒント ペダルは使わずに弾きましょう。

オール・オブ・ミー(ALL OF ME)1

作曲 : G.Marks

Musical score for 'オール・オブ・ミー(ALL OF ME)1' in common time. The score consists of two systems of music. The first system starts with a treble clef and a common time signature. The melody in the right hand begins with a quarter note G4, followed by quarter notes A4, B4, and C5. The left hand provides accompaniment with chords. The second system continues the melody and accompaniment.

ALL OF ME
by Seymour Simons, Gerald Marks
© 1931 by BOURNE CO. (Copyright Renewed)
International Copyright Secured. All Rights Reserved
The rights for Japan administered by HIGH NOTE PUBLISHING CO., LTD.
日本音楽著作権協会 出 野詔第 9801614-801号

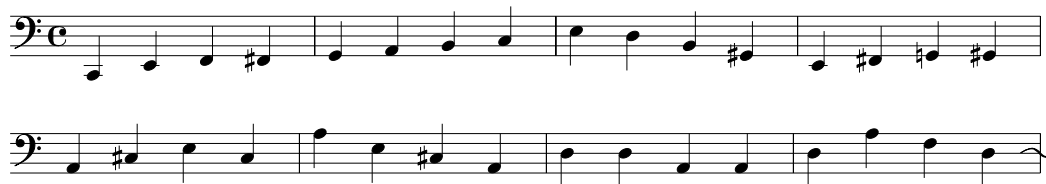
BASS(ベース)の音で

ディスクの
9曲め

ヒント ペダルは使わずに1音1音を大切に弾きましょう。
ジャズオルガンの楽譜を弾く前にこのベースパートを録音して
おくと、アンサンブル演奏ができます。
(録音の仕方:P42)

オール・オブ・ミー(ALL OF ME)2

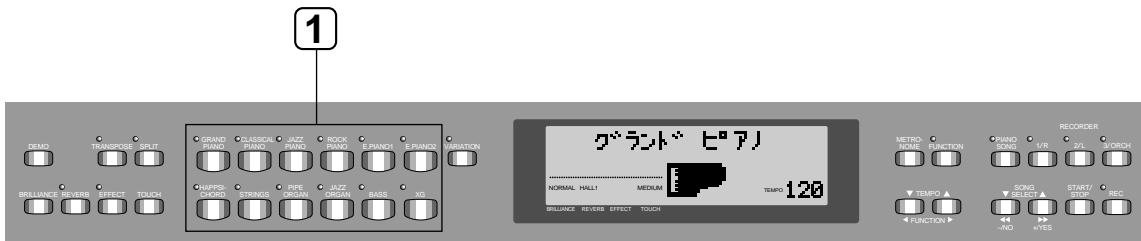
作曲：G.Marks



「デュアル」を使って弾く

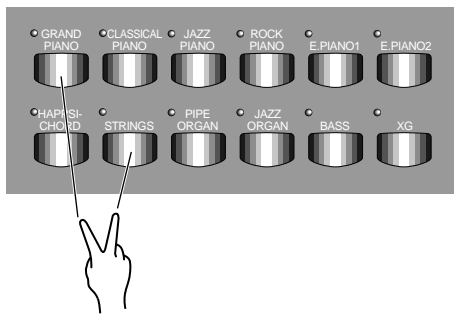
2つの音色を混ぜて新しい雰囲気の色を作れます。自由に組み合わせて作ってみましょう。

《例題曲》 ロンドンデリーの歌 ディスクの10曲め
 ||||| ここで使うボタン |||||



||||| 操作 |||||

1 2種類の音色を混ぜる



混ぜたい音色ボタンを2つ同時に押します。..... 本編P63
 ⇨ ランプ点灯

ノート エックスジー 【XG】音色とのデュアルの場合は、先にもう一方の音色ボタンエックスジーを押したまま【XG】を押してください。..... 本編P63

ヒント 2つの音色の音量バランスの調節や、片方の音の音域を1オクターブ上下させたりなどの設定ができます。..... 本編P79
 特に設定しなくても基本の設定が音色の組み合わせごとに自動的に選ばれます。

ヒント 片方の音色にストリングス【STRINGS】のバリエーション【VARIATION】を選ぶと、アタック(音の立ち上がる速さ)の遅いストリングスになります。雰囲気が出てお勧めです。..... 本編P60

ヒント 「デュアル」から元の「1つの音色」に戻すときは新たに1つの音色ボタンを押します。..... 本編P64

ノート マスターボリューム 【MASTER VOLUME】で聞きやすい音量に調節してください。

演奏

グランドピアノ スtringス
【GRAND PIANO】と【STRINGS】のデュアルの音で「ロンドンデリーの歌」を弾いてみましょう。

ロンドンデリーの歌

トラディショナル

The musical score is presented in four systems, each with a grand staff (treble and bass clefs). The first system begins with a piano (*mp*) dynamic. The second system continues the melody. The third system features a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The fourth system concludes with a forte (*f*) dynamic in the first measure, which then softens to mezzo-piano (*mp*) for the remainder of the piece. The score includes various musical notations such as slurs, ties, and articulation marks.

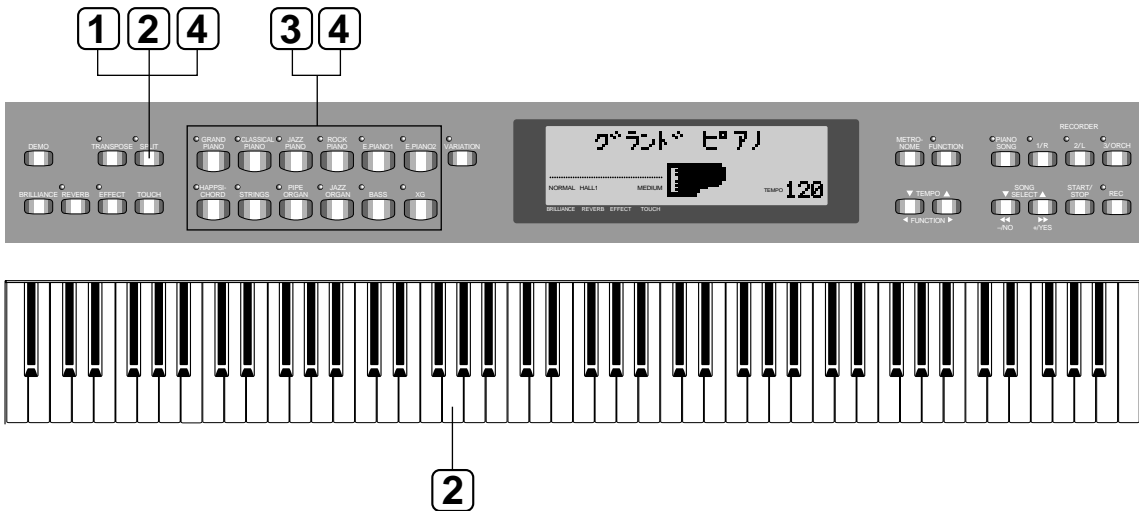
「スプリット」を使って弾く

88個の鍵盤を左右の領域に分け、それぞれ違う音色を設定することができます。

《例題曲》 枯葉

ディスクの
11曲め

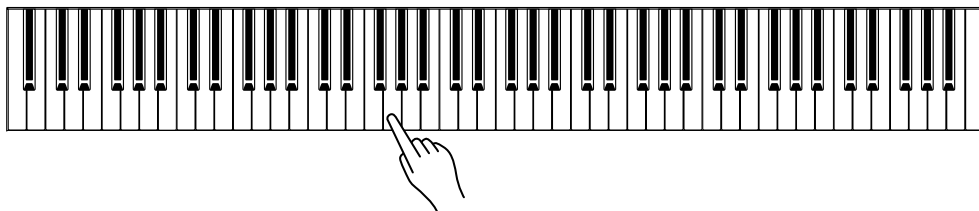
||||||| ここで使うボタン |||



||||||| 操作 |||

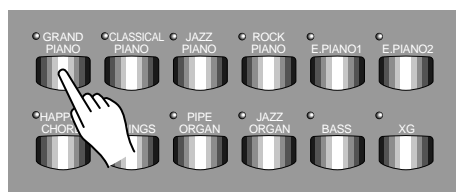
1 **スプリット**
SPLIT を押します。..... 本編P64
⇒ ランプ点灯

2 **スプリット**
スプリットポイント(2音色の境め)を決める..... 本編P64
SPLIT を押したまま境めにする鍵盤を押します。



ノート 境めの鍵盤は左側に含まれます。

3 右側の音色を決める



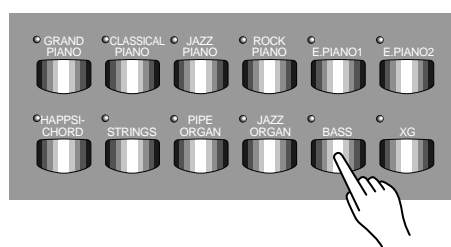
演奏したい音色ボタンを押します。

⇒ ランプ点灯

4 左側の音色を決める



を押したまま



音色ボタンを押します。

ヒント

2つの音色の音量バランスの調節や、片方の音の音域を1オクターブ上下させたりなどの設定ができます。..... 本編P80
特に設定しなくても基本の設定が音色の組み合わせごとに自動的に選ばれます。

ヒント

「スプリット」から元の「1つの音色」に戻すときは、もう一度
【SPLIT】ボタンを押します。..... 本編P65
⇒ ランプ消灯

||||||| 演奏 |||||||

グランドピアノ ^{ベース}
 【GRAND PIANO】と【BASS】の音を「スプリット」設定して「枯葉」を弾いてみましょう。
 スプリットポイント(2音色の境め)は中央のドよりひとつ低い「ソ(G2)」
 右側の音色に【GRAND PIANO】左側の音色に【BASS】を選びます。

枯 葉

作曲：J. Kosma

(GRAND PIANO)

(BASS)

The first system of musical notation for 'Autumn Leaves'. The top staff is labeled '(GRAND PIANO)' and the bottom staff is labeled '(BASS)'. The music is in 3/4 time with a key signature of two flats (B-flat and E-flat). The first measure shows a whole note chord in the piano part and a whole note in the bass part. The second measure has a quarter rest in the piano part and a quarter note in the bass part. The third measure has a quarter note in the piano part and a quarter note in the bass part. The fourth measure has a whole note chord in the piano part and a whole note in the bass part.

The second system of musical notation. The piano part has a quarter rest, followed by a quarter note, an eighth note, and a quarter note. The bass part has a quarter note, a quarter note, a quarter note, and a quarter note.

The third system of musical notation. The piano part has a quarter rest, followed by a quarter note, an eighth note, and a quarter note. The bass part has a quarter note, a quarter note, a quarter note, and a quarter note.

The fourth system of musical notation. The piano part has a quarter rest, followed by a quarter note, an eighth note, and a quarter note. The bass part has a quarter note, a quarter note, a quarter note, and a quarter note.

The fifth system of musical notation. The piano part has a quarter note, an eighth note, and a quarter note. The bass part has a quarter note, a quarter note, a quarter note, and a quarter note.

Words by Jacques PRÉVERT, Music by Joseph KOSMA
 Publié avec l'autorisation de MM. ENOCH & Cie Editeurs propriétaires, Paris.
 Paroles Françaises de Jacques PRÉVERT.
 © Copyright 1947 by ENOCH & Cie
 Rights for Japan assigned to SUISEISHA Music Publishers, Tokyo.
 日本音楽著作権協会 出 許諾第 990164-801号

演奏を録音する

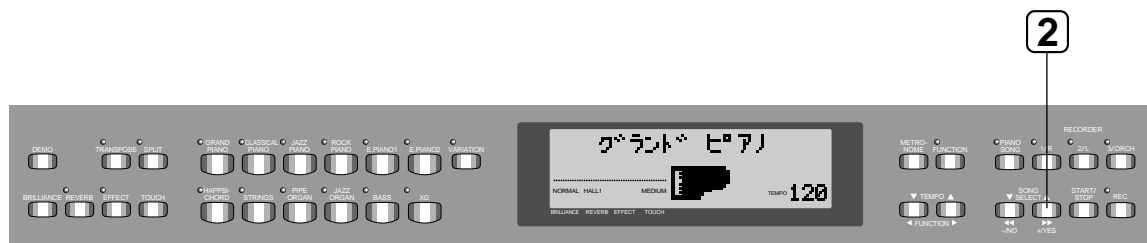
フロッピーディスクに自分の演奏を録音することができます。

録音した自分の演奏を再生して客観的に聞くことはとても効果的な練習方法の一つですし、連弾や2台のピアノのための曲も、片方のパートをあらかじめ録音しておく一人でも楽しむことができます。

■ 録音の準備(ディスクのフォーマット)

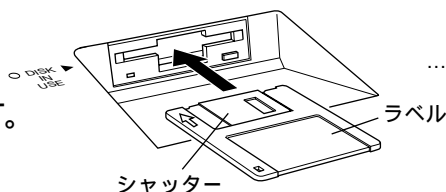
付属の「録音用ディスク」をご用意ください。このディスクを初めて使うときは最初にフォーマット(初期化)をします。

||||||| ここで使うボタン |||||||



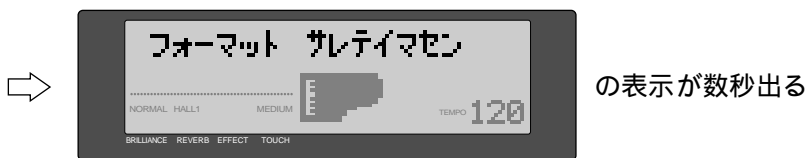
||||||| 操作 |||||||


- 1 ディスクドライブに録音用ディスクを入れます。

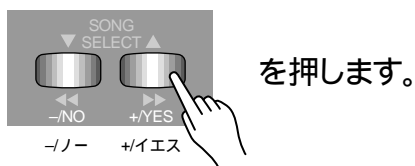


本編P70

ノート ラベルを貼る面を上向き、シャッター側を奥にして、カチッと音がするまでていねいに差し込みましょう。

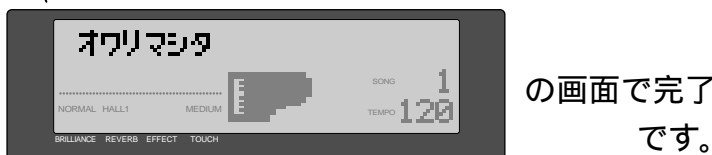


- 2  の画面が出るので



を押します。

しばらくして

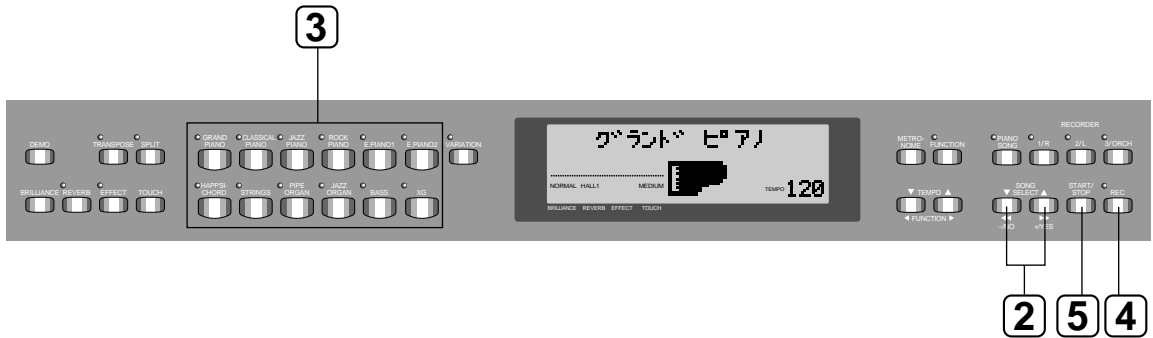


の画面で完了です。

録音

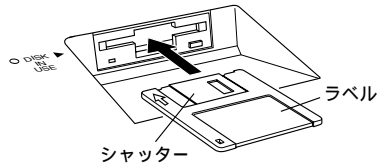
自分の演奏を録音してみましょう。

《例題曲》きらきらぼし」.....	ディスクの 12曲め
《例題曲》ロング・ロング・アゴー」.....	ディスクの 13曲め
ここで使うボタン	



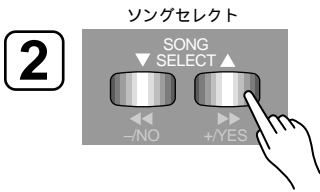
||||||| 操作 |||||||

1 ディスクドライブに
録音用ディスクを入れます。

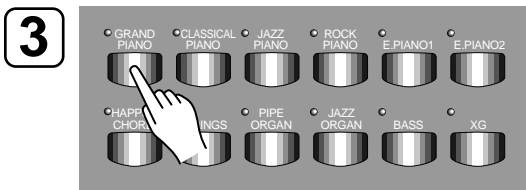


..... 本編P71

ノート フォーマット済みのディスクを正しく入れましょう。



で録音する曲番号を選びます。



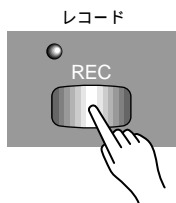
録音する音色を選びます。..... 本編P59

⇒ ランプ点灯

音色解説
付録P105

ヒント 音色以外にもリバーブやエフェクトの種類、
オン/オフ
バリエーションのON/OFFなども録音されます。..... 本編P73

4



を押すと録音待機状態になり、
鍵盤を弾くと録音が始まります。

ヒント

鍵盤を弾く前に  を押すと

録音するトラックが選べます。..... 本編P72
⇒ 赤ランプ点灯

ヒント

スタート/ストップ【START/STOP】を押しても録音が始まります。

ヒント

設定によって、左のペダルを使ったスタート/ストップもできま
す。..... 本編P80

5

録音をストップする



を押します。

ヒント

すでに録音したパートを再生しながら
残りのパートを録音することができます。..... 本編P73

ヒント

すでに録音したパートを再生しながら
それに合わせて演奏するとき、
再生するトラックのボタン(【1/R】【2/L】または【3/ORCH】)
を押したままスタート/ストップ【START/STOP】を押すと、
鍵盤を弾くと同時に再生がスタートする
「シンクロスタート」ができます。..... 本編P68

録音した演奏の再生の仕方はP21「ディスクソフトの再生」と同じです。

||||||| 演奏 |||||

「きらきらぼし」を録音してみましょう。

【1/R】に【E.PIANO2】^{エレクトリックピアノ2}パートを、
【2/L】に【GRAND PIANO】^{グランドピアノ}パートを録音してみましょう。
P44の手順④で、【E.PIANO2】^{エレクトリックピアノ2}パートを弾くときは【1/R】を、
【GRAND PIANO】^{グランドピアノ}パートを弾くときは【2/L】を選びます。

ヒント 録音の時のメトロノームを使うとテンポをとるのに便利です。..... 本編P65

ヒント 録音した片パートの再生に合わせて演奏するときは、
P44 **ヒント** にある「シンクロスタート」を使うと便利です。..... 本編P68

きらきらぼし

トラディショナル

||||||| 演奏 |||||

連弾曲「ロング・ロング・アゴー」の片パートを録音して一人でアンサンブル演奏をしてみましょう。

1つのソングに両方のパートを録音する場合は、
【1/R】にPrimo^{プリモ}を、【2/L】にSecondo^{セコンド}を録音してみましょう。
P44の手順④で、Primo^{プリモ}を弾くときは【1/R】を、
Secondo^{セコンド}を弾くときは【2/L】を選びます。
お好きな音色でどうぞ。

ヒント 録音した片パートの再生に合わせて演奏するときは、
 P44 **ヒント** にある「シンクロスタート」を使うと便利です。..... 本編P68

ロング・ロング・アゴー

作曲 : T.H.Bayly

8va -

Primo (1/R) *mp*

Secondo (2/L) *mp*

mf

mf

ped. ped. # ped. ped. ped. ped. *

mp

mp

ped. * ped. ped. ped. ped. ped. *

*は、ペダルを離すマークです。

メモ

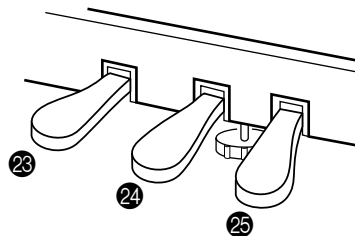
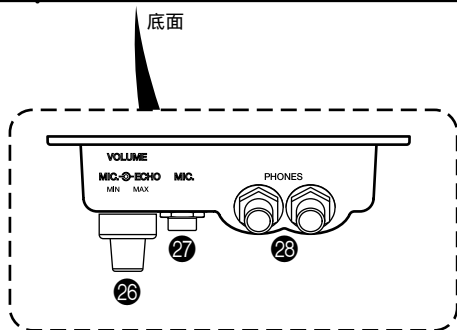
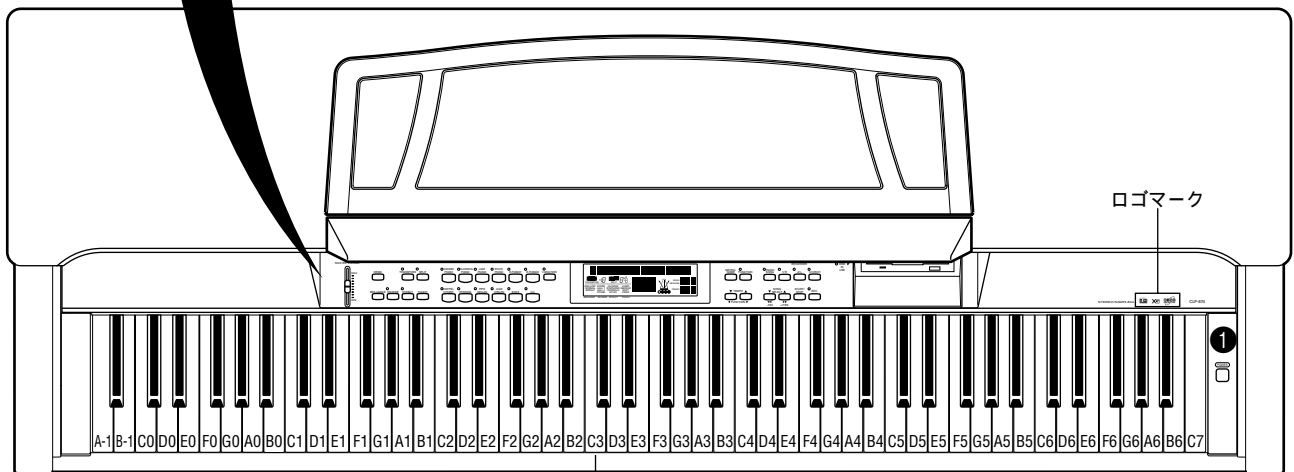
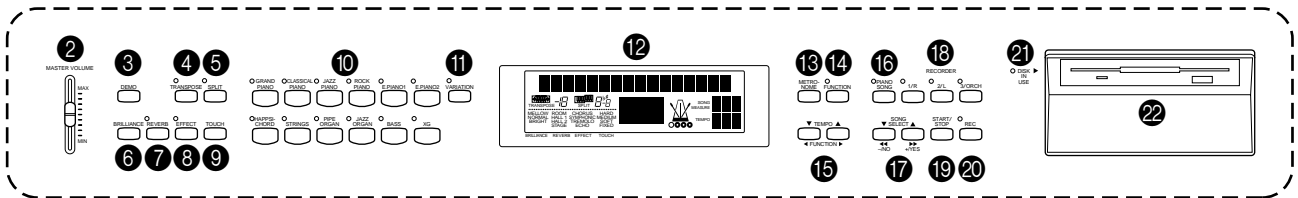
本編

詳細をお知りになりたいときにご覧ください。

各部の名前	P50	ファンクション	P75
操作の基本と共通機能	P52	ファンクションでの基本操作	P77
デモ曲/ピアノ曲を楽しむ	P54	各ファンクション項目の説明	P78
デモ曲を聞く	P55	・[F1.Tune](全鍵盤の音程の微調整)	P78
ピアノ50曲を聞く	P56	・[F2.Scale](音律 調律法 の設定)	P78
ピアノ50曲の片手練習	P57	・[F3.DualFunc.](デュアルの諸設定)	P79
ピアノ50曲の部分練習	P58	・[F4.SplitFunc.](スプリットの諸設定)	P80
音色を選んで弾く	P59	・[F5.PedalFunc.](ペダルの諸設定)	P80
音色を選ぶ	P59	・[F6.Metronome](メトロノーム音量の設定)	P81
ペダルを使う	P60	・[F7.DiskFunc.](ディスクを使う操作と設定)	P81
音に変化を付ける...【 VARIATION 】	P60	・[F8.MIDIFunc.](MIDI機能の諸設定)	P86
【 BRILLIANCE 】	P60	・[F9.CancelVol](ピアノ50曲のパート再生	
【 REVERB 】	P60	OFF時の音量設定)	P87
【 EFFECT 】	P60	・[F10.Backup](バックアップON/OFFの設定)	P88
【 TOUCH 】	P62	・[F11.Language](画面表示言語の設定)	P89
【 TRANPOSE 】	P63	他の機器と接続する端子	P90
「デュアル」で弾く(2つの音色を混ぜて弾く)	P63	パーソナルコンピューターとの接続	P92
「スプリット」で弾く(鍵域を左右に分けて		メッセージ一覧	P94
別々の2つの音色で弾く)	P64	故障かな?と思ったら	P96
【 METRONOME 】を使う	P65		
ディスクソフトと録音データの再生	P66		
再生の基本手順	P66		
再生に関する便利な機能	P67		
各種の音楽データの再生	P69		
演奏の録音(記録)	P70		
録音の準備(ディスクのフォーマット)	P70		
録音の手順(1つのトラックへの録音)	P71		
録音し直す場合	P73		
続いて2つめ(3つめ)のトラックへ			
録音する場合	P73		
録音(記録)されるデータの種類	P73		
初期値の変更	P74		
ディスクを入れないで録音してしまったら	P74		
録音した曲の再生	P74		

各部の名前

トップパネル



ロゴマーク



「GM規格」のマークです。CLP-870が「GM規格」準拠のディスクソフトを再生できることを示しています。「GM規格」についての説明はP99をご参照ください。

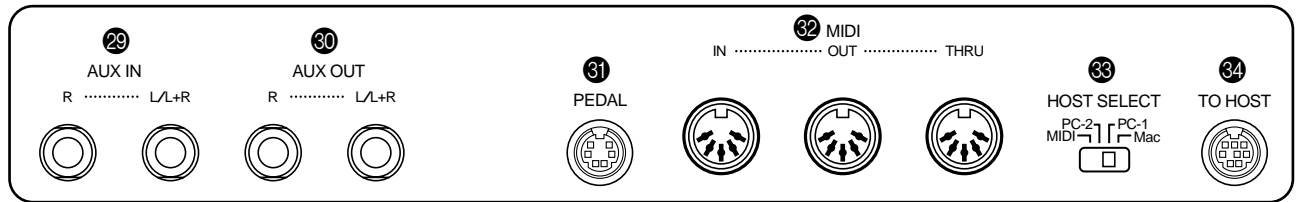


「XGフォーマット」のマークです。CLP-870が「XGフォーマット」準拠のディスクソフトを再生できることを示しています。「XGフォーマット」についての説明はP99をご参照ください。



「DISK ORCHESTRA」のマークです。CLP-870が「Disk Orchestra Collection」フォーマットのディスクを再生できることを示しています。Disk Orchestra Collectionフォーマットについての説明はP99をご参照ください。

リアパネル



- ① ^{パワー}【POWER】…………… P10
- ② ^{マスター ボリューム}【MASTER VOLUME】…………… P10
- ③ ^{デモ}【DEMO】…………… P54
- ④ ^{トランスポーズ}【TRANPOSE】…………… P63
- ⑤ ^{スプリット}【SPLIT】…………… P64
- ⑥ ^{ブリリアンス}【BRILLIANCE】…………… P61
- ⑦ ^{リバーブ}【REVERB】…………… P61
- ⑧ ^{エフェクト}【EFFECT】…………… P61
- ⑨ ^{タッチ}【TOUCH】…………… P62
- ⑩ 音色ボタン …………… P59
- ⑪ ^{バリエーション}【VARIATION】…………… P60
- ⑫ 画面 …………… P52
- ⑬ ^{メトロノーム}【METRONOME】…………… P65
- ⑭ ^{ファンクション}【FUNCTION】…………… P75
- ⑮ ^{テンポ}【TEMPO】 / ^{ファンクション}【FUNCTION】…………… P52
- ⑯ ^{ピアノ ソング}【PIANO SONG】…………… P54
- ⑰ ^{ソング セレクト}【SONG SELECT】 / ^{ノーマル}【NO】 / ^{イエス}【YES】…………… P53
- ⑱ ^{レコーダー}RECORDER
 - ① ^{オーケストラ}【1/R】 ② ^{オーケストラ}【2/L】 ③ ^{オーケストラ}【3/ORCH】…………… P67、72
 - ⑲ ^{スタート/ストップ}【START/STOP】…………… P56、67、72
 - ⑳ ^{レコード}【REC】…………… P72
 - ㉑ ^{ディスク インユース}DISK IN USEのランプ…………… P8
 - ㉒ ディスクドライブ…………… P8

- ㉓ ^{左のペダル(ソフトペダル)}…………… P60
- ㉔ ^{まん中のペダル(ソステヌートペダル)}…………… P60
- ㉕ ^{右のペダル(ダンパーペダル)}…………… P60
- ㉖ ^{ボリューム} ^{マイク} ^{エコー}【VOLUME MIC./ECHO】…………… P90
- ㉗ ^{マイク}【MIC.】…………… P90
- ㉘ ^{フォーンズ}【PHONES】…………… P10、90
- ㉙ ^{イン}AUX IN【R】 ^{イン}【L/L+R】…………… P91
- ㉚ ^{アウト}AUX OUT【R】 ^{アウト}【L/L+R】…………… P91
- ㉛ ^{ペダル}【PEDAL】…………… P91
- ㉜ ^{ミディ} ^{イン} ^{アウト} ^{スルー}【MIDI【IN】 ^{イン}【OUT】 ^{アウト}【THRU】】…………… P91、98
- ㉝ ^{ホストセレクト}HOST SELECT
 - ㉞ ^{ミディ} ^{PC-2} ^{PC-1} ^{Mac}【MIDI【PC-2】 ^{PC-1}【PC-1】 ^{Mac}【Mac】】…………… P91、92
 - ㉟ ^{トゥーホスト}【TO HOST】…………… P91、92

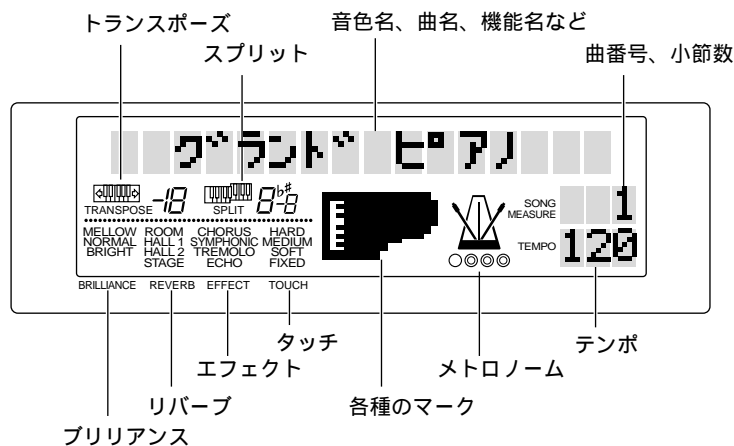
操作の基本と共通機能

取扱説明書の「本編」をお読みいただく上で必要な「操作の基本と共通機能」を説明します。必ずお読みください。

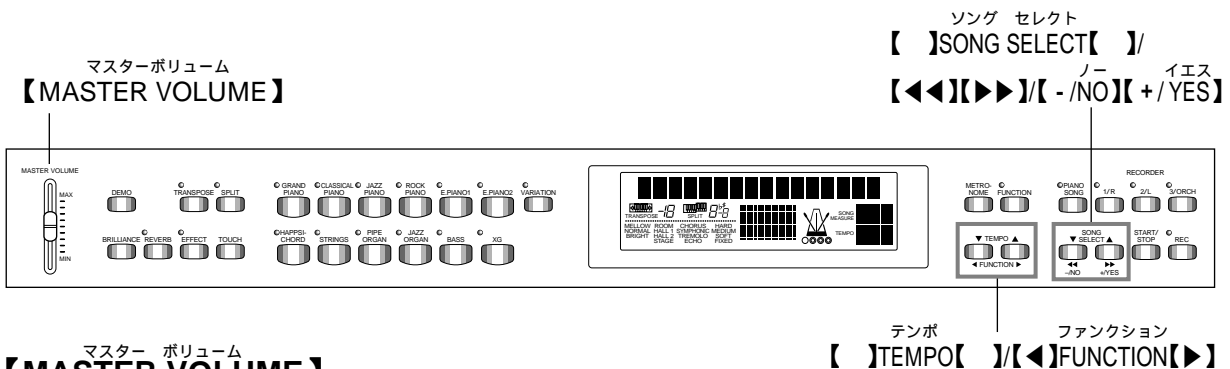
■ 操作の基本

操作の基本はパネルのボタンを押すだけです。

操作の結果をパネル中央の画面で確認しながら進めてください。



■ いろいろな場面でよく使うボタン



マスター ボリューム 【MASTER VOLUME】

音量を調節します。

テンポ 【TEMPO】

この2つのボタンは、場面に応じて下記のように異なる働きをします。

テンポ ・ TEMPOの調節

メトロノームを使うときや、ピアノ曲、ディスクソフトの再生時のテンポを調節します。ボタンを押し続けると値が連続して変わります。【>>】と【<<】を同時に押すと、標準テンポ(曲に設定されているテンポ、または120)に戻ります。

ファンクション ・ FUNCTION項目の選択

ファンクションの項目を選びます(P77)。

【 ^{ソング}SONG SELECT ^{ソング}】 / 【 ◀◀ ^{ソング} ▶▶ ^{ソング}】 / 【 - / NO ^{ノー} + / YES ^{イエス}】

この2つのボタンも、場面に応じて下記のように異なる働きをします。

・ ^{ソング}SONGの選択

ピアノ50曲やディスクの曲を選びます。ボタンを押し続けると曲番号が連続して変わります。

・ 【 ◀◀ ^{ソング} ▶▶ ^{ソング}】

ピアノ50曲やディスクの曲の再生中に【 ◀◀】で巻戻し、【 ▶▶】で早送りができます。

・ - / NO ^{ノー} + / YES ^{イエス}機能

各種の値を設定、選択したり、操作の実行 ^{イエス}(YES) や中止 ^{ノー}(NO) を行います。ボタンを押し続けると値が連続して変わる場合があります。そのとき、項目によって最大値、最小値でストップする場合と、循環して変わる場合があります。【 - / NO ^{ノー}】と【 + / YES ^{イエス}】を同時に押すと、基本設定(工場出荷時の設定)に戻る場合があります。

覚えておくと便利な操作

- ・ 【 ^{テンポ}TEMPO ^{テンポ}】、【 ^{ソング}SONG SELECT ^{ソング}】 / 【 ◀◀ ^{ソング} ▶▶ ^{ソング}】 / 【 - / NO ^{ノー} + / YES ^{イエス}】は、押し続けると値が連続して変わる場合があります。そのとき、項目によって最大値、最小値でストップする場合と、循環して変わる場合があります。
- ・ 【 - / NO ^{ノー}】と【 + / YES ^{イエス}】を同時に押すと、基本設定(工場出荷時の設定)に戻る場合があります。

メモリーバックアップについて

基本設定(工場出荷時の設定)では、バックアップはすべてOFF(バックアップされない)になっています。バックアップON/OFFの設定は、ファンクション項目の「F10.Backup (P88)で設定内容のグループごとに任意に切り替えることができます。ただし、「画面表示言語の設定 (P89)及び「バックアップON/OFFの設定」自体は常にバックアップされます。

バックアップの設定をONにしても、電源を切つて約1週間以上過ぎると、バックアップされている内容が消え、すべての設定内容が基本設定(工場出荷時の設定)に戻ってしまいます。したがって、バックアップされている内容を1週間以上保持したい場合は、少なくとも1週間以内に数分間は電源をONにしてください。

CLP-870の機能の全体構成

大きく下記4つの機能があります。

デモ曲/ピアノ曲に関する機能(P54 ~ P58)

演奏に関する機能(P59 ~ P65)

ディスクソフトの再生に関する機能(P66 ~ P69)

録音に関する機能(P70 ~ P74)

ファンクションの各機能(P75 ~ P89)

ファンクションとは...

クラビノーバをお使いいただく上での各種の設定を、ご自分の使いやすい状態に設定する機能です。特に設定をしなくても工場出荷時に基本的な設定になっていますが、特に独自の設定をしたいときに、ご利用ください。

また、各種の応用的な操作がファンクションにまとめられています。

メモリーとは...

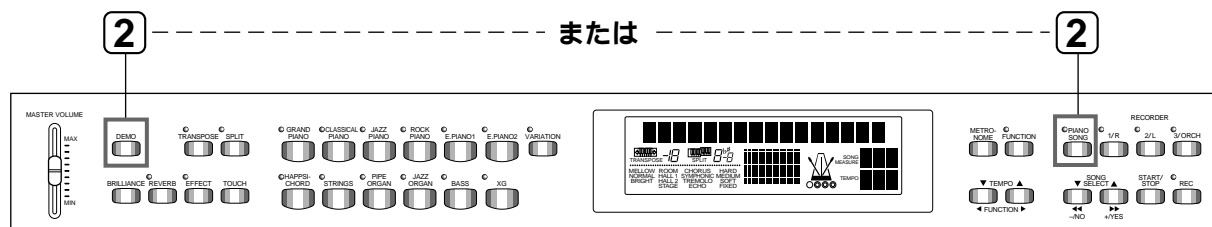
いろいろな設定が記憶される、CLP-870本体内部の記憶装置のことです。

バックアップとは...

メモリーに記憶されている内容を電源を切つても消さずに残しておくことを言います。バックアップをONにしても前回の設定が有効になります。バックアップをOFFにしても、次回電源を入れたときは基本設定(工場出荷時の設定)に戻ります。基本設定一覧表がP104に掲載されています。

デモ曲/ピアノ曲を楽しむ

CLP-870には、音色ごとに1曲ずつのデモ曲と、ピアノ名曲50曲が入っています。聞いてみましょう。ピアノ名曲50曲では、右手または左手部分を再生OFFにしてご自分で練習したり、曲中のフレーズを指定して繰り返し練習(部分練習)したりすることができます。



操作

1 電源を入れる

(まだ電源を入れていない場合)【POWER】^{パワー}を押します。

⇒ 電源が入ります。

音量はあとでデモ曲/ピアノ曲を実際に再生して聞きながら調節しますが、とりあえず【MASTER VOLUME】^{マスター ボリューム}を中程まで上げておきます。

2 デモ曲/ピアノ曲モードに入る

デモ曲モード

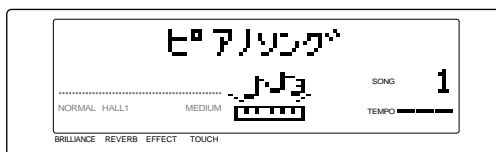
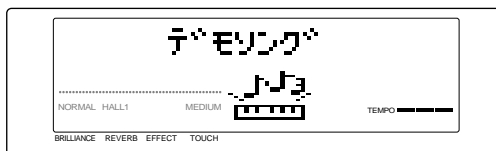
パネル左ブロックの【DEMO】^{デモ}を押します。

⇒ 音色ボタンのランプが流れるように点滅します。

ピアノ曲モード

パネル右ブロックの【PIANO SONG】^{ピアノソング}を押します。

⇒ 【PIANO SONG】^{ピアノソング}のランプが点灯します。



このあと、音色デモ曲の聞き方と、ピアノ名曲50曲(以降「ピアノ50曲」と呼びます)の聞き方/楽しみ方に分けて説明します。

デモ曲/ピアノ曲の曲名リスト...

音色ごとのデモ曲には、各音色の特長がよくわかる曲が選ばれています。デモ曲/ピアノ曲の曲名一覧表をP102に掲載しています。

デモ曲/ピアノ曲の再生データはMIDI^{ミディ}送信されません。また、デモ曲/ピアノ曲モード中はMIDI^{ミディ}受信を行いません。

②。録音モード(P72)のときは...

デモ曲/ピアノ曲モードには入れません。

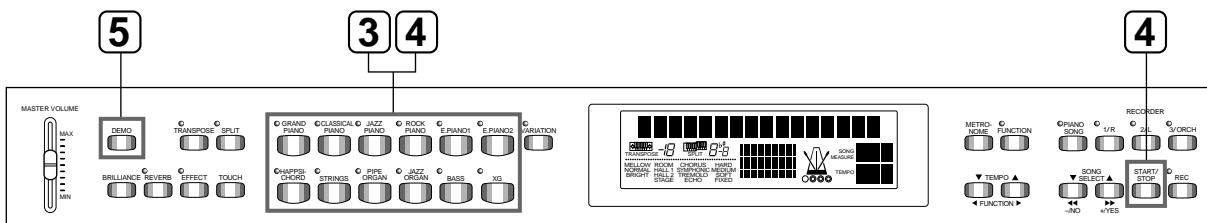
モードとは...

ある機能を実行できる状態を意味します。たとえば、ファンクションという機能を使える状態のことをファンクションモードと言います。また、「種類」とか「方式」という意味に使われる場合もあります。

SONGとは...

クラビノーバでは、演奏データを総称して「ソング(SONG)」と呼んでいます。デモ曲/ピアノ曲も演奏データです。

■ デモ曲を聞く



P 54 の操作 1、2 に続いて

3 選曲と再生スタート

聞きたいデモ曲の音色ボタンを押します。(音色ボタンを押さずに スタートストップ 【START/STOP】を押すと グラランド ピアノ GRAND PIANOの曲が再生されます。)



⇒ デモ曲の再生がスタートします。その後、ストップするまで別の音色のデモ曲が連続して再生されます。

音量の調節

デモ曲を聞きながら マスター ボリューム 【MASTER VOLUME】で音量を調節します。

4 再生ストップ

再生をストップする場合は、スタートストップ 【START/STOP】が再生中の音色ボタン(再生中は点滅しています)を押します。

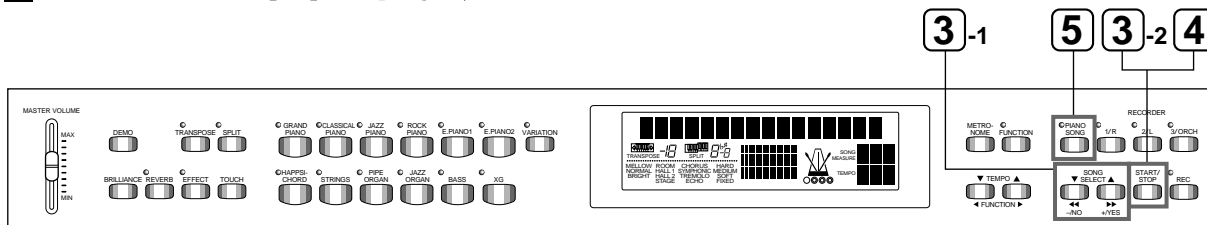
5 デモ曲モードを抜ける

デモ 【DEMO】を押します。
⇒ 音色ボタンのランプの流れるような点滅が止まります。

デモ曲では、テンポの調節や早送り、巻戻し、「片手練習 (P57)」「部分練習 (P58)」はできません。

ブリリアンス 【BRILLIANCE】P61) を切り替えることもできます。

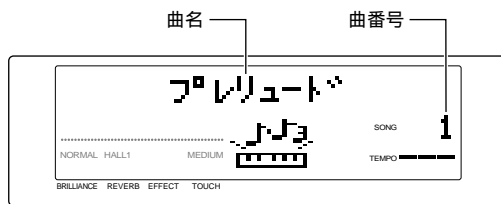
ピアノ50曲を聞く



P54の操作 1、2に続いて

3 選曲と再生スタート

3-1 **【SONG SELECT】**を押して、聞くピアノ曲を選びます。



1~50: 聞く曲番号を指定します。
1曲だけ再生します。

オールランダム: ピアノ50曲を順番に全曲連続再生します。
RND: ピアノ50曲を順不同に全曲連続再生します。

3-2 **【START/STOP】**を押すと再生がスタートします。

音量の調節

ピアノ曲を聞きながら**【MASTER VOLUME】**で音量を調節します。

テンポの調節

ピアノ曲ごとに固有のテンポが設定されていますが、**【TEMPO】**を押してテンポを変更できます。
【+】と**【-】**を同時に押すと元のテンポに戻ります。



元のテンポに対してのプラスマイナスの値(-50~+50)で表示されます。(曲によって増減幅は異なります。)
元のテンポのときは「0」と表示されます。

4 再生ストップ

ピアノ曲の再生が終了すると、自動的に再生前の状態に戻ります。再生途中に(または連続再生中に)ストップする場合は、**【START/STOP】**を押します。

・続いて他の曲を再生する場合は、操作3に戻ります。

5 ピアノ曲モードを抜ける

【PIANO SONG】を押します。
⇒ **【PIANO SONG】**のランプが消灯します。

再生に合わせて、ご自身で鍵盤を弾くこともできます。鍵盤で弾く音色も変えられます。

手弾き音と再生音用に**【BRILLIANCE】**(P61) **【REVERB】**(P61) を、手弾き音用に**【EFFECT】**(P61) **【TOUCH】**(P62) を切り替えることもできます。
【REVERB】は新しい曲を選ぶと(または、連続再生で新しい曲がスタートすると) **【HALL1】**になります。

早送り、巻戻し

【<<】で巻戻し、**【>>】**で早送りができます。

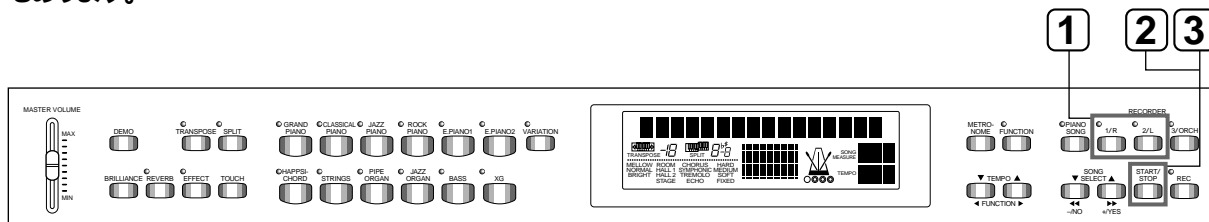
テンポのリセット(再設定)...

新しい曲を選ぶとまたは、連続再生で新しい曲がスタートするとテンポは自動的にその曲の固有のテンポにリセットされます。

次に、ピアノ50曲の、右手または左手部分を再生オフしてご自分で練習する方法(片手練習)と、曲中のフレーズを指定して繰り返し練習する方法(部分練習)を説明します。

ピアノ50曲の片手練習

ピアノ50曲では、右手パートと左手パートが別々のトラックに入っています。それぞれを再生ON/OFFし、再生OFFしたパートをご自分で練習することができます。右手パートが【1/R】に、左手パートが【2/L】に入っています。50曲の中には、連弾アレンジになっていて、【1/R】にPrimo、【2/L】にSecondパートが入っている曲もあります。



操作

1 練習するパートの再生をOFFにする

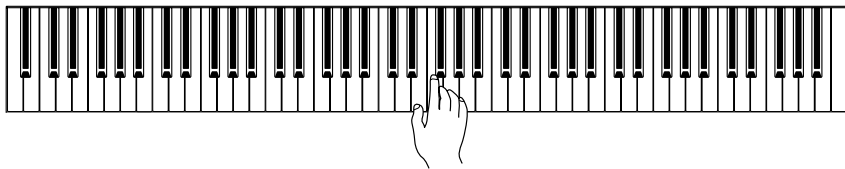
選曲したあと【1/R】【2/L】の再生OFFしたい方(練習したい方)を押します。(選曲した時点では【1/R】【2/L】共ランプが点灯しています。)

⇒ 押した方のボタンのランプが消灯します。

・ それぞれのボタンは、押すごとに再生ON/OFFが切り替わります。

2 再生スタート/演奏

【START/STOP】を押して再生をスタートします。再生OFFしたパートをご自身で演奏してください。



弾くと同時に再生をスタートする(シンクロスタート)

鍵盤を弾くと同時に再生をスタート(シンクロスタート)することができます。

再生ONのパートのボタンを押したまま【START/STOP】を押すとシンクロスタート待機状態になります。

⇒ 画面中央にシンクロスタートのマークが現れます。

(もう一度同じ操作をすると、シンクロスタートは解除されます。)

このあと鍵盤を弾くと、同時に再生もスタートします。

左のペダルでスタート/ストップする

設定によって、左のペダルでスタート/ストップすることができます。

ファンクション(P80)で左のペダルの機能をスタート/ストップ(パネルの【START/STOP】と同じ機能)に切り替えます。

3 再生ストップ

ピアノ曲の再生が終了すると、自動的に再生前の状態に戻ります。再生途中でストップする場合は、【START/STOP】を押します。

再生中の、パートごとの再生ON/OFF...

再生中でも、パートごとの再生ON/OFFを切り替えることができます。

再生OFFしたパートの音量調節

再生OFFしたパートは演奏タイミングのガイドのために、完全に音を消すのではなく、少しだけ音を出しています。この音量加減の調節や、完全に音を消す設定が、ファンクション(P87)でできます。

シンクロ = 同時の、同時に起こる

再生OFFのパートのボタンを押したまま【START/STOP】を押すと...

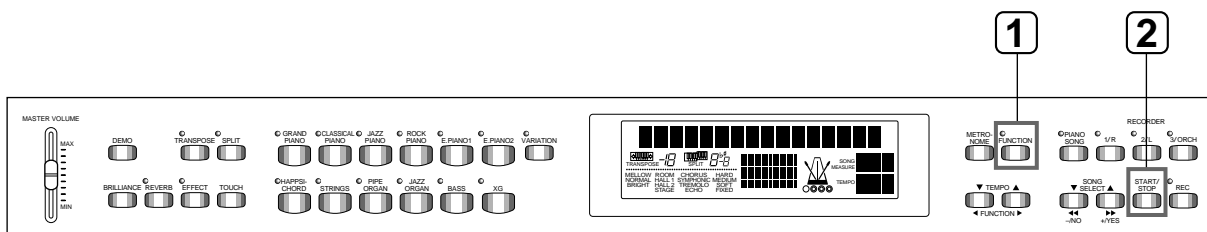
そのパートの再生がONになると共に、シンクロスタート待機状態になります。

パート再生のリセット(再設定)...

新しい曲を選ぶと(またはALL、RNDで新しい曲がスタートすると)自動的に両パート共再生ONにリセットされます。

ピアノ50曲の部分練習

曲中のフレーズを指定して繰り返し練習(部分練習)することができます。前ページの「ピアノ50曲の片手練習」もいっしょにお使いいただけます。

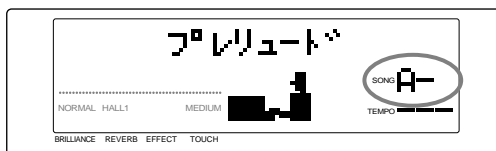


操作

1 フレーズの始まり(A点)と終わり(B点)の指定と練習スタート

選曲し、再生をスタートします。聞きながら、始まり(A点)にしたいところで【ファンクションFUNCTION】を押します。

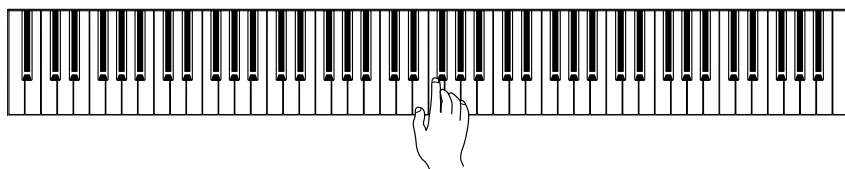
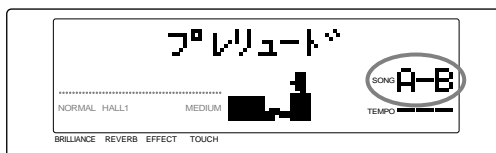
⇒ 始まり(A点)が設定され、画面に「A-」と表示されます。



続いて、終わり(B点)にしたいところでもう一度【ファンクションFUNCTION】を押します。

⇒ 終わり(B点)が設定され、画面に「A-B」と表示されます。

同時に、A点に戻って繰り返し再生が自動的にスタートします。練習してください。



2 練習ストップ

A点、B点の設定を保持したまま一時練習をストップするときは【スタート/ストップSTART/STOP】を押します。(この場合、再度【スタート/ストップSTART/STOP】を押すと、再びA点～B点の繰り返し再生がスタートします。)

A点、B点の設定を解除するときはもう一度【ファンクションFUNCTION】を押します。

②。オールランダム (P56) のときはできません。

曲の先頭をA点に指定することはできません。

新しい曲を選ぶと...
A点、B点は自動的に解除されます。

音色を選んで弾く

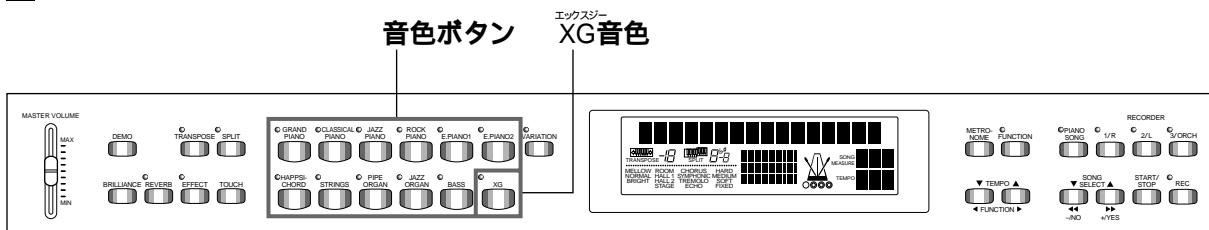
CLP-870では11種類のクラビノーバ音色と492種類(480音色 + 12ドラムキット)^{エクスジュー}のXG音色をお楽しみいただけます。

各音色で【VARIATION】や【BRILLIANCE】^{パリエーション}、【REVERB】^{ブリリアンス}、【EFFECT】^{リバーブ}、【EFFECT】^{エフェクト}を使っているいろに表情を変えることもできます。

また、2種類の音色を混ぜたX(=デュアル)、88個の鍵盤を左右の領域に分けて別々の音色で弾いたX(=スプリット)もできます。

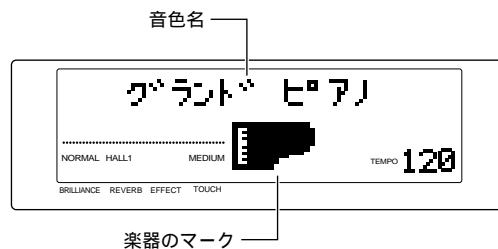
【METRONOME】^{メトロノーム}もお使いいただけます。

音色を選ぶ

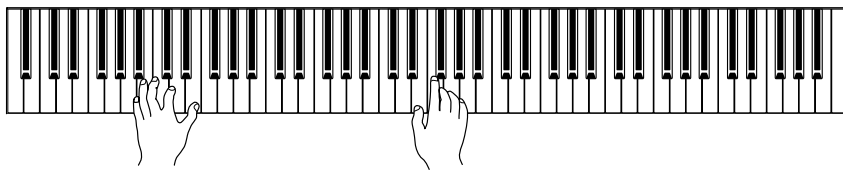


操作

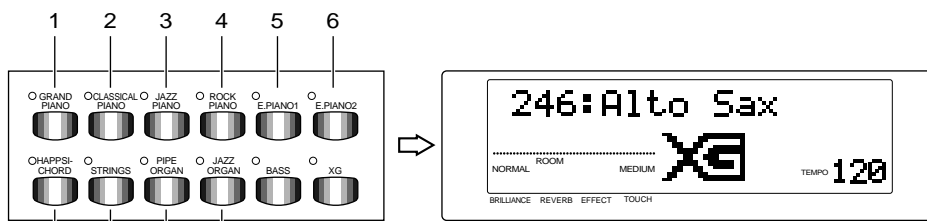
使いたい音色ボタンを押します。
⇒ ランプが点灯します。



【MASTER VOLUME】^{マスターボリューム}で音量を調節しながら演奏してください。



【XG】^{エクスジュー}を選んだときはさらに【-/NO】^{ノー} + 【+/YES】^{イエス}でXG音色を選びます。
または、【XG】^{エクスジュー}を押したまま、他の音色ボタンを押して直接番号(1~492)を指定して選ぶこともできます。



たとえば【XG】^{エクスジュー}を押したまま246と押すと、XG音色の【Alto Sax】^{アルト サックス}が選ばれます。
音色選択は1~3桁で確定します。選び直す場合は、もう一度【XG】^{エクスジュー}を押し直してください。

音色の特長を掴むには...

ガイドンス編P31~P35の譜例をお試しください。また、音色ごとのデモ曲を聞いてみてください。(P13、54)

音色解説...

P105をご覧ください。

音色一覧表...

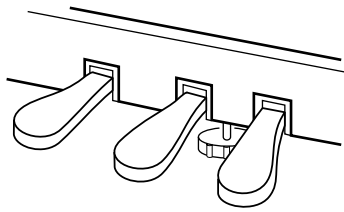
P106をご覧ください。

②。画面が途中で変わってしまう...

通常は音色名が表示されていますが、ピアノ曲モードや他のモード中に音色を選んだ場合は、音色名表示はしばらくして消えます。その後XG音色を選び直したい場合は、もう一度【XG】^{エクスジュー}を押し直してください。

ペダルを使う

3本のペダルの使い方を説明します。

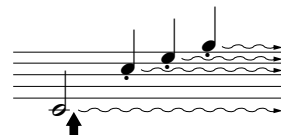


右のペダル(ダンパーペダル)

このペダルを踏んでいる間、弾いた音を、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。

さらに【GRAND PIANO】クラシカルピアノ【CLASSICAL PIANO】クラシカルピアノ

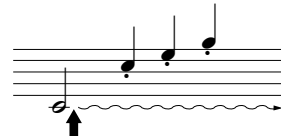
【JAZZ PIANO】ジャズピアノの音色では、ダンパーペダルを踏んだときに、響板や弦の共鳴効果が加わります。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く

まん中のペダル(ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。



ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く

左のペダル(ソフトペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくすることができます。(ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけたい音を弾く直前に踏みます。)

②。音色によって、ダンパーペダルやソステヌートペダルを踏んでいて指を鍵盤から離れたあと、音がゆっくり減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

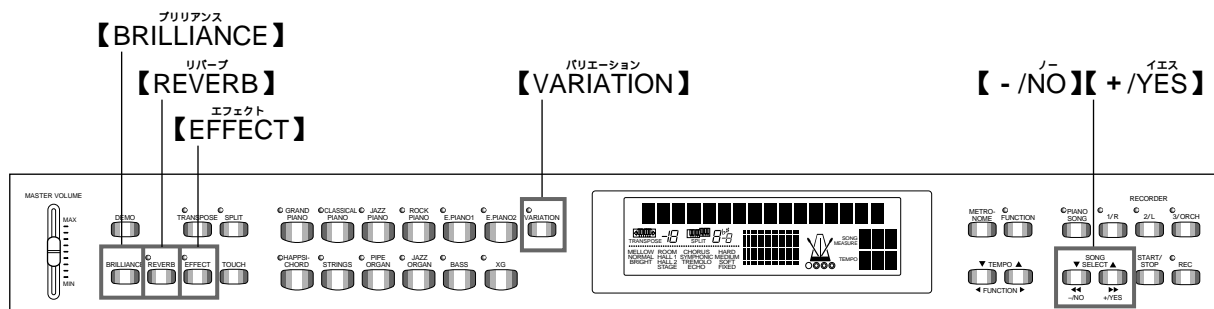
工場出荷時には、クラビノーバ11音色とXGのピアノ音色について、ダンパーペダルを踏み込む深さに応じて連続的に減衰時間が変わる設定になっています。ファンクション(P81)でオン/オフスイッチ式に切り替えることもできます。

ダンパーペダルを踏んだときの共鳴効果の深さ(かかり具合)をファンクション(P81)で設定することができます。

左のペダルの機能切り替え...
ファンクション(P80)で左のペダルをパネルの【START/STOP】スタート/ストップと同じ機能に切り替えることができます。

音に変化を付ける...【VARIATION】

【BRILLIANCE】ブリリアンス 【REVERB】リバーブ 【EFFECT】エフェクト



【VARIATION】

違った表情の音にします。

操作

【VARIATION】を押すごとにON/OFFが切り替わります。

⇒ ランプが点灯したときがONです。

基本設定...OFF

②。【XG】音色では...
【VARIATION】は効きません。

ブリリアンス 【BRILLIANCE】

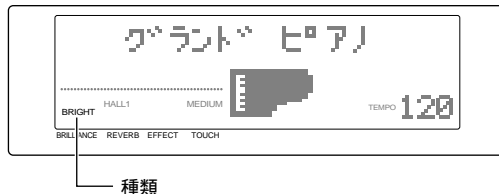
音質(音の明るさ)を3段階に切り替えます。

- メロウ
ノーマル
BRIGHT : 柔らかくまろやかな音になります。
ノーマル
NORMAL : 標準的な音質です。(= 基本設定)
ブライト
BRIGHT : 明るく鋭い音になります。

操作

ブリリアンス
【BRILLIANCE】を押すごとに種類が切り替わります。

- ⇒ 画面に、選ばれている種類の名前が表示されます。



リバーブ 【REVERB】

音に残響を付けます。種類により、その場所で演奏しているような臨場感を味わえます。その深さ(かかり具合)を変えることもできます。

- オフ
OFF : リバーブはかかりません。
ルーム
ROOM : 部屋の中にあるような響きになります。
ホール1
HALL 1 : 小さいコンサートホールにいるような響きになります。
ホール2
HALL 2 : 大きいコンサートホールにいるような響きになります。
ステージ
STAGE : ステージにいるような響きになります。

操作

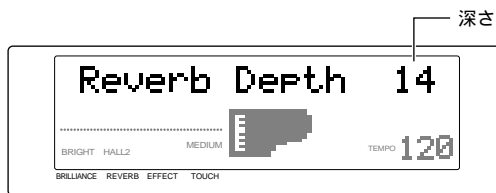
リバーブ
【REVERB】を押すごとに種類が切り替わります。

- ⇒ 画面に、選ばれている種類の名前が表示されます。OFFの場合は何も表示されません。



深さ(かかり具合)を変える

リバーブ
【REVERB】を押している間は画面に「Reverb Depth ## (リバーブの深さの値)」が表示されます。
リバーブ
【REVERB】を押したまま【- / NO】または【+ / YES】を押すと、深さの値(0~20)が変わります。



エフェクト 【EFFECT】

音を揺らしたり、音に広がり感を付けます。種類により、いろいろな効果を演出できます。その深さ(かかり具合)を変えることもできます。

- オフ
OFF : エフェクトはかかりません。
コーラス
CHORUS : 広がり感を付けます。
シンフォニック
SYMPHONIC : 奥行き感を付けます。
トレモロ
TREMOLLO : 音量を揺らします。
エコー
ECHO : 反響音を付けます。

[BRIGHT]にすると、音量が少し大きくなりますので、【MASTER VOLUME】が上がっていると、音が歪むことがあります。この場合、【MASTER VOLUME】を少し下げてください。

基本設定...

音色ごとにリバーブの種類(OFFも含む)が設定されています。

パネルにないリバーブの種類をMIDIやディスクソフトの再生で受けた場合、表示がOFFでもリバーブがかかります。

リバーブの種類は【REVERB】を押して離したときに切り替わります。【REVERB】を押したまま深さを変更したときは、【REVERB】を離しても種類は切り替わりません。

デプス
Depth = 「深さ」

深さ0 : 効果なし
深さ20 : 深さ最大

基本設定...

音色ごとに標準の深さが設定されています。

基本設定...

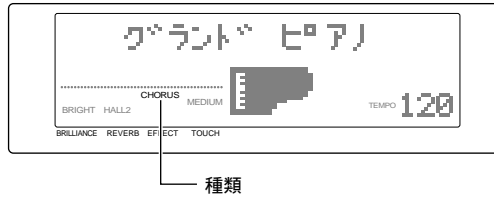
音色ごとにエフェクトの種類(OFFも含む)が設定されています。

パネルにないエフェクトの種類をMIDIやディスクソフトの再生で受けた場合、表示がOFFでもエフェクトがかかります。

操作

【EFFECT】を押すごとに種類が切り替わります。

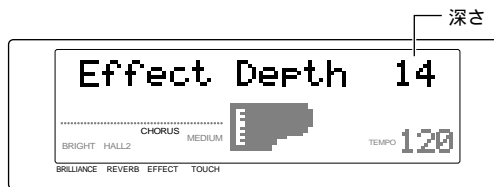
⇒ 画面に、選ばれている種類の名前が表示されます。OFFの場合は何も表示されません。



深さ(かかり具合)を変える

【EFFECT】を押している間は画面に「Effect Depth ## (エフェクトの深さの値)が表示されます。

【EFFECT】を押したまま【-/NO】または【+/YES】を押すと、深さの値(0~20)が変わります。



エフェクトの種類は【EFFECT】を押して離れたときに切り替わります。【EFFECT】を押したまま深さを変更したときは、【EFFECT】を離しても種類は切り替わりません。

デプス
Depth = 「深さ」

深さ0: 効果なし ~
深さ20: 深さ最大

基本設定...

音色ごとに標準の深さが設定されています。

【TOUCH】

弾く強さに対する音の強弱の付きかた(タッチ感)を4種類から選びます。使う音色や演奏する曲、好みによって使い分けてください。

HARD: 強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。ピアノシモからフォルティッシモまで表現豊かな演奏ができます。

MEDIUM: 標準的なタッチです。(= 基本設定)

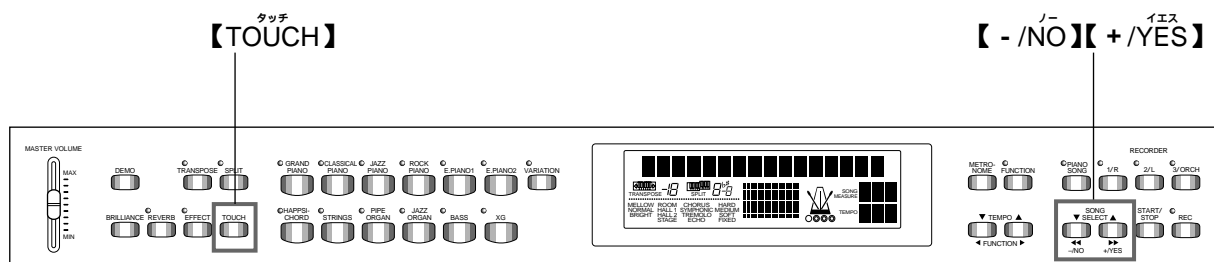
SOFT: 軽いタッチで大きい音を出すことができます。比較的音のつづがそりやすいタッチです。

FIXED: タッチによる音の強弱は付かず、一定の音量が出ます。その場合の音量を任意に設定することもできます。

鍵盤の重さ自体は変わりません。

HARD = 「力のいる、骨の折れる」
MEDIUM = 「中間の、中位の」
SOFT = 「やさしい、楽な」
FIXED = 「固定された」

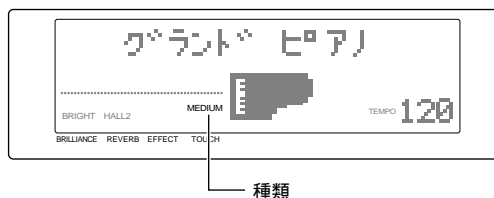
タッチの種類は全音色に共通の設定となります。



操作

【TOUCH】を押すごとに種類が切り替わります。

⇒ 画面に、選ばれている種類の名前が表示されます。



FIXEDの場合の音量を変える

FIXEDを選んでいるとき、【TOUCH】を押している間は画面に「Velocity ## (音量を示す値)が表示されます。

【TOUCH】を押したまま【-/NO】または【+/YES】を押すと、音量を示す値(1~127、基本設定 = 64)が変わります。



Velocity = 「速度 (CLP-870では鍵盤が打鍵によって押し下げられる速度から打鍵の強さを測り、音量を導き出します)。

Velocity 1: 最小音量 ~
Velocity 127: 最大音量

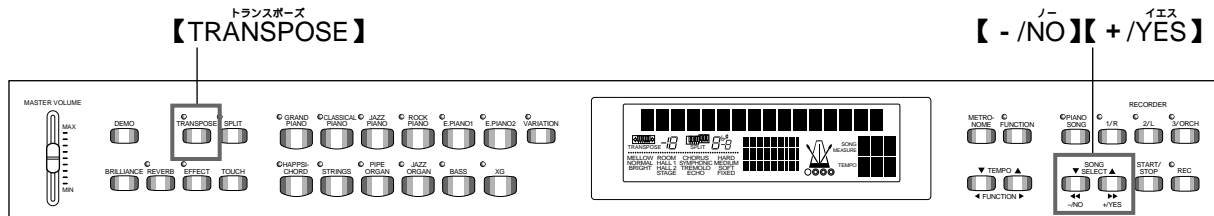
FIXEDの場合の音量も全音色に共通の設定となります。ただし、聴感上の音量は、音色によって異なります。

タッチの種類は【TOUCH】を押して離れたときに切り替わります。【TOUCH】を押したままFIXEDの場合の音量を変更したときは、【TOUCH】を離しても種類は切り替わりません (FIXEDのままとなります)。

トランスポーズ 【TRANPOSE】

弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さにキー(調)を合わせたり、演奏する曲を移調したりします。半音単位でトランスポーズ量を設定できます。たとえばトランスポーズ量を「5」に設定すると、「ド」を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「八長調」の弾きかたで「へ長調」の演奏になります。

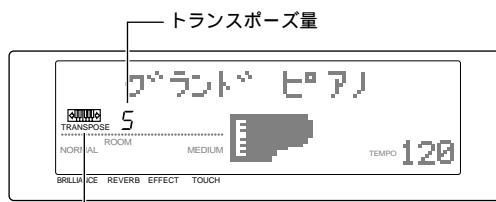
トランスポーズ
TRANPOSE:移調する
移調:曲全体の音程を上げたり下げたりしてキー(調)を変えること。



操作

トランスポーズ
【TRANPOSE】を押したまま【-/NO】または【+/YES】を押すと、トランスポーズ量の半音単位の値(-12~0~12、基本設定=0)が変わります。

トランスポーズ
【TRANPOSE】のランプは、トランスポーズ
【TRANPOSE】を押している間点灯しますが、トランスポーズ量を0以外に設定したときは、操作後も引き続き、点灯し続けます。0以外に設定したあとは、トランスポーズ
【TRANPOSE】を押すごとにトランスポーズのON/OFFを切り替えることができます。



トランスポーズ量を0以外に設定したときは、操作後も引き続き、画面にトランスポーズのマークとその値が表示され続けます。

トランスポーズ量...

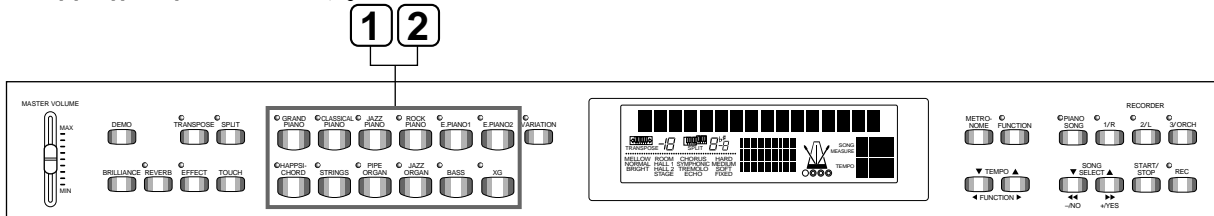
- 12: -12半音(-1オクターブ)
- 0: 標準音程
- 12: 12半音(+1オクターブ)

トランスポーズをかけた場合の発音域について...

トランスポーズによって、元の88鍵の最高音(C7)より高くなる音は1オクターブ下の音で、元の88鍵の最低音(A-1)より低くなる音は1オクターブ上の音で発音します。

「デュアル」で弾く(2つの音色を混ぜて弾く)

2種類の音色を混ぜて使います。2つの音色でメロディをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出したりできます。



操作

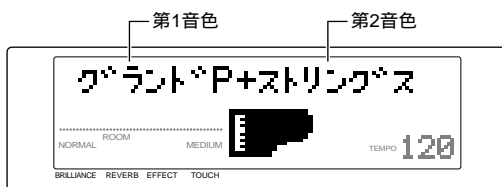
1 デュアルモードに入る

2つの音色ボタンを同時に押します。(=1つの音色ボタンを押したままもう1つの音色ボタンを押します。)

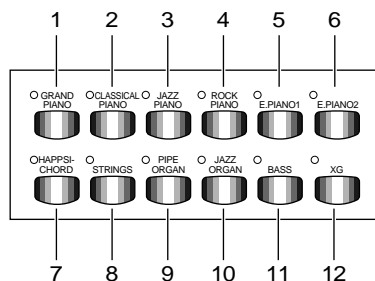
トランスポーズ
【XG】音色とのデュアルの場合は、先にもう一方の音色ボタンを押したまま、トランスポーズ
【XG】を押してください。

⇒ 2つの音色ボタンのランプが点灯します。

右記の優先順位で2つの音色のうち番号の若い方の音色が第1音色になります(もう一方は第2音色)。



優先順位



デュアルとスプリット...

デュアルとスプリット(P64)を同時に使うことはできません。

デュアルのときの【VARIATION】...

両方または片方の音色の【VARIATION】がONになっているときにランプが点灯します。両音色ともOFFの場合には消灯します。その後【VARIATION】を押すごとに両音色ともON、両音色ともOFFを切り替えることができます。(片方だけONにしたい場合は、デュアルモードに入る前に音色ごとに【VARIATION】のON/OFFを設定しておく必要があります。)

デュアルでのいろいろな設定が「ファンクションF3 (P79)」でできます。(特に設定しなくても基本の設定が音色ごとに自動的に選ばれます。)

ストリングス バリエーション
【STRINGS】の【VARIATION】は音の立ち上がりの遅いストリングス音色です。これをデュアルで片方の音色に使うと、独特の効果が出ます。

2 デュアルモードを抜ける

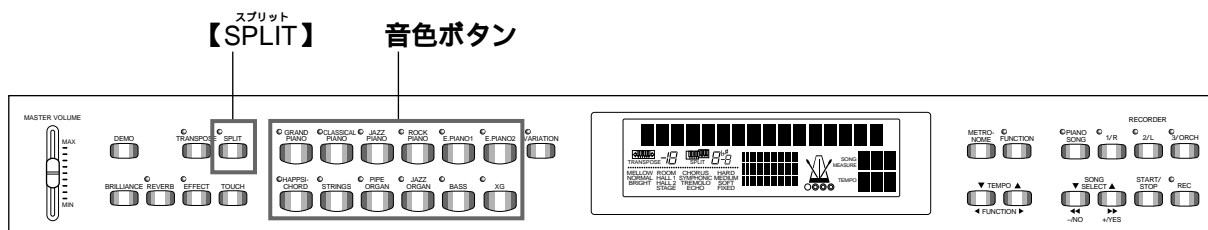
新たに1つの音色ボタンを押すとデュアルモードを抜けます。

デュアルのときの【REVERB】...
第1音色のリバーブの種類が、優先されます。(OFFの場合は第2音色のものになります。)深さの調節(【REVERB】を押したまま【-/NO】
【+/YES】を押す)は、第1音色にだけ影響します。

デュアルのときの【EFFECT】...
状況に応じて1つのエフェクトの種類が優先されます。
深さは、音色の組み合わせごとに基本設定を持っていますが、ファンクション(P79)で音色ごとに任意に設定することもできます。
パネルでの深さの調節(【EFFECT】を押したまま【-/NO】
【+/YES】を押す)は、第1音色にだけ影響します。

「スプリット」で弾く(鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く)

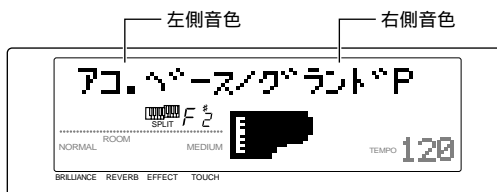
88個の鍵盤を左右の領域に分け、別々の音色で演奏します。



操作

1 スプリットモードに入る

スプリット
【SPLIT】を押します。
⇒ ランプが点灯します。
⇒ この時点で、左側音色に基本設定の音色【BASS】が選ばれます。

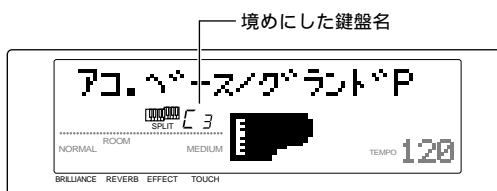


スプリットでのいろいろな設定が「ファンクションF4 (P80)」でできます。(特に設定しなくても基本の設定が音色ごとに自動的に選ばれます。)

2 スプリットポイント(2音色の境め)を決める

スプリット
【SPLIT】を押したまま、スプリットポイントにしたい鍵盤を押します。

スプリットポイントの基本設定は「F#2」です。変える必要がない場合はこの操作は必要ありません。



スプリットとデュアル...

スプリットとデュアル(P63)を同時に使うことはできません。

スプリットポイントの鍵盤は左側に含まれます。

スプリットポイント「ファンクションF4 (P80)」でも設定できます。

スプリットのときの

【VARIATION】...
音色ごとに【VARIATION】のON/OFFが設定できます。

通常の状態では、パネルの音色ボタンは右側の音色の状態を示します。(右側の音色に選ばれている音色ボタンのランプが点灯し、【VARIATION】がONのとき、そのランプが点灯します。)

【SPLIT】を押している間は、パネルの音色ボタンは左側の音色の状態を示します。(左側の音色に選ばれている音色ボタンのランプが点灯し、【VARIATION】がONのとき、そのランプが点灯します。)

3 右側の音色を決める
演奏したい音色ボタンを押します。

4 左側の音色を決める
【^{スプリット}SPLIT】を押したまま、演奏したい音色ボタンを押します。(【^{スプリット}SPLIT】を押している間は左側の音色ボタンのランプが点灯します。)

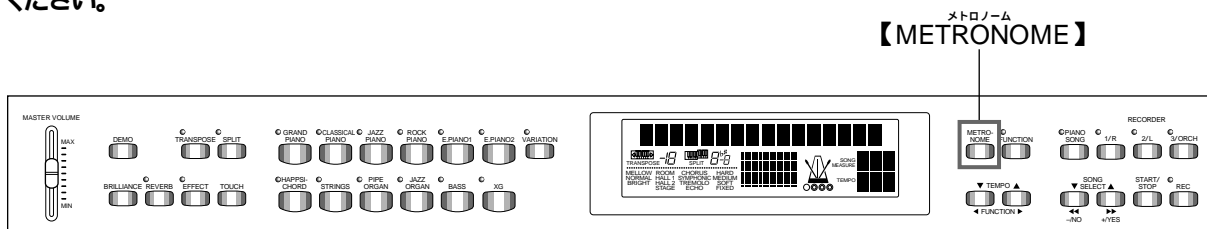
5 スプリットモードを抜ける
【^{スプリット}SPLIT】を押します。
⇒ ランプが消灯します。

スプリットのときの【^{リバーブ}REVERB】...
右側の音色のリバーブの種類が優先されます。(OFFの場合は左側の音色のものになります。)深さの調節【^{リバーブ}REVERB】を押したまま【-/NO】+【^{イエス}YES】を押す)は、右側の音色にだけ影響します。

スプリットのときの【^{エフェクト}EFFECT】...
状況に応じて1つのエフェクトの種類が優先されます。
深さは、音色の組み合わせごとに基本設定を持っていますが、ファンクション(P80)で音色ごとに任意に設定することもできます。
パネルでの深さの調節
(【^{エフェクト}EFFECT】を押したまま【-/NO】+【^{イエス}YES】を押す)は、右側の音色にだけ影響します。

【METRONOME】を使う

CLP-870は、^{メトロノーム}メトロノーム(ピアノの練習でよく使われる正確なテンポを刻む道具)を備えています。お使いください。



操作

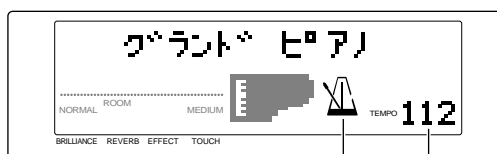
1 ^{メトロノーム}メトロノームを鳴らす
【^{メトロノーム}METRONOME】を押します。
⇒ ^{メトロノーム}メトロノームが鳴り出します。

テンポの調節

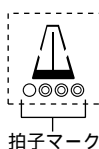
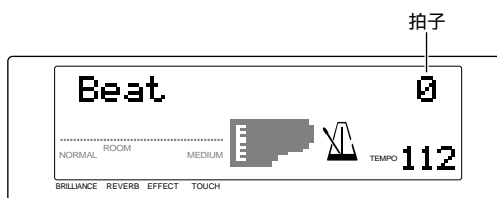
【^{テンポ}TEMPO】を押すとテンポの値(32~280(1分間の拍数)、基本設定=120)が変わります。
【^{テンポ}TEMPO】と【^{リセット}RESET】を同時に押すと120のテンポに戻ります。

拍子の設定

【^{メトロノーム}METRONOME】を押している間はディスプレイに拍子が表示されます。
【^{メトロノーム}METRONOME】を押したまま【-/NO】または【+/YES】を押すと、拍子(0、2、3、4、6、基本設定=0(無拍子))が変わります。



メトロノームの振り子がテンポに合わせて動きます



拍子を設定したときは、画面のメトロノームマークの下の拍子マークが点滅します。

メトロノームの音量は...
ファンクション(P81)で設定できます。

ディスクソフトと録音データの再生

CLP-870は、付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクや市販のディスクソフト、ご自身でCLP-870の録音機能(P70～)を使って録音した演奏データのディスクを再生することができます。

付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクには、No.1～13に「ガイドンス編」に掲載されている楽譜の模範演奏、No.14～60に市販のディスクソフトをご紹介するフレーズ集(音のカタログ)が収録されています。

再生の手順と便利な機能を説明します。

【ノート】 フロッピーディスクの取り扱いについて...

CLP-870で再生できるディスクは、「フロッピーディスク」という種類のディスクです。フロッピーディスクの使用にあたっては注意事項がいくつかあります。「フロッピーディスクの取り扱い」(P8)をお読みいただいてから、先に進んでください。

操作中、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法がわからない場合は「メッセージ一覧」(P94)を参照してください。

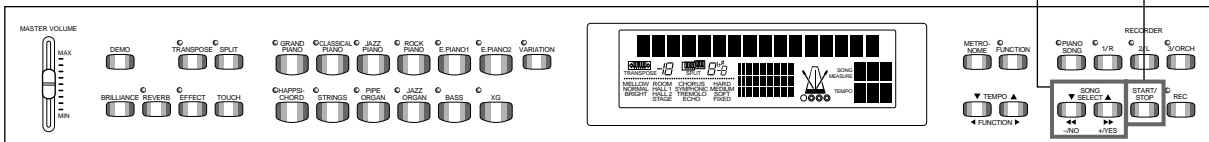
付属ディスク内容一覧表...
P103に掲載されています。

再生できる市販のディスクソフト...
「各種の音楽データの再生」(P69)、「CLP-870で再生できる別売ディスクソフトのご紹介」(P100)をご覧ください。

再生できる演奏データの種類...
「各種の音楽データの再生」(P69)、「データの互換性について」(P98)をご覧ください。

曲の再生データは、MIDI送信されません。

再生の基本手順



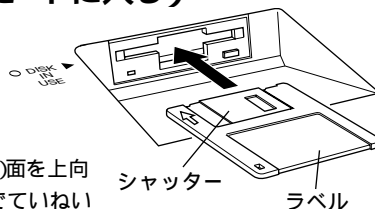
操作

1 ディスクを入れる(ディスク再生モードに入る)

再生したいデータのあったディスクを、ディスクドライブに差し込みます。

⇒ ディスク再生モードになります。

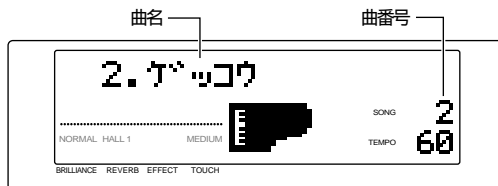
【ノート】 ラベルが貼ってある(ラベルを貼る)面を上向き、シャッター側を奥にして、カチッと音がするまでいねいに差し込みましょう。



2 選曲と再生スタート

2-1 【SONG SELECT】を押して、再生する曲番号を選びます。

⇒ 選ばれた曲番号と曲名が画面に表示されます。



1～60: 聞く曲番号を指定します。選んだ曲だけ再生します。

曲を選ぶと画面に曲名が表示され、データが入っているトラック(【1/R】【2/L】【3/ORCH】)のランプが点灯します。

市販のディスクソフトの中にはデータのある曲番号だけ表示されるものもありますが、CLP-870で録音したディスクは、データの有無にかかわらず1～60まで表示されます。(画面に「No Song」と表示される曲番号にはデータがありません。)

オールランダム
ALL: データのある曲を順番に全曲連続再生します。
RND: データのある曲を順不同に全曲連続再生します。

①。デモ曲/ピアノ曲モードのときは...

ディスクを入れても(あるいはディスクが入っていても)ディスク再生モードにはなりません。デモ曲/ピアノ曲モードを抜けるとディスク再生モードになります。

②。本体メモリーに録音した曲がある場合は...

ディスクを入れても(あるいはディスクが入っていても)ディスク再生モードにはなりません。【SONG SELECT】を押すと、本体メモリーの曲を消去するかどうかの確認メッセージが表示されます。消去する場合は、【+YES】を押します。詳しくは、P74「ディスクを入れずに録音してしまったら...」をご覧ください。

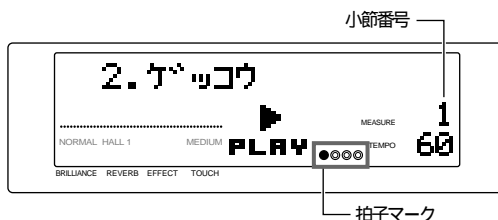
ソングSONGとは...

付属のディスクソフトの演奏データ、ご自身でCLP-870の録音機能(P70～)を使って録音した演奏データのことを、クラビノーバでは「ソング」と呼びます。

1枚のディスクに入っている曲数は...

CLP-870で録音したディスクの場合、1枚のディスクに最大で60曲まで入っています。

- 2 -2 【START/STOP】を押すと再生がスタートします。
- ⇒ 画面にはスタート後、曲番号に代わって、再生中の小節番号が表示されます。曲のテンポに合わせて拍子マークも点滅します。

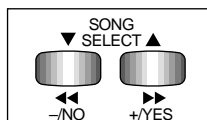


音量の調節

【MASTER VOLUME】で音量を調節します。

テンポの調節

曲ごとに固有のテンポが設定されていますが、選曲後、再生スタート前または再生中に、【TEMPO】を押してテンポを変更できます。【】と【】を同時に押すと元のテンポに戻ります。



再生中に【◀◀】を押すと、再生位置が前に戻ります(巻戻し)(再生音は鳴りません。)

再生中に【▶▶】を押すと、再生位置が先に進みます(早送り)

3 再生ストップ

曲が終わると、自動的に再生が止まります。曲の途中で(または連続再生中に)ストップする場合は、【START/STOP】を押します。

続いて他の曲を再生する場合は、操作2に戻ります。

4 (ディスクを使い終わったら)ディスクを抜く

イジェクトボタンを押してディスクを抜きます。

②。データの無い曲番号(画面に「No Song」と表示される曲番号)では【START/STOP】を押しても再生はスタートしません。

②。フリーテンポの曲(一定のテンポが設定されていない曲)では...小節番号は実際の曲の小節番号とは一致せず、単に曲の進行を示す目安となります。また、拍子マークも点滅しません。

メトロノーム...

再生と一しょにメトロノームを使うこともできます(フリーテンポの曲以外)この場合、再生ストップするとメトロノームも自動的に止まります。

②。フリーテンポの曲(一定のテンポが設定されていない曲)では...テンポ表示は「- - -」となります。テンポを変更すると、元のテンポ「- - -」に対してのプラスマイナスの値(-50 ~ +50)で表示されます。(曲によって増減幅は異なります。)

テンポのリセット(再設定)...

新しい曲を選ぶとまたは、連続再生で新しい曲がスタートすると)テンポは自動的にその曲の元のテンポにリセットされます。

【◀◀】と【▶▶】...

再生中は【SONG SELECT】は【◀◀】(巻戻し)【▶▶】(早送り)として機能します。

再生中の【REVERB】と【EFFECT】...

状況に応じて1つの【REVERB】の種類、1つの【EFFECT】の種類が優先されます。

②。かならず守って...

【DISK IN USE】のランプが点灯しているときやソングの再生中は、絶対にディスクを取り出さないでください。ディスクのデータが壊れるだけでなく、ディスクドライブユニットの故障の原因になります。

再生に関する便利な機能

トラックの再生ON/OFF

曲を選ぶと、その曲のデータが入っているトラック【1/R】【2/L】【3/ORCH】のランプが緑に点灯します。(画面に「No Song」と表示される曲番号にはデータがなく、どのトラックのランプも点灯しません。)

ランプが点灯しているトラックのボタンを押すと、ランプが消灯し、そのトラックのデータが再生されなくなります(再生OFF)。ボタンを押すごとに再生のON/OFFが切り替わります。

再生をOFFにしたトラックのパートを自分で弾く(片手練習など)

市販のディスクソフトの中には、CLP-870に入っているピアノ50曲のように、右手パートが【1/R】に、左手パートが【2/L】に分かれて入っていたり、さらにバックオーケストラパートが【3/ORCH】に入っているものもあり、演奏したいパートのトラックの再生をOFFにして、(他のパートを再生しながら)自分で弾くことができます。

また、「CLP-870の録音機能(P70~)を使って、アンサンブルの曲の1~3パートを録音し、それを再生しながら自分でもう一つのパートを弾く」という方法で、1人でアンサンブルを楽しむこともできます。

②。曲を選んだとき、ソフトによって、データの有無に関わらず全トラックのランプが緑に点灯する場合があります。

トラックの再生ON/OFFの切り替えは...

再生前でも再生中でもできます。

曲を切り替えると、データのある全トラックが再生ON(緑ランプ点灯)になります。

再生をOFFにしたパートの音量は...ピアノ50曲とは異なり、ディスクソフトやご自身でCLP-870の録音機能(P70~)を使って録音した演奏データの場合は、再生をOFFにしたトラックの音量は0に固定です。

【ノート】 自分で弾く音色(=手弾き音色=パネル音色)について...

ディスクソフトや録音データを再生する場合は、再生音色と手弾き音色は連動しません。再生音色は録音された音色で鳴り、手弾き音色は選ばれているパネル音色で鳴ります。

再生音量の調節

再生音だけの音量を調節できます。これにより、手弾き音と再生音の音量バランスを調節できます。

【3/ORCH】を押したまま【-/NO】または【+/YES】を押して、音量(0~20、基本設定=20)を調節します。

⇒ 操作中、画面に「Seq. Volume ##」(再生音量の値)が表示されます。

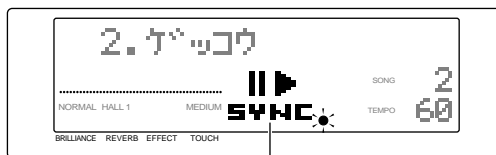


弾くと同時に再生をスタートする(シンクロスタート)

鍵盤を弾くと同時に再生をスタート(シンクロスタート)することができます。

再生ONのトラックのボタンを押したまま【START/STOP】を押すとシンクロスタート待機状態になります。

⇒ 画面中央にシンクロスタートのマークが現れ、画面のメトロノームの下の拍子マークの1拍めが現在のテンポのタイミングで点滅します。



このあと鍵盤を弾くと、同時に再生もスタートします。

再生しながら自分も弾くときに便利です。

左のペダルでスタート/ストップする

設定によって、左のペダルでスタート/ストップすることができます。

ファンクション(P80)で左のペダルの機能をスタート/ストップ(パネルの【START/STOP】と同じ機能)に切り替えます。

自分が先に弾き出して、途中から再生パートをスタートさせたいときに便利です。

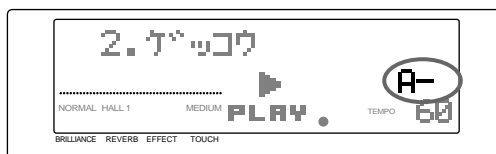
曲の一部(フレーズ)だけの繰り返し再生/練習(部分練習)

曲中のフレーズを指定して繰り返し再生することができます。前記の再生をOFFにしたトラックのパートを自分で弾く、といっしょに使うと練習に便利です。

1 フレーズの始まり(A点)と終わり(B点)の指定と、繰り返し再生スタート

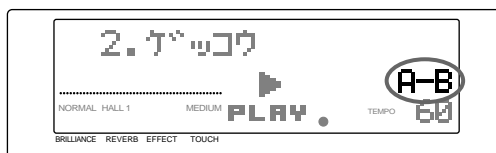
選曲し、再生をスタートします。聞きながら、始まり(A点)にしたいところで【FUNCTION】を押します。

⇒ 始まり(A点)が設定され、画面に「A-」と表示されます。



続いて、終わり(B点)にしたいところでもう一度【FUNCTION】を押します。

⇒ 終わり(B点)が設定され、画面に「A-B」と表示されます。同時に、A点に戻って繰り返し再生が自動的にスタートします。



2 再生ストップ

A点、B点の設定を保ったまま一時再生をストップするときは【START/STOP】を押します。(この場合、再度【START/STOP】を押すと、再びA点~B点の繰り返し再生がスタートします。)

A点、B点の設定を解除するときは、もう一度【FUNCTION】を押します。

0: 音量0
20: 標準音量(最大音量)

②。設定した音量は曲を切り替えても有効です。ただし、録音モードに入ると20に戻ります。電源を入れたときはいつも20になっています。

②。再生OFFのトラックのボタンを押したまま【START/STOP】を押すと... そのトラックの再生がONになると共に、シンクロスタート待機状態になります。

②。データのないトラックのボタンを押したまま、【START/STOP】を押しても... シンクロスタートにはならず、即再生がスタートします。

②。フリーテンポの(一定のテンポが設定されていない)曲では... 拍子マークの1拍めの点滅はありません。

シンクロ = 同時の、同時に起こる

②。ALLとRAND(P66)のときはできません。

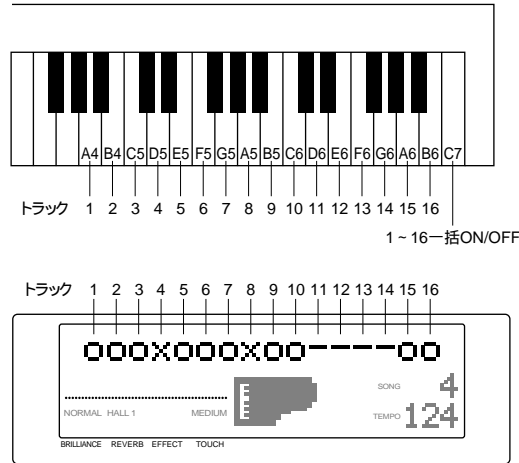
曲の先頭をA点に指定することはできません。

②。A-Bリピートが開始されるときに、カウントインが入ります。ただし、フリーテンポの曲では、カウントインは入りません。

新しい曲を選ぶと...

A点、B点は自動的に解除されます。

オーケストラ オン/オフ
【3/ORCH】の個別トラック再生ON/OFF
オーケストラ
【3/ORCH】には、実際は3～16トラックが一括して入っています。
オーケストラ
【3/ORCH】ボタンでは、3～16トラックを一括して再生ON/OFFしますが、3～16トラックを個別に再生ON/OFFすることもできます。
オーケストラ
【3/ORCH】を押している間は画面にトラックごとの状態(再生ON: オン、再生OFF: オフ x、データなし: -)が表示されます。
オーケストラ
【3/ORCH】を押したまま該当する鍵盤(下図参照)を押して、再生ON/OFFを切り替えます。
オーケストラ
(「データなし: -」のトラックは、鍵盤を押しても無効です。)
オーケストラ
右端の鍵盤(C7)を使うと全トラック(1～16)の一括ON/OFFができます。



②。ソフトによって、データのないトラックでも「-」が表示されず、「x」になる場合があります。

曲を切り替えると、データのある全トラックが再生ONになります。

1トラック、2トラックも、それぞれA4、B4の鍵盤で再生ON/OFFすることができます。

■ 各種の音楽データの再生

CLP-870で再生できる演奏データの各種フォーマット

CLP-870は下記の基準に該当する演奏データを再生することができます。

詳しくは「データの互換性について」(P98)をご参照ください。

ディスクのフォーマット

MS-DOS 720KB(キロバイト)フォーマットの2DDディスク
 MS-DOS 1.44MB(メガバイト)フォーマットの2HDディスク

ディスクのフォーマットとは...
 データが書き込まれている書式の種類です。

シーケンスフォーマット

SMF(スタンダードMIDIファイル)フォーマット0と1
 ESEQ

- CLP-870で録音される演奏データはSMF(スタンダードMIDIファイル)フォーマット0になります。

シーケンスフォーマットとは...
 演奏データの記録方式の種類です。

音色配列フォーマット

XG音色配列
 GMシステムレベル1音色配列
 DDC音色配列

- CLP-870の【XG】音色を使って録音した演奏データは「XG音色配列」になります。

音色配列フォーマットとは...
 音色を指定する番号のつけ方の種類です。

市販のディスクソフトについて

CLP-870では、付属の「ミュージックソフト・コレクション」でご紹介している「ピアノアンサンブル」「ピアノソフト」「ピアノアソシエ」「XGソングデータライブラリー」のほかにも、「ピアノソフトプラス」や一般的なGMシステムレベル1(P99)音色配列を使用しているSMF:スタンダードMIDIファイル(フォーマット0と1(P99))のソングデータが入っているディスクなども再生することができます。

「CLP-870で再生できる別売ディスクソフトのご紹介」(P100)もご覧ください。

他の楽器で録音されたソングデータ

クラビノーバCVP-98/96/94/92/89/79/69/59/87/85/83/75/65/55/70/50、CLP-911/711/705/で録音されたソングデータをCLP-870で再生すると、ほぼ適切な音色で再生されるようになっていますが、音量バランスなどに若干違いがあります。ただし、CVP-70/50の自動伴奏(ABC)を使用した録音データは、正しく再生されません。ヤマハのピアノプレーヤ、サイレントアンサンブルピアノで録音されたソングデータも再生できます。

演奏の録音(記録)

CLP-870の録音機能を使ってご自分の演奏を録音する方法を説明します。

付属の「録音用ディスク」をご用意ください。

CLP-870の録音では、

- ・フロッピーディスクに録音します。
- ・1枚のディスクに最大で60曲まで録音できます。
- ・3つのパートをそれぞれ1～3トラックに録音できます。
- ・録音後、音色やテンポ、効果などを変更できます。
- ・録音後、再生させながら演奏することができます。

【ノート】 フロッピーディスクの取り扱いについて...

付属の「録音用ディスク」は、「フロッピーディスク」という種類のディスクです。フロッピーディスクのご使用にあたっては注意事項がいくつかありますので、「フロッピーディスクの取り扱い」(P8)をお読みいただいてから、先に進んでください。

操作中、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法がわからない場合は、「メッセージ一覧」(P94)を参照してください。

「録音」と「記録」...

カセットテープに録音するのとフロッピーディスクに録音(記録)するのでは、録音されるデータの形式が異なります。

カセットテープでは音そのものが「録音」されますが、フロッピーディスクでは音そのものではなく、「どの音をどのタイミングで弾いた。音色はこれで、テンポはいくつで...」という情報が「記録」されます。再生の際は記録された情報どおりに、「音源」部が鳴ります。

CLP-870では、本来「記録」というべきですが、広義に捉えて、本書では一般的に理解しやすい「録音」という言葉を使います。ただし、特に区別してご理解いただきたい場合は、「記録」という場合もあります。

CLP-870では標準MIDIファイルフォーマット形式で録音されます。【XG】音色を使って録音すると、XG音色配列になります。

(「SMF」XGについては「データの互換性について」(P98)をご覧ください。)

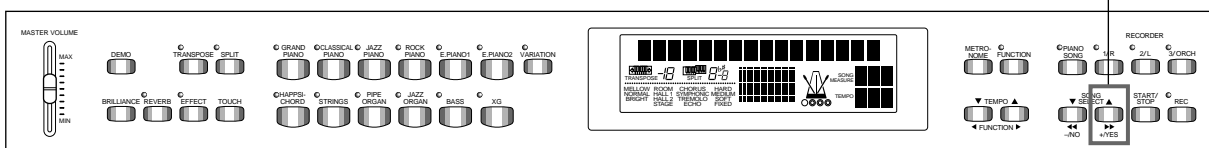
録音の準備(ディスクのフォーマット)

付属の「録音用ディスク」を初めて使うときは最初にフォーマット(初期化)をします。市販のフロッピーディスクの場合も同様です。

これは、フロッピーディスクをCLP-870で最初に使うときだけ必要な作業です。

フォーマット(初期化)とは...

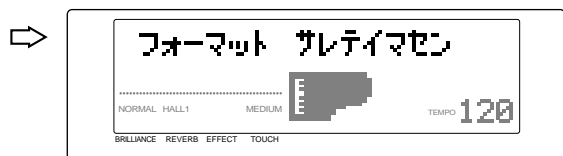
フロッピーディスクは、パーソナルコンピューターなどのいろいろな機器で、いろいろなデータの収納場所として使われます。その際、フロッピーディスクのデータの収納方式にはいくつかの種類があるため、その機器に対応している収納方式をフロッピーディスクに最初に指定する必要があります。(たとえば、白い紙に縦書きの線を入れるか横書きの線を入れるかというようなことです。これが「フォーマット(初期化)する」ということです。



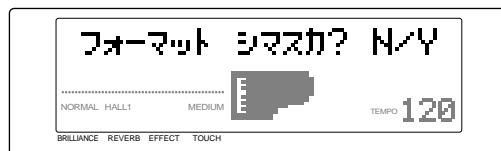
操作

1 ディスクを入れる

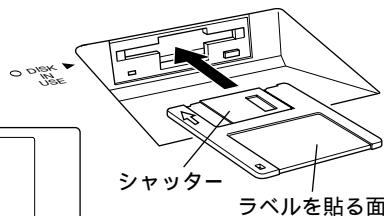
録音用ディスクをディスクドライブに差し込みます。



数秒後



【ノート】 ラベルを貼る面を上向き、シャッター側を奥にして、カチッと音がするまで正しく差し込んでください。



2

2. デモ曲/ピアノ曲/ファンクションモードのときは...

録音用ディスクを入れてもフォーマット画面になりません。デモ曲/ピアノ曲/ファンクションモードを抜けるとフォーマット画面になります。

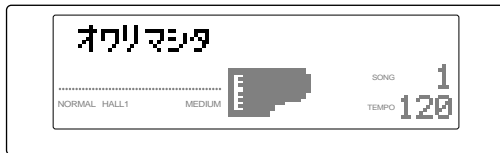
ディスクによって...

市販の(未フォーマットの)フロッピーディスクや、異なるフォーマットのフロッピーディスクの場合も同様です。

フォーマット済みのフロッピーディスクを再フォーマットすることもできます(ファンクションP81)。この場合、録音(記録)されているデータはすべて消えますのでご注意ください。

2 フォーマットを実行する

【+ / ^{イエス}YES】を押します。
 (フォーマットを中止する場合は、【- / ^{ノー}NO】を押します。)
 ⇨ しばらくして下記の画面でフォーマットが完了します。



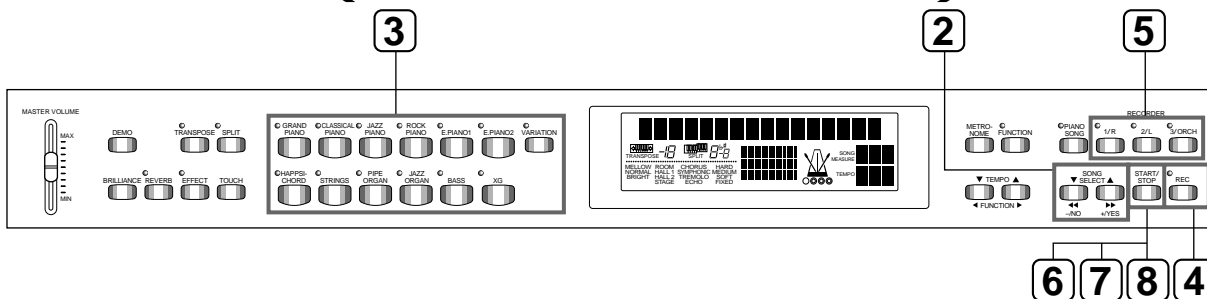
フォーマットの種類...

CLP-870でフォーマットすると、2DDディスクは720KB(キロバイト)、2HDディスクは1.44MB(メガバイト)にフォーマットされます。(「2DD」、「2HD」はディスクの種類を示す言葉、「720KB」、「1.44MB」はデータの記憶容量を示す言葉ですが、フォーマットの種類を表すときに、このように言います。)

②。「^{プロテクト ディスク} Protected Disk!」のメッセージが画面に表示された場合は、...

- ・ライトプロテクトタブが書き込み禁止の位置になっていません。書き込み可の位置にしてからフォーマットしてください(P8)
- ・ライトプロテクトタブが書き込み可の位置になっていてもこの表示が出る場合は、市販のディスクソフトなどで、データ保護のため内部的にプロテクト(保護)がかかっているディスクです。このようなディスクはフォーマットできません。

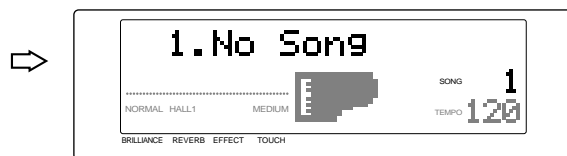
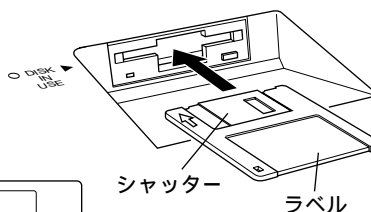
録音の手順(1つのトラックへの録音)



操作

1 フォーマット済みのディスクを入れる

フォーマット済みのディスクをディスクドライブに差し込みます。

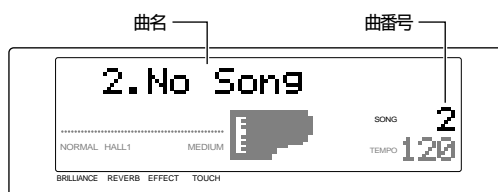


ノート ラベルを貼る面を上向き、シャッター側を奥にして、カチッと音がするまでいねいに差し込んでください。

2 録音する曲番号を選ぶ

【 ^{ソングセレクト}SONG SELECT】で録音する曲番号を選びます(1~60)。

⇨ 画面に選ばれた曲番号と曲名が表示されます。



未録音の(データがない)曲を選んでください。未録音の曲の場合は、曲名に「##.No Song」(##は曲番号1~60)と表示されます。録音済みの曲の場合は、その曲の曲名表示になります。
 録音済みの曲に再録音すると、録音したトラックに入っていた録音済みの曲のデータは消えてしまいますのでご注意ください。

②。未フォーマットのディスクや異なるフォーマットのディスクを入れた場合は...
 「フォーマット」の画面が自動的に出ます。前記「フォーマット」の操作をしてから録音の操作に入ってください。

録音モードに入ったあと、(操作4)以降は、曲番号を選ぶことはできません。

3 録音する音色(とそのほかの設定)を選ぶ

音色ボタンを押して録音に使う音色を選びます。必要に応じてそのほかの設定(テンポ、リバーブなど)も選んでください。

4 録音モードに入る

レコード
【REC】を押します。

⇒【1/R】または【2/L】^{オーケストラ}【3/ORCH】のランプが赤く点灯します。画面の曲名表示の右側に、そのディスクの記憶残容量の数値(KBの数値)が表示されます。曲名が「No Song」だった場合は、この時点で自動的に「New Song」に変わります。画面中央にはシンクロスタートのマークが現れ、拍子マークの一拍めが現在のテンポのタイミングで点滅します。



・録音を中止する場合は、もう一度【REC】を押します。

5 録音トラックを選ぶ

CLP-870では、3つのパートをそれぞれ1~3トラックに録音できます。

レコード
【1/R】^{オーケストラ}【2/L】^{オーケストラ}【3/ORCH】で録音するトラックを選びます。

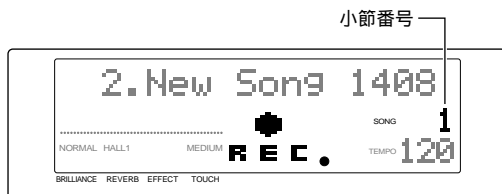
⇒ランプが赤く点灯します。

6 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。または、

スタート/ストップ
【START/STOP】を押すと録音がスタートします。

⇒画面に録音中の小節番号がリアルタイムで表示されます。



7 録音をストップする

スタート/ストップ
レコード
【START/STOP】または【REC】を押します。

⇒画面に「^{ワーキング}オチカがサイ(Working...)」が数秒間表示されたあと、録音したトラックのランプが緑に点灯します。(録音モードは自動的に解除されます。)

8 録音した演奏を聞いてみる

スタート/ストップ
レコード
【START/STOP】を押すと、今録音した演奏が再生されます。

スタート/ストップ
もう一度【START/STOP】を押すと再生が止まります。

②。デモ曲/ピアノ曲モードのときは...

録音モードに入ることはできません。

記憶残容量とは...

そのディスクに録音できるスペースがあとどれだけ残っているかを示す値です。データの量を表す単位KB(キロバイト)で示されます。何も録音されていないディスクの場合で
・2DDディスク: 697KB(およそ50,000音符分)
・2HDディスク: 1408KB(およそ100,000音符分)となります。

②。「^{プロテクト ディスク}オチカがサイ(Protected Disk!)」のメッセージが画面に表示された場合は...

・ライトプロテクトタブが書き込み禁止の位置になってい
ます。書き込み可の位置にしてから録音してください(P8)。
・ライトプロテクトタブが書き込み可の位置になっていてもこの表示が出る場合は、市販のディスクソフトなどで、データ保護のため内部的にプロテクト(保護)がかかっているディスクです。このようなディスクには録音できません。

②。「^{プロテクト ソング}オチカがサイ(Protected Song!)」のメッセージが画面に表示された場合は...

ソフトや演奏データの種類によって再録音できない曲の場合に表示されます。その曲には再録音できません。

②。「^{ソング}CLP Songデ^{ノート}アリアセ^{ソング}(Not CLP Song!)」続いて「^{ノイエス}ウカタマカ? ^{コンバート}N/Y(Convert? N/Y)」のメッセージが画面に表示された場合は...

CLP-870では他の機器で録音された曲に直接再録音できません。このメッセージは、その曲が他の機器で録音されたデータであるため、CLP-870の形式にデータを変換しないと再録音できないことを示しています。変換する場合は、^{ノイエス}【+/YES】を、中止する場合は^ノ【-/NO】を押します。(変換すると、変換前のデータは残りませんのでご注意ください。)

②。CLP Songに^{ソング}変換した曲への再録音についての注意...

デュアルやスプリットを使った録音はできません。また、^{オーケストラ}【3/ORCH】トラックへの録音はできません。

メトロノームを使う...

【METRONOME】^{メトロノーム}を使って録音することもできます。ただしメトロノームの音は、録音されません。

左のペダルを使ってスタートする...

スタート
ファンクション(P80)で左のペダルをパネルの【START/STOP】^{スタート/ストップ}と同じ機能に切り替えることができます。そうすると、左のペダルで録音をスタートすることができます。

②。録音中にディスクの記憶残容量が少なくなってきた場合...

録音中のトラックのランプが赤く点滅します。そして記憶残容量がなくなると画面に「^{フル}ディスクがいっぱい(Disk Full!)」のメッセージが出て録音が自動的にストップします。(それまでの演奏データは録音され、残ります。)

③。「^{ワーキング}オチカがサイ(Working...)」の表示中は...

録音したデータがディスクに書き込まれている作業中です。このあいだは、【DISK IN USE】のランプも点灯しています。【DISK IN USE】のランプが点灯しているときや録音中は、絶対にディスクを取り出さないでください。ディスクのデータがこわれるだけでなく、ディスクドライブユニットの故障の原因になります。

録音した曲の名前...

録音した曲には自動的に「SONG_###(###は曲番号)」の名前が付けられます。曲名はファンクション(P82)で任意に付け変えることができます。

曲のコピーと削除...

ファンクション(P82、83)で行えます。

録音し直す場合

録音した演奏がうまくいかなかった場合など、もう一度録音し直したい場合の手順を説明します。

- 1 必要に応じて、録音する音色(とそのほかの設定)を選び直す
先に録音したときと設定を変えたい場合に行ってください。
- 2 再び録音モードに入る
再び【REC】^{レコード}を押します。
⇒ 今録音したトラックが自動的に録音トラックとして選ばれ、ランプが赤く点灯します。

これ以降、前記「6」以降の手順(P72)に従って録音します。

録音し直すと、前に録音したデータは消されます。

トラックのデータの削除...
【START/STOP】^{スタート/ストップ}で録音をスタートし、何もせず【START/STOP】^{スタート/ストップ}で録音をストップすると、そのトラックのデータがすべて削除されます。

続いて2つめ(3つめ)のトラックへ録音する場合

続いて2つめ(3つめ)のトラックに録音する場合の手順を説明します。

- 1 録音する音色(とそのほかの設定)を選ぶ
音色ボタンを押して録音に使う音色を選びます。必要に応じてそのほかの設定も選んでください。
- 2 再び録音モードに入る
再び【REC】^{レコード}(録音)を押します。
⇒ 今録音したトラックが自動的に録音トラックとして選ばれ、ランプが赤く点灯します。
- 3 録音トラックを選ぶ
別のトラックを選びます。
⇒ ランプが赤く点灯します。(今録音したトラックのランプは緑に点灯します。)
今録音したトラックのデータを再生させながら録音することができます。

これ以降、前記「6」以降の手順(P72)に従って録音します。

今録音したトラックのデータの再生をOFFにして録音するには...
再び録音モードに入る前(手順②の前)に、今録音したトラックのボタンを押します。
緑のランプが消灯します。
今録音したトラックとは別の曲を録音したい場合などに便利です。

録音(記録)されるデータの種類

実際には、弾いた音や音色のほかにも録音(記録)されるデータがあります。以下にそれを示します。

下記のように「トラックごとに録音されるデータ」と「曲ごと(3つのトラックで共通)に録音されるデータ」があります。

トラックごとに録音されるデータ

- ・ ノートデータ(弾いた音) 1
- ・ ダンパーペダルのON/OFF ^{オン/オフ}
- ・ ソフトペダルのON/OFF ^{オン/オフ}
- ・ 【REVERB】^{リバーブ}の深さ
- ・ デュアルの音色
- ・ デュアルデチューン 2
- ・ スプリットの音色
- ・ スプリットオクターブシフト 2
- ・ 音色
- ・ ソステヌートペダルのON/OFF ^{オン/オフ} 1
- ・ 【VARIATION】^{バリエーション}のON/OFF ^{オン/オフ}
- ・ 【EFFECT】^{エフェクト}の深さ
- ・ デュアル音量バランス 2
- ・ デュアルオクターブシフト 2
- ・ スプリット音量バランス 2

- 1 初期値としては記録されません。
- 2 録音途中での変更、初期値の変更(次項参照)はできません。

初期値とは...
曲の先頭に記録されるデータです。

【3/ORCH】^{オーケストラ}トラックへの録音の場合...
内部的には、7トラックに録音されます。

デュアルでの録音の場合...
内部的には、1トラックに録音すると1と3のトラックに、2トラックに録音すると2と4のトラックに、3トラックに録音すると7と8のトラックに録音されます。
それぞれ1、2、7のトラックに第1音色が録音されます。

曲ごと(3つのトラックで共通)に録音されるデータ

- ・ 拍子 (前ページ参照)
- ・ テンポ
- ・ 【REVERB】の種類リバーブ(OFFも含む)
- ・ 【EFFECT】の種類エフェクト(OFFも含む)

スプリットでの録音の場合...

内部的には、1トラックに録音すると「1と5」のトラックに、2トラックに録音すると「2と6」のトラックに、3トラックに録音すると「7と11」のトラックに録音されます。それぞれ1、2、7のトラックに右側音色が録音されます。

初期値の変更

録音を終えたあとでも、曲の初期値(曲の先頭に記録されたデータ)を変更することができます。変更できるデータは前記「録音(記録)されるデータの種類のリスト」をご参照ください。

- 1 録音モードに入り、初期値を変更するトラックを選びます。
↳ ランプが赤く点灯します。(曲ごと(3つのトラックで共通)に録音されるデータはどのトラックを選んででも変更されます。)
- 2 パネルを操作して初期値を変更します。
ここで鍵盤や【START/STOP】を押さないようご注意ください。録音が始まってしまい、そのトラックの録音済みのデータが消えてしまいます。
- 3 【REC】を押して録音モードを抜けます。
ここで【START/STOP】を押さないようご注意ください。録音が始まってしまい、そのトラックの録音済みのデータが消えてしまいます。

たとえば録音した【E. PIANO 1】の音色を【E. PIANO 2】に変更する場合...

操作1のあと、操作2で【E. PIANO 2】を押し、操作3の【REC】を押して完了です。

②。デュアルやスプリットで録音した曲の初期値変更...
第2音色や左側音色のトラックは変更できません。

初期値変更の中止...
操作2のあと、初期値を変更するトラックを変えて、何もしないで操作3で録音モードを抜けると初期値変更は中止されます(曲ごと(3つのトラックで共通)に録音されるデータの変更も中止されます)。

ディスクを入れないで録音してしまったら...

ディスクを入れて録音することが基本ですが、ディスクを入れていなくても録音モードに入って録音することはできます。

ただし、次のような制約があります。

- ・ CLP-870のメモリー(本体内部の記憶装置)に録音されますが、25KB(およそ2500音符分)しか録音できません。
- ・ 録音データは、ディスク操作をしたときなどに、消えてしまうことがあります。そのような場合には、「CLP Songがアタリ(CLP Song exists!)」続いて「ショウヨウアタリ? N/Y(Delete OK? N/Y)」または「ツギアタリ? N/Y(Continue? N/Y)」のメッセージが表示されます。消してもいい場合は【+/YES】、消したくない場合は【-/NO】を押します。
ただし、電源を切った場合は、メッセージは出ずに自動的に消されますのでご注意ください。したがって、ディスクを入れないで録音してしまったデータを保存しておきたい場合は、消えてしまう前にファンクションでディスクにコピー(P82)することが必要です。

②。「メモリーがいっぱい(Memory Full)」のメッセージが画面に表示された場合は...
メモリーがいっぱいになって、これ以上録音できなくなったことを示しています。自動的に録音がストップします。(それまでの演奏データは録音され、残ります。)

メモリーの録音データの削除...
【START/STOP】で録音スタートし、何もせず【START/STOP】で録音をストップすると、録音トラックのデータがすべて削除されます。この方法でトラックごとにデータを消します。
または、電源をいったん切って、入れ直してください。

録音した曲の再生

「ディスクソフトと録音データの再生(P66~)の方法で再生できます。

ディスクを入れないで録音した曲の再生では...
全トラック再生OFFにした場合は、再生スタートできません。(または再生がストップします。)
全トラック再生OFFの状態から1つのトラックボタンを押すと、データのある全トラックがONになります。全トラック再生OFFの状態からのシンクロスタートはできません。

ファンクション

CLP-870をお使いいただく上での各種の設定を、基本設定(工場出荷時の設定)以外のご自分の使いやすい設定に変更する機能です。

そのほかに、各種の便利な機能や応用的な機能が、ファンクションの中にまとめられています。

まず、ファンクション一覧表を見てください。

ファンクションには大項目が11個あります(F1～F11)。

大項目の中には小項目をいくつか持つものもあります。

ファンクション一覧表

大項目	小項目	ページ
チューン [F1.Tune](音程の微調整)		78
スケール [F2.Scale](音律 調律法)の設定)	2-1 <small>スケール タイプ</small> ScaleType (音律 調律法)の種類の設定)	79
	2-2 <small>スケール ルート</small> ScaleRoot (基音の設定)	79
デュアルファンクション [F3.DualFunc.](デュアルの諸設定)	3-1 <small>デュアル バランス</small> D.Balance (2音色の音量バランスの設定)	79
	3-2 <small>デュアル デチューン</small> D.Detune (2音色の音程を微妙にずらす設定)	79
	3-3 <small>ボイス1 オクターブ</small> Vc1.Octave (第1音色のオクターブシフトの設定)	79
	3-4 <small>ボイス2 オクターブ</small> Vc2.Octave (第2音色のオクターブシフトの設定)	79
	3-5 <small>ボイス1 エフェクト デプス</small> Vc1.EffDpt (第1音色のエフェクトの深さの設定)	79
	3-6 <small>ボイス2 エフェクト デプス</small> Vc2.EffDpt (第2音色のエフェクトの深さの設定)	79
	3-7 <small>リセットOK?</small> ResetOK? (基本設定に戻す操作)	79
スプリットファンクション [F4.SplitFunc.](スプリットの諸設定)	4-1 <small>スプリットポイント</small> SplitPoint (スプリットポイントの設定)	80
	4-2 <small>スプリット バランス</small> S.Balance (2音色の音量バランスの設定)	80
	4-3 <small>ボイスR オクターブ</small> VcR.Octave (右側音色のオクターブシフトの設定)	80
	4-4 <small>ボイスL オクターブ</small> VcL.Octave (左側音色のオクターブシフトの設定)	80
	4-5 <small>ボイスR エフェクト デプス</small> VcR.EffDpt (右側音色のエフェクトの深さの設定)	80
	4-6 <small>ボイスL エフェクト デプス</small> VcL.EffDpt (左側音色のエフェクトの深さの設定)	80
	4-7 <small>サステイン ペダル</small> Sus.Pedal (ダンパーペダルの有効域の設定)	80
	4-8 <small>リセットOK?</small> ResetOK? (基本設定に戻す操作)	80
ペダル ファンクション [F5.PedalFunc.](ペダルの諸設定)	5-1 <small>レフト ペダル</small> L.Pedal (左ペダル機能の設定)	80
	5-2 <small>ダンパー</small> Damper (ダンパーモードの設定)	81
	5-3 <small>ダンパー デプス</small> DamperDpt (共鳴効果の深さの設定)	81
メトロノーム [F6.Metronome] (メトロノーム音量の設定)		81
ディスク ファンクション [F7.DiskFunc.] (ディスクを使う操作と設定)	7-1 <small>フォーマット</small> Format (ディスクのフォーマット)	81
	7-2 <small>ファイル コピー</small> FileCopy (曲ファイルのコピー)	82
	7-3 <small>ファイルネーム</small> FileName (曲ファイル、セットアップファイル名の設定)	82
	7-4 <small>ファイル デリート</small> FileDel (曲ファイル、セットアップファイルの削除)	83
	7-5 <small>トラック セレクト</small> TrackSel (トラックの割り当て変更)	83
	7-6 <small>ピアノプレーヤレジストレーション</small> PP.Reg. (録音データのピアノプレーヤ形式への登録)	84
	7-7 <small>エスエムエフ イーシーク</small> SMF ESEQ (録音データのESEQフォーマットへの変換)	84
	7-8 <small>セットアップ データ</small> SetupData (セットアップデータの保存と再現)	85

チューン
tune = 音程を合わせること

スケール
Scale = 音階

リセット
Reset = 再設定

ファイルとは...

あるデータのまとまりを1つの単位として保存したものをファイルと言います。

セットアップファイルとは...

CLP-870のパネル設定状態一式のデータファイルです。

曲ファイルとは...

曲データを曲番号単位で曲ファイルと言います。

レジストレーション
Reg. = Registration (登録)

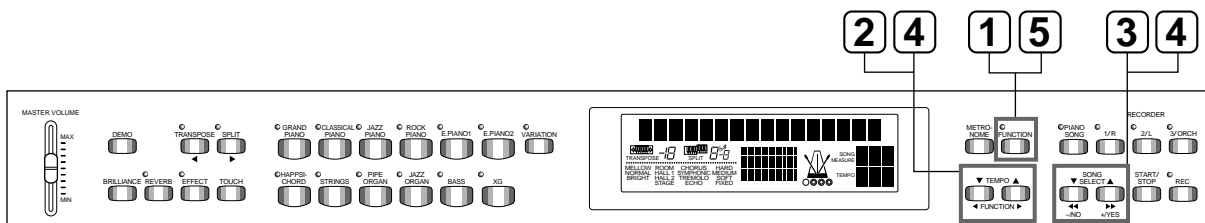
エスエムエフ イーシーク
「SMF」「ESEQ」...
「データの互換性について」(P98)をご参照ください。

大項目	小項目	ページ
<small>ミディ ファンクション</small> [F8.MIDIFunc.] <small>ミディ</small> (MIDI機能の諸設定)	<small>トランスポートチャンネル</small> <small>ミディ</small> 8-1 TxCh.(MIDI送信チャンネルの設定) 86 <small>レシーブチャンネル</small> <small>ミディ</small> 8-2 RxCh.(MIDI受信チャンネルの設定) 86 <small>ローカル</small> <small>オン/オフ</small> 8-3 Local(ローカルコントロールON/OFFの設定) 86 <small>プログラムチェンジ</small> <small>オン/オフ</small> 8-4 PrgChg(プログラムチェンジ送受信ON/OFFの設定) 86 <small>コントロールチェンジ</small> <small>オン/オフ</small> 8-5 CtrlChg(コントロールチェンジ送受信ON/OFFの設定) 87 <small>ミディトランスポート</small> <small>ミディ</small> 8-6 MIDITrans(MIDI送信データにトランスポートをかける設定) 87 <small>セットアップSEND</small> <small>ミディ</small> 8-7 SetupSend(セットアップデータのMIDI送信) 87	
<small>キャンセル ボリウム</small> [F9.CancelVol](ピアノ50曲のパート再生OFF時の音量設定)		87
<small>バックアップ</small> [F10.Backup] <small>オン/オフ</small> (バックアップON/OFFの設定)	<small>ボイス</small> 10-1 Voice(音色関連項目のバックアップ設定) 88 <small>ミディ</small> <small>ミディ</small> 10-2 MIDI(MIDI関連項目のバックアップ設定) 88 <small>チューン</small> 10-3 Tune(音程、音律関連項目のバックアップ設定) 88 <small>ペダル</small> 10-4 Pedal(ペダル関連項目のバックアップ設定) 88	
<small>ランゲージ</small> [F11.Language](画面表示言語の設定)		89

■ ファンクションでの基本操作

ファンクションの各項目は以下の手順で操作します。

(ファンクションの各項目の説明で、操作がわからなくなった場合はここに戻ってご覧ください。)



操作

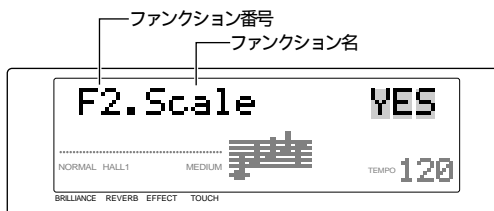
1 ファンクションモードに入る

ファンクション
【FUNCTION】を押します。

⇒ ランプが点灯し、ファンクションモードの画面になります。

2 大項目を選ぶ

ファンクション
【◀】FUNCTION【▶】ボタン下の印刷)でファンクションの大項目 (F1~F11) を選びます。



3 【-/NO】【+/YES】ボタン下の印刷)で...

小項目がない場合: 直接設定の操作に入ります。

小項目がある場合: 【+/YES】で小項目を選択する操作に進みます。

4 これ以降の2種類のボタンを使って操作します。

ファンクション
【◀】FUNCTION【▶】

大項目または小項目の選択に使います。

【F7. DiskFunc.】では小項目中のページの移動にも使います。

【-/NO】【+/YES】

NO/YESの選択、種類の選択、数値の設定をします。

【-/NO】と【+/YES】を同時に押すと基本設定 (=工場出荷時の設定) に戻る場合があります。

ノート 「N/Y (=NO/YES) が点滅している場合に【-/NO】を押すと前の画面に戻ります。
「YES」だけが点滅している場合に【-/NO】を押しても何も変わりません。

5 操作が完了したら...

ファンクション
【FUNCTION】を押してファンクションモードから抜けます。

⇒ ランプが消灯し、画面が元に戻ります。

②。デモ曲モードのときと、曲の再生中、録音中は...
ファンクションモードに入ることができません。

②。ピアノ曲モードのときは...
ファンクションモードに入ることができませんが、[F7. DiskFunc.]は使えません。

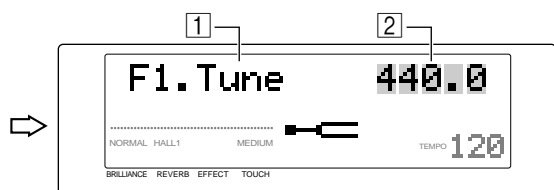
各ファンクション項目の説明

【F1.Tune】^{チューン}全鍵盤の音程の微調整

・^{チューン}tune = 音程を合わせること

楽器全体(88鍵盤すべて)の音程を微調整する機能です。合奏のときなどほかの楽器と音程を正確に合わせたいときなどに使用します。

- ① ファンクションモードに入り、大項目【F1.Tune】^{チューン}を選びます。



- ② A3の鍵盤の音程を^{ヘルツ}Hzの数値で示します。
【- /NO】^ノ【+ /YES】^{イエス}で数値を設定します(約0.2^{ヘルツ}Hz単位)。

設定範囲: 414.8 ~ 466.6(^{ヘルツ}Hz)

基本設定: 440.0(^{ヘルツ}Hz)

・^{ヘルツ}Hzとは...

音の高さを示す単位です。(音の高さは音波の振動数によって決まります。1秒間に何回振動するかという数値の単位が^{ヘルツ}Hzです。)

【ノート】 鍵盤を使った設定方法もあります...(ファンクションモードでないときに操作できます。)

音程を上げる(約0.2^{ヘルツ}Hz単位)...

A-1とB-1(左端の白鍵2つ)を同時に押したまま、C3~B3の1つの鍵盤を押す

音程を下げる(約0.2^{ヘルツ}Hz単位)...

A-1とA#-1(左端の白鍵と黒鍵)を同時に押したまま、C3~B3の1つの鍵盤を押す

基本設定に戻す...

A-1とA#-1とB-1(左端の白鍵2つと黒鍵1つ)を同時に押したまま、C3~B3の1つの鍵盤を押す

・鍵盤と鍵盤名の対応については、P50「各部の名前」をご参照ください。

【ノート】 約1^{ヘルツ}Hz単位で設定する方法もあります...(ファンクションモードでないときに操作できます。)

約1^{ヘルツ}Hz単位で音程を上下させる...

「A-1とB-1」または「A-1とA#-1」(左端の白鍵2つ、または左端の白鍵と黒鍵)を同時に押したまま、【- /NO】^ノ【+ /YES】^{イエス}を押す

基本設定に戻す...

「A-1とB-1」または「A-1とA#-1」(左端の白鍵2つ、または左端の白鍵と黒鍵)を同時に押したまま、【- /NO】と【+ /YES】^{イエス}を同時に押す

(上記操作中、画面が「Tune ###.#」に切り替わります。操作後元の画面に戻ります。)

【F2.Scale】^{スケール}(音律[調律法]の設定)

・^{スケール}Scale = 音階

音律(調律法)を選ぶ機能です。

現在もっとも一般的なピアノの調律法「平均律」が完成するまでには、時代と共に様々な音律が考えられ、またそれによる音楽が誕生しました。

当時の調律法で演奏することでその曲が誕生した時の響きを味わうことができます。

次の7種類の音律(調律法)が用意されています。

平均律(Equal Temperament)^{イコールテンペラメント}

1オクターブを12の間隔で等分した音律です。現在もっともポピュラーなピアノの調律法です。

純正律(長調)(Pure Temperament) Major^{メジャー}

純正律(短調)(Pure Temperament) minor^{マイナー}

自然倍音を基準とするため、主要3和音が美しく純粋に響くのが特長です。現在でも合唱のハーモニーなどで見られます。

ピタゴラス音律(Pythagorean Temperament)^{ピタゴリアンテンペラメント}

ギリシャ時代の哲学者ピタゴラスによって考えられた5度音程だけの組み合わせからできた音律です。3度はうなりが生じますが5度と4度の音程が美しく、旋律の演奏に向いています。

中全音律(Meantone Temperament)^{ミントーンテンペラメント}

ピタゴラス音律の3度の音程のうなりをなくすために改良された音律です。

十六世紀後半から十八世紀後半までにかけて広く普及し、ヘンデルも使用しました。

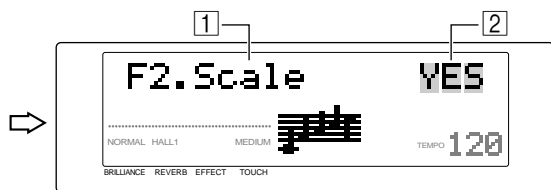
ヴェルクマイスター音律(Werckmeister)^{ヴェルクマイスター}

キルンベルガー音律(Kirnberger)^{キルンベルガー}

中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた音律で、両者はその組み合わせ方が異なります。転調により曲想が変化するのが特長です。

バッハやベートーベン時代に使用され、現在でもその時代の音楽をハープシコード(=チェンバロ)などで演奏するときにはしばしば用いられます。

- 1 ファンクションモードに入り、大項目 **F2.Scale** ^{スケール} を選びます。



- 2 **【+/YES** ^{イエス} を押して確定し、**【◀FUNCTION▶** ^{ファンクション}】で以下の小項目を選び、**【-/NO** ^{ノー} **【+/YES** ^{イエス}】で設定します。

小項目

[2-1 ScaleType ^{スケールタイプ} **【音律 調律法】**の種類の設定)

- 選択範囲: [EQ.]..平均律
 [PM.]..純正律(長調)
 [Pm.]..純正律(短調)
 [PY.]..ピタゴラス音律
 [ME.]..中全音律
 [WE.]..ヴェルクマイスター音律
 [KI.]..キルンベルガー音律

基本設定: [EQ.]..平均律

[2-2 ScaleRoot ^{スケールルート} **【基音の設定】**

平均律以外のときは、**基音**(演奏する曲の調の主音)を設定する必要があります。設定した基音の調に対して各音律の効果が得られます。(平均律を選んでいても基音の設定はできますが、平均律では意味を持ちません。他の音律を選んだときに意味を持つようになります。)

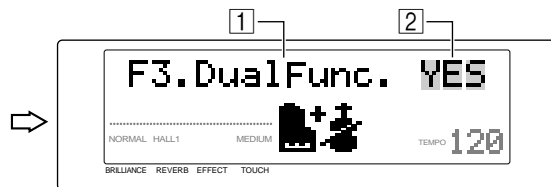
設定範囲: C, C#, D, Eb, E, F, F#, G, Ab, A, Bb, B

基本設定: C

【F3.DualFunc.】 ^{デュアル ファンクション} (デュアルの諸設定)

デュアルモードでの各種設定をします。
 音色の組み合わせごとに個別に設定されます。

- 1 デュアルモードで音色を選んでからファンクションモードに入り、大項目 **F3.DualFunc.** ^{デュアル ファンクション} を選びます。



- 2 **【+/YES** ^{イエス} を押して確定し、**【◀FUNCTION▶** ^{ファンクション}】で以下の小項目を選び、**【-/NO** ^{ノー} **【+/YES** ^{イエス}】で設定します。

【ノート】 デュアルモードでないときには...

表示の「YES」の部分が「- - -」になり、**【+/YES** ^{イエス}】を押しても反応しません。
 ファンクションモードに入ったあとで、デュアルモードに入ることもできます。

小項目

[3-1 D.Balance ^{デュアルバランス} **【2音色の音量バランスの設定】**

設定範囲: 0~20(20に近付くほど第1音色の音量が大きくなる、10で同音量)

基本設定: 音色の組み合わせごと

片方の音をメインにしてもう片方の音を薄く混ぜるなど、2音色の音量バランスを工夫してみてください。

[3-2 D.Detune ^{デュアル デチューン} **【2音色の音程を微妙にずらす設定】**

設定範囲: -10~0~+10(+方向で第1音色の音程が上がる。方向で第2音色の音程が上がる)

基本設定: 音色の組み合わせごと

2音色の音程を微妙にずらすと音に厚みが出ます。

[3-3 Vc1.Octave ^{ボイス1 オクターブ} **【第1音色のオクターブシフトの設定】**

[3-4 Vc2.Octave ^{ボイス2 オクターブ} **【第2音色のオクターブシフトの設定】**

設定範囲: -1, 0, +1

基本設定: 音色の組み合わせごと

音程を1オクターブ上下にシフトさせます。第1音色と第2音色別々に設定できます。音の響き方が違ってきます。

[3-5 Vc1.EffDpt ^{ボイス1 エフェクト デプス} **【第1音色のエフェクトの深さの設定】**

[3-6 Vc2.EffDpt ^{ボイス2 エフェクト デプス} **【第2音色のエフェクトの深さの設定】**

設定範囲: 0~20

基本設定: 音色の組み合わせごと

エフェクトの深さを第1音色と第2音色別々に設定します。エフェクトがOFFのときは設定できません。(ファンクションモードに入ってからではエフェクトの種類を選ぶことができませんので、ファンクションモードを一度抜けてからエフェクトの種類を選んでください。)

- ・「第1音色」「第2音色」については、P63をご覧ください。

[3-7 ResetOK? ^{リセットOK?} **【基本設定に戻す操作】**

【+/YES ^{イエス}】を押すと上記すべての設定が、その音色の組み合わせが持つ基本設定に戻ります。

【ノート】 ショートカット操作...

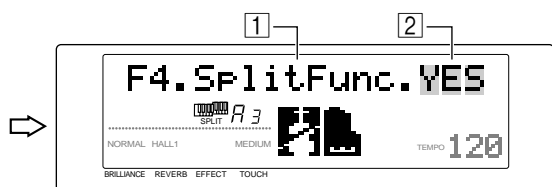
デュアルの2つの音色ボタンを押したまま**【FUNCTION** ^{ファンクション}】を押すと直接ファンクションモードの**【F3.DualFunc.】** ^{デュアルファンクション}画面に入ることができます。

この場合でも、ファンクションモードを抜けるには、通常の操作(**【FUNCTION** ^{ファンクション}】を押す ⇨ ランプ消灯)が必要です。

[F4.SplitFunc.](スプリットの諸設定)

スプリットモードでの各種設定をします。
音色の組み合わせごとに個別に設定されます。

- 1 スプリットモードで音色を選んでからファンクションモードに入り、大項目[F4.SplitFunc.]を選びます。



- 2 【 + /YES ^{イエス} 】を押して確定し、【 ◀ FUNCTION ▶ ^{ファンクション} 】で以下の小項目を選び、【 - /NO ^{ノー} 】【 + /YES ^{イエス} 】で設定します。

ノート スプリットモードでないときは...
表示の「YES」の部分が「 - - - 」になり、【 + /YES ^{イエス} 】を押しても反応しません。
ファンクションモードに入ってからではスプリットモードに入ることができませんので、ファンクションモードを一度抜けてからスプリットモードに入ってください。

小項目

[4-1 SplitPoint ^{スプリットポイント}](スプリットポイントの設定)

設定範囲: 全鍵盤

基本設定: F#2

左鍵域と右鍵域の境め(スプリットポイント)にする鍵盤を指定します。スプリットポイントの鍵盤自体は左鍵域に含まれません。

- 【 - /NO ^{ノー} 】【 + /YES ^{イエス} 】の代わりに、スプリットポイントにした
い鍵盤を押しても設定できます。
- ファンクションモードでないとき、【 SPLIT ^{スプリット} 】を押しながら鍵盤を押しても設定できます。(P64)

[4-2 S.Balance ^{スプリットバランス}](2音色の音量バランスの設定)

設定範囲: 0~20(20に近付くほど右側音色の音量が大きくなる、10で同音量)

基本設定: 音色の組み合わせごと

組み合わせる音色により2音色の音量バランスを好みの状態に設定します。

[4-3 VcR.Octave ^{ボイスRオクターブ}](右側音色のオクターブシフトの設定)

[4-4 VcL.Octave ^{ボイスLオクターブ}](左側音色のオクターブシフトの設定)

設定範囲: -1、0、+1

基本設定: 音色の組み合わせごと

音程を1オクターブ上下にシフトさせます。右側音色と左側音色別々に設定できます。弾く曲の音域などに応じて選んでください。

[4-5 VcR.EffDpt ^{ボイスRエフェクトデプス}](右側音色のエフェクトの深さの設定)

[4-6 VcL.EffDpt ^{ボイスLエフェクトデプス}](左側音色のエフェクトの深さの設定)

設定範囲: 0~20

基本設定: 音色の組み合わせごと

エフェクトの深さを右側音色と左側音色別々に設定します。エフェクトがOFF ^{オフ} のときは設定できません。(ファンクションモードに入ってからではエフェクトの種類を選ぶことができませんので、ファンクションモードを一度抜けてからエフェクトの種類を選んでください。)

[4-7 Sus.Pedal ^{サステインペダル}](ダンパーペダルの有効域の設定)

設定範囲: L、L+R、R

基本設定: L+R

ダンパーペダル効果を両音色にかけるか(=L+R) 左側音色にだけかけるか(=L) 右側音色にだけかけるか(=R)を設定します。

[4-8 ResetOK? ^{リセットOK?}](基本設定に戻す操作)

【 + /YES ^{イエス} 】を押すと上記すべての設定がその音色の組み合わせを持つ基本設定に戻ります。

ノート ショートカット操作...

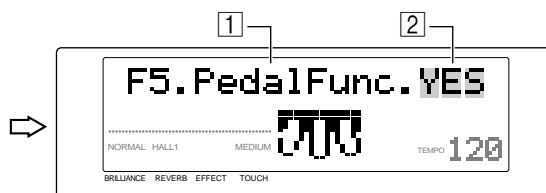
【 SPLIT ^{スプリット} 】を押したまま【 FUNCTION ^{ファンクション} 】を押すと直接ファンクションモードの[F4.SplitFunc.]画面に入ることができます。

この場合でも、ファンクションモードを抜けるには、通常の操作【 FUNCTION ^{ファンクション} 】を押す(ランプ消灯)が必要です。

[F5.PedalFunc.](ペダルの諸設定)

左ペダルの機能を【 START/STOP ^{スタート/ストップ} 】に切り替えたり、ダンパーペダルに関する設定ができます。

- 1 ファンクションモードに入り、大項目[F5.PedalFunc.]を選びます。



- 2 【 + /YES ^{イエス} 】を押して確定し、【 ◀ FUNCTION ▶ ^{ファンクション} 】で以下の小項目を選び、【 - /NO ^{ノー} 】【 + /YES ^{イエス} 】で設定します。

小項目

[5-1 L.Pedal ^{レフトペダル}](左ペダル機能の設定)

設定範囲: SOFT、START ^{ソフト} ^{スタート}

基本設定: SOFT ^{ソフト}

STARTにすると、パネルの【 START/STOP ^{スタート/ストップ} 】と同じ機能になります。

[5-2 Damper ^{ダンパー} 【ダンパーモードの設定）

設定範囲: SW, CONT
基本設定: CONT

右のペダル(ダンパーペダル)を踏み込むほど余韻が長くなる連続可変式(CONT)で使うか、オン/オフスイッチ式(SW)で使うかを設定します。

[5-3 DamperDpt ^{ダンパーデプス} 【共鳴効果の深さの設定）

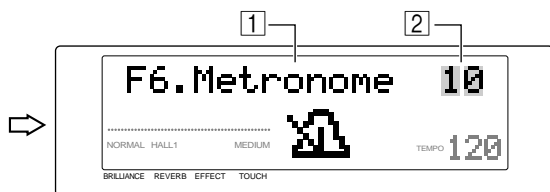
設定範囲: 0~20
基本設定: 12

ピアノ音色でダンパーペダルを踏んだときに加わる響板や弦の共鳴効果の深さを設定します。

[F6.Metronome ^{メトロノーム} 【メトロノーム音量の設定）

メトロノームの音量を設定します。

- 1 ファンクションモードに入り、大項目[F6.Metronome]を選びます。



- 2 【-/NO】【+/YES】で設定します。

設定範囲: 1~20
基本設定: 10

ノート ショートカット操作...

【METRONOME】を押したまま【FUNCTION】を押すと直接ファンクションモードの[F6.Metronome]画面に入ることができます。

この場合でも、ファンクションモードを抜けるには、通常の操作(【FUNCTION】を押す⇒ランプ消灯)が必要です。

[F7.DiskFunc. ^{ディスクファンクション} 【ディスクを使う操作と設定）

各種のディスクを使う操作/設定をします。

- ノート フロッピーディスクの取り扱いについて...

フロッピーディスクのご使用にあたっては注意事項がいくつかありますので、「フロッピーディスクの取り扱い」(P8)をお読みいただいでから、先に進んでください。

ファンクションモードに入る前に該当するディスクを本体のディスクドライブに差し込んでください。

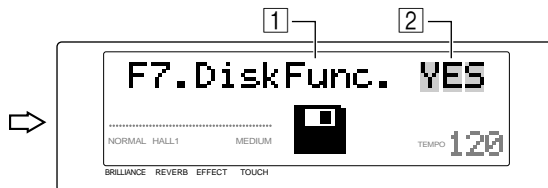
([7-5 TrackSel ^{トラックセレクト}] 【ディスクの再生トラック選択】だけはディスクが差し込まれていなくても操作できます。)

ノート

ファンクションモードに入った後でディスクを差し込むと、いったんファンクションモードを抜けてしまいます。この場合は、もう一度【FUNCTION】を押してファンクションモードに入ってください。

- ・ 操作中、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法がわからない場合は「メッセージ一覧」(P94)を参照してください。

- 1 ファンクションモードに入り、大項目[F7.DiskFunc.]を選びます。



- 2 【+/YES】を押して確定し、
【<】FUNCTION【>】で以下の小項目を選び、
再度【+/YES】で確定します。

そのあとは、小項目ごとに操作の流れに沿って、

- 3 【-/NO】【+/YES】で設定(または確定、実行、入力)
【<】FUNCTION【>】でページを移動、
の繰り返しですべての操作が行えます。

小項目

[7-1 Format ^{フォーマット}](ディスクのフォーマット)

フロッピーディスクをCLP-870用にフォーマットします。付属の録音用ディスクなどの未フォーマットのディスクや、異なるフォーマットのディスクのフォーマットについてはP70をご覧ください。

ここでの操作は、既にフォーマットされていて使用中のディスクを、すべてのデータを消去するために再フォーマットする場合の操作になります。

- 既にフォーマットされていて使用中のディスクを再フォーマットすると...

ディスクに記録されているデータがすべて消されます。ご注意ください。

操作

[F7.DiskFunc. YES] ⇒ 【+/YES】 ⇒ 【<】FUNCTION【>】
⇒ [7-1Format YES] ⇒ 【+/YES】
⇒ [Format OK? N/Y] ⇒ 【+/YES】
⇒ [フォーマット済(Format) ###] 【フォーマット実行中の画面)

本体内部でのフォーマットの進行状況が%表示されます。

⇒ フォーマット完了後「リセット(Completed)」が数秒表示されたあと自動的に「7-1Format YES」の画面に戻ります。

・フォーマットの種類...

CLP-870でフォーマットすると、2DDディスクは720KB(キロバイト) 2HDディスクは1.44MB(メガバイト)にフォーマットされます。(「2DD」「2HD」はディスクの種類を示す言葉、「720KB」「1.44MB」はデータの記憶可能容量を示す言葉ですが、フォーマットの種類を表すときに、このように言います。)

[7-2 FileCopy](曲ファイルのコピー)

CLP-870で録音した曲ファイルを別のファイルにコピーします。

同一ディスクのファイルにでも別ディスクのファイルにでもコピーできます。

・ディスクでなく本体メモリーに録音した曲についての注意...

本体メモリーに録音した曲がある場合は、コピー元が本体メモリーの曲に固定となり、それをディスクにコピーするまではディスクの曲のコピーは行えません。(コピー後は自動的に本体メモリーの曲は消されます。本体メモリーの曲をコピーせず消したい場合は、P74の「欄外注」の方法で削除してください。)

・ファイルとは...

あるデータのまとまりを一つの単位として保存したものをファイルと言います。

・曲ファイルとは...

曲データを曲番号単位で曲ファイルと言います。(CLP-870で録音する場合、1枚のディスクに最大60個の曲ファイルが持てます。)

操作

[F7.DiskFunc.YES] ➡ [+ /YES] ➡ [<] FUNCTION [>]

⇒ [7-2FileCopy YES] ➡ [+ /YES]

⇒ [From: ### *****]

➡ [1] この画面で [- /NO] [+ /YES] を使ってコピー元のファイル番号を選びます。

選択範囲: 1 ~ 60、(CLP)

(本体メモリーに録音した曲がある場合は、コピー元が本体メモリーの曲に固定となり「CLP」が表示されます。この場合、他のコピー元は選ばません。)

[2] FUNCTION [>] で次ページ [To: ## *****] に進み、[- /NO] [+ /YES] でコピー先のファイル番号を選びます。

選択範囲: 1 ~ 60、「1 DISK2」~「60 DISK2」

(別ディスクへのコピーの場合に「## DISK2」を選びます。)

[3] FUNCTION [>] で次ページ [Copy OK? N/Y] に進み、[+ /YES] を押しとコピーの実行が開始されます。([- /NO] を押しと前の画面に戻ります。)

[4] [待ちがサ(Working...)] の表示に変わります。

別ディスクへのコピーの場合、コピーするデータ量によって、コピーが完了するまでに何回かコピー元とコピー先のディスクを入れ替える必要がある場合があります。その回数に [待ちがサ(Working...)]

] のように表示され、その後 [ディスク交換 (Change Disk)] 2 または [ディスク交換 (Change Disk)] 1 の表示が現れますので、画面の指示に従ってディスクを入れ替えてください。(「2」の場合はコピー先のディスクに、「1」の場合はコピー元のディスクに入れ替えます。)

ノート コピーを実行すると...

コピー先にそれまであったデータは消されますのでご注意ください。

コピー先に指定したファイル番号にデータがある場合は、「##.ファイルがアリス(##.File Exists!)」が数秒表示されたあと「ツクサか? N/Y? Continue? N/Y」に変わります。コピーを続ける場合は [+ /YES] を、コピーを中止する場合は [- /NO] を押してください。

⇒ コピー完了後 [印刷済み (Completed)] が数秒表示されたあと自動的に [7-2FileCopy YES] の画面に戻ります。

[7-3 FileName](曲ファイル、セットアップファイル名の設定)

ファイルに名前を付けます。

ここで名前を付けなくても、自動で、曲ファイルの場合は

「SONG ### (##は曲ファイル番号) セットアップファイルの場合は「SET### (##はセットアップファイル番号) の名前が付けられますが、ここでオリジナルの名前を付けることができます。

・セットアップファイルとは...

CLP-870のパネルの設定状態一式のデータファイルです。(CLP-870で記録する場合、1枚のディスクに、曲ファイルとは別に最大60個のセットアップファイルが持てます。) セットアップデータをファイルとしてディスクに記録し保存する方法、そのファイルを本体へ読み込み再現する方法についてはファンクション小項目 [7-8 SetupData] セットアップデータの保存と再現 (P85) をご覧ください。

操作

[F7.DiskFunc.YES] ➡ [+ /YES] ➡ [<] FUNCTION [>]

⇒ [7-3FileName YES] ➡ [+ /YES]

⇒ [FileType SONG または FileType SETUP]

➡ [1] この画面で [- /NO] [+ /YES] を使って名前を付けるファイルの種類「SONG」ファイルか「SETUP」ファイルを選びます。

[2] FUNCTION [>] で次ページ [FileNo. ## *****] に進み、[- /NO] [+ /YES] で名前を付けるファイル番号を選びます。

選択範囲: 1 ~ 60

ファンクション
 [3] FUNCTION[▶]で次ページ ##: *****
 **]に進み、名前を入力します。
 ([◀]FUNCTION[▶]で入力位置を合わせ[- /
 NO] [+ /YES]でその位置の入力文字を選ぶ操
 作を繰り返します。)
 ・ 12文字まで入力できます。

文字の選択範囲

!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
0	9	:	:	<	=	>	?	@	A				Z	
[¥]	^	_	`	o		z	{		}			
(スペース)	ア		ホ	ウ	マ		ン							
ア	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	ー	「	」	。	、	、	、	、	、

画面が英語表示(P89)の場合は、カタカナは選
 べません。

ファンクション
 [4] FUNCTION[▶]を何回か押して、次のページ
 [Rename OK? N/Y]に進み、[+ /YES]で確定
 します。([- /NO]を押すと前の画面に戻ります。)

- ⇒ [eworking (Working...)] [書き込み中の画面]
- ⇒ 書き込み完了後 eworking (Completed) が数秒間表示
 されたあと、自動的に [7-3FileName YES]の画面に戻
 ります。

ファイルデリート
 [7-4 FileDel](曲ファイル、セットアップファイルの削除)
 CLP-870で録音した曲ファイルや、CLP-870のパネル状態の
 セットアップファイルを削除します。

操作

- ⇒ [F7.DiskFunc.YES] [+ /YES] [◀]FUNCTION[▶]
- ⇒ [7-4FileDel YES] [+ /YES]
- ⇒ [FileType SONG または
 FileType SETUP]

⇒ [1]この画面で [- /NO] [+ /YES]を使って削除す
 るファイルの種類「SONG」ファイルが「SETUP」
 ファイルを選びます。

⇒ [2] FUNCTION[▶]で次のページ FileNo. ## *****
 **]に進み、[- /NO] [+ /YES]で削除するフ
 ァイル番号を選びます。
 選択範囲: 1 ~ 60

ファンクション
 [3] FUNCTION[▶]で次のページ Delete OK? N/
 Y]に進み、[+ /YES]を押すと削除が実行されま
 す。([- /NO]を押すと前の画面に戻ります。)

- ⇒ [eworking (Working...)] [実行中の画面]
- ⇒ 削除完了後 eworking (Completed) が数秒表示された
 あと自動的に [7-4FileDel YES]の画面に戻ります。

・ ディスクでなく本体メモリーに録音した曲の削除...

この操作では削除できません。P74の「欄外注」の方法で削除
 します。

トラックセレクト
 [7-5 TrackSel](トラックの割り当て変更)

ディスクの曲を再生する際、CLP-870の [1/R] [2/L]

[3/ORCH]それぞれのトラックに、曲側の任意のトラック

(チャンネル)を割り当てることができます。

- ・ ディスクの曲のメロディトラック(チャンネル)を再生OFFし
 て自分で演奏したり歌ったりしたいとき、ディスクの曲のメロ
 デイトラックが1、2トラック以外のトラックだった場合、そのト
 ラックをCLP-870の1、2トラックに割り当てると、再生ON/
 OFFしやすくなり便利です。

操作

[F7.DiskFunc.YES] [+ /YES] [◀]FUNCTION[▶]

⇒ [7-5TrackSel YES] [+ /YES]

⇒ [1/R Ch##]

⇒ [1]この画面で [- /NO] [+ /YES]を使って [1/R]に
 割り当てるディスクの曲のトラック(チャンネル)を
 選びます。

選択範囲: 1 ~ 16

基本設定: 1

ファンクション
 [2] FUNCTION[▶]で次のページ 2/L Ch##]に進み、
 [- /NO] [+ /YES]で [2/L]に割り当てるディス
 クの曲のトラック(チャンネル)を選びます。

選択範囲: 1 ~ 16

基本設定: 2

ファンクション
 [3] FUNCTION[▶]で次のページ 3/ORCH
 #####]に進み、[- /NO] [+ /YES]で
 [3/ORCH]に割り当てるディスクの曲のトラック
 (チャンネル)を選びます。

選択範囲: OTHERS、1 ~ 16

基本設定: OTHERS

・ OTHERS...

[1/R] [2/L]に割り当てられている以外のすべてのトラッ
 クが割り当てられます。

ノート

- ・ 再生する市販ソフトによって、[1/R] [2/L]の基本設定が1、
 2トラック以外になる場合があります。
- ・ ここでの設定は同一曲内でのみ有効です。曲を切り替える
 と基本設定に戻ります。また、電源を入れたときは常に基本
 設定になります。
- ・ [3/ORCH]に1 ~ 16を割り当てた場合は、[1/R] [2/L]
 [3/ORCH]に割り当てられなかった残りのトラックも再生さ
 れます。この場合、割り当てられなかったトラックは
 「 [3/ORCH]の個別トラック再生ON/OFF (P69)で再生
 ON/OFFすることができます。

本
編

ピアノプレーヤ レジストレーション
[7-6 PP.Reg.] (録音データのピアノプレーヤ形式への登録)

レジストレーション (登録)
・ Reg. = Registration (登録)

CLP-870で録音した曲を、YAMAHA「ピアノプレーヤ」や「サイレントアンサンブルピアノ」で再生できるようにデータ形式を登録します。

【ノート】 ディスクでなく本体メモリーに録音した曲についての注意...

この機能を実行すると本体メモリーに録音した曲は消されます。この場合「CLP Songがアリアス (CLP Song Exists!)」が数秒表示されたあと「ツツ ｸｽｶ? N/Y (Continue? N/Y)」に変わります。登録を続ける場合は【+/YES】を、登録を中止する場合は【-/NO】を押してください。

また、本体メモリーに録音した曲をそのままピアノプレーヤ形式へ登録することはできません。本体メモリーに録音した曲をピアノプレーヤ形式へ登録したい場合は、いったん2DDのディスクにコピーし、コピーした曲を登録してください。

【ノート】 2DDディスクで行ってください...

この操作は、2DDのフロッピーディスクで行えます。2DD以外のディスクで行おうとすると、「2DDヲ ヲヨクテガ サイ 2HD Not Valid!」のメッセージが表示されます。

この場合、いったんデータを2DDのディスクにコピー (P82) し、コピーした2DDのディスクを使ってこの操作を行ってください。

操作

ディスクファンクション イエス ファンクション
[F7.DiskFunc.YES] ➡【+/YES】 ➡【◀】FUNCTION【▶】

ピアノプレーヤレジストレーション イエス
➡【7-6PP.Reg. YES】 ➡【+/YES】

ソング
➡【Song ## *****】

➡【1】この画面で【-/NO】【+/YES】を使って登録するファイル番号を選びます。

選択範囲: 1~60

ファンクション ピアノプレーヤ モード
【2】FUNCTION【▶】で次のページ PP Mode *** *]に進み【-/NO】【+/YES】で登録形式を選びます。(再生しようとする機種によって2種類の登録形式があります。)

ノーマル
選択範囲: NORM (=NORMAL)
MX (=MXシリーズ)

ノーマル
・ NORM (=NORMAL)
MXシリーズ以外のピアノプレーヤ及びサイレントアンサンブルピアノで再生するための登録形式です。

ノーマル
・ MX (=MXシリーズ)
ピアノプレーヤMXシリーズで再生するための登録形式です。

ファンクション レジスター ノー
【3】FUNCTION【▶】で次のページ Register OK? N/Y]に進み【+/YES】を押すと登録の実行が開始されます。(【-/NO】を押すと前の画面に戻ります。)

ワーキング
➡【ワキワキ サイ (Working...)】【実行中の画面】

➡登録完了後 ｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ
【ワキワキ サイ (Completed)】(##)が数秒表示されたあと自動的に【7-6PP.Reg. YES】の画面に戻ります。「(##)」は登録された先のファイル番号を示します。(登録先のファイル番号は空いているファイル番号の中から自動的に選ばれます。任意に指定することはできません。登録されたファイル名には自動的に「P」が付きます。)

・登録前の曲データは...

そのまま残ります。(消されることはありません。)

・登録後の曲に追加録音することはできません。
・登録後の曲をCLP-870で再生すると、1、2トラックの音が鳴りません。

エスエムエフ イーシーク イーシーク
[7-7 SMF ESEQ] (録音データのESEQフォーマットへの変換)

CLP-870で録音した曲 (SMFフォーマット) をESEQフォーマットへ変換します。CLP-870で録音した曲をESEQフォーマットのデータが再生できる機種で再生させたい場合に使います。

・音色配列も自動的にデフォルト音色配列に変換されます。

エスエムエフ イーシーク エックスジー ディーオーシー
・「SMF」ESEQ「XG音色配列」DOC音色配列...
「データの互換性について (P98) をご参照ください。」

【ノート】 ディスクでなく本体メモリーに録音した曲についての注意...

この機能を実行すると本体メモリーに録音した曲は消されます。この場合「CLP Songがアリアス (CLP Song Exists!)」が数秒表示されたあと「ツツ ｸｽｶ? N/Y (Continue? N/Y)」に変わります。変換を続ける場合は【+/YES】を、変換を中止する場合は【-/NO】を押してください。

また、本体メモリーに録音した曲をそのままに変換することはできません。本体メモリーに録音した曲を変換したい場合は、いったん2DDのディスクにコピーし、コピーした曲を変換してください。

・2DDディスクで行ってください...

この操作は、2DDのフロッピーディスクで行えます。2DD以外のディスクで行おうとすると、「2DDヲ ヲヨクテガ サイ 2HD Not Valid!」のメッセージが表示されます。この場合、いったんデータを2DDのディスクにコピー (P82) し、コピーした2DDのディスクを使ってこの操作を行ってください。

操作

ディスクファンクション イエス ファンクション
[F7.DiskFunc.YES] ➡【+/YES】 ➡【◀】FUNCTION【▶】

エスエムエフ イーシーク イエス
➡【7-7SMF ESEQ YES】 ➡【+/YES】

ソング
➡【Song ## *****】

➡ [1] この画面で【 - /NO】^{ノー}【 + /YES】^{イエス}を使って変換するファイル番号を選びます。

選択範囲: 1 ~ 60

[2] FUNCTION^{ファンクション} [▶] で次のページ^{コンバート} Convert OK? N/^{ノー} Y^{イエス}] に進み、【 + /YES】^{イエス}を押すと変換の実行が開始されます。(【 - /NO】^{ノー}を押すと前の画面に戻りません。)

⇨ [実行中 (Working...)] (実行中の画面)

⇨ 変換完了後 初まり^{コンプリート} (Completed) (##) が数秒表示されたあと自動的に [7-7SMF ESEQ YES] の画面に戻ります。「 (##) 」は変換された先のファイル番号を示します。(変換先のファイル番号は空いているファイル番号の中から自動的に選ばれます。任意に指定することはできません。変換されたファイル名には自動的に「 C 」が付きます。)

・ 変換前の曲データは...

そのまま残ります。(消されることはありません。)

・ 変換後の曲に追加録音することはできません。

・ 変換後の曲はCLP-870でも再生できます。

・ CLP-870本体で作成した曲をCVP-50/70/55/65/75、DOM-30で再生させたい場合...

以下の手順でÉSEQフォーマットへの変換を行ってください。

新しい2DDのディスクを用意し、CLP-870でフォーマットする。(P70)

CVP-50/70/55/65/75、DOM-30で再生させたい曲をフォーマットしたディスクにコピーする。(P82)

(コピー先の曲番号を選択する際には、空き番号を作らないように若い番号からつけてください。)

コピーしたディスクをCLP-870に差し込み、ÉSEQ変換を行う。

この手順で変換した場合、CVP-50/70/55/65/75、DOM-30では、曲ファイルとして認識される2つの管理ファイルが新たに作成されるため、変換された曲の曲番号はCLP-870本体で表示される番号に2を足したものになります。

[7-8 SetupData] (セットアップデータの保存と再現)

・ セットアップデータとは...

CLP-870のパネルの設定状態一式のデータです。

その内容は、「MIDIデータフォーマット」のP114(Panel Data 詳細)に掲載されています。

CLP-870のパネルの設定状態一式のデータをファイルとしてディスクに記録し保存します。保存したデータファイルを必要ときにCLP-870本体に読み込み再現します。

・ CLP-870で記録する場合、1枚のディスクに、曲ファイルとは別に最大60個のセットアップデータのファイルが持てます。

操作

(記録する場合はパネル設定を作ってから [7-8 SetupData] に入ります。)

[F7.DiskFunc.YES]^{ディスクファンクション} ➡ [+ /YES]^{イエス} ➡ [◀]^{ファンクション} FUNCTION [▶]

⇨ [7-8SetupData YES]^{セットアップデータ} ➡ [+ /YES]^{イエス}

⇨ [Setup SAVE]^{セットアップセーブ} または [Setup LOAD]^{セットアップロード}

➡ [1] この画面で【 - /NO】^{ノー}【 + /YES】^{イエス}を使ってファイル操作の種類(「SAVE (保存)」「LOAD (読み込み)」)を選びます。

➡ [2] FUNCTION^{ファンクション} [▶] で次のページ^{トウ} To: ## *****] または [From: ## *****] に進み、「SAVE」^{セーブ} (保存) の場合は保存先のファイル番号の確認、「LOAD (読み込み)」^{ロード} の場合は【 - /NO】^{ノー}【 + /YES】^{イエス} で読み込むファイル番号の選択を行います。

(「SAVE (保存) の場合は保存先のファイル番号は空いているファイル番号の中から自動的に選ばれます。任意に指定することはできません。)

選択範囲: 1 ~ 60 (「LOAD (読み込み) の場合)

[3] FUNCTION^{ファンクション} [▶] で次のページ^{セーブ} SAVE OK? N/Y] または [LOAD OK? N/Y]^{ロード} に進み、【 + /YES】^{イエス} を押すと「SAVE (保存) または「LOAD (読み込み)」が実行されます。(【 - /NO】^{ノー}を押すと前の画面に戻ります。)

⇨ [実行中 (Working...)] (実行中の画面)

⇨ 完了後 初まり^{コンプリート} (Completed) が数秒表示されたあと自動的に [7-8SetupData YES] の画面に戻ります。

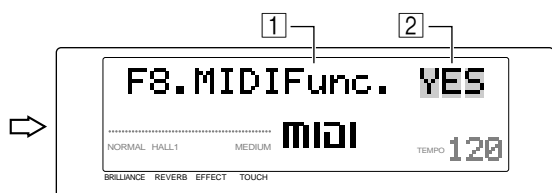
ミディ ファンクション ミディ [F8.MIDIFunc.] (MIDI機能の諸設定)

MIDIに関する各種設定/操作をします。
MIDIについての基礎的な解説が「MIDIについて」
(P98)にあります。ご参照ください。

ノート

MIDI端子を使う場合は、HOST SELECTスイッチをMIDIに設定してください。
TO HOST端子を使う場合は、HOST SELECTスイッチを、接続するコンピューターの種類に応じて、正しく設定してください。(P92～93)
ここでのMIDIに関する設定は、TO HOST端子での信号の入出力に対しても有効です。

- 1 ファンクションモードに入り、大項目[F8.MIDIFunc.]を選びます。



- 2 【 + / YES 】を押して確定し、【 ◀ FUNCTION ▶ 】で以下の小項目を選び、【 - / NO 】【 + / YES 】で設定します。

小項目

トランスミットチャンネル ミディ [8-1 TxCh.] (MIDI送信チャンネルの設定)

MIDI楽器どうして、演奏情報を送受信するためには送信側と受信側でMIDIチャンネル(1～16チャンネル)を合わせておく必要があります。ここでCLP-870からMIDIデータを送信するときのチャンネルを設定します。

選択範囲: 1～16、OFF(送信しない)
基本設定: 1

- ・デュアルのときの第2音色、スプリットのときの左側音色は...
ここで設定したチャンネルの次のチャンネルに固定です。(第1音色、右側音色は、ここで設定したチャンネルで送信されます。)ただし、上記設定チャンネルをOFFに設定した場合は送信されません。
- ・デモ曲/ピアノ50曲の再生データ、ディスクの曲の再生データはMIDI送信されません。

レシーブチャンネル [8-2 RxCh] (MIDI受信チャンネルの設定)

MIDI楽器どうして、演奏情報を送受信するためには送信側と受信側でMIDIチャンネル(1～16チャンネル)を合わせておく必要があります。ここでCLP-870がMIDIデータを受信するときのチャンネルを設定します。

選択範囲: ALL、1～16
基本設定: ALL

- ・ ALLの場合は...

「マルチティンバー」と呼ばれる仕様になっており、外部MIDI機器から送信される複数のチャンネルのデータを、同時にチャンネルごとに独立して受信します。
この状態で、シーケンサーなどから送信される複数のチャンネルを使って作られた演奏データを、CLP-870で受信して再生させることができます。

- ・ CLP-870では、CLP-870本体のパネル設定や手弾き音は、送信されてくるプログラムチェンジ 音色切り替え などのチャンネルメッセージから影響を受けません。
- ・ デモ曲/ピアノ曲モード中は、MIDI受信を行いません。

ローカル オン/オフ [8-3 Local] (ローカルコントロールON/OFFの設定)

通常、CLP-870の鍵盤を弾くと本体内部の「音源部」から音が出ます。この状態は「ローカルコントロールON」と呼ばれます。「ローカルコントロールをOFF」にすると「鍵盤」と音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもCLP-870からは音が出なくなります。一方、鍵盤を弾いた演奏情報はMIDI送信されますので、CLP-870では音を鳴らさずにMIDI接続した外部の音源を鳴らしたいときなどに、ローカルコントロールをOFFにします。

選択範囲: ON/OFF
基本設定: ON

プログラムチェンジ オン/オフ [8-4 PrgChg] (プログラムチェンジ送受信ON/OFFの設定)

MIDIで送信側の機器から受信側の機器の音色を切り替える情報をプログラムチェンジと言います。
たとえばCLP-870からプログラムチェンジを送信するとMIDI接続した外部機器の音色を切り替えることができます。
(CLP-870のパネル上で音色を切り替えたときに、切り替えた音色のプログラムチェンジナンバーが送信されます。)逆にMIDI接続した外部機器から送信されたプログラムチェンジをCLP-870が受信すると、同時に受信しているMIDIの演奏データの音色が切り替わります。(このとき鍵盤での手弾き音色は切り替わりません。)

このプログラムチェンジの送/受信ができたほうが便利な場合(=MIDI接続した外部機器と音色切り替えを連動させたい場合)と、できないほうが便利な場合(=MIDI接続した外部機器と音色切り替えを連動させたくない場合)があります。音色切替を連動させたい場合はONに、連動させたくない場合は、OFFにします。

- ・ CLP-870のプログラムチェンジナンバーは...

各音色のプログラムチェンジナンバーについては「音色一覧表 (P106) をご覧ください。

選択範囲: ON/OFF
基本設定: ON

[8-5 CtrlChg](コントロールチェンジ送受信ON/OFFの設定)

MIDIで送信側の機器から受信側の機器にダンパーペダルの操作やボリュームなどの演奏表現を伝える情報をコントロールチェンジと言います。

たとえばCLP-870からコントロールチェンジを送信するとMIDI接続した外部機器の演奏をコントロールすることができます。(CLP-870でダンパーペダルを操作をしたときなどにコントロールチェンジが送信されます。)逆にMIDI接続した外部機器から送信されたコントロールチェンジをCLP-870が受信すると、同時に受信しているMIDIの演奏データがそれに反応します。(このとき鍵盤での手弾き音は影響を受けません)

このコントロールチェンジの送/受信ができたほうが便利な場合と、できないほうが便利な場合があります。送/受信ができたほうが便利な場合はONに、できないほうが便利な場合は、OFFにします。

- CLP-870がコントロールチェンジとして扱える情報...
「MIDIデータフォーマット」のP112(3-1-6 CONTROL CHANGE)をご覧ください。

選択範囲: ON/OFF
基本設定: ON

[8-6 MIDITrans](MIDI送信データにトランスポーズをかける設定)

MIDI送信データにトランスポーズをかける設定です。(本体のトランスポーズの設定とは連動しません。)

選択範囲: -12 ~ 0 ~ +12(半音単位)
基本設定: 0

[8-7 SetupSend](セットアップデータのMIDI送信)

CLP-870のパネル設定状態のセットアップデータをMIDI接続したシーケンサーなどに送信します。

外部シーケンサーに演奏データを録音する際、演奏データの頭に、録音データを再生しながら自分で演奏するためのセットアップデータを送信して記録しておく、再生しながらの演奏の際、便利です。

- セットアップデータとは...
CLP-870のパネル設定状態一式のデータです。

操作

送信するパネル設定を作ります。

- ▶ シーケンサーなどとMIDI接続し、シーケンサー側のセットアップデータ受信準備を整えます。
- ▶ ファンクションモードに入って「8.7 SetupSend」を選びます。
- ▶ 【+/YES】を押すと送信が実行されます。

・送信される「セットアップデータ」の内容...

「MIDIデータフォーマット」のP114(Panel Data詳細)に掲載されている内容が送信されます。

・送信したデータの受信(送り戻し)方法...

データを送信した機器とCLP-870をMIDI接続します。

▶ データを送信した機器側で送信操作をします。

□> 自動的にCLP-870がそのデータを受信し、パネルの設定状態に反映されます。

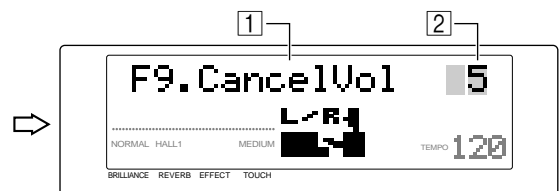
(送信した機種と同じ機種でだけ受信することができます。)

- セットアップデータのMIDI送受信の操作については、接続する外部機器の取扱説明書もご覧ください。

[F9.CancelVol](ピアノ50曲のパート再生OFF時の音量設定)

CLP-870に入っているピアノ50曲の再生時、再生をOFFにしたパートの音量を設定します。ガイドとして大きく鳴らしたい場合や小さく鳴らしたい場合、あるいはまったく音を鳴らしたくない場合とに応じて、音量を調節してください。

- 1 ファンクションモードに入り、大項目「F9.CancelVol」を選びます。



- 2 【-/NO】【+/YES】で設定します。

選択範囲: 0 ~ 20

基本設定: 5

- 【ノート】 この機能はディスクの曲の再生時には無効です。ディスクの曲の再生時には、再生をOFFにしたパート(トラック)の音量は0(音が出ない)に固定です。

バックアップ オン [F10.Backup] (バックアップON/ オフOFFの設定)

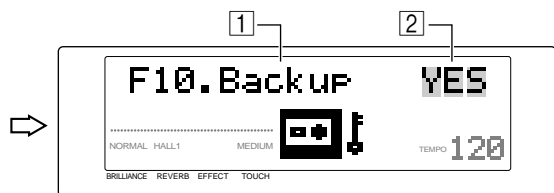
・バックアップとは...

メモリー(CLP-870本体内部の記憶装置)に記憶されている内容を電源を切っても消さずに残しておくことを言います。バックアップをONにしておくと、次回電源を入れたときにも前回の設定が有効になります。バックアップをOFFにしておくと、電源をOFFにした時点でメモリーの内容は消され、次回電源を入れたときには基本設定(=工場出荷時の設定)に戻ります。(基本設定一覧表がP??に掲載されています。)

- ・バックアップの設定をONにしても、電源をOFFにして約1週間以上過ぎると、バックアップされている内容が消え、すべての設定内容が基本設定(=工場出荷時の設定)に戻ってしまいます。したがって、バックアップされている内容を1週間以上保持したい場合は、少なくとも1週間以内に数分間は電源をONにしてください。

機能グループごと(以下の小項目ごと)にバックアップのON/OFFを設定します。

- 1 ファンクションモードに入り、大項目[F10.Backup] バックアップ を選びます。



- 2 [+ / YES] イエス を押して確定し、[◀ / FUNCTION ▶] ファンクション で以下の小項目を選び、[- / NO] ノー [+ / YES] イエス で設定します。

小項目

[10-1 Voice] ボイス (音色関連項目のバックアップ設定)

[10-2 MIDI] ミディ (MIDI関連項目のバックアップ設定)

[10-3 Tune] チューン (音程、音律関連項目のバックアップ設定)

[10-4 Pedal] ペダル (ペダル関連項目のバックアップ設定)

設定範囲: ON/OFF オン/オフ

基本設定: OFF (すべてのグループ) オフ

ただし、画面表示言語の設定 [F11.Language] ランゲージ (P89) ことでの「バックアップON/OFFの設定」自体は常にバックアップされます。

・各小項目の内容

[10-1 Voice] ボイス (音色関連項目のバックアップ設定)

- ・音色選択
- ・デュアルモードのON/OFF オン/オフと音色
- ・デュアルの諸設定 [F3.DualFunc.] デュアルファンクション の設定内容 (音色の組み合わせごと)
- ・スプリットモードのON/OFF オン/オフと音色
- ・スプリットの諸設定 [F4.SplitFunc.] スプリットファンクション の設定内容 (音色の組み合わせごと)
- ・リバーブの種類と深さ (音色ごと)
- ・エフェクトの種類と深さ (音色ごと)
- ・プリアンプの設定
- ・パリエーションのON/OFF オン/オフ (音色ごと)
- ・タッチの設定 (FIXED時の音量も含む) フィックス
- ・メトロノームの拍子と音量 (音量は [F6.Metronome] メトロノーム の設定内容)
- ・ピアノ50曲のパート再生OFF時の音量設定 [F9.Cancel キャンセル Vol] ボリューム の設定内容)

[10-2 MIDI] ミディ (MIDI関連項目のバックアップ設定)

MIDI機能の諸設定 ([F8.MIDIFunc.] ミディファンクション の設定内容) (「F8-7 セットアップデータのMIDI送信」を除く)

[10-3 Tune] チューン (音程、音律関連項目のバックアップ設定)

- ・トランスポーズの設定
- ・音程の微調整 [F1.Tune] チューン の設定)
- ・音律 (調律法) の種類と基音の設定 [F2.Scale] スケール の設定内容)

[10-4 Pedal] ペダル (ペダル関連項目のバックアップ設定)

- ・左ペダル機能の設定 [F5.PedalFunc.] ペダルファンクション の設定内容)
- ・ダンパーモードの設定 [F5.PedalFunc.] ペダルファンクション の設定内容)
- ・共鳴効果の深さの設定 [F5.PedalFunc.] ペダルファンクション の設定内容)

基本設定(=工場出荷時の設定)に戻すには...

いったん電源をOFFにし、右端の鍵盤(C7)を押したまま電源をONにします。

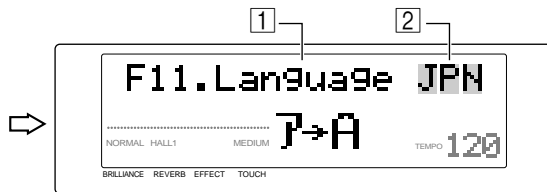
この操作でいつでも基本設定(=工場出荷時の設定)に戻すことができます。(「画面表示言語の設定 [F11.Language] ランゲージ (P89) ことでの「バックアップON/OFFの設定」も含めたすべての項目が基本設定に戻ります。)

基本設定一覧表がP104に掲載されています。

ランゲージ 【F11.Language】(画面表示言語の設定)

画面表示の言語(日本語、カタカナ、か英語)を切り替えます。

- 1 ファンクションモードに入り、大項目【F11.Language】^{ランゲージ}を選びます。



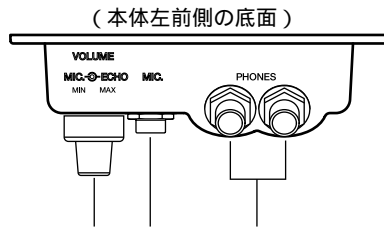
- 2 【- /NO】^{ノー}【+ /YES】^{イエス}で設定します。

選択範囲: ^{ジャパニーズ}JPN (=JAPANESE:日本語)
^{イングリッシュ}ENG (=ENGLISH:英語)

基本設定: ^{ジャパニーズ}JPN (=JAPANESE:日本語)

- ^{ジャパニーズ}JPN (=JAPANESE:日本語)の場合、下記の項目が日本語(カタカナ)で表示されます。
 - ^{エックスジェ}音色名(XG音色以外)
 - ピアノ50曲の曲名
 - 各種メッセージ(P94)

他の機器と接続する端子

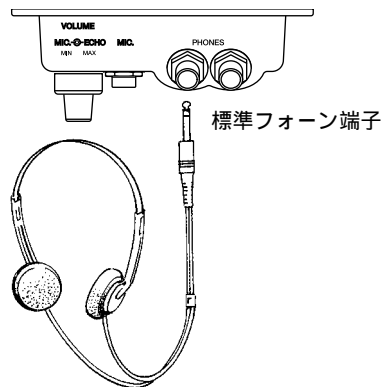


【VOLUME MIC./ECHO】つまみと 【MIC.】端子

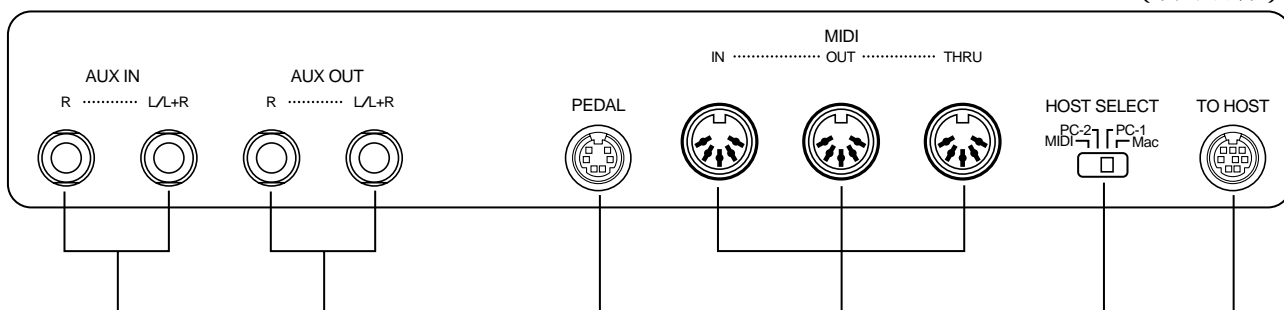
マイクを【MIC.】端子(標準フォン端子)に接続して、弾き語りやカラオケを楽しむことができます。マイクから入力された音声は、CLP-870のスピーカーから鳴ります。マイクのボリュームやエコーのかかり具合は、【VOLUME MIC./ECHO】つまみで調節します。内側のつまみがボリューム、外側のつまみがエコーです。

【PHONES】端子

ヘッドフォンを【PHONES】端子に接続して使います。ヘッドフォンを接続するとCLP-870のスピーカーからは音が出なくなります。また、【PHONES】端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して、2人で演奏を楽しむこともできます。(1本だけ接続する場合は、どちらの端子をご使用いただいても構いません。)



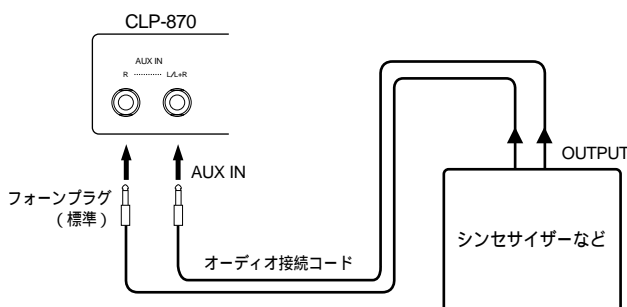
別売ヘッドフォン...
YAMAHAヘッドフォン HPE-160
(税別価格:5,500円)



AUX IN【R】L/L+R】端子

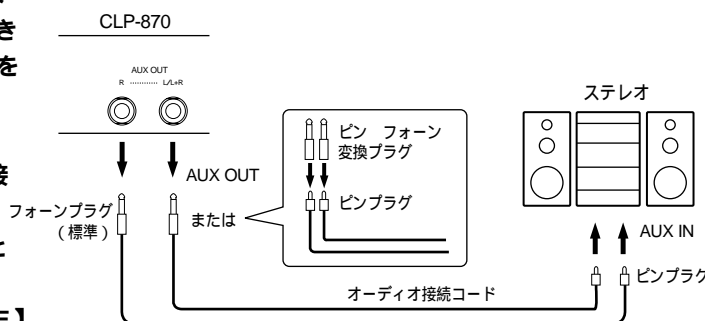
AUX OUT【R】L/L+R】端子

- **AUX IN【R】L/L+R】端子**
他の楽器や外部機器の音をCLP-870本体のスピーカーから出すことができます。オーディオ接続コードを使って図のように接続します。



- **AUX OUT【R】L/L+R】端子**

CLP-870をステレオなどに接続して、より大きな音を出したり、演奏を録音したりできます。オーディオ接続コードを使って図のように接続します。ステレオに接続したときは、CLP-870の【MASTER VOLUME】ではなく、ステレオ側で音量を調節してください。



⊗ AUX OUT から出力した音を、AUX IN に戻さないでください。(AUX OUT から外部オーディオ機器に接続した場合、その機器から再びCLP-870のAUX IN に接続しないでください。)
CLP-870のAUX IN から入力された音はそのままCLP-870のAUX OUTから出力されますので、オーディオ系の発振が起こり、正常な再生がなされないばかりでなく、両機器の故障の原因になります。

オーディオ接続コード及び変換プラグは抵抗のないものをお使いください。

AUX IN からの入力音にはCLP-870本体の【MASTER VOLUME】は効きますが、【REVERB】や【EFFECT】、【BRILLIANCE】は効きません。

CLP-870の【MASTER VOLUME】はAUX OUTからの出力音には効きません。

モノ入力、モノ出力には、AUX IN【L/L+R】、AUX OUT【L/L+R】をご使用ください。

PEDAL 端子

本体のペダルコードを接続します。
(P128からの「CLP-870の組み立て方」を参照してください。)

MIDI【IN】OUT】THRU】端子

MIDI接続専用のケーブルを使って外部MIDI機器と接続します。
MIDI端子を使う場合は下記HOST SELECTスイッチを「MIDI」に設定してください。
MIDI機能の諸設定が、ファンクション「F8. MIDIFunc.」(P86)で行えます。また、MIDIについての基礎的な解説を「MIDIについて」(P98)に掲載していますのでご参照ください。

HOST SELECTスイッチと【TO HOST】端子

【TO HOST】端子は...

パーソナルコンピューターに直接接続する端子です。

HOST SELECTスイッチは...

MIDI機器やパーソナルコンピューターを接続する場合に、機器やパーソナルコンピューターの種類に応じて切り替えるスイッチです。

詳しくは次項「パーソナルコンピューターとの接続」をご覧ください。

■ パーソナルコンピューターとの接続

パーソナルコンピューター用の音楽ソフトを、CLP-870の【TO HOST】^{トゥー ホスト} またはMIDI^{ミディ}端子とパーソナルコンピューターをつないで楽しむことができます。

CLP-870とコンピューターを接続する場合、2つの方法があります。

1. CLP-870の【TO HOST】^{トゥー ホスト}端子を使った接続方法
2. CLP-870のMIDI^{ミディ}端子を使った接続方法

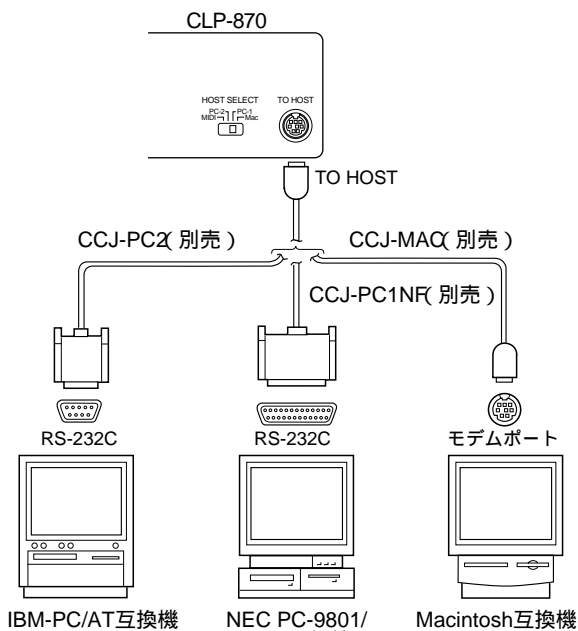
1. CLP-870の【TO HOST】^{トゥー ホスト}端子を使った接続方法

コンピューターのシリアルポートRS-232C端子やRS-422端子とCLP-870の【TO HOST】^{トゥー ホスト}端子を接続します。

この方法では、CLP-870をMIDI^{ミディ}インターフェース機器(コンピューターとMIDI^{ミディ}機器の仲立ちをする機器)として使用できるため、専用のMIDI^{ミディ}インターフェース機器は不要です。

接続方法

コンピューターのシリアルポートRS-232C端子やRS-422端子を、専用のシリアルケーブルで、CLP-870の【TO HOST】^{トゥー ホスト}端子に接続します。



Windows 3.1 / Windows 95をご使用のお客様へ
**コンピューターのシリアルポートとCLP-870の【TO HOST】^{トゥー ホスト}端子を接続して、データのやり取りをするためには、指定のMIDI^{ミディ}ドライバー(YAMAHA CBX-T3 Serial Driver)^{シリアル ドライバー}
 [Windows 3.1対応] または YAMAHA CBX Driver^{ドライバー}
 [Windows 95対応] をコンピューターにインストールする必要があります。
 MIDI^{ミディ}ドライバーについては、巻末の「クラビノーバインフォメーションセンター」にお問い合わせください。
 Windows 95対応のドライバーは、インターネットのヤマハホームページ(XGライブラリー <http://www.yamaha.co.jp/xg/>)から、ダウンロードして直接入手することもできます。**

接続するシリアルケーブルの種類

接続するコンピューターの種類に合わせて、下記のシリアルケーブルを使用してください。

- マッキントッシュ
Macintosh互換機: YAMAHA CCJ-Mac、または同等品
- エニージー ピーシー
NEC PC-9801/9821互換機:
YAMAHA CCJ-PC1NF、または同等品
- アイビーエム ピーシー/エーティ
IBM-PC/AT互換機: YAMAHA CCJ-PC2、または同等品
- パーソナルコンピューターによっては上記にあてはまらない場合もありますので、各シリアルケーブルの内部配線図(P93)とパーソナルコンピューターの端子形状によりご判断ください。

CLP-870のHOST SELECT^{ホスト セレクト}スイッチの設定

接続するパーソナルコンピューターの種類によって、CLP-870のHOST SELECT^{ホスト セレクト}スイッチを切り替えます。

- マッキントッシュ
Macintosh互換機:
【Mac】(ボーレート=31,250bps、1MHzのクロックを使用)
- エニージー ピーシー
NEC PC-9801/9821互換機:
YAMAHA CBX-T3 Serial Driver (Windows 3.1対応) をお使いの場合
【PC-1】(ボーレート=31,250bps)
YAMAHA CBX Driver (Windows 95対応) をお使いの場合
【PC-2】(ボーレート=38,400bps)
- アイビーエム ピーシー/エーティ
IBM-PC/AT互換機:
【PC-2】(ボーレート=38,400bps)

【ノート】 CLP-870の【TO HOST】^{トゥー ホスト}端子を使用する場合は、最初に、CLP-870とコンピューターの電源を切った状態でケーブルを接続し、その後コンピューター CLP-870の順番で、電源を入れてください。

【ノート】 CLP-870の【TO HOST】^{トゥー ホスト}端子を使用しない場合は、必ず【TO HOST】^{トゥー ホスト}端子からケーブルを抜いてください。ケーブルを接続したままだと、CLP-870が正常に動作しないことがあります。

【ノート】 画面に「ホストがオフライン(Host is Offline!)」と表示された場合は、コンピューターの電源が切れているか、ケーブルが正しく接続されていない、または、HOST SELECT^{ホスト セレクト}スイッチが正しく設定されていないか、コンピューター側のドライバーやMIDI^{ミディ}アプリケーションが正しく機能していません。この場合は、いったんCLP-870とコンピューターの電源を切り、ケーブルの接続、HOST SELECT^{ホスト セレクト}スイッチの設定を確認してください。その後、コンピューター CLP-870の順番で電源を入れ直し、コンピューター側のドライバーやMIDI^{ミディ}アプリケーションが正しく機能しているか確認してください。

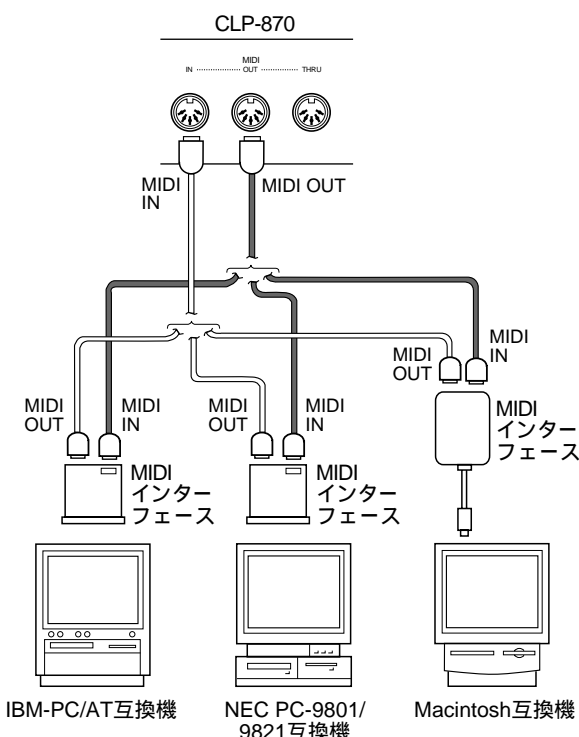
【ノート】 使用するソフトウェアの種類によって、上記の設定では動作しないものがあります。お使いになるソフトウェアの取扱説明書をよく読んで、適合するポーレートの位置にHOST SELECTスイッチを設定してください。

【ノート】 HOST SELECTスイッチを【PC-2】【PC-1】【Mac】に設定しているときは、【TO HOST】端子が使えますが、MIDI端子(【IN】【OUT】【THRU】共)は使えません。(MIDIデータを送受信しません。)逆に、HOST SELECTスイッチを【MIDI】に設定しているときは、MIDI端子(【IN】【OUT】【THRU】共)が使えますが、【TO HOST】端子は使えません。(データを送受信しません。)

2. CLP-870のMIDI端子を使った接続方法

接続方法

MIDIインターフェイス機器を通じてCLP-870のMIDI端子に接続します。専用のMIDIケーブルを使います。



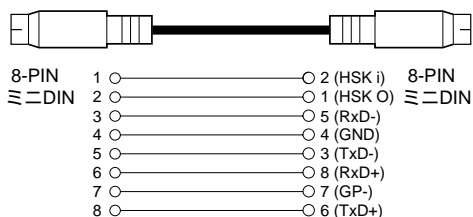
CLP-870のHOST SELECTスイッチの設定

CLP-870のHOST SELECTスイッチを【MIDI】に設定します。

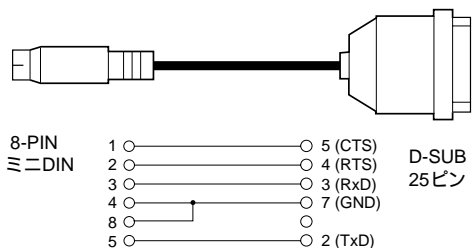
【ノート】 HOST SELECTスイッチを【MIDI】に設定しているときは、MIDI端子(【IN】【OUT】【THRU】共)が使えますが、【TO HOST】端子は使えません。(データを送受信しません。)逆に、HOST SELECTスイッチを【PC-2】【PC-1】【Mac】に設定しているときは、【TO HOST】端子が使えますが、MIDI端子(【IN】【OUT】【THRU】共)は使えません。(MIDIデータを送受信しません。)

シリアルケーブルの内部配線図

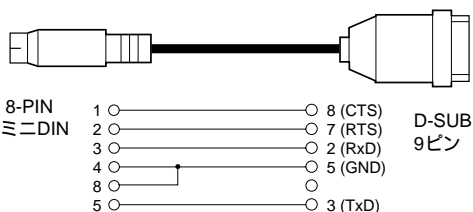
マッキントッシュ
 ・Macintosh互換機用
 システムベリフェラル 8ケーブル(YAMAHA CCJ-MACまたは同等品)



エヌシー ビシー
 ・NEC PC-9801/9821互換機用
 8ピンミニDIN D-SUB 25ピンケーブル(YAMAHA CCJ-PC1NFまたは同等品)

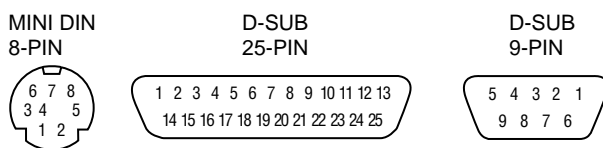


アイビーエム ビシーエーティ
 ・IBM-PC/AT互換機用
 8ピンミニDIN D-SUB 9ピンケーブル(YAMAHA CCJ-PC2または同等品)



・プラグのピン番号
 各プラグのピン番号は下記のとおりです。

オモテから見たピン番号



・パーソナルコンピューターによっては上記にあてはまらない場合もありますので上記各シリアルケーブルの内部配線図とパーソナルコンピューターの端子形状によりご判断ください。

Macintoshはアップルコンピュータ株式会社の商標です。
 PC-9801/9821は日本電気株式会社の商標です。
 IBM-PC/ATは、国際ナショナルビジネスマシーン株式会社の商標です。
 Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
 その他、本書に記載されている会社名及び商品名等は、各社の登録商標及び商標です。

CLP-870とコンピューターでお楽しみいただける音楽ソフトのご紹介

「Music ON! PC 楽器とつながろうMK-11W (Windows 95専用) ¥12,800(税別価格)

音楽ソフトやデータ集、楽器とコンピューターを接続するためのケーブルなど、必要なツールを一箱に収めた、コンピューターミュージックが手軽に始められるパッケージです。

「これからはじめる大人のピアノ (Windows 95専用) ¥18,000(税別価格)

初心者にも無理なく弾けるよう工夫された本格的なピアノ独習ソフト(CD-ROM)です。

【ノート】 ご購入に当たっては、カタログなどで、使用可能なコンピューター環境などをよくお確かめの上、お買い求めください。

メッセージ一覧

操作中、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味と対処の方法をここにまとめてあります。

ディスクがいっぱい(Disk Full!)

差し込まれているディスクに、これ以上データを入れることができない場合に表示されます。ディスク上にある不要なデータを削除するか、空き容量のある別のディスクを用意してもう一度操作してください。曲の録音中にこのメッセージが表示された場合は、自動的に録音がストップします。(それまでの演奏データは録音され、残ります。)

メモリーがいっぱい(Memory Full!)

CLP-870本体のメモリーに録音しているとき、メモリーがいっぱいになってこれ以上録音できなくなったときに表示されます。自動的に録音がストップします。(それまでの演奏データは録音され、残ります。)

フォーマットされていない(Unformatted Disk)

未フォーマットのディスクや異なるフォーマットのディスクを差し込んだときに表示されます。引き続き自動的にフォーマットを行う画面に移行しますので、フォーマットを行ってください。(フォーマットを行うとそれまでディスクに記録されていたデータはすべて消されますのでご注意ください。消されては困る場合はそのディスクを抜き、別のディスクを用意してください。)

- 別ディスクへのコピーのとき、コピー先のディスクがこのようなディスクだった場合は、このメッセージが表示されたあと、フォーマット画面に移行せず「7-2 FileCopy YES」の画面に戻るだけとなります。この場合は、【◀】FUNCTION【▶】7-1 Format YES【▶】に戻り、フォーマットしてください。

ディスクがありません(No Disk!)

ディスクを使用する操作のとき、ディスクがCLP-870本体のディスクドライブに差し込まれていない場合に表示されます。該当するディスクを差し込んで、操作し直してください。

保護されたディスク(Protected Disk!)

- ディスクのライトプロテクトタブが書き込み禁止の位置になっていることを示しています。ディスクをいったん抜き、書き込み可の位置にしてから再度挿入し、操作してください(P8)。
- ライトプロテクトタブが書き込み可の位置になっていてもこの表示が出る場合は、市販のディスクソフトなどで、データ保護のため内部的にプロテクト(保護)がかかっているディスクです。このようなディスクではフォーマットや録音、コピー(そのディスクから、またはそのディスクへのコピー)削除などができません。

保護された曲(Protected Song!)

ソフトや演奏データの種類によって、再録音やコピー、データ登録/変換操作ができないときなどに表示されます。別の曲を選び直すか、操作を中止してください。

CLP Songではありません(Not CLP Song!) 続いて 変換しますか? N/Y(Convert? N/Y)

CLP-870では他の機器で録音された曲に直接再録音できません。このメッセージは、その曲が他の機器で録音されたデータであるため、CLP-870の形式にデータを変換しないと再録音できないことを示しています。変換する場合は【+/YES】を、中止する場合は【-/NO】を押してください。(変換すると、変換前のデータは残りませんのでご注意ください。)

CLP Songが存在します(CLP Song Exists!) 続いて 削除しますか? N/Y(Delete OK? N/Y)

本体メモリーに録音したデータは、ディスク操作をしたときなどに、消えてしまうことがあります。そのような場合にこのメッセージが表示されます。消してもいい場合は【+/YES】、消したくない場合は【-/NO】を押してください。ただし、電源を切った場合は、メッセージは出ずに自動的に消されますのでご注意ください。

曲がありません(No Song!)

データのない曲をピアノプレーヤ形式へ登録、ESEQフォーマットへ変換しようとした場合などに表示されます。該当データのある曲を選び直し再操作してください。

ファイルがありません(No File!)

ファイルの削除やセットアップファイルの読み込み時、指定したファイルにデータがなかった場合などに表示されます。該当データのあるファイルを指定し直し再操作してください。

##.ファイルが存在します(##.File Exists!) 続いて 続けますか? N/Y(Continue? N/Y)

曲ファイルをコピーするとき、コピー先として指定したファイル番号に既にデータがあった場合に表示されます。コピーを続ける場合は【+/YES】を、中止する場合は【-/NO】を押します。(コピーを実行すると、コピー先にそれまであったデータは消されますのでご注意ください。)

ソング
CLP Songがアリス(CLP Song Exists!) 続いて
ツグケマスか? N/Y(Continue? N/Y)

録音データのピアノプレーヤ形式への登録やESEQフォーマットへの変換の際、本体メモリーに録音した曲があった場合に表示されます。登録や変換を続ける場合は【+/YES】を、中止する場合は【-/NO】を押します。(実行すると、本体メモリーに録音した曲は消されますのでご注意ください。)

2DDヲ ショウシテガ サイ(2HD Not Valid!)

ファンクションF7-6(録音データのピアノプレーヤ形式への登録) F7-7(録音データのESEQフォーマットへの変換)の操作は、2DDのフロッピーディスクでだけ行えます。2DD以外のディスクで行おうとしたとき、このメッセージが表示されます。この場合は、いったんデータを2DDのディスクにコピー(P8)し、コピーした2DDのディスクを使ってこの操作を行ってください。

ディスクエラー
ディスクエラー(Disk Error!)

他の機種の設定アップデータをロード(読み込み)しようとしたときに表示されます。CLP-870以外の機種の設定アップデータはロードできません。

そのほか、データのディスクへの書き込み中やディスクからの読み込み中に、データ上のエラーが発生したときに表示されます。この場合はもう一度操作し直してみてください。それでもエラーが起こる場合は、ディスクが壊れているかディスクドライブユニットの故障が考えられます。ディスクドライブユニットの故障と考えられる場合は、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に、修理をご依頼ください。

クリーンディスクヘッド
ヘッドがヨコレイマス(Clean Disk Head!)

CLP-870のディスクドライブのヘッドが汚れてきていることを示しています。市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」を使用してディスクヘッドを清掃してください。(P8)

ホスト イズ オフライン
ホストがツガ ッテイセ(Host is Offline!)

CLP-870をパーソナルコンピューターと接続してお使いの場合...

コンピューターの電源が切れているか、ケーブルが正しく接続されていない、または、HOST SELECTスイッチが正しく設定されていないか、コンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能していません。この場合は、いったんCLP-870とコンピューターの電源を切り、ケーブルの接続、HOST SELECTスイッチの設定を確認してください。その後、コンピューター CLP-870の順番で電源を入れ直し、コンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能しているか確認してください。

CLP-870を単独でお使いの場合...

CLP-870の「To Host」端子にケーブルが接続されたままになっていると、このメッセージが表示されることがあります。この場合は、CLP-870の電源を切った上でケーブルを抜き、再度電源を入れてください。ケーブルを接続したままだと、CLP-870が正常に動作しないことがあります。

メモリーヲ ショウキョシテイマス

基本設定(工場出荷時の設定)に戻す操作(右端の鍵盤[C7]を押したまま電源をON [P8])のときに表示される確認のメッセージです。

故障かな? と思ったら

現象	考えられる原因	解決法
CLP-870の電源が入らない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていません(本体側と家庭側)。	電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください。(P10)
【POWER】 ^{パワー} を押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」と音がする。	電気が流れたためです。	ご心配いりません。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	【MASTER VOLUME】 ^{マスター ボリューム} が下がっています。	【MASTER VOLUME】 ^{マスター ボリューム} を上げてください。(P10)
	ヘッドフォンが接続されています。	ヘッドフォンを抜いてください。(P10)
	ローカルコントロールがオフになっています。	ローカルコントロールをオンにしてください。(P86)
	曲の再生音量が下がっています。	曲の再生音量を上げてください。(P68)
ダンパーペダルが効かない、またはダンパーペダルを踏んでいないのに音が長く響いてしまう。	ペダルコードのプラグが【PEDAL】 ^{ペダル} 端子に差し込まれていません。	ペダルコードのプラグを【PEDAL】 ^{ペダル} 端子に確実に差し込んでください。(P129)
特定の音域でピアノ音色の音程、音質がおかしい。	ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音程や音域が異質に感じる場合があります。	異常ではありません。

ノート 「メッセージ一覧」(P94)もご参照ください。

付 録

ミディ MIDI及びデータの互換性について	P98
CLP-870で再生できる別売ディスクソフトのご紹介	P100
デモ曲 曲名一覧表	P102
付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクの内容一覧表	P103
基本設定一覧表	P104
音色のご紹介	P105
音色一覧表	P106
ドラムキット一覧表	P109
ミディ MIDIデータフォーマット	P111
ミディ MIDIインプリメンテーションチャート	P126
別売品のご紹介	P127
仕様	P127
CLP-870の組み立て方	P128
索引	P130
保証とアフターサービス	P131

MIDI及びデータの互換性について

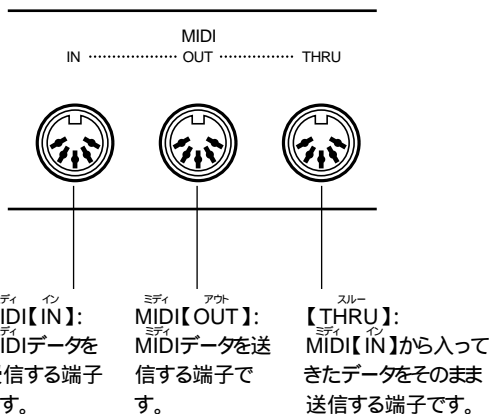
MIDIについて

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) とは、MIDI 端子を備えた MIDI 機器間で演奏データや命令を送受信しあうための、各種送受信データ形式についての統一規格です。

MIDI 機器間で MIDI データを送受信することにより、外部の MIDI 機器の演奏をコントロールしたり、外部の MIDI 機器から自機がコントロールされたりすることができます。

- ただし MIDI 機器でも、機種ごとに送受信できる MIDI データの内容が同じではないため、接続している MIDI 機器間で共通に扱えるデータや命令だけが送受信できることとなります。共通に扱えるデータや命令は、各機種の「MIDI インプリメンテーションチャート」を照合して調べることができます。CLP-870 の MIDI インプリメンテーションチャートは P126 に掲載されています。

MIDI 端子



MIDI ケーブルについて...

専用の MIDI ケーブルをご用意ください。

- ファンクション F8. MIDI Func. (P86) で各種の MIDI 設定が行えます。
- MIDI についての詳しい知識は、各種の音楽雑誌や書籍で得ることができます。

データの互換性について

ここでは、CLP-870 で録音したデータを他の MIDI 機器で再生できるかどうか、あるいはその逆の、市販のいろいろな種類のディスクソフトや、電子楽器などで録音したソングデータ、パーソナルコンピューターなどで作成したソングデータを CLP-870 で再生できるか、といった各種演奏データの互換性について考える上での、一般的な基礎知識の一端をご紹介します。

実際は、再生できる場合でも、そのまま再生できる場合、再生するためにいくつかの特殊な作業が必要となる場合など、再生する MIDI 機器やデータの特性により異なってきますので、事例ごとに、下記を参考にしてお考えください。

基本的な確認項目

下記項目について、演奏データと、再生する MIDI 機器が対応しているタイプが一致していないと再生できません。

- ディスクのフォーマット
- シーケンスフォーマット
- 音色配列フォーマット

ディスクのフォーマット

フロッピーディスクは、パーソナルコンピューターなどのいろいろな機器で、いろいろなデータの収納場所として使われます。その際、フロッピーディスクのデータの収納方式にはいくつかの種類があるため、その機器で対応している収納方式をフロッピーディスクに最初に指定する必要があります。(たとえば、白い紙に縦書きの線を入れるか横書きの線を入れるかというようなことです。)これが「フォーマット(初期化)する」ということです。

- フロッピーディスクには MF2DD (両面倍密度タイプ) と MF2HD (両面高密度タイプ) というタイプがあり、それぞれのタイプによってもフォーマット形式が異なってきます。
- CLP-870 では両タイプのフロッピーディスクを使って録音も再生もすることができます。
- CLP-870 でフロッピーディスクをフォーマットすると、2DD ディスクは 720KB (キロバイト)、2HD ディスクは 1.44MB (メガバイト) にフォーマットされます。(「720KB」「1.44MB」はデータの記憶可能容量を示す言葉ですが、フォーマットの種類を表すときに、このように言います。)
- 再生したいディスクのフォーマットと、再生したい MIDI 機器が対応しているディスクのフォーマットが一致していないと、再生できません。

シーケンスフォーマット

演奏データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットと言います。

- 再生したい演奏データのシーケンスフォーマットと、再生したいMIDI機器が対応しているシーケンスフォーマットが一致していないと、再生できません。

主なシーケンスフォーマットを紹介します。

エスエムエフ SMF (スタンダードMIDIファイル)

代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

- 一般的なSMFには「フォーマット(ゼロ)」と「フォーマット1」があります。
- 多くのMIDI機器が「SMFフォーマット(ゼロ)」に対応しています。また、市販のディスクソフトの多くが「SMFフォーマット(ゼロ)」で作られています。
- CLP-870は「SMFフォーマット(ゼロ)と1」に対応しています。(SMFフォーマット1の場合、17チャックまでのものに対応しています。)
- CLP-870で録音した演奏データは「SMFフォーマット(ゼロ)」になります。

イーシーク ESEQ

ヤマハの多くの機器やディスクソフトで採用されている代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

- CLP-870は「ESEQ」に対応しています。
- CLP-870で録音した演奏データを「ESEQ」に変換することもできます。(P84)

音色配列フォーマット

MIDIでは音色を番号で指定します。(プログラムナンバーと言います。)その番号の付け方(音色を並べる順番)の規格を「音色配列フォーマット」と言います。

- 再生したい演奏データの音色配列フォーマットと、再生したいMIDI機器が対応している音色配列フォーマットが一致していないと、音色が正しく再生されません。

主な音色配列フォーマットを紹介します。

ジーエム GMシステムレベル1 ()

代表的な音色配列フォーマットの1つです。

- 多くのMIDI機器が「GMシステムレベル1」に対応しています。また、市販のディスクソフトの多くが「GMシステムレベル1」で作られています。
- CLP-870は「GMシステムレベル1」に対応しています。

エックスジー XG ()

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマット「XGフォーマット」の音色配列です。

- CLP-870は「XG」に対応しています。
- CLP-870の「XG」音色を使って録音した演奏データは「XG」になります。

ディーオーシー ディスク オーケストラ コレクション DOC ()

クラビノーバをはじめとするヤマハの多くのMIDI機器で対応している音色配列です。ヤマハの別売ディスクソフト「ピアノアンサンブル」のDOCファイルなどで使われています。

- CLP-870は「DOC」に対応しています。
- CLP-870で録音した演奏データを「ESEQ」に変換すると、音色配列も自動的に「DOC」に変換されます。

これらの条件を満たしていても、機器の仕様や、演奏データの特長な作り方により、完全な互換性が実現できない場合もあります。

次項で「CLP-870で再生できる別売ディスクソフトのご紹介」を掲載しています。

CLP-870で再生できる別売ディスクソフトのご紹介

パッケージソフト

「ピアノ アンサンブル」

ファイルフォーマット:エックスジー・エスエムエフ XG/SMF、ディー・オー・シー・イー・シー・ク DOC/ESEQ、エックスジー・イー・シー・ク XG/ESEQ

ピアノ演奏データとバックオーケストラデータを収めたフロッピーディスク付きの楽譜集。
クラシック、ポピュラー、ジャズ、ファミリーの4ジャンル。
(発売: 榊ヤマミュージックメディア)



- CLP-870に付属の「ミュージックソフト・コレクション」のディスクに入っている「ピアノ アンサンブル」は、XG/SMFファイルのみを収録しています。

「ピアノ アソシエ」ディスク

ファイルフォーマット:エックスジー・エスエムエフ XG/SMF、ディー・オー・シー・イー・シー・ク DOC/ESEQ、エックスジー・イー・シー・ク XG/ESEQ

ピアノレッスンメソッド「ピアノ アソシエ」専用ディスク。
「ピアノ アソシエ」は、ディスクソフトを活用した、全4巻のヤマハオリジナルピアノレッスンメソッドです。ディスクにはXG/SMF、DOC/ESEQ、XG/ESEQの3種類(Vol. 1～3はDOC/ESEQ、XG/ESEQの2種類)のファイルが収録されています。楽譜は別売の「ピアノ アソシエ」を別途お問い合わせください。
(発売: ヤマハ㈱)



- CLP-870に付属の「ミュージックソフト・コレクション」のディスクに入っている「ピアノ アソシエ」は、XG/SMFファイルのみを収録しています。

「XGソングデータライブラリー」

ファイルフォーマット:エックスジー・エスエムエフ XG/SMF

幅広いラインナップと高い表現力のXG音源対応ソフト。
多彩なジャンルのソングデータが豊富に取り揃えられています。

コレクションシリーズ: TV&ムービー、ジャズ、クラシック、J-POP、Rock&Pops、World Music
アンサンブルシリーズ
(発売: ヤマハ㈱)



ミュージアム Mumaソフト

ミュージアム
Mumaとは、ヤマハ独自の音楽データ店頭販売システムです。

ミュージアム
店頭に設置されているMumaで、音楽データを、アルバム単位または自由選曲方式でお選びいただき、専用フロッピーディスクに収録してご購入いただけます。豊富な音楽データが取り揃えられています。



ミュージアム
「ピアノ アンサンブル」、「ピアノ アソシエ」はMumaではお買い求めいただけません。

月刊「Piano」掲載楽譜対応データ

エックスジーエスエムエフ デイオーシーイーシーク エックスジーイーシーク
ファイルフォーマット: XG/SMF、DOC/ESEQ、XG/ESEQ

最新のヒット曲がすぐ弾ける月刊「Piano」のマンズリーベスト5を収録したデータ。

エックスジーエスエムエフ デイオーシーイーシーク エックスジーイーシーク
XG/SMF、DOC/ESEQ、XG/ESEQの3種類のフォーマットが用意されていますが、CLP-870でお使いになる場合は、XG/SMFのデータをお買い求めください。楽譜は、別売の月刊「Piano」掲載楽譜が対応しています。

(毎月20日発売)



「ピアノソフト」

イーシーク
ファイルフォーマット: ESEQ(音色はピアノに固定)

ピアノ演奏のリスニングソフト。

内外の一流ピアニストの演奏や既存の楽譜に対応したソフトが収録されています。クラシック、ジャズ、ポピュラーなどの多彩なジャンル、豊富な曲数の中から選べます。(一部ご利用いただけないタイトルもあります。)

・「ピアノソフト」はフリーテンポ(P67、68)のソフトです。

「ピアノソフトプラス」

エックスジーイーシーク
ファイルフォーマット: XG/ESEQ

バック伴奏付き「ピアノソフト」。

ピアノにバックバンド/バックオーケストラなどの伴奏が付いたアンサンブルソフトです。リスニングからレッスン用まで幅広いジャンルからラインアップされています。

・「ピアノソフトプラス」はフリーテンポ(P67、68)のソフトです。

PCカラオケシリーズ「歌楽」

カラオケ用のソフト。

歌謡曲、演歌からお子様向けのナンバーまでご用意しています。(歌詞カードは付いていません。)

上記およびその他のディスクソフトについて詳しくは、ソフトカタログをご覧ください。

・ヤマハのディスクソフトのほかに、「データの互換性について」(P98)で説明したフォーマットに該当する、市販の多くのソフトがご利用いただけます。

デモ曲 曲名一覧表

デモ曲

音 色	曲 名	作曲者
GRAND PIANO(グランドピアノ)	幻想即興曲	F.F.Chopin
CLASSICAL PIANO(クラシカルピアノ)	エリーゼのために	L.v.Beethoven
JAZZ PIANO(ジャズピアノ)	オリジナル	-
ROCK PIANO(ロックピアノ)	オリジナル	-
E.PIANO 1(エレクトリックピアノ 1)	オリジナル	-
E.PIANO 2(エレクトリックピアノ 2)	オリジナル	-
HARPSICHORD(ハーpsiコード)	ガボット(フランス組曲3番より)	J.S.Bach
STRINGS(ストリングス)	アイネクライネナハトムジーク第3楽章	W.A.Mozart
PIPE ORGAN(パイプオルガン)	トリオソナタ第3番	J.S.Bach
JAZZ ORGAN(ジャズオルガン)	オリジナル	-
BASS(ベース)	オリジナル	-
XG(エックスジー)	オリジナル	-

付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクの内容一覧表

付属の「ミュージックソフト・コレクション」ディスクの内容一覧表

ガイダンス編対応曲	作曲者・演奏者	ジャンル	ソフト名	ソフトのタイトル	品番
1 メヌエット G dur	J.S.Bach	クラシック	ピアノアンサンブル	バッハ:メヌエット長調/ガボット/平均律第一巻第一番 プレリュード	GAC363610
2 月光(GRAND PIANO)	L.v.Beethoven		(オリジナル)		
3 ピース・オブ・マイ・ウィッシュ(E. PIANO1)	上田知華		(オリジナル)		
4 イ/バネマの娘(E. PIANO2)	A.C.Jobim		(オリジナル)		
5 主人の望みの喜びよ(HARPSICHORD)	J.S.Bach		(オリジナル)		
6 トラのテーマ(STRINGS)	M.Steiner		(オリジナル)		
7 もみの木(PIPE ORGAN)	Traditional		(オリジナル)		
8 オール・オブ・ミー(JAZZ ORGAN)	G.Marks		(オリジナル)		
9 オール・オブ・ミー(BASS)	G.Marks		(オリジナル)		
10 ロンドンデリーの歌(デュアルで弾く)	Traditional		(オリジナル)		
11 枯葉(スプリットで弾く)	J.Kosma		(オリジナル)		
12 きらきらばし(L/R録音)	Traditional		(オリジナル)		
13 ロング・ロング・アゴー(連弾録音)	T.H.Bayly		(オリジナル)		
音のカタログ(レーズ集)					
14 月の光(ドビュッシー)	C.A.Debussy	クラシック	ピアノアンサンブル	亜麻色の髪の乙女/月の光	GAC363320
15 別れの曲(ショパン)	F.Chopin	クラシック	ピアノアンサンブル	別れの曲/ノクターン	GAC363330
16 ノクターン(ショパン)	F.Chopin	クラシック	ピアノアンサンブル	別れの曲/ノクターン	GAC363330
17 ジュトウヴ(サティ)	E.Satie	クラシック	ピアノアンサンブル	ジュトウヴ/ジムノペディ第1番	GAC363340
18 ジムノペディ第1番(サティ)	E.Satie	クラシック	ピアノアンサンブル	ジュトウヴ/ジムノペディ第1番	GAC363340
19 花の歌(ランゲ)	G.Lange	クラシック	ピアノアンサンブル	花の歌/荒野のバラ	GAC363530
20 我が心のジョージア	Hoagy Carmichael & Stuart Gorrell	ジャズ	ピアノアンサンブル	サテン・ドール/我が心のジョージア	GAC363350
21 サテン・ドール	Duke Ellington, Billy Strayhorn & John H. Mercer	ジャズ	ピアノアンサンブル	サテン・ドール/我が心のジョージア	GAC363350
22 恋人よ我に帰れ	Sigmund Romberg	ジャズ	ピアノアンサンブル	恋人よ我に帰れ/素敵なあなた	GAC363360
23 テイク・ファイブ	Paul Desmond	ジャズ	ピアノアンサンブル	テイク・ファイブ/レット・アローン	GAC363370
24 レフト・アローン	Billie Holiday & Mal Waldron	ジャズ	ピアノアンサンブル	テイク・ファイブ/レット・アローン	GAC363370
25 夜も昼も	Cole Porter	ジャズ	ピアノアンサンブル	酒とバラの日々/ナイト・アンド・デイ	GAC363540
26 酒とバラの日々	Henry Mancini	ジャズ	ピアノアンサンブル	酒とバラの日々/ナイト・アンド・デイ	GAC363540
27 ルパン三世のテーマ	大野雄二	ファミリー	ピアノアンサンブル	ルパン三世のテーマ/サバンナを越えて	GAC363420
28 ムーンライト伝説(美少女戦士セーラームーンより)	小諸鉄矢, 小川真興	ファミリー	ピアノアンサンブル	ムーンライト伝説/セーラースター・ソング	GAC363430
29 おもちゃのチャチャチャ	越部信義	ファミリー	ピアノアンサンブル	おもちゃのチャチャチャ/おはなしゆびさん/いぬのおまわりさん	GAC363410
30 いぬのおまわりさん	大中恵	ファミリー	ピアノアンサンブル	おもちゃのチャチャチャ/おはなしゆびさん/いぬのおまわりさん	GAC363410
31 ジングル・ベル	J.S.Pierpont	ファミリー	ピアノアンサンブル	ジングル・ベル/もろびとこぞりて/クリスマスあめでとう	GAC363520
32 とんぼのトトロ	久石 譲	ファミリー	ピアノアンサンブル	とんぼのトトロ/さんぽ	GAC363550
33 さんぽ	久石 譲	ファミリー	ピアノアンサンブル	とんぼのトトロ/さんぽ	GAC363550
34 トップ・オブ・ザ・ワールド(カーペンターズ)	Richard Carpenter & John Bettie	ポピュラー	ピアノアンサンブル	ホテル・カリフォルニア/トップ・オブ・ザ・ワールド	GAC363380
35 明日に架ける橋(サイモン&ガーファンクル)	Paul Simon	ポピュラー	ピアノアンサンブル	若葉のころ/明日に架ける橋	GAC363390
36 ユア・ソング(エルトン・ジョン)	Elton John	ポピュラー	ピアノアンサンブル	イフ/ユア・ソング	GAC363400
37 ゴッド・ファーザーより愛のテーマ	Nino Rota	ポピュラー	ピアノアンサンブル	ゴッド・ファーザーより愛のテーマ/ムーン・リバー	GAC363440
38 マリア サウンド・オブ・ミュージックより)	Richard Rodgers	ポピュラー	ピアノアンサンブル	私のお気に入り/マリア	GAC363450
39 ホール・ニュー・ワールド(アラジンより)	Alan Menken	ポピュラー	ピアノアンサンブル	ホール・ニュー・ワールド/愛を感じて	GAC363460
40 LOVE LOVE LOVE(DREAM COME TRUE)	中村正人	ポピュラー	ピアノアンサンブル	LOVE LOVE LOVE/ROMANCE	GAC363470
41 I LOVE YOU	尾崎豊	ポピュラー	ピアノアンサンブル	I LOVE YOU/Missing	GAC363480
42 秋桜(山口百恵)	さだまさし	ポピュラー	ピアノアンサンブル	なごり雪/秋桜	GAC363490
43 ANNIVERSARY - 無限にCALLING YOU -	松任谷由実	ポピュラー	ピアノアンサンブル	ANNIVERSARY/守ってあげたい	GAC363500
44 LA・LA・LA LOVE SONG	久保田利伸	ポピュラー	ピアノアンサンブル	LA・LA・LA LOVE SONG/Close To You	GAC363510
45 思い出のサンフランシスコ	George Cory	ポピュラー	ピアノアンサンブル	思い出のサンフランシスコ/エデンの東/マイ・ウェイ	GAC363570
46 すべてをあなたに	G. Goffin / M. Masser	ジャズ・ポピュラー	ピアノソフト	新ハート・ヒストリー・ソング・アルバム	GXP910354
47 トロのうた	R. Rodgers	ジャズ・ポピュラー	ピアノソフト	物語・初・ミュージック	GXP910381
48 ムーン・リバー	H. Mancini	ジャズ・ポピュラー	ピアノソフト	旅のイメージ・リミックス / New York - 林好子	GXP910420
49 炎のフナー	E. Papathanassiou	ジャズ・ポピュラー	ピアノソフト	旅のイメージ・リミックス / 地中海風 - 木々 体愛の世界旅行	GXP910428
50 バレノワ	S. Burke / P. Lee	ジャズ・ポピュラー	ピアノソフト	★ビュッ・ア・リ・エ・ル・ソング・ディ・イ・ニ	GXP910617
51 イッツ・ア・モーター・ワールド	R. Sherman	ジャズ・ポピュラー	ピアノソフト	★ビュッ・ア・リ・エ・ル・ソング・ディ・イ・ニ	GXP910617
52 舞踏会(ヴェルニー・リトルピアニストNo.7)	C. Czerny	ピアノソシエ	ピアノソシエ	ピアノソシエVol.1	VD5091
53 バンドの行進(スタン・ピアノソロ レベル3より)	J. Bastin & J.S. Bastin	ピアノソシエ	ピアノソシエ	ピアノソシエVol.2	VL502D
54 スター・ウォーズのテーマ	J. Williams	TV&ムービーコレクション	XGソングデータライブラリー	ジョン・ウィリアムス セレクション	YSA-101
55 セント・トーマス(ソニー・ロジャーズ)	Sonny Rollins	ジャズコレクション	XGソングデータライブラリー	モダン・ジャズ・オリエンテーションVol.1	YSB-104
56 愛の喜び(クライスラー)	F. Kreisler	クラシックコレクション	XGソングデータライブラリー	ピアノによるクラシック・マスターピース1	YSC-520
57 Body Feels EXIT(安室奈美恵)	小室哲哉	J-POPコレクション	XGソングデータライブラリー	J-POP EXPRESS Dec. '95 Part2	YSD-211
58 Who's Crying Now	S. Perry, J. Cain	Rock&Popsコレクション	XGソングデータライブラリー	Melodies for Lovers Vol.5	YSE-138
59 涙(アントニオ・カルロス・ジョビン)	Antonio Carlos Jobim	WorldMusicコレクション	XGソングデータライブラリー	ボサノヴァ / イバネマの娘	YSF-201
60 テイク・ミー(カシオペア)	野呂一生	ジャズアンサンブル	XGソングデータライブラリー	CASIOPEA Perfect Copy Vol.1	YSH-101

基本設定一覧表

基本設定(=工場出荷時の設定)を一覧にしました。

	基本設定	バックアップグループ
音色選択	GRAND PIANO	F10.1
デュアル機能	OFF	
スプリット機能	OFF	
スプリット左側音色	BASS	
リバーブの種類	音色ごと	
リバーブの深さ	音色ごと	
エフェクトの種類	音色ごと	
エフェクトの深さ	音色ごと	
ブリリアンス	NORMAL	
タッチの種類	MEDIUM	
タッチがFIXEDのときの音量	64	
メトロノーム	OFF	-
メトロノームの拍子	α(無拍子)	F10.1
テンポ	120	-
トランスポーズ	0	F10.3

「-」の項目はバックアップはありません。

ファンクションの基本設定

		基本設定	バックアップグループ
F1.	音程	A3=440Hz	F10.3
F2.1	音律	EQ(平均律)	
F2.2	基音	C	
F3.1	デュアル 音量バランス	音色の組み合わせごと	F10.1
F3.2	デュアル 音程のずらし方の設定	音色の組み合わせごと	
F3.3、F3.4	デュアル オクターブ設定	音色の組み合わせごと	
F3.5、F3.6	デュアル エフェクトの深さ	音色の組み合わせごと	
F4.1	スプリット ポイント	F#2	
F4.2	スプリット 音量バランス	音色の組み合わせごと	
F4.3、F4.4	スプリット オクターブ設定	音色の組み合わせごと	
F4.5、F4.6	スプリット エフェクトの深さ	音色の組み合わせごと	
F4.7	スプリット ダンパーペダルの有効域	L + R	F10.4
F5.1	左ペダル機能	SOFT(ソフトペダル)	
F5.2	ダンパーモード	CONT(連続可変式)	
F5.3	共鳴効果の深さ	12	F10.1
F6.	メトロノーム音量	10	
F7.5	トラック割り当て	【1/R】:1、【2/L】:2、【3/ORCH】:OTHERS	-
F8.1	MIDI送信チャンネル	1	F10.2
F8.2	MIDI受信チャンネル	ALL	
F8.3	ローカルコントロール	ON	
F8.4	プログラムチェンジ送受信	ON	
F8.5	コントロールチェンジ送受信	ON	
F8.6	MIDIトランスポーズ量	0	
F9.	ピアノ50曲のパート再生OFF時の音量	5	F10.1
F10.	バックアップの設定	すべてOFF	*
F11.	画面表示言語の設定	JPN(日本語)	

「*」の項目は常にバックアップされます。

「-」の項目はバックアップはありません。

音色のご紹介

GRAND PIANO(グランドピアノ)



豊かに広がるグランドピアノの音。
クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲
にも合います。

CLASSICAL PIANO(クラシカルピアノ)



明るさを押さえたしっとりとしたピアノの音です。

JAZZ PIANO(ジャズピアノ)



明るく張りのあるピアノの音。
アンサンブルの中でも引き立つ音です。

ROCK PIANO(ロックピアノ)



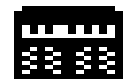
強いタッチの激しい音。
ロックなどを弾くのに最適です。

E. PIANO1(エレクトリックピアノ1)



シンセサイザー^{ディーエックス}DXのエレピの音。
弾いた瞬間の金属的な固い音が特徴的です。

E. PIANO2(エレクトリックピアノ2)



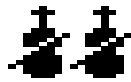
やわらかな音色のエレピの音。
強く弾くと芯のある音がします。

HARPSICHORD(ハーpsiコード)



バロック音楽などでよく使われる楽器「ハーpsi
コード」の音。
「チェンバロ」ともいいます。

STRINGS(ストリングス)



大編成弦楽器アンサンブルの音。
【VARIATION】を押すと、ピアノとのデュアルに
最適な立ち上がりの遅い音になります。

PIPE ORGAN(パイプオルガン)



重厚なフルパイプオルガンの音。
大聖堂を思わせるきらびやかな音です。

JAZZ ORGAN(ジャズオルガン)



ジャズオルガンの音。
【VARIATION】^{バリエーション}を押すと、ロータリースピーカーの
効果を切り替えることができます。

BASS(ベース)



アップライトベースの音。
ジャズやラテン音楽など幅広いジャンルの音楽
が楽しめます。

上記クラビノーバ音色に加え、492種類(480音色 + 12ドラムキッ
ト)のXG^{モックスジ}音色をお楽しみいただけます。



音色一覧表

グループ	番号	音色名	バンク		プログラム チェンジナンバー	
			MSB#	LSB#		
Panel音色 (Normal)		Grand Piano(グランドピアノ)	0	112	0	
		Classical Piano(クラシックピアノ)	0	114	0	
		Jazz Piano(ジャズピアノ)	0	112	1	
		Rock Piano(ロックピアノ)	0	114	1	
		E.Piano1(エレクトリックピアノ1)	0	112	5	
		E.Piano2(エレクトリックピアノ2)	0	112	4	
		Harpischord(ハーピシオード)	0	112	6	
		Strings(ストリングス)	0	112	48	
		Pipe Organ(パイプオルガン)	0	112	19	
		Jazz Organ(ジャズオルガン)	0	112	16	
		Acoustic Bass(アコースティックベース)	0	112	32	
	Panel音色 (Variation)		Grand Piano(グランドピアノ)	0	113	0
			Classical Piano(クラシックピアノ)	0	115	0
		Jazz Piano(ジャズピアノ)	0	113	1	
		Rock Piano(ロックピアノ)	0	115	1	
		E.Piano1(エレクトリックピアノ1)	0	112	88	
		E.Piano2(エレクトリックピアノ2)	0	118	4	
		Harpischord(ハーピシオード)	0	115	6	
		Strings(ストリングス)	0	113	49	
		Pipe Organ(パイプオルガン)	0	113	19	
		Jazz Organ(ジャズオルガン)	0	113	16	
		Acoustic Bass(アコースティックベース)	0	114	32	
XG		1	GrandPno	0	0	0
		2	GrndPnoK	0	1	0
	3	MelloGrP	0	18	0	
	4	PianoStr	0	40	0	
	5	Dream	0	41	0	
	6	BritePno	0	0	1	
	7	BritPnoK	0	1	1	
	8	ElGrand	0	0	2	
	9	ElGrPnoK	0	1	2	
	10	Det.CP80	0	32	2	
	11	LayerCP1	0	40	2	
	12	LayerCP2	0	41	2	
	13	HnkyTonk	0	0	3	
	14	HnkyTnkK	0	1	3	
	15	E.Piano1	0	0	4	
	16	El.Pno1K	0	1	4	
	17	MelloEP1	0	18	4	
	18	Chor.EP1	0	32	4	
	19	HardElP	0	40	4	
	20	VX El.P1	0	45	4	
	21	60sEl.P1	0	64	4	
	22	E.Piano2	0	0	5	
	23	El.Pno2K	0	1	5	
	24	Chor.EP2	0	32	5	
	25	DX Hard	0	33	5	
	26	DXLegend	0	34	5	
	27	DX Phase	0	40	5	
	28	DX+Analg	0	41	5	
	29	DXKotoEP	0	42	5	
	30	VX El.P2	0	45	5	
	31	Harpsi.	0	0	6	
	32	Harpsi.K	0	1	6	
	33	Harpsi.2	0	25	6	
	34	Harpsi.3	0	35	6	
	35	Clavi	0	0	7	
	36	Clavi K	0	1	7	
	37	ClaviWah	0	27	7	
	38	PulseClv	0	64	7	
	39	PierceCl	0	65	7	
	40	Celesta	0	0	8	
	41	Glocken	0	0	9	
	42	MusicBox	0	0	10	
	43	Orgel	0	64	10	
	44	Vibes	0	0	11	
	45	Vibes K	0	1	11	
	46	HardVibe	0	45	11	
	47	Marimba	0	0	12	
	48	MarimbaK	0	1	12	
	49	SineMrb	0	64	12	
	50	Balimba	0	97	12	
	51	Log Drum	0	98	12	
	52	Xylophon	0	0	13	
	53	TubulBel	0	0	14	
	54	ChrChBel	0	96	14	
	55	Carillon	0	97	14	
	56	Dulcimer	0	0	15	
	57	Dulcimer2	0	35	15	
	58	Cimbalom	0	96	15	
	59	Santur	0	97	15	
	60	DrawOrgn	0	0	16	
	61	DetDrwOr	0	32	16	
	62	60sDrOr1	0	33	16	
	63	60sDrOr2	0	34	16	
	64	70sDrOr1	0	35	16	
	65	DrawOrg2	0	36	16	
	66	60sDrOr3	0	37	16	
	67	EvenBar	0	38	16	
	68	16+2'2/3	0	40	16	

グループ	番号	音色名	バンク		プログラム チェンジナンバー
			MSB#	LSB#	
XG	69	Organ Ba	0	64	16
	70	70sDrOr2	0	65	16
	71	CheezOrg	0	66	16
	72	DrawOrg3	0	67	16
	73	PercOrgn	0	0	17
	74	70sPcOr1	0	24	17
	75	DetPrcOr	0	32	17
	76	Lite Org	0	33	17
	77	PercOrg2	0	37	17
	78	RockOrgn	0	0	18
	79	RotaryOr	0	64	18
	80	SloRotar	0	65	18
	81	FstRotar	0	66	18
	82	ChrChOrg	0	0	19
	83	ChurOrg3	0	32	19
	84	ChurOrg2	0	35	19
	85	NotreDam	0	40	19
	86	OrgFlute	0	64	19
	87	TrmOrgFl	0	65	19
	88	ReedOrgn	0	0	20
	89	Puff Org	0	40	20
	90	Acordion	0	0	21
	91	AccordIt	0	32	21
	92	Harmnica	0	0	22
	93	Harmo. 2	0	32	22
	94	TangoAcd	0	0	23
	95	TngoAcd2	0	64	23
	96	NylonGtr	0	0	24
	97	NylonGt2	0	16	24
	98	NylonGt3	0	25	24
	99	VelGtHrm	0	43	24
	100	Ukulele	0	96	24
	101	SteelGtr	0	0	25
	102	SteelGt2	0	16	25
	103	12StrGtr	0	35	25
	104	Nyln&Stl	0	40	25
	105	Stl&Body	0	41	25
	106	Mandolin	0	96	25
	107	Jazz Gtr	0	0	26
	108	MelloGtr	0	18	26
	109	Jazz Amp	0	32	26
	110	CleanGtr	0	0	27
	111	ChorusGt	0	32	27
	112	Mute Gtr	0	0	28
	113	FunkGtr1	0	40	28
	114	MuteStlG	0	41	28
	115	FunkGtr2	0	43	28
	116	Jazz Man	0	45	28
	117	Ovrdrive	0	0	29
	118	Gt.Pinch	0	43	29
	119	Dist.Gtr	0	0	30
	120	FeedbkGt	0	40	30
	121	FeedbkGt2	0	41	30
	122	GtrHarmo	0	0	31
	123	GtFeedbk	0	65	31
	124	GtrHrmo2	0	66	31
	125	Aco.Bass	0	0	32
	126	JazzRthm	0	40	32
	127	VXUprrght	0	45	32
	128	FngrBass	0	0	33
	129	FingrDrk	0	18	33
	130	FlangeBa	0	27	33
	131	Ba&DstEG	0	40	33
	132	FngrSlap	0	43	33
	133	FngBass2	0	45	33
	134	Mod.Bass	0	65	33
	135	PickBass	0	0	34
	136	MutePkBa	0	28	34
137	Fretless	0	0	35	
138	Fretles2	0	32	35	
139	Fretles3	0	33	35	
140	Fretles4	0	34	35	
141	SynFretl	0	96	35	
142	SmthFrt1	0	97	35	
143	SlapBas1	0	0	36	
144	ResoSlap	0	27	36	
145	PunchThm	0	32	36	
146	SlapBas2	0	0	37	
147	VeloSlap	0	43	37	
148	SynBass1	0	0	38	
149	SynBa1Dk	0	18	38	
150	FastResB	0	20	38	
151	AcidBass	0	24	38	
152	Clv Bass	0	35	38	
153	TechnoBa	0	40	38	
154	Orbiter	0	64	38	
155	Sqr.Bass	0	65	38	
156	RubberBa	0	66	38	
157	Hammer	0	96	38	
158	SynBass2	0	0	39	

グループ	番号	音色名	バンク		プログラム チェンジナンバー
			MSB#	LSB#	
XG	159	MelloSBa	0	6	39
	160	Seq Bass	0	12	39
	161	ClkSynBa	0	18	39
	162	SynBa2Dk	0	19	39
	163	SmthSynB	0	32	39
	164	ModulrBa	0	40	39
	165	DX Bass	0	41	39
	166	X WireBa	0	64	39
	167	Violin	0	0	40
	168	Slow Vln	0	8	40
	169	Viola	0	0	41
	170	Cello	0	0	42
	171	Contrabs	0	0	43
	172	Trem.Str	0	0	44
	173	SlwTrStr	0	8	44
	174	Susp. Str	0	40	44
	175	Pizz.Str	0	0	45
	176	Harp	0	0	46
	177	YangChin	0	40	46
	178	Timpani	0	0	47
	179	Strings1	0	0	48
	180	S.Strngs	0	3	48
	181	Slow Str	0	8	48
	182	Arco Str	0	24	48
	183	60sStrng	0	35	48
	184	Orchestr	0	40	48
	185	Orchstr2	0	41	48
	186	TremOrch	0	42	48
	187	Velo.Str	0	45	48
	188	Strings2	0	0	49
	189	S.SlwStr	0	3	49
	190	LegatoSt	0	8	49
	191	Warm Str	0	40	49
	192	Kingdom	0	41	49
	193	70s Str	0	64	49
	194	Strings3	0	65	49
	195	Syn Str1	0	0	50
	196	Reso Str	0	27	50
	197	Syn Str4	0	64	50
	198	Syn Str5	0	65	50
	199	Syn Str2	0	0	51
	200	ChoirAah	0	0	52
	201	S.Choir	0	3	52
	202	Ch.Aahs2	0	16	52
	203	MelChoir	0	32	52
	204	ChoirStr	0	40	52
	205	VoiceOoh	0	0	53
	206	SynVoice	0	0	54
207	SyVoice2	0	40	54	
208	Choral	0	41	54	
209	AnaVoice	0	64	54	
210	Orch.Hit	0	0	55	
211	OrchHit2	0	35	55	
212	Impact	0	64	55	
213	Trumpet	0	0	56	
214	Trumpet2	0	16	56	
215	Brite Trp	0	17	56	
216	Warm Trp	0	32	56	
217	Trombone	0	0	57	
218	Trmbone2	0	18	57	
219	Tuba	0	0	58	
220	Tuba 2	0	16	58	
221	Mute Trp	0	0	59	
222	Fr.Horn	0	0	60	
223	FrHrSolo	0	6	60	
224	FrHorn 2	0	32	60	
225	HornOrch	0	37	60	
226	BrssSect	0	0	61	
227	Tp&TbSec	0	35	61	
228	BrssSec2	0	40	61	
229	HiBrass	0	41	61	
230	MelloBrs	0	42	61	
231	SynBrss1	0	0	62	
232	Quack Br	0	12	62	
233	RezSynBr	0	20	62	
234	PolyBrss	0	24	62	
235	SynBrss3	0	27	62	
236	JumpBrss	0	32	62	
237	AnVelBr1	0	45	62	
238	AnVelBr2	0	64	62	
239	SynBrss2	0	0	63	
240	Soft Brs	0	18	63	
241	SynBrss4	0	40	63	
242	ChoirBrs	0	41	63	
243	VelBrss2	0	45	63	
244	AnaBrss2	0	64	63	
245	SprnoSax	0	0	64	
246	Alto Sax	0	0	65	
247	Sax Sect	0	40	65	
248	HyprAlto	0	43	65	

グループ	番号	音色名	バンク		プログラム チェンジナンバー
			MSB#	LSB#	
XG	249	TenorSax	0	0	66
	250	BrthTnSx	0	40	66
	251	SoftTenr	0	41	66
	252	TnrSax 2	0	64	66
	253	Bari.Sax	0	0	67
	254	Oboe	0	0	68
	255	Eng.Horn	0	0	69
	256	Bassoon	0	0	70
	257	Clarinet	0	0	71
	258	Piccolo	0	0	72
	259	Flute	0	0	73
	260	Recorder	0	0	74
	261	PanFlute	0	0	75
	262	Bottle	0	0	76
	263	Shakhchi	0	0	77
	264	Whistle	0	0	78
	265	Ocarina	0	0	79
	266	SquareLd	0	0	80
	267	SquarLd2	0	6	80
	268	LMSquare	0	8	80
	269	Hollow	0	18	80
	270	Shroud	0	19	80
	271	Mellow	0	64	80
	272	SoloSine	0	65	80
	273	SineLead	0	66	80
	274	Saw Lead	0	0	81
	275	Saw Ld 2	0	6	81
	276	ThickSaw	0	8	81
	277	Dyna Saw	0	18	81
	278	Digi Saw	0	19	81
	279	Big Lead	0	20	81
	280	HeavySyn	0	24	81
	281	WaspySyn	0	25	81
	282	PulseSaw	0	40	81
	283	Dr. Lead	0	41	81
	284	VeloLead	0	45	81
	285	Seq Ana.	0	96	81
	286	CaliopLd	0	0	82
	287	PureLead	0	65	82
	288	Chiff Ld	0	0	83
	289	Rubby	0	64	83
	290	CharanLd	0	0	84
	291	DistLead	0	64	84
	292	WireLead	0	65	84
	293	Voice Ld	0	0	85
	294	SynthAah	0	24	85
	295	Vox Lead	0	64	85
	296	Fifth Ld	0	0	86
297	Big Five	0	35	86	
298	Bass&Ld	0	0	87	
299	Big&Low	0	16	87	
300	Fat&Prky	0	64	87	
301	Soft Wrl	0	65	87	
302	NewAgePd	0	0	88	
303	Fantasy	0	64	88	
304	Warm Pad	0	0	89	
305	ThickPad	0	16	89	
306	Soft Pad	0	17	89	
307	Sine Pad	0	18	89	
308	Horn Pad	0	64	89	
309	RotarStr	0	65	89	
310	PolySyPd	0	0	90	
311	PolyPd80	0	64	90	
312	ClickPad	0	65	90	
313	Ana. Pad	0	66	90	
314	SquarPad	0	67	90	
315	ChoirPad	0	0	91	
316	Heaven	0	64	91	
317	Itopia	0	66	91	
318	CC Pad	0	67	91	
319	BowedPad	0	0	92	
320	Glacier	0	64	92	
321	GlassPad	0	65	92	
322	MetalPad	0	0	93	
323	Tine Pad	0	64	93	
324	Pan Pad	0	65	93	
325	Halo Pad	0	0	94	
326	SweepPad	0	0	95	
327	Shwimmer	0	20	95	
328	Converge	0	27	95	
329	PolarPad	0	64	95	
330	Celstial	0	66	95	
331	Rain	0	0	96	
332	ClaviPad	0	45	96	
333	HrmoRain	0	64	96	
334	AfrcnWnd	0	65	96	
335	Carib	0	66	96	
336	SoundTrk	0	0	97	
337	Prologue	0	27	97	
338	Ancestrl	0	64	97	

グループ	番号	音色名	バンク		プログラム チェンジナンバー
			MSB#	LSB#	
XG	339	Crystal	0	0	98
	340	SynDrCmp	0	12	98
	341	Popcorn	0	14	98
	342	TinyBell	0	18	98
	343	RndGlock	0	35	98
	344	GlockChi	0	40	98
	345	ClearBel	0	41	98
	346	ChorBell	0	42	98
	347	SynMalet	0	64	98
	348	SftCryst	0	65	98
	349	LoudGlok	0	66	98
	350	ChrstBel	0	67	98
	351	VibeBell	0	68	98
	352	DigiBell	0	69	98
	353	AirBells	0	70	98
	354	BellHarp	0	71	98
	355	GameImba	0	72	98
	356	Atmosphr	0	0	99
	357	WarmAtms	0	18	99
	358	HollwRls	0	19	99
	359	Nylon EP	0	40	99
	360	NylnHarp	0	64	99
	361	Harp Vox	0	65	99
	362	AtmosPad	0	66	99
	363	Planet	0	67	99
	364	Bright	0	0	100
	365	FantaBel	0	64	100
	366	Smokey	0	96	100
	367	Goblins	0	0	101
	368	GobSynth	0	64	101
	369	Creeper	0	65	101
	370	Ring Pad	0	66	101
	371	Ritual	0	67	101
	372	ToHeaven	0	68	101
	373	Night	0	70	101
	374	Glisten	0	71	101
	375	BelChoir	0	96	101
	376	Echoes	0	0	102
	377	Echoes 2	0	8	102
	378	Echo Pan	0	14	102
	379	EchoBell	0	64	102
	380	Big Pan	0	65	102
	381	SynPiano	0	66	102
	382	Creation	0	67	102
	383	StarDust	0	68	102
	384	Reso&Pan	0	69	102
	385	Sci-Fi	0	0	103
	386	Starz	0	64	103
	387	Sitar	0	0	104
	388	DetSitar	0	32	104
	389	Sitar 2	0	35	104
	390	Tambra	0	96	104
	391	Tamboura	0	97	104
	392	Banjo	0	0	105
	393	MuteBnjo	0	28	105
	394	Rabab	0	96	105
	395	Gopichnt	0	97	105
	396	Oud	0	98	105
	397	Shamisen	0	0	106
	398	Koto	0	0	107
	399	Taisho-k	0	96	107
	400	Kanoon	0	97	107
	401	Kalimba	0	0	108
	402	Bagpipe	0	0	109
	403	Fiddle	0	0	110
	404	Shanai	0	0	111
	405	Shanai 2	0	64	111
	406	Pungi	0	96	111
	407	Hichriki	0	97	111
	408	TnklBell	0	0	112
	409	Bonang	0	96	112
	410	Altair	0	97	112
	411	Gamelan	0	98	112
	412	S.Gamian	0	99	112
	413	Rama Cym	0	100	112
	414	AsianBel	0	101	112
	415	Agogo	0	0	113
	416	SteelDrm	0	0	114
	417	GlasPerc	0	97	114
	418	ThaiBell	0	98	114
	419	WoodBlok	0	0	115
	420	Castanet	0	96	115
	421	TaikoDrm	0	0	116
	422	Gr.Cassa	0	96	116
	423	MelodTom	0	0	117
	424	Mel Tom2	0	64	117
	425	Real Tom	0	65	117
	426	Rock Tom	0	66	117
	427	Syn Drum	0	0	118
	428	Ana Tom	0	64	118

グループ	番号	音色名	バンク		プログラム チェンジナンバー
			MSB#	LSB#	
XG	429	ElecPerc	0	65	118
	430	RevCymb1	0	0	119
	431	FretNoiz	0	0	120
	432	BrthNoiz	0	0	121
	433	Seashore	0	0	122
	434	Tweet	0	0	123
	435	Telephone	0	0	124
	436	Helicptr	0	0	125
	437	Applause	0	0	126
	438	Gunshot	0	0	127
	439	CuttngNz	64	0	0
	440	CttngNz2	64	0	1
	441	Str Slap	64	0	3
	442	Fl.KClk	64	0	16
	443	Shower	64	0	32
	444	Thunder	64	0	33
	445	Wind	64	0	34
	446	Stream	64	0	35
	447	Bubble	64	0	36
	448	Feed	64	0	37
	449	Dog	64	0	48
	450	Horse	64	0	49
	451	Tweet 2	64	0	50
	452	Ghost	64	0	54
	453	Maou	64	0	55
	454	Tel.Dial	64	0	64
	455	DoorSqek	64	0	65
	456	DoorSlam	64	0	66
	457	ScratchC	64	0	67
	458	ScratchS	64	0	68
	459	WindChim	64	0	69
	460	Telphon2	64	0	70
	461	CarElgnt	64	0	80
	462	CarTSqel	64	0	81
	463	Car Pass	64	0	82
	464	CarCrash	64	0	83
	465	Siren	64	0	84
	466	Train	64	0	85
	467	JetPlane	64	0	86
	468	Starship	64	0	87
	469	Burst	64	0	88
	470	Coaster	64	0	89
	471	Submarin	64	0	90
	472	Laugh	64	0	96
	473	Scream	64	0	97
	474	Punch	64	0	98
	475	Heart	64	0	99
	476	Footstep	64	0	100
	477	MchinGun	64	0	112
	478	LaserGun	64	0	113
	479	Xplosion	64	0	114
	480	Firework	64	0	115
	481	Drums Kit	127	0	0
	482	Drums Kit2	127	0	1
	483	Room Kit	127	0	8
	484	Rock Kit	127	0	16
	485	Electro Kit	127	0	24
	486	Analog Kit	127	0	25
	487	Dance Kit	127	0	27
	488	Jazz Kit	127	0	32
	489	Brush Kit	127	0	40
	490	Classic Kit	127	0	48
	491	SFX1 Kit	126	0	0
	492	SFX2 Kit	126	0	1

ドラムキット一覧表

Bank Select MSB					127	127	127	127	127	127
Bank Select LSB					0	0	0	0	0	0
Pgm# (1-128)					1	2	9	17	25	26
Keyboard Note	MIDI		Key off	Alternate assign	Standard Kit	Standard Kit 2	Room Kit	Rock Kit	Electronic Kit	Analog Kit
	Note#	Note								
C#1	13	C#-1		3	Surdo Mute	Surdo Mute	Surdo Mute	Surdo Mute	Surdo Mute	Surdo Mute
D1	14	D-1		3	Surdo Open	Surdo Open	Surdo Open	Surdo Open	Surdo Open	Surdo Open
D#1	15	D#-1			Hi Q	Hi Q	Hi Q	Hi Q	Hi Q	Hi Q
E1	16	E-1			Whip Slap	Whip Slap	Whip Slap	Whip Slap	Whip Slap	Whip Slap
F1	17	F-1		4	Scratch H	Scratch H	Scratch H	Scratch H	Scratch H	Scratch H
F#1	18	F#-1		4	Scratch L	Scratch L	Scratch L	Scratch L	Scratch L	Scratch L
G1	19	G-1			Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap
G#1	20	G#-1			Click Noise	Click Noise	Click Noise	Click Noise	Click Noise	Click Noise
A1	21	A-1			Mtrnm Click	Mtrnm Click	Mtrnm Click	Mtrnm Click	Mtrnm Click	Mtrnm Click
A#1	22	A#-1			Mtrnm Bell	Mtrnm Bell	Mtrnm Bell	Mtrnm Bell	Mtrnm Bell	Mtrnm Bell
B1	23	B-1			Seq Click L	Seq Click L	Seq Click L	Seq Click L	Seq Click L	Seq Click L
C2	24	C0			Seq Click H	Seq Click H	Seq Click H	Seq Click H	Seq Click H	Seq Click H
C#2	25	C#0			Brush Tap	Brush Tap	Brush Tap	Brush Tap	Brush Tap	Brush Tap
D2	26	D0			Brush Swirl	Brush Swirl	Brush Swirl	Brush Swirl	Brush Swirl	Brush Swirl
D#2	27	D#0			Brush Slap	Brush Slap	Brush Slap	Brush Slap	Brush Slap	Brush Slap
E2	28	E0			BrushTapSwrl	BrushTapSwrl	BrushTapSwrl	BrushTapSwrl	ReversCymbal	ReversCymbal
F2	29	F0			Snare Roll	Snare Roll 2	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll
F#2	30	F#0			Castanet	Castanet	Castanet	Castanet	Hi Q 2	Hi Q 2
G2	31	G0			Snare Soft	Snare Soft 2	Snare Soft	Snare Noisy	SnrSnpyElctr	SnareNoisy 4
G#2	32	G#0			Sticks	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks
A2	33	A0			Kick Soft	Kick Soft	Kick Soft	Kick Tight 2	Kick 3	Kick Tight 2
A#2	34	A#0			OpenRimShot	RimShotHShrt	OpenRimShot	OpenRimShot	OpenRimShot	OpenRimShot
B2	35	B0			Kick Tight	KickTghtShrt	Kick Tight	Kick 2	Kick Gate	KickAnlgShrt
C3	36	C1			Kick	Kick Short	Kick	Kick Gate	KckGateHeavy	Kick Analog
C#3	37	C#1			Side Stick	Side Stick	Side Stick	Side Stick	Side Stick	SideStickAn
D3	38	D1			Snare	Snare Short	Snare Snappy	Snare Rock	SnareNoisy 2	SnareAnalog
D#3	39	D#1			Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap
E3	40	E1			Snare Tight	SnareTight H	SnrTightSnpy	SnareRockRim	SnareNoisy 3	SnareAnalog2
F3	41	F1			Floor Tom L	Floor Tom L	Tom Room 1	Tom Rock 1	TomElectro 1	Tom Analog 1
F#3	42	F#1		1	Hi-HatClosed	Hi-HatClosed	Hi-HatClosed	Hi-HatClosed	Hi-HatClosed	HatCloseAnlg
G3	43	G1			Floor Tom H	Floor Tom H	Tom Room 2	Tom Rock 2	TomElectro 2	Tom Analog 2
G#3	44	G#1		1	Hi-Hat Pedal	Hi-Hat Pedal	Hi-Hat Pedal	Hi-Hat Pedal	Hi-Hat Pedal	HatCloseAn 2
A3	45	A1			Low Tom	Low Tom	Tom Room 3	Tom Rock 3	TomElectro 3	Tom Analog 3
A#3	46	A#1		1	Hi-Hat Open	Hi-Hat Open	Hi-Hat Open	Hi-Hat Open	Hi-Hat Open	HatOpen Anlg
B3	47	B1			Mid Tom L	Mid Tom L	Tom Room 4	Tom Rock 4	TomElectro 4	Tom Analog 4
C4	48	C2			Mid Tom H	Mid Tom H	Tom Room 5	Tom Rock 5	TomElectro 5	Tom Analog 5
C#4	49	C#2			CrashCymbal1	CrashCymbal1	CrashCymbal1	CrashCymbal1	CrashCymbal1	Crash Analog
D4	50	D2			High Tom	High Tom	Tom Room 6	Tom Rock 6	TomElectro 6	Tom Analog 6
D#4	51	D#2			RideCymbal 1	RideCymbal 1	RideCymbal 1	RideCymbal 1	RideCymbal 1	RideCymbal 1
E4	52	E2			Chinese Cym	Chinese Cym	Chinese Cym	Chinese Cym	Chinese Cym	Chinese Cym
F4	53	F2			Ride Cym Cup	Ride Cym Cup	Ride Cym Cup	Ride Cym Cup	Ride Cym Cup	Ride Cym Cup
F#4	54	F#2			Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine
G4	55	G2			SplashCymbal	SplashCymbal	SplashCymbal	SplashCymbal	SplashCymbal	SplashCymbal
G#4	56	G#2			Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell Anlg
A4	57	A2			CrashCymbal2	CrashCymbal2	CrashCymbal2	CrashCymbal2	CrashCymbal2	CrashCymbal2
A#4	58	A#2			Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap
B4	59	B2			RideCymbal 2	RideCymbal 2	RideCymbal 2	RideCymbal 2	RideCymbal 2	RideCymbal 2
C5	60	C3			Bongo H	Bongo H	Bongo H	Bongo H	Bongo H	Bongo H
C#5	61	C#3			Bongo L	Bongo L	Bongo L	Bongo L	Bongo L	Bongo L
D5	62	D3			Conga H Mute	Conga H Mute	Conga H Mute	Conga H Mute	Conga H Mute	Conga Anlg H
D#5	63	D#3			Conga H Open	Conga H Open	Conga H Open	Conga H Open	Conga H Open	Conga Anlg M
E5	64	E3			Conga L	Conga L	Conga L	Conga L	Conga L	Conga Anlg L
F5	65	F3			Timbale H	Timbale H	Timbale H	Timbale H	Timbale H	Timbale H
F#5	66	F#3			Timbale L	Timbale L	Timbale L	Timbale L	Timbale L	Timbale L
G5	67	G3			Agogo H	Agogo H	Agogo H	Agogo H	Agogo H	Agogo H
G#5	68	G#3			Agogo L	Agogo L	Agogo L	Agogo L	Agogo L	Agogo L
A5	69	A3			Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa
A#5	70	A#3			Maracas	Maracas	Maracas	Maracas	Maracas	Maracas 2
B5	71	B3			SambaWhistH	SambaWhistH	SambaWhistH	SambaWhistH	SambaWhistH	SambaWhistH
C6	72	C4			SambaWhistL	SambaWhistL	SambaWhistL	SambaWhistL	SambaWhistL	SambaWhistL
C#6	73	C#4			Guiro Short	Guiro Short	Guiro Short	Guiro Short	Guiro Short	Guiro Short
D6	74	D4			Guiro Long	Guiro Long	Guiro Long	Guiro Long	Guiro Long	Guiro Long
D#6	75	D#4			Claves	Claves	Claves	Claves	Claves	Claves 2
E6	76	E4			Wood Block H	Wood Block H	Wood Block H	Wood Block H	Wood Block H	Wood Block H
F6	77	F4			Wood Block L	Wood Block L	Wood Block L	Wood Block L	Wood Block L	Wood Block L
F#6	78	F#4			Cuica Mute	Cuica Mute	Cuica Mute	Cuica Mute	Scratch H 2	Scratch H 2
G6	79	G4			Cuica Open	Cuica Open	Cuica Open	Cuica Open	Scratch L 2	Scratch L 3
G#6	80	G#4		2	TriangleMute	TriangleMute	TriangleMute	TriangleMute	TriangleMute	TriangleMute
A6	81	A4		2	TriangleOpen	TriangleOpen	TriangleOpen	TriangleOpen	TriangleOpen	TriangleOpen
A#6	82	A#4			Shaker	Shaker	Shaker	Shaker	Shaker	Shaker
B6	83	B4			Jingle Bells	Jingle Bells	Jingle Bells	Jingle Bells	Jingle Bells	Jingle Bells
C7	84	C5			Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree
-	85	C#5								
-	86	D5								
-	87	D#5								
-	88	E5								
-	89	F5								
-	90	F#5								
-	91	G5								

□ : No Sound

Key Off に「 」がついているものは鍵盤を離したときに発音が止まります。

Alternate Assign の番号はグループを表し、同じグループ番号の中で、1つの楽器を発音させると同じグループの中の他の楽器の発音が止まります。

Bank Select MSB					127	127	127	127	126	126
Bank Select LSB					0	0	0	0	0	0
Pgm# (1-128)					28	33	41	49	1	2
Keyboard Note	MIDI		Key off	Alternate assign	Dance Kit	Jazz Kit	Brush Kit	Classic Kit	SFX Kit 1	SFX Kit 2
	Note#	Note								
C#1	13	C#1		3	Surdo Mute	Surdo Mute	Surdo Mute	Surdo Mute		
D1	14	D-1		3	Surdo Open	Surdo Open	Surdo Open	Surdo Open		
D#1	15	D#1			Hi Q	Hi Q	Hi Q	Hi Q		
E1	16	E-1			Whip Slap	Whip Slap	Whip Slap	Whip Slap		
F1	17	F-1		4	Scratch H	Scratch H	Scratch H	Scratch H		
F#1	18	F#1		4	Scratch L	Scratch L	Scratch L	Scratch L		
G1	19	G-1			Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap		
G#1	20	G#1			Click Noise	Click Noise	Click Noise	Click Noise		
A1	21	A-1			Mtrnm Click	Mtrnm Click	Mtrnm Click	Mtrnm Click		
A#1	22	A#1			Mtrnm Bell	Mtrnm Bell	Mtrnm Bell	Mtrnm Bell		
B1	23	B-1			Seq Click L	Seq Click L	Seq Click L	Seq Click L		
C2	24	C0			Seq Click H	Seq Click H	Seq Click H	Seq Click H		
C#2	25	C#0			Brush Tap	Brush Tap	Brush Tap	Brush Tap		
D2	26	D0			Brush Swirl	Brush Swirl	Brush Swirl	Brush Swirl		
D#2	27	D#0			Brush Slap	Brush Slap	Brush Slap	Brush Slap		
E2	28	E0			ReversCymbal	BrushTapSwrl	BrushTapSwrl	BrushTapSwrl		
F2	29	F0			Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll		
F#2	30	F#0			Hi Q 2	Castanet	Castanet	Castanet		
G2	31	G0			SnareTechno3	Snare Soft	Brush Slap 2	Brush Slap 2		
G#2	32	G#0			Sticks	Sticks	Sticks	Sticks		
A2	33	A0			KickTechno Q	Kick Soft	Kick Soft	Kick Soft 2		
A#2	34	A#0			Rim Gate	OpenRimShot	OpenRimShot	OpenRimShot		
B2	35	B0			KickTechno L	Kick Tight	Kick Tight	Gran Cassa		
C3	36	C1			KickTechno 2	Kick Jazz	Kick Small	GranCassa Mu	CuttingNoiz	Phone Call
C#3	37	C#1			SideStickAn	Side Stick	Side Stick	Side Stick	CuttingNoiz2	Door Squeak
D3	38	D1			Snare Clap	Snare	Brush Slap 3	Band Snare		Door Slam
D#3	39	D#1			Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap	String Slap	Scratch Cut
E3	40	E1			Snare Dry 2	Snare Tight	Brush Tap 2	Band Snare 2		Scratch H 3
F3	41	F1			Tom Analog 1	Tom Jazz 1	Tom Brush 1	Tom Jazz 1		Wind Chime
F#3	42	F#1		1	HiHatClose 3	Hi-HatClosed	Hi-HatClosed	Hi-HatClosed		Telephone 2
G3	43	G1			Tom Analog 2	Tom Jazz 2	Tom Brush 2	Tom Jazz 2		
G#3	44	G#1		1	HatCloseAn 2	Hi-Hat Pedal	Hi-Hat Pedal	Hi-Hat Pedal		
A3	45	A1			Tom Analog 3	Tom Jazz 3	Tom Brush 3	Tom Jazz 3		
A#3	46	A#1		1	HiHat Open 3	Hi-Hat Open	Hi-Hat Open	Hi-Hat Open		
B3	47	B1			Tom Analog 4	Tom Jazz 4	Tom Brush 4	Tom Jazz 4		
C4	48	C2			Tom Analog 5	Tom Jazz 5	Tom Brush 5	Tom Jazz 5		
C#4	49	C#2			Crash Analog	CrashCymbal1	CrashCymbal1	Hand Cymbal		
D4	50	D2			Tom Analog 6	Tom Jazz 6	Tom Brush 6	Tom Jazz 6		
D#4	51	D#2			RideCymbal 1	RideCymbal 1	RideCymbal 1	HandCymShort		
E4	52	E2			Chinese Cym	Chinese Cym	Chinese Cym	Chinese Cym	Fl.Key Click	Ignition
F4	53	F2			Ride Cym Cup	Ride Cym Cup	Ride Cym Cup	Ride Cym Cup		Squeal
F#4	54	F#2			Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine		Exhaust
G4	55	G2			SplashCymbal	SplashCymbal	SplashCymbal	SplashCymbal		Crash
G#4	56	G#2			Cowbell Anlg	Cowbell	Cowbell	Cowbell		Siren
A4	57	A2			CrashCymbal2	CrashCymbal2	CrashCymbal2	HandCymbal 2		Train
A#4	58	A#2			Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap		Jet Plane
B4	59	B2			RideCymbal 2	RideCymbal 2	RideCymbal 2	HandCym2Shrt		Starship
C5	60	C3			Bongo H	Bongo H	Bongo H	Bongo H		Burst
C#5	61	C#3			Bongo L	Bongo L	Bongo L	Bongo L		Coaster
D5	62	D3			Conga Anlg H	Conga H Mute	Conga H Mute	Conga H Mute		Submarine
D#5	63	D#3			Conga Anlg M	Conga H Open	Conga H Open	Conga H Open		
E5	64	E3			Conga Anlg L	Conga L	Conga L	Conga L		
F5	65	F3			Timbale H	Timbale H	Timbale H	Timbale H		
F#5	66	F#3			Timbale L	Timbale L	Timbale L	Timbale L		
G5	67	G3			Agogo H	Agogo H	Agogo H	Agogo H		
G#5	68	G#3			Agogo L	Agogo L	Agogo L	Agogo L	Shower	Laugh
A5	69	A3			Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Thunder	Scream
A#5	70	A#3			Maracas 2	Maracas	Maracas	Maracas	Wind	Punch
B5	71	B3			SambaWhistlH	SambaWhistlH	SambaWhistlH	SambaWhistlH	Stream	Heartbeat
C6	72	C4			SambaWhistlL	SambaWhistlL	SambaWhistlL	SambaWhistlL	Bubble	Footsteps
C#6	73	C#4			Guiro Short	Guiro Short	Guiro Short	Guiro Short	Feed	
D6	74	D4			Guiro Long	Guiro Long	Guiro Long	Guiro Long		
D#6	75	D#4			Claves 2	Claves	Claves	Claves		
E6	76	E4			Wood Block H	Wood Block H	Wood Block H	Wood Block H		
F6	77	F4			Wood Block L	Wood Block L	Wood Block L	Wood Block L		
F#6	78	F#4			Scratch H 2	Cuica Mute	Cuica Mute	Cuica Mute		
G6	79	G4			Scratch L 3	Cuica Open	Cuica Open	Cuica Open		
G#6	80	G#4		2	TriangleMute	TriangleMute	TriangleMute	TriangleMute		
A6	81	A4		2	TriangleOpen	TriangleOpen	TriangleOpen	TriangleOpen		
A#6	82	A#4			Shaker	Shaker	Shaker	Shaker		
B6	83	B4			Jingle Bells	Jingle Bells	Jingle Bells	Jingle Bells		
C7	84	C5			Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Dog	Machine Gun
-	85	C#5							Horse	Laser Gun
-	86	D5							Bird Tweet 2	Explosion
-	87	D#5								Firework
-	88	E5								
-	89	F5								
-	90	F#5							Ghost	
-	91	G5							Maou	

: No Sound

Key Off に「 」がついているものは鍵盤を離したときに発音が止まります。

Alternate Assign の番号はグループを表し、同じグループ番号の中で、1つの楽器を発音させると同じグループの中の他の楽器の発音が止まります。

MIDIデータフォーマット

「MIDIデータフォーマット」は、データ/値を10進数や2進数、16進数で表現しています。16進数の場合は数値の後ろまたは列の頭に「Hexadecimal」が付いています。また、「n」は任意の整数を表します。

データ/値を入力する場合は、以下のテーブルをご参照ください。

10進	16進	2進	10進	16進	2進
0	00	0000 0000	64	40	0100 0000
1	01	0000 0001	65	41	0100 0001
2	02	0000 0010	66	42	0100 0010
3	03	0000 0011	67	43	0100 0011
4	04	0000 0100	68	44	0100 0100
5	05	0000 0101	69	45	0100 0101
6	06	0000 0110	70	46	0100 0110
7	07	0000 0111	71	47	0100 0111
8	08	0000 1000	72	48	0100 1000
9	09	0000 1001	73	49	0100 1001
10	0A	0000 1010	74	4A	0100 1010
11	0B	0000 1011	75	4B	0100 1011
12	0C	0000 1100	76	4C	0100 1100
13	0D	0000 1101	77	4D	0100 1101
14	0E	0000 1110	78	4E	0100 1110
15	0F	0000 1111	79	4F	0100 1111
16	10	0001 0000	80	50	0101 0000
17	11	0001 0001	81	51	0101 0001
18	12	0001 0010	82	52	0101 0010
19	13	0001 0011	83	53	0101 0011
20	14	0001 0100	84	54	0101 0100
21	15	0001 0101	85	55	0101 0101
22	16	0001 0110	86	56	0101 0110
23	17	0001 0111	87	57	0101 0111
24	18	0001 1000	88	58	0101 1000
25	19	0001 1001	89	59	0101 1001
26	1A	0001 1010	90	5A	0101 1010
27	1B	0001 1011	91	5B	0101 1011
28	1C	0001 1100	92	5C	0101 1100
29	1D	0001 1101	93	5D	0101 1101
30	1E	0001 1110	94	5E	0101 1110
31	1F	0001 1111	95	5F	0101 1111
32	20	0010 0000	96	60	0110 0000
33	21	0010 0001	97	61	0110 0001
34	22	0010 0010	98	62	0110 0010
35	23	0010 0011	99	63	0110 0011
36	24	0010 0100	100	64	0110 0100
37	25	0010 0101	101	65	0110 0101
38	26	0010 0110	102	66	0110 0110
39	27	0010 0111	103	67	0110 0111
40	28	0010 1000	104	68	0110 1000
41	29	0010 1001	105	69	0110 1001
42	2A	0010 1010	106	6A	0110 1010
43	2B	0010 1011	107	6B	0110 1011
44	2C	0010 1100	108	6C	0110 1100
45	2D	0010 1101	109	6D	0110 1101
46	2E	0010 1110	110	6E	0110 1110
47	2F	0010 1111	111	6F	0110 1111
48	30	0011 0000	112	70	0111 0000
49	31	0011 0001	113	71	0111 0001
50	32	0011 0010	114	72	0111 0010
51	33	0011 0011	115	73	0111 0011
52	34	0011 0100	116	74	0111 0100
53	35	0011 0101	117	75	0111 0101
54	36	0011 0110	118	76	0111 0110
55	37	0011 0111	119	77	0111 0111
56	38	0011 1000	120	78	0111 1000
57	39	0011 1001	121	79	0111 1001
58	3A	0011 1010	122	7A	0111 1010
59	3B	0011 1011	123	7B	0111 1011
60	3C	0011 1100	124	7C	0111 1100
61	3D	0011 1101	125	7D	0111 1101
62	3E	0011 1110	126	7E	0111 1110
63	3F	0011 1111	127	7F	0111 1111

追加ノート

- 上記のテーブル以外でも、たとえば、144~159(10進数)/9nH/1001 0000~1001 1111(2進数)は、それぞれ(1~16)チャンネルごとのノートオンメッセージを示します。176~191/BnH/1011 0000~1011 1111は、それぞれ(1~16)チャンネルごとのコントロールチェンジメッセージを示します。192~207/CnH/1100 0000~1100 1111は、それぞれ(1~16)チャンネルごとのプログラムチェンジメッセージを示します。240/FOH/1111 0000はシステムエクスクルーシブメッセージの始まりを示します。247/F7H/1111 0111はシステムエクスクルーシブメッセージの終わりを示します。
- aaH(16進数)0aaaaaa(2進数)はデータのアドレスを示します。アドレスは、High、MidとLowがあります。
- bbH/Obbbbbbbはバイトカウントを示します。
- ccH/0cccccccはチェックサムを示します。
- ddH/0dddddddはデータ/値を示します。

(1)送信

IDI<-----+	KEY ON/OFF	9nH
OUT		
	+---CONTROL CHANGE	BnH
	BANK SELECT MSB	BnH, 00H
	BANK SELECT LSB	BnH, 20H
	EXPRESSION	BnH, 0BH
	SUSTAIN	BnH, 40H
	SOSTENUTE	BnH, 42H
	SOFT PEDAL	BnH, 43H
	REVERB SEND LEVEL	BnH, 5BH
	VARIATION SEND LEVEL	BnH, 5EH
	ALL SOUND OFF	BnH, 78H
	RESET ALL CONTROLLERS	BnH, 79H
	ALL NOTE OFF	BnH, 7BH
	+---PROGRAM CHANGE	CnH
+-----+	SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE	
	<YAMAHA MIDI FORMAT>	
	<UNIVERSAL>	
	----- UNIVERSAL REALTIME	FOH 7FH....F7H
	----- UNIVERSAL NON-REALTIME	FOH 7EH....F7H
	<XG STANDARD>	
	----- XG PARAMETER CHANGE	FOH 43H 1nH 4CH aaH aaH aaH ddH....ddH F7H
	----- XG BULK DUMP	FOH 43H 0nH 4CH bbH bbH aaH aaH aaH ddH....ddH cch F7H
	<CLAVINOVA MIDI COMPLIANCE>	
	<SPECIAL OPERATORS>	
+-----+	SYSTEM REALTIME MESSAGE	
	MIDI CLOCK	F8H
	START	FAH
	STOP	FCH
	ACTIVE SENSING	FEH

(2)受信

MIDI>-----+	KEY OFF	8nH
IN		
	+---KEY ON/OFF	9nH
	+---CONTROL CHANGE	
	BANK SELECT MSB	BnH, 00H
	BANK SELECT LSB	BnH, 20H
	MODULATION	BnH, 01H
	PORTAMENTO TIME	BnH, 05H
	DATA ENTRY MSB	BnH, 06H
	DATA ENTRY LSB	BnH, 26H
	MAIN VOLUME	BnH, 07H
	PANPOT	BnH, 0AH
	EXPRESSION	BnH, 0BH
	SUSTAIN	BnH, 40H
	PORTAMENTO	BnH, 41H
	SOSTENUTO	BnH, 42H
	SOFT PEDAL	BnH, 43H
	HARMONIC CONTENT	BnH, 47H
	RELEASE TIME	BnH, 48H
	ATTACK TIME	BnH, 49H
	BRIGHTNESS	BnH, 4AH
	PORTAMENTO CONTROL	BnH, 54H
	REVERB SEND LEVEL	BnH, 5BH
	CHORUS SEND LEVEL	BnH, 5DH
	VARIATION SEND LEVEL	BnH, 5EH
	DATA INCREMENT	BnH, 60H
	DATA DECREMENT	BnH, 61H
	NRPN LSB	BnH, 62H
	NRPN MSB	BnH, 63H
	VIBRATO RATE	BnH, 63H, 01H, 62H, 08H, 06H, mmH
	VIBRATO DEPTH	BnH, 63H, 01H, 62H, 09H, 06H, mmH
	VIBRATO DELAY	BnH, 63H, 01H, 62H, 0AH, 06H, mmH
	FILTER CUTOFF FREQ.	BnH, 63H, 01H, 62H, 20H, 06H, mmH
	FILTER RESONANCE	BnH, 63H, 01H, 62H, 21H, 06H, mmH
	AEG ATTACK TIME	BnH, 63H, 01H, 62H, 63H, 06H, mmH
	AEG DECAY TIME	BnH, 63H, 01H, 62H, 64H, 06H, mmH
	AEG RELEASE	BnH, 63H, 01H, 62H, 66H, 06H, mmH

		DRUM INST	
		CUTOFF FREQ.	BnH,63H,14H,62H,rrH,06H,mmH
		FILTER RESONANCE	BnH,63H,15H,62H,rrH,06H,mmH
		AEG ATTACK RATE	BnH,63H,16H,62H,rrH,06H,mmH
		AEG DECAY RATE	BnH,63H,17H,62H,rrH,06H,mmH
		PITCH COARSE	BnH,63H,18H,62H,rrH,06H,mmH
		PITCH FINE	BnH,63H,19H,62H,rrH,06H,mmH
		LEVEL	BnH,63H,1AH,62H,rrH,06H,mmH
		PANPOT	BnH,63H,1CH,62H,rrH,06H,mmH
		REVERB SEND	BnH,63H,1DH,62H,rrH,06H,mmH
		CHORUS SEND	BnH,63H,1EH,62H,rrH,06H,mmH
		VARIATION SEND	BnH,63H,1FH,62H,rrH,06H,mmH
		RPN LSB	BnH,64H
		RPN MSB	BnH,65H
		PITCH BEND SENS.	BnH,65H,00H,64H,00H,06H,mmH
		FINE TUNING	BnH,65H,00H,64H,01H,06H,mmH,26H,11H
		COARSE TUNING	BnH,65H,00H,64H,02H,06H,mmH
		NULL	BnH,65H,7FH,64H,7FH
		ALL SOUND OFF	BnH,78H,00H
		RESET ALL CONTROLLERS	BnH,79H,00H
		LOCAL CONTROL	BnH,7AH,00H
		ALL NOTES OFF	BnH,7BH,00H
		OMNI OFF	BnH,7CH,00H
		OMNI ON	BnH,7DH,00H
		MONO	BnH,7EH
		POLY	BnH,7FH
		+---PROGRAM CHANGE	CnH
		+---CHANNEL AFTER TOUCH	DnH
		+---PITCH BEND CHANGE	EnH
		+-----SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE	
		<YAMAHA MIDI FORMAT>	
		<UNIVERSAL>	
		----- UNIVERSAL REALTIME	FOH 7FH.....F7H
		----- UNIVERSAL NON-REALTIME	FOH 7EH.....F7H
		<XG STANDARD>	
		----- XG PARAMETER CHANGE	FOH 43H 1nH 4CH aaH aaH aaH
ddH.....ddH	F7H	----- XG BULK DUMP	FOH 43H 0nH 4CH bbH bbH aaH aaH aaH
ddH.....ddH	ccH F7H	----- PARAMETER REQUEST	FOH 43H 3nH 4CH aaH aaH aaH F7H
		----- DUMP REQUEST	FOH 43H 2nH 4CH aaH aaH aaH F7H
		<CLAVINOVA MIDI COMPLIANCE>	
		<SPECIAL OPERATORS>	
		<Others>	
		+-----SYSTEM REALTIME MESSAGE	
		MIDI CLOCK	F8H
		START	FAH
		STOP	FCH
		ACTIVE SENSING	FEH

(3) 送信 / 受信

(3-1) CHANNEL VOICE MESSAGES

(3-1-1) KEY OFF(受信のみ)

STATUS	1000nnnr(8nH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk	k = 0 (C-2) - 127 (G8)
VELOCITY	0vvvvvvv	vは無視

(3-1-2) KEY ON/OFF

STATUS	1001nnnr(9nH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk	k = 0 (C-2) - 127 (G8)
VELOCITY	0vvvvvvv	(v 0) NOTE ON
	00000000	(v=0) NOTE OFF

(3-1-3) PROGRAM CHANGE

STATUS	1100nnnr(CnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
PROGRAM NUMBER	0ppppppp	p = 0 - 127

* XG DRUM VOICE番号とPROGRAM NUMBERとの対応

- P = 0 Standard Kit
- P = 1 Standard2 Kit
- P = 8 Room Kit
- P = 16 Rock Kit
- P = 24 Electric Kit
- P = 25 Analog Kit
- P = 27 Dance Kit
- P = 32 Jazz Kit
- P = 40 Brush Kit
- P = 48 Classic Kit

*XG SFX KIT番号とPROGRAM NUMBERとの対応

- P = 1 SFX1 Kit
- P = 2 SFX2 Kit

ドラムボイスが選ばれているときに異なるドラムボイスのプログラムチェンジを受信すると、その時ドラムボイスで使用していたドラムセットアップデータは、新しいドラムボイスのデータにリセットされる。

(3-1-4) CHANNEL AFTER TOUCH(受信のみ)

STATUS	1101nnnr(DnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
VALUE	0vvvvvvv	v = 0 - 127 AFTER TOUCH VALUE

(3-1-5) PITCH BEND CHANGE(受信のみ)

STATUS	1110nnnr(EnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
LSB	0vvvvvvv	PITCH BEND CHANGE LSB
MSB	0vvvvvvv	PITCH BEND CHANGE MSB

(3-1-6) CONTROL CHANGE

STATUS	1011nnnr(BnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER	0ccccccc	
CONTROL VALUE	0vvvvvvv	

* 送信する CONTROL NUMBER

c = 0	BANK SELECT MSB	; v = 0:XG NORMAL, 64:SFX NORMAL, 126:XG SFX KIT, 127:XG DRUM
c = 32	BANK SELECT LSB	; v = 0 - 127 *3
c = 11	EXPRESSION	; v = 0 - 127
c = 64	SUSTAIN	; v = 0 - 127 *2
c = 66	SOSTENUTO	; v = 0:OFF , 127:ON *2
c = 67	SOFT PEDAL	; v = 0:OFF , 127:ON *2
c = 91	REVERB SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 94	VARIATION SEND LEVEL	; v = 0 - 127 (Connection=1[System]の時のみ)

* 受信する CONTROL NUMBER

c = 0	BANK SELECT MSB	; v = 0:XG NORMAL, 64:SFX NORMAL, 126:XG SFX KIT, 127:XG DRUM
c = 32	BANK SELECT LSB	; v = 0 - 127 *3
c = 1	MODULATION	; v = 0 - 127 *2
c = 5	PORTAMENTO TIME	; v = 0 - 127 *2
c = 6	DATA ENTRY MSB	; v = 0 - 127 *1
c = 38	DATA ENTRY LSB	; v = 0 - 127 *1
c = 7	MAIN VOLUME	; v = 0 - 127
c = 10	PANPOT	; v = 0 - 127
c = 11	EXPRESSION	; v = 0 - 127
c = 64	SUSTAIN	; v = 0 - 127 *2
c = 65	PORTAMENTO	; v = 0-63:OFF , 64-127:ON *2
c = 66	SOSTENUTO	; v = 0-63:OFF , 64-127:ON *2
c = 67	SOFT PEDAL	; v = 0-63:OFF , 64-127:ON *2
c = 71	HARMONIC CONTENT	; v = 0:-64 - 64:0 - 127:+63 *2
c = 72	RELEASE TIME	; v = 0:-64 - 64:0 - 127:+63 *2
c = 73	ATTACK TIME	; v = 0:-64 - 64:0 - 127:+63 *2
c = 74	BRIGHTNESS	; v = 0:-64 - 64:0 - 127:+63 *2
c = 84	PORTAMENT CONTROL	; v = 0 - 127 *2
c = 91	REVERB SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 93	CHORUS SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 94	VARIATION SEND LEVEL	; v = 0 - 127 (Connection=1[System]の時のみ)
c = 96	DATA INCREMENT	; v = 127 *1
c = 97	DATA DECREMENT	; v = 127 *1

*1 RPN, NRPNで指定パラメーターを設定する時のみ用いる。

*2 リズム音色に対しては無効。

*3 MSB = 0, 63以外のときは、0。

- ・ PROGRAM CHANGEを受信するまで、BANK SELECTの処理は保留される。ボイスバンクを含めて、ボイスを変更する場合、BANK SELECTとプログラムチェンジメッセージをセットにして、BANK SELECT MSB, LSB, PROGRAM CHANGEの順で送信すること。
- ・ MODULATION はピブラートの深さをコントロールする。
- ・ PORTAMENTO TIMEはPortamento Switch = ON の時のピッチ変化速度を調節する。0 でポルタメント最短時間、127 でポルタメント最長時間となる。
- ・ PANPOT はメロディ音色、リズム音色とも音色のプリセット値に対し相対的に変化する。
- ・ PORTAMENT CONTROL において、ポルタメントタイムは常に 0に 固定。

- ・ HARMONIC CONTENTは、音色で設定されているレゾナンスを調節する。相対変化のパラメーターであるため、64 を基準として増減の指定をする。値が大きくなるほどクセのある音になる。音色により、効果のある範囲が設定できる範囲より狭い場合がある。
- ・ RELEASE TIMEは、音色で設定されているエンベロープ リリース タイムを調節する。相対変化のパラメーターであるため、64 を基準として増減の指定をする。
- ・ ATTACK TIMEは、音色で設定されているエンベロープ アタック タイムを調節する。相対変化のパラメーターであるため、64 を基準として増減の指定をする。
- ・ BRIGHTNESSは、音色で設定されているカットオフ周波数を調節する。相対変化のパラメーターであるため、64 を基準として増減の指定をする。値が小さくなるほど柔らかな音になる。音色により、効果のある範囲が設定できる範囲より狭い場合がある。

(3-2) CHANNEL MODE MESSAGES

STATUS 1011nnn(BnH) n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
 CONTROL NUMBER 0ccccccc c = CONTROL NUMBER
 CONTROL VALUE 0vvvvvvv v = DATA VALUE

(3-2-1) ALL SOUND OFF (CONTROL NUMBER = 78H, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルの発音中の音をすべて消音する。
 ノート・オンやホールド・オンなどのチャンネルメッセージの状態も消去する。

(3-2-2) RESET ALL CONTROLLERS (CONTROL NUMBER = 79H, DATA VALUE = 0)

以下のコントローラーの設定値をリセットする。

PITCH BEND CHANGE 0 (中点)
 AFTER TOUCH 0 (最小)
 MODULATION 0 (最小)
 EXPRESSION 127 (最大)
 SUSTAIN 0 (オフ)
 SOSTENUTO 0 (オフ)
 SOFT PEDAL 0 (オフ)
 NRPN 番号未設定状態、内部データは変化しない
 RPN 番号未設定状態、内部データは変化しない
 PORTAMENTO CONTROL リセット
 PORTAMENTO 0 (オフ)

(3-2-3) ALL NOTES OFF (CONTROL NUMBER = 7BH, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルのオンしているノートをすべてオフする。ただし、サステインまたはソステノートがオンの場合は、それらがオフになるまで発音は終了しない。

(3-2-4) OMNI OFF (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7CH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTES OFF を受信したときと同じ処理を行う。

(3-2-5) OMNI ON (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7DH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTES OFF を受信したときと同じ処理を行う。
 OMNI ONにはならない。

(3-2-6) MONO (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7EH, DATA VALUE = 0)

ALL SOUND OFFを受信したときと同じ処理を行なう。
 3rd byte(モノ数)が 0 - 16 の範囲内であれば該当チャンネルを Mode4(m = 1) にする。

(3-2-7) POLY (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7FH, DATA VALUE = 0)

ALL SOUND OFFを受信したときと同じ処理を行ない、該当チャンネルを Mode3 にする。

(3-3) REGISTERED PARAMETER NUMBER(RPN) (受信のみ)

STATUS 1011nnn(BnH) n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
 RPN LSB 0110010Q(64H)
 RPN LSB NUMBER 0pppppppp p = RPN LSB(下表参照)
 RPN MSB 0110010K(65H)
 RPN MSB NUMBER 0qqqqqqqq q = RPN MSB(下表参照)
 DATA ENTRY MSB 0000011Q(06H)
 DATA VALUE 0mmmmmmm m = Data Value
 DATA ENTRY LSB 0010011Q(26H)
 DATA VALUE 0llllllll l = Data Value

まず RPN MSB/LSBでパラメーターを指定し、その後データエントリー-MSB/LSBでそのパラメーターの値を設定する。

RPN	D. ENTRY	PARAMETER NAME	DATA RANGE
00H 00H	mmH ---	PITCH BEND SENSITIVITY	00H - 18H (0 - 24 半音)

01H 00H	mmH llH	FINE TUNE	{mmH, llH} = {00H, 00H} - {40H, 00H} - {7FH, 7FH} (-8192*100/8192) - 0 - (+8192*100/8192)
02H 00H	mmH ---	COARSE TUNE	28H - 40H - 58H (-24 - 0 - +24 半音)
7FH 7FH	--- ---	NULL	RPN番号が指定されていない状態になる。 内部の設定値には影響しない。

(3-4) NON-REGISTERED PARAMETER NUMBER(NRPN) (受信のみ)

STATUS 1011nnn(BnH) n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
 NRPN LSB 0110001Q(62H)
 NRPN LSB NUMBER 0pppppppp p = NRPN LSB(下表参照)
 NRPN MSB 0110001K(63H)
 NRPN MSB NUMBER 0qqqqqqqq q = NRPN MSB(下表参照)
 DATA ENTRY MSB 0000011Q(06H)
 DATA VALUE 0mmmmmmm m = Data Value

まず NRPN MSB/LSBでパラメーターを指定し、その後データエントリー-MSB/LSBでそのパラメーターの値を設定する。

NRPN	D. ENTRY	PARAMETER NAME	DATA RANGE
MSB LSB	MSB LSB		
01H 08H	mmH ---	VIBRATO RATE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H 09H	mmH ---	VIBRATO DEPTH	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H 0AH	mmH ---	VIBRATO DELAY	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H 20H	mmH ---	FILTER CUTOFF FREQUENCY	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H 21H	mmH ---	FILTER RESONANCE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H 63H	mmH ---	EG ATTACK TIME	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H 64H	mmH ---	EG DECAY TIME	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H 66H	mmH ---	EG RELEASE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
14H rrH	mmH ---	DRUM FILTER CUTOFF FREQ.	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
15H rrH	mmH ---	DRUM FILTER RESONANCE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
16H rrH	mmH ---	DRUM AEG ATTACK RATE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
17H rrH	mmH ---	DRUM AEG DECAY RATE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
18H rrH	mmH ---	DRUM PITCH COARSE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
19H rrH	mmH ---	DRUM PITCH FINE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
1AH rrH	mmH ---	DRUM LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
1CH rrH	mmH ---	DRUM PANPOT	00H ,01H - 40H - 7FH (random, left - center - right)
1DH rrH	mmH ---	DRUM REVERB SEND LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
1EH rrH	mmH ---	DRUM CHORUS SEND LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
1FH rrH	mmH ---	DRUM VARIATION SEND LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)

MSB 14H-1FH(ドラム用)はそのチャンネルにドラムボイスがアサインされている場合のみ有効。

rrH : drum instrument note number

(3-5) SYSTEM REALTIME MESSAGES

(3-5-1) MIDI CLOCK

STATUS 11111000 (F8H)

送信: 24分の1拍 Timing で送信する。

受信: 楽器本体の Clock が External に変更された場合、外部接続機器からの FAH 受信後に24分の1拍 Timing として外部からの Clock を受信し、同期するようになる

Tempo用Timing Clock として内部 Clock を使用するかまたは MIDI IN から入る Timing Clock を使用するかの選択が行える。

(3-5-2) START

STATUS 11111010 (FAH)

送信: 楽器本体の Song 再生が Start したときに出力される。

受信: 楽器本体の状態によるが、Song 再生、Song 録音が Start する。

(3-5-3) STOP

STATUS 11111100 (FCH)

(送信: 楽器本体の Song 再生が Stop したときに出力される。

受信: 楽器本体の状態によるが、Song 再生、Song 録音が Stop する。

(3-5-4) ACTIVE SENSING

STATUS 11111110 (FEH)

約 200 msec 毎に送信する。

この Code を一度受信すると、Sensing を開始する。約 400 msec 以上の間、Status も Data も来ない時は、MIDI 受信 Buffer を Clear し、発音している音と Sustain を強制的に OFF にする。また、各 Control 情報の値は初期設定値にリセットする。

(3-6) SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE

(3-6-1) YAMAHA MIDI FORMAT

(3-6-1-1) PANEL DATA

F0 Exclusive status
43 YAMAHA ID
0n
7C Panel data
00,24 Data length
43,4C,20,20 CL
43,4C,50,38,37,30 CLP870
vv Versior(上位byte)
vv Versior(下位byte)
dd
: Panel data
dd
cc Check sum
F7 End of exclusive

[Panel data詳細]

- (1) 1st Voice(Bank MSB)
(2) 1st Voice(Bank LSB)
(3) 1st Voice(Program Change)
(4) Dual On/Off
(5) Dual Voice(Bank MSB)
(6) Dual Voice(Bank LSB)
(7) Dual Voice(Program Change)
(8) Dual Balance
(9) Dual Detune
(10) Dual Voice1 Octave
(11) Dual Voice2 Octave
(12) Dual Voice1 Effect Depth
(13) Dual Voice2 Effect Depth
(14) Split On/Off
(15) Split音色(Bank MSB)
(16) Split音色(Bank LSB)
(17) Split音色(Program Change)
(18) Split Point
(19) Split Balance
(20) Split Voice1 Octave
(21) Split Voice2 Octave
(22) Split Voice1 Effect Depth
(23) Split Voice2 Effect Depth
(24) Split Dumper Mode
(25) Reverb Type1
(26) Reverb Type2
(27) Reverb Depth1
(28) Reverb Depth2
(29) Effect Type 1
(30) Effect Type 2
(31) Effect Depth
(32) Touch Sensitivity
(33) Fixed Data
(34) Left Pedal(Soft/Start)
(35) テンボ(絶対値 下位byte)
(36) テンボ(絶対値 上位byte)

(3-6-2) UNIVERSAL SYSTEM EXCLUSIVE

(3-6-2-1) UNIVERSAL REALTIME MESSAGE

(3-6-2-1-1) MIDI MASTER VOLUME(受信のみ)

2進 16進
11110000 F0 Exclusive status
01111111 7F Universal Realtime
01111111 7F ID of target Device
0000100 04 Sub-ID #1=Device Control Message
00000001 01 Sub-ID #2=Master Volume
0sssssss SS Volume LSB
0ttttttt TT Volume MSB
11110111 F7 End of Exclusive
または
11110000 F0 Exclusive status
01111110 7F Universal Realtime
0xxxxxxx XN When N is received N=0-F, whichever is received.
When N is transmitted N always=0.
X = don't care
0000100 04 Sub-ID #1=Device Control Message
00000001 01 Sub-ID #2=Master Volume
0sssssss SS Volume LSB
0ttttttt TT Volume MSB
11110111 F7 End of Exclusive

全チャンネルの VOLUME を一括で変更する。
TT の値をMIDI マスターボリューム値として用いる。(SS の値は無視)

(3-6-2-2) UNIVERSAL NON REALTIME MESSAGE

(3-6-2-2-1) GENERAL MIDI SYSTEM ON

2進 16進
11110000 F0 Exclusive status
01111110 7E Universal Non-Realtime
01111111 7F ID of target Device
00001001 09 Sub-ID #1=General MIDI Message
00000001 01 Sub-ID #2=General MIDI On
11110111 F7 End of Exclusive
または
11110000 F0 Exclusive status
01111110 7E Universal Non-Realtime
0xxxxxxx XN When N is received N=0-F, whichever is received.
When N is transmitted N always=0.
X = don't care
00001001 09 Sub-ID #1=General MIDI Message
00000001 01 Sub-ID #2=General MIDI On
11110111 F7 End of Exclusive

On を受信することにより、SYSTEM MODE がXG に変更される。MIDI マスターチューニングを除く全てのControlデータ設定値をDefaultに戻す。このメッセージの実行には、約50msかかるため、次のメッセージとの間隔を注意すること。

(3-6-3) XG STANDARD

(3-6-3-1) XG PARAMETER CHANGE

(3-6-3-1-1) XG SYSTEM ON

2進 16進
11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0001nnnn 1N Device Number
01001100 4C Model ID
00000000 00 Address High
00000000 00 Address Mid
01111110 7E Address Low
00000000 00 Data
11110111 F7 End of Exclusive

On を受信することにより、SYSTEM MODE がXG に変更される。ControllerがResetされ、付表のMultiPart、Effectのすべてのデータと、All Systemのうち(XG)と記されているデータすべての設定値が、Default値になる。このメッセージの実行には、約50msかかるため、次のメッセージとの間隔を注意すること。

(3-6-3-1-2) XG PARAMETER CHANGE

2進 16進
11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0001nnnn 1N Device Number
01001100 4C Model ID
0aaaaaaa AA Address High
0aaaaaaa AA Address Mid
0aaaaaaa AA Address Low
0ddddddd DD Data
| |
11110111 F7 End of Exclusive

Data Sizeが2または4のパラメーターは、そのSize分のデータを送信する。Address および Parameterについては、付表 P116 ~ 120)を参照すること。

以下の4種類を受信する。(送信はParameter Change Requestを受信した時のみ)

- XG System Data
Multi Effect Data
Multi Part Data
Drums Setup Data

(3-6-3-2) XG BULK DUMP

2進 16進
11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0000nnnn 0N Device Number
01001100 4C Model ID
0bbbbbbb BB ByteCount
0bbbbbbb BB ByteCount
0aaaaaaa AA Address High
0aaaaaaa AA Address Mid
0aaaaaaa AA Address Low
00000000 00 Data
| |
0ccccccc CC Check sum
11110111 F7 End of Exclusive

Address および Byte Count は、付表(P116 ~ 120)を参照すること。
 Check sum はByte Count、Start Address、Data、Check sum 自身を加算した値の下位 7bit がゼロになる値である。
 XG バルクダンプ、バルクリクエストでは Address にブロックの先頭を指定した場合のみ受信する。
 ブロックとは付表中 Total Size として括られるデータ列の単位を示す。

以下の5種類を送受信する。(送信はBulk Dump Request Requestを受信した時のみ)

System Data
 Multi Effect Data(各エフェクト単位)
 Multi Part Data(各パート単位)
 Drums Setup Data(各ノート単位)
 System Information(送信のみ)

(3-6-3-3) XG PARAMETER REQUEST(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0011nnnn	3N	Device Number
01001100	4C	Model ID
0aaaaaaa	AA	Address High
0aaaaaaa	AA	Address Mid
0aaaaaaa	AA	Address Low
11110111	F7	End of Exclusive

Address および Byte Count は、付表(P116 ~ 120)を参照すること。
 以下の4種類を受信する。

System Data
 Multi Effect Data
 Multi Part Data
 Drums Setup Data

(3-6-3-4) XG DUMP REQUEST(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0010nnnn	2N	Device Number
01001100	4C	Model ID
0aaaaaaa	AA	Address High
0aaaaaaa	AA	Address Mid
0aaaaaaa	AA	Address Low
11110111	F7	End of Exclusive

(3-6-4) CLAVINOVA MIDI COMPLIANCE

(3-6-4-1) INTERNAL CLOCK / EXTERNAL CLOCK(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01110011	73	Clavinova ID
00000001	01	Clavinova common ID
0000001n	0N	N: 2 Internal Clock), 3 External Clock)
11110111	F7	End of Exclusive

(3-6-5) SPECIAL OPERATORS

(3-6-5-1) SPLIT POINT

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01110011	73	Clavinova ID
01010000	50	CLP870
00010001	11	Sub ID
00000000	00	
00010100	14	Split Point
0ddddd	DD	Split Key No.
11110111	F7	End of Exclusive

(3-6-5-2) METRONOME

11進		
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01110011	73	Clavinova ID
01010000	50	CLP870
00010001	11	Sub ID
00000000	00	
00011011	1B	Metronome
0ddddd	DD	dd: 00H(Off), 02H(2/4), 03(3/4), 04(4/4), 06(6/4), 7f(Beatなし)
11110111	F7	End of exclusive

(3-6-5-3) DAMPER LEVEL

11進		
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01110011	73	Clavinova ID
01010000	50	CLP870
00010001	11	Sub ID
0000nnnn	0n	Channel
0011dddd	3D	Damper level
0ddddd	dd	dd: 00 - 7f
11110111	F7	End of exclusive

(3-6-5-4) CHANNEL DETUNE

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01110011	73	Clavinova ID
01010000	50	CLP870
00010001	11	Sub ID
0000nnnn	0N	N = MIDI Channel
01000011	43	Dual Detune
0vvvvvvv	VV	Value VV: 00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
11110111	F7	End of Exclusive

チャンネルデチューンは特定の N=MIDI Channel で指定されたチャンネルにのみ有効

(3-6-5-5) VOLUME, EXPRESSION AND PAN REALTIME CONTROL OFF

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01110011	73	Clavinova ID
01010000	50	CLP870
00010001	11	Sub ID
0000nnnn	0N	N = MIDI Channel
01001001	45	Volume and Expression Realtime Control Off
0vvvvvvv	VV	Value VV: 0n=7FH, off=00H
11110111	F7	End of Exclusive

このExclusiveの0nを受信するとその後のVolume, Expression, PANの変更はキーオン時のみ有効になる。Offを受信すると通常に戻る。

(3-6-6) Others

(3-6-6-1) MIDI MASTER TUNING(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0001nnnn	1N	When N is received N=0-F, whichever is received. When N is transmitted N always=0.
00100111	27	Model ID
00110000	30	Sub ID
00000000	00	
00000000	00	
0mmmmmm	MM	Master Tune MSB
0lllllll	LL	Master Tune LSB
0ccccccc	CC	don't care
11110111	F7	End of Exclusive

全チャンネルの TUNING を一括で変更する。

MM, LL の値をMIDI マスターチューニング値として用いる。(N及びCCの値は無視)

T = M-128

T : 実際のチューニング値(-99cent - +99cent)

M : MM の 0 - 3 ビットを MSB、LL の 0 - 3 ビットを LSB とする1バイトの値(28 - 228)

この設定はGMシステムオン、XGシステムオンでリセットされない。

< 付表 1-1 >

Parameter Basic Address		Parameter Change Address	(H)(M)(L) Description	
SYSTEM	00	00	00 System	
	00	00	7D Drum Setup Reset	
	00	00	7E XG System On	
	00	00	7F All Parameter Reset	
INFORMATION	01	00	00 System Information	
EFFECT 1	02	01	00 Effect1(Reverb,Chorus,Variation)	
EFFECT 2	03	00	00 Effect2	
MULTI PART	08	00	00 Multi Part 1	
			:	
	08	0F	00 Multi Part 16	
			:	
	08	10	00 Reserved	
	:	:	:	
DRUM	30	0D	00 Drum Setup 1 ----->Address Parameter	
	31	0D	00 Drum Setup 2 : :	
			3n	0D 00 note number 13
	32	0D	00 Reserved	3n 0E 00 note number 14
	:	:	:	:
			3n	5B 00 note number 91
			:	:
			:	:

< 付表 1-2 >

MIDI Parameter Change table(SYSTEM)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name (H)	Description	Default Value(H)
00	00	00	0000	Master Tune	00 04 00 00
	01		..07FF		(0400)
	02			1st bit3-0 -> bit15-12	(XG GM onでResetされない)
	03			2nd bit3-0 -> bit11-8	
				3rd bit3-0 -> bit7-4	
				4th bit3-0 -> bit3-0	
	04	1	00..7F	Master Volume	7F
	05	1		Not Used	
	06	1	28..58	Transpose	40
	7D	n		Drum Setup Reset	n=Drum Setup Number
	7E	00		XG System On	00=XG Sytem on
	7F	00		All Parameter Reset	00=on (receive only)
TOTAL SIZE 6					

< 付表 1-3 >

MIDI Parameter table(System information)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name (H)	Description
01	00	00	D 20..7F	Model Name 32..127(ASCII)
			:	
		0D		
	0E	1	00	
	0F	1	00	
TOTAL SIZE 10				

(Dump Requestにより送信される。受信は行なわない。Bulk Dump Only)

< 付表 1-4 >

MIDI Parameter Change table(EFFECT 1)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value(H)
02 01 00	2	00..7F	Reverb Type MSB	Ef. Type List 参照	0(=HALL1)
		00..7F	Reverb Type LSB	00 : basic type	00
	02 1	00..7F	Reverb Parameter 1	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	03 1	00..7F	Reverb Parameter 2	"	"
	04 1	00..7F	Reverb Parameter 3	"	"
	05 1	00..7F	Reverb Parameter 4	"	"
	06 1	00..7F	Reverb Parameter 5	"	"
	07 1	00..7F	Reverb Parameter 6	"	"
	08 1	00..7F	Reverb Parameter 7	"	"
	09 1	00..7F	Reverb Parameter 8	"	"
	0A 1	00..7F	Reverb Parameter 9	"	"
	0B 1	00..7F	Reverb Parameter 10	"	"
	0C 1	00..7F	Reverb Return	- ..0..+6dB(0..96..127)	40
	0D 1	01..7F	Reverb Pan	L63..C..R63(1..64..127)	40
TOTAL SIZE 0E					
02 01 10	1	00..7F	Reverb Parameter 11	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
	11 1	00..7F	Reverb Parameter 12	"	"
	12 1	00..7F	Reverb Parameter 13	"	"
	13 1	00..7F	Reverb Parameter 14	"	"
	14 1	00..7F	Reverb Parameter 15	"	"
	15 1	00..7F	Reverb Parameter 16	"	"
TOTAL SIZE 6					
02 01 20	2	00..7F	Chorus Type MSB	Effect Type List 参照	4(=Chorus1)
		00..7F	Chorus Type LSB	00 : basic type	00
	22 1	00..7F	Chorus Parameter 1	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	23 1	00..7F	Chorus Parameter 2	"	"
	24 1	00..7F	Chorus Parameter 3	"	"
	25 1	00..7F	Chorus Parameter 4	"	"
	26 1	00..7F	Chorus Parameter 5	"	"
	27 1	00..7F	Chorus Parameter 6	"	"
	28 1	00..7F	Chorus Parameter 7	"	"
	29 1	00..7F	Chorus Parameter 8	"	"
	2A 1	00..7F	Chorus Parameter 9	"	"
	2B 1	00..7F	Chorus Parameter 10	"	"
	2C 1	00..7F	Chorus Return	- ..0..+6dB(0..96..127)	40
	2D 1	01..7F	Chorus Pan	L63..C..R63(1..64..127)	40
	2E 1	00..7F	Send Chorus To Reverb	- ..0..+6dB(0..96..127)	00
TOTAL SIZE 0F					
02 01 30	1	00..7F	Chorus Parameter 11	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
	31 1	00..7F	Chorus Parameter 12	"	"
	32 1	00..7F	Chorus Parameter 13	"	"
	33 1	00..7F	Chorus Parameter 14	"	"
	34 1	00..7F	Chorus Parameter 15	"	"
	35 1	00..7F	Chorus Parameter 16	"	"
TOTAL SIZE 6					
02 01 40	2	00..7F	Variation Type MSB	Ef. Type List 参照	"0(=DELAY L,C,R)"
		00..7F	Variation Type LSB	00 : basic type	00
	42 2	00..7F	Vari. Param. 1 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 1 LSB	"	"
	44 2	00..7F	Vari. Param. 2 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 2 LSB	"	"
	46 2	00..7F	Vari. Param. 3 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 3 LSB	"	"
	48 2	00..7F	Vari. Param. 4 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 4 LSB	"	"
	4A 2	00..7F	Vari. Param. 5 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 5 LSB	"	"
	4C 2	00..7F	Vari. Param. 6 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 6 LSB	"	"
	4E 2	00..7F	Vari. Param. 7 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 7 LSB	"	"
	50 2	00..7F	Vari. Param. 8 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 8 LSB	"	"
	52 2	00..7F	Vari. Param. 9 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 9 LSB	"	"
	54 2	00..7F	Vari. Param. 10 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 10 LSB	"	"
	56 1	00..7F	Variation Return	- ..0..+6dB(0..96..127)	40
	57 1	01..7F	Variation Pan	L63..C..R63(1..64..127)	40
	58 1	00..7F	Send Vari. To Reverb	- ..0..+6dB(0..96..127)	00
	59 1	00..7F	Send Vari. To Chorus	- ..0..+6dB(0..96..127)	00
	5A 1	00..01	Variation Connection	0:insertion,1:system	00
	5B 1	00..1F	Variation Part	part1..32(0..31),of(127)	7F
	5C 1	01..7F	MW Vari. Ctrl Depth	-63..+63	40

5D	1	01..7F	PB Vari. Ctrl Depth	-63..+63	40
5E	1	01..7F	CAT Vari. Ctrl Depth	-63..+63	40
5F	1	01..7F	Not Used		
60	1	01..7F	Not Used		

TOTAL SIZE 21

02	01	70	1	00..7F	Variation Parameter 11	option Parameter	Depend on Variation Type
		71	1	00..7F	Variation Parameter 12	"	"
		72	1	00..7F	Variation Parameter 13	"	"
		73	1	00..7F	Variation Parameter 14	"	"
		74	1	00..7F	Variation Parameter 15	"	"
		75	1	00..7F	Variation Parameter 16	"	"

TOTAL SIZE 6

< 付表 1-5 > MIDI Parameter change table(Effect2)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name (H)	Description	Default Value(H)	
03	00	00	2	00..7F	Insertion Type MSB	Ef. Type List参照 "4ㄱ=DISTORTION)"
				00..7F	Insertion Type LSB	00 : basic type
		02	1	00..7F	Insertion Parameter1	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		03	1	00..7F	Insertion Parameter2	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		04	1	00..7F	Insertion Parameter3	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		05	1	00..7F	Insertion Parameter4	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		06	1	00..7F	Insertion Parameter5	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		07	1	00..7F	Insertion Parameter6	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		08	1	00..7F	Insertion Parameter7	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		09	1	00..7F	Insertion Parameter8	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		0A	1	00..7F	Insertion Parameter9	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		0B	1	00..7F	Insertion Parameter10	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		0C	1	00..7F	Insertion Part	Part1..16,OFF 7F
		0D	1	00..7F	MW INS CTRL DPT	
		0E	1	00..7F	BEND INS CTRL DPT	
		0F	1	00..7F	CAT INS CTRL DPT	
		10	1	00..7F	Not Used	
		11	1	00..7F	Not Used	

TOTAL SIZE 12

03	00	20	1	00..7F	Insertion Parameter11	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		21	1	00..7F	Insertion Parameter12	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		22	1	00..7F	Insertion Parameter13	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		23	1	00..7F	Insertion Parameter14	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		24	1	00..7F	Insertion Parameter15	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
		25	1	00..7F	Insertion Parameter16	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type

TOTAL SIZE 06

03	00	30	2	00..7F	Ins. Param.1 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.1 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
03	00	32	2	00..7F	Ins. Param.2 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.2 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
03	00	34	2	00..7F	Ins. Param.3 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.3 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
03	00	36	2	00..7F	Ins. Param.4 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.4 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
03	00	38	2	00..7F	Ins. Param.5 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.5 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
03	00	3A	2	00..7F	Ins. Param.6 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.6 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
03	00	3C	2	00..7F	Ins. Param.7 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.7 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
03	00	3E	2	00..7F	Ins. Param.8 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.8 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
03	00	40	2	00..7F	Ins. Param.9 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.9 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
03	00	42	2	00..7F	Ins. Param.10 MSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type
				00..7F	Ins. Param.10 LSB	Ef. Parameter List参照 Depend on Ins. Type

TOTAL SIZE 14

MSBが不要なEFFECT TYPE使用時は、Address02～0BのParameterを受信し、Address30～42は受信しない。
 MSBが不要なEFFECT TYPE使用時は、Address30～42のParameterを受信し、Address02～0Bは受信しない。
 EFFECT TYPEの情報を含むバルクの送信は、Address02～0BのParameterが必ず送信されるが、
 MSBが不要なEFFECT TYPEの場合は、バルク受信においてもAddress02～0BのParameterは受信しない。

< 付表 1-6 >

MIDI Parameter Change table (MULTI PART)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value(H)	
08	nn	00 1	00..20	Element Reserve	0..32	0(Part10),2(0thers)
	nn	01 1	00..7F	Bank Select MSB	0..127	7F(Part10),00(0thers)
	nn	02 1	00..7F	Bank Select LSB	0..127	00
	nn	03 1	00..7F	Program Number	1..128	00
	nn	04 1	00..0F, 7F	Rcv Channel	0..16;1..16,127;off	Part No.
	nn	05 1	00..01	Mono/Poly Mode	0:mono,1:poly	01
	nn	06 1	00..02	Same Note Number Key On Assign	0:single 1:multi 2:inst (for DRUM)	00
	nn	07 1	00..02	Part Mode	0:normal 1..3:drum thru,drum1..2	00 (Part10以外) 01 (Part10)
	nn	08 1	28..58	Note Shift	-24..+24[semitones]	40
	nn	09 2	00..FF	Detune	-12.8..+12.7[Hz]	08 00
	nn	0A			1st bit3..0 -> bit7..4 2nd bit3..0 -> bit3..0	(80)
	nn	0B 1	00..7F	Volume	0..127	64
	nn	0C 1	00..7F	Velocity Sense Depth	0..127	40
	nn	0D 1	00..7F	Velocity Sense Offset	0..127	40
	nn	0E 1	00..7F	Pan	0:random L63..C..R63(1..64..127)	40
	nn	0F 1	00..7F	Note Limit Low	C-2..G8	00
	nn	10 1	00..7F	Note Limit High	C-2..G8	7F
	nn	11 1	00..7F	Dry Level	0..127	7F
	nn	12 1	00..7F	Chorus Send	0..127	00
	nn	13 1	00..7F	Reverb Send	0..127	28
	nn	14 1	00..7F	Variation Send	0..127	00
	nn	15 1	00..7F	Vibrato Rate	-64..+63	40
	nn	16 1	00..7F	Vibrato Depth	-64..+63	40
	nn	17 1	00..7F	Vibrato Delay	-64..+63	40
	nn	18 1	00..7F	Filter Cutoff Freq.	-64..+63	40
	nn	19 1	00..7F	Filter Resonance	-64..+63	40
	nn	1A 1	00..7F	EG Attack Time	-64..+63	40
	nn	1B 1	00..7F	EG Decay Time	-64..+63	40
	nn	1C 1	00..7F	EG Release Time	-64..+63	40
	nn	1D 1	28..58	MW Pitch Control	-24..+24[semitones]	40
	nn	1E 1	00..7F	MW Filter Control	-9600..+9450[cent]	40
	nn	1F 1	00..7F	MW Amp. Control	-100..+100[%]	40
	nn	20 1	00..7F	MW LFO PMod Depth	0..127	0A
	nn	21 1	00..7F	MW LFO FMod Depth	0..127	00
	nn	22 1	00..7F	MW LFO AMod Depth	0..127	00
	nn	23 1	28..58	Bend Pitch Control	-24..+24[semitones]	42
	nn	24 1	00..7F	Bend Filter Control	-9600..+9450[cent]	40
	nn	25 1	00..7F	Bend Amp. Control	-100..+100[%]	40
	nn	26 1	00..7F	Bend LFO PMod Depth	0..127	00
	nn	27 1	00..7F	Bend LFO FMod Depth	0..127	00
	nn	28 1	00..7F	Bend LFO AMod Depth	0..127	00
TOTAL SIZE 29						
	nn	30		Not Used		
	:			:		
	nn	40		Not Used		
	nn	41 1	00..7F	Scale Tuning C	-64..+63[cent]	40
	nn	42 1	00..7F	Scale Tuning C#	-64..+63[cent]	40
	nn	43 1	00..7F	Scale Tuning D	-64..+63[cent]	40
	nn	44 1	00..7F	Scale Tuning D#	-64..+63[cent]	40
	nn	45 1	00..7F	Scale Tuning E	-64..+63[cent]	40
	nn	46 1	00..7F	Scale Tuning F	-64..+63[cent]	40
	nn	47 1	00..7F	Scale Tuning F#	-64..+63[cent]	40
	nn	48 1	00..7F	Scale Tuning G	-64..+63[cent]	40
	nn	49 1	00..7F	Scale Tuning G#	-64..+63[cent]	40
	nn	4A 1	00..7F	Scale Tuning A	-64..+63[cent]	40
	nn	4B 1	00..7F	Scale Tuning A#	-64..+63[cent]	40
	nn	4C 1	00..7F	Scale Tuning B	-64..+63[cent]	40
	nn	4D 1	28..58	CAT Pitch Control	-24..+24[semitones]	40
	nn	4E 1	00..7F	CAT Filter Control	-9600..+9450[cent]	40
	nn	4F 1	00..7F	CAT Amplitude Control	-100..+100[%]	40
	nn	50 1	00..7F	CAT LFO PMod Depth	0..127	00
	nn	51 1	00..7F	CAT LFO FMod Depth	0..127	00
	nn	52 1	00..7F	CAT LFO AMod Depth	0..127	00
	nn	53		Not Used		

```

:
66 Not Used

nn 67 1 00..01 Portamento Switch off/on 00
nn 68 1 00..7F Portamento Time 0..127 00

nn 69 Not Used
:
6E Not Used
TOTAL SIZE 3F

```

nn = PartNumber

Partにドラムボイスがアサインされている場合、以下のパラメーターは効果がかからない。

- ・Bank Select LSB
- ・Pitch EG
- ・Portamento
- ・Soft Pedal
- ・Mono/Poly
- ・Scale Tuning

< 付表 1-7 >

MIDI Parameter Change table(DRUM SETUP)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value(H)
3n rr 00	1	00..7F	Pitch Coarse	-64..+63	40
3n rr 01	1	00..7F	Pitch Fine	-64..+63[cent]	40
3n rr 02	1	00..7F	Level	0..127	Depend on the Note
3n rr 03	1	00..7F	Alternate Group	0:off,1..127	Depend on the Note
3n rr 04	1	00..7F	Pan	0:random L63..C..R63(1..64..127)	Depend on the Note
3n rr 05	1	00..7F	Reverb Send Level	0..127	Depend on the Note
3n rr 06	1	00..7F	Chorus Send Level	0..127	Depend on the Note
3n rr 07	1	00..7F	Variation Send Level	0..127	7F
3n rr 08	1	00..01	Key Assign	0:single,1:multi	00
3n rr 09	1	00..01	Rcv Note Off	off/on	Depend on the Note
3n rr 0A	1	00..01	Rcv Note On	off/on	01
3n rr 0B	1	00..7F	Filter Cutoff Freq.	-64..63	40
3n rr 0C	1	00..7F	Filter Resonance	-64..63	40
3n rr 0D	1	00..7F	EG Attack Rate	-64..63	40
3n rr 0E	1	00..7F	EG Decay1 Rate	-64..63	40
3n rr 0F	1	00..7F	EG Decay2 Rate	-64..63	40

TOTAL SIZE 10

n:Drum Setup Number(0 - 1)

rr:note number(ODH - 5BH)

XG SYSTEM onやGM onメッセージを受信すると、Drum Setup Parameterはすべて初期化される。

Drum Setup Resetメッセージにより、各Drum Setup Parameterを初期化することができる。

Program Changeメッセージを受信すると、Drum Setup Parameterはすべて初期化される。

< 付表 1-8 >

Effect Type List

	PANEL EFFECT
	XG ESSENTIAL EFFECT
	Same as LSB=0

TYPE LSBにEFFECT TYPEを持たない値を受信した場合、LSB=0のTYPEとなる。

REVERB TYPE

TYPE MSB	TYPE LSB											
	00	01	02	03..07	08	09..15	16	17	18	19	20	21..
000	NO EFFECT											
001	HALL1	HALL2					HALL1	HALL2	HALL			
002	ROOM1	ROOM2	ROOM3				ROOM	ROOM	ROOM	ROOM		
003	STAGE1	STAGE2					STAGE	STAGE				
004	PLATE						PLATE	PLATE				
005..015	NO EFFECT											
016	WHITE ROOM											
017	TUNNEL											
018	CANYON											
019	BASEMENT											
020..127	NO EFFECT											

CHORUS TYPE

TYPE MSB	TYPE LSB	00	01	02	03..07	08	09..15	16	17	18	19	20	21..
000	NO EFFECT												
001..064	NO EFFECT												
065	CHORUS1	CHORUS2	CHORUS3			CHORUS							
066	CELESTE1	CELESTE2	CELESTE3			CELESTE		CELESTE	CELESTE				
067	FLANGER 1	FLANGER2				FLANGER		FLANGER	FLANGER				
068	SYMPHONIC												
069..071	NO EFFECT												
072	PHASER 1												
073..066	NO EFFECT												
087	ENSEMBLE DETUNE												
088..127	NO EFFECT												

VARIATION EFFECT TYPE

TYPE MSB	TYPE LSB	00	01	02	03..07	08	09..15	16	17	18	19	20	21..
000	NO EFFECT												
001	HALL1	HALL2						HALL	HALL	HALL			
002	ROOM1	ROOM2	ROOM3					ROOM	ROOM	ROOM	ROOM		
003	STAGE1	STAGE2						STAGE	STAGE				
004	PLATE							PLATE	PLATE				
005	DELAY L,C,R							ECHO					
006	DELAY L,R												
007	ECHO												
008	CROSS DELAY												
009	ER1	ER2											
010	GATE REVERB												
011	REVERS GATE												
012..015	NO EFFECT												
016	WHITE ROOM												
017	TUNNEL												
018	CANYON												
019	BASEMENT												
020	KARAOKE 1	KARAOKE 2	KARAOKE 3										
021..063	NO EFFECT												
064	THRU												
065	CHORUS1	CHORUS2	CHORUS3			CHORUS		CHORUS					
066	CELESTE1	CELESTE2	CELESTE3			CELESTE		CELESTE	CELESTE	CELESTE	CELESTE		
067	FLANGER 1	FLANGER2				FLANGER		FLANGER	FLANGER				
068	SYMPHONIC							SYMPHONIC					
069	ROTARY SP.							ROTARY SP.					
070	TREMOLO							TREMOLO	TREMOLO				
071	AUTO PAN							AUTO PAN	AUTO PAN	AUTO PAN	AUTO PAN	AUTO PAN	
072	PHASER					PHASER							
073	DISTORTION	COMP+DISTORTION											
074	OVER DRIVE												
075	AMP SIM.							DIST.HARD	DIST.SOFT				
076	3BAND EQ							EQ DISCO	EQ TEL				
077	2BAND EQ												
078	AUTO WAH	AUTO WAH+DIST	AUTO WAH+OVERDRIVE					WAH					
079	THRU												
080	PITCH CHANGE	PITCH CHANGE2											
081	THRU												
082	TOUCH WAH	TOUCH WAH+DIST	TOUCH WAH+OVERDRIVE			TOUCH WAH							
083	COMPRESSOR												
084	NOISE GATE												
085	VOICE CANCEL												
086	2WAY ROTARY SP												
087	ENSEMBLE DETUNE												
088	AMBIENCE												
089..127	THRU												

INSERTION EFFECT TYPE

TYPE MSB	TYPE LSB	00	01	02	03..07	08	09..15	16	17	18	19	20	21..
000	THRU												
001	HALL 1	HALL 2						HALL	HALL	HALL			
002	ROOM 1	ROOM 2	ROOM 3					ROOM	ROOM	ROOM	ROOM		
003	STAGE 1	STAGE 2						STAGE	STAGE				
004	PLATE							PLATE	PLATE				
005	DELAY L,C,R							Delay LCR					
006	DELAY L,R												
007	ECHO												
008	CROSS DELAY												
009..019	THRU												
020	KARAOKE 1	KARAOKE 2	KARAOKE 3										
021..064	THRU												
065	CHORUS 1	CHORUS 2	CHORUS 3			CHORUS							
066	CELESTE 1	CELESTE 2	CELESTE 3			CELESTE		CELESTE	CELESTE	CELESTE			
067	FLANGER 1	FLANGER 2				FLANGER		FLANGER	FLANGER				
068	SYMPHONIC							SYMPHONIC					
069	ROTARY SPEAKER							ROTARY SP.					
070	TREMOLO							TREMOLO	TREMOLO				
071	AUTO PAN							AUTO PAN	AUTO PAN	AUTO PAN	AUTO PAN	AUTO PAN	
072	PHASER												
073	DISTORTION												
074	OVER DRIVE												
075	AMP SIMULATOR							DIST.HARD	DIST.SOFT				
076	3BAND EQ							EQ DISCO	EQ TEL				
077	2-BAND EQ												
078	AUTO WAH							AUTO WAH					
079..081	THRU												
082	TOUCH WAH					TOUCH WAH							
083	COMPRESSOR												
084	NOISE GATE												
085..086	THRU												
087	ENSEMBLE DETUNE												
088..127	THRU												

< 付表 1-9 >

エフェクトパラメーターリスト

HALL, ROOM, STAGE, PLATE

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Reverb Time	0.3~30.0s	0-69	table#4
2	Diffusion	0~10	0-10	
3	Initial Delay	0.1ms~99.3ms	0-63	table#5
4	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52	table#3
5	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3
6				
7				
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Rev Delay	0.1ms~99.3ms	0-63	table#5
12	Density	0~4 (reverb, variation block)	0-4	
		0~2 (insertion block)	0-2	
13	Ev/Rev Balance	E63>R ~ E=R ~ E<R63	1-127	
14	High Damp	0.1~1.0	1-10	
15	Feedback Level	-63~+63	1-127	
16				

WHITE ROOM, TUNNEL, CANYON, BASEMENT (reverb, variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Reverb Time	0.3~30.0s	0-69	table#4
2	Diffusion	0~10	0-10	
3	Initial Delay	0.1ms~99.3ms	0-63	table#5
4	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52	table#3
5	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3
6	Width	0.5~10.2m	0-37	table#11
7	Height	0.5~20.2m	0-73	table#11
8	Depth	0.5~30.2m	0-104	table#11
9	Wall Vary	0~30	0-30	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Rev Delay	0.1ms~99.3ms	0-63	table#5
12	Density	0~4	0-4	
13	Ev/Rev Balance	E63>R ~ E=R ~ E<R63	1-127	
14	High Damp	0.1~1.0	1-10	
15	Feedback Level	-63~+63	1-127	
16				

DELAY L,C,R (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Lch Delay	0.1~1486.0ms (variation block)	1-14860	
		0.1~742.9ms (insertion block)	1-7429	
2	Rch Delay	0.1~1486.0ms (variation block)	1-14860	
		0.1~742.9ms (insertion block)	1-7429	
3	Cch Delay	0.1~1486.0ms (variation block)	1-14860	
		0.1~742.9ms (insertion block)	1-7429	
4	Feedback Delay	0.1~1486.0ms (variation block)	1-14860	
		0.1~742.9ms (insertion block)	1-7429	
5	Feedback Level	-63~+63	1-127	
6	Cch Level	0~127	0-127	
7	High Damp	0.1~1.0	1-10	
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11				
12				
13	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
14	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
15	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
16	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	

DELAY L,R (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Lch Delay	0.1~1486.0ms (variation block)	1-14860	
		0.1~742.9ms (insertion block)	1-7429	
2	Rch Delay	0.1~1486.0ms (variation block)	1-14860	
		0.1~742.9ms (insertion block)	1-7429	
3	Feedback Delay 1	0.1~1486.0ms (variation block)	1-14860	
		0.1~742.9ms (insertion block)	1-7429	
4	Feedback Delay 2	0.1~1486.0ms (variation block)	1-14860	
		0.1~742.9ms (insertion block)	1-7429	
5	Feedback Level	-63~+63	1-127	
6	High Damp	0.1~1.0	1-10	
7				
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11				
12				
13	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
14	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
15	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
16	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	

ECHO (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Lch Delay1	0.1~743.0ms (variation block)	1-7430	
		0.1~371.4ms (insertion block)	1-3714	
2	Lch Feedback Level	-63~+63	1-127	
3	Rch Delay1	0.1~743.0ms (variation block)	1-7430	
		0.1~371.4ms (insertion block)	1-3714	
4	Rch Feedback Level	-63~+63	1-127	
5	High Damp	0.1~1.0	1-10	
6	Lch Delay2	0.1~743.0ms (variation block)	1-7430	
		0.1~371.4ms (insertion block)	1-3714	
7	Rch Delay2	0.1~743.0ms (variation block)	1-7430	
		0.1~371.4ms (insertion block)	1-3714	
8	Delay2 Level	0~127	0-127	
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11				
12				
13	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
14	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
15	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
16	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	

CROSS DELAY (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	L->R Delay	0.1~743.0ms (variation block)	0-127	table#7
		0.1~371.4ms (insertion block)	1-3714	
2	R->L Delay	0.1~743.0ms (variation block)	0-127	table#7
		0.1~371.4ms (insertion block)	1-3714	
3	Feedback Level	-63~+63	1-127	
4	Input Select	L,R,L&R	0-2	
5	High Damp	0.1~1.0	1-10	
6				
7				
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11				
12				
13	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
14	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
15	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
16	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	

EARLY REF (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Type	S,H,L,H,Rdm,Rvs,Pit,Spr	0-5	
2	Room Size	0.1~7.0	0-44	table#6
3	Diffusion	0~10	0-10	
4	Initial Delay	0.1ms~99.3ms	0-63	table#5
5	Feedback Level	-63~+63	1-127	
6	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52	table#3
7	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Liveness	0~10	0-10	
12	Density	0~3	0-3	
13	High Damp	0.1~1.0	1-10	
14				
15				
16				

GATE REVERB, REVERSE GATE (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Type	TypeA,TypeB	0-1	
2	Room Size	0.1~20.0	0-127	table#6
3	Diffusion	0~10	0-10	
4	Initial Delay	0.1ms~200ms	0-127	table#5
5	Feedback Level	-63~+63	1-127	
6	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52	table#3
7	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Liveness	0~10	0-10	
12	Density	0~3	0-3	
13	High Damp	0.1~1.0	1-10	
14				
15				
16				

KARAOKE (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Delay Time	0.1ms~400ms	0-127	table#7
2	Feedback Level	-63~+63	1-127	
3	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52	table#3
4	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3
5				
6				
7				
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11				
12				
13				
14				
15				
16				

CHORUS, CELESTE (chorus, variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	LFO Depth	0~127	0-127	
3	Feedback Level	-63~+63	1-127	
4	Delay Offset	0~127	0-127	table#2
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz (variation block)	14-54	table#3
12	EQ Mid Gain	-12~+12dB (variation block)	52-76	
13	EQ Mid Width	1.0~12.0 (variation block)	10-120	
14				
15	Input Mode	mono/stereo	0-1	
16				

FLANGER (chorus, variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	LFO Depth	0~127	0-127	
3	Feedback Level	-63~+63	1-127	
4	Delay Offset	0~127	0-127	table#2
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz (variation block)	14-54	table#3
12	EQ Mid Gain	-12~+12dB (variation block)	52-76	
13	EQ Mid Width	1.0~12.0 (variation block)	10-120	
14	LFO Phase Difference	-180~+180deg(resolution=3deg.)	4-124	
15				
16				

SYMPHONIC (chorus, variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	LFO Depth	0~127	0-127	
3	Delay Offset	0~127	table#2	
4				
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz (variation block)	14-54	table#3
12	EQ Mid Gain	-12~+12dB (variation block)	52-76	
13	EQ Mid Width	1.0~12.0 (variation block)	10-120	
14				
15				
16				

ENSEMBLE DETUNE (chorus, variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Detune	-50~+50cent	14-114	
2	Lch Init Delay	0~127	table#2	
3	Rch Init Delay	0~127	table#2	
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz (variation, insertion block)	4-40	table#3
12	EQ Low Gain	-12~+12dB (variation, insertion block)	52-76	
13	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz (variation, insertion block)	28-58	table#3
14	EQ High Gain	-12~+12dB (variation, insertion block)	52-76	
15				
16				

AMBIENCE (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Delay Time	0~127	table#2	
2	Output Phase	normal/invers	0-1	
3				
4				
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11				
12				
13				
14				
15				
16				

ROTARY SPEAKER (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	LFO Depth	0~127	0-127	
3				
4				
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz (variation block)	14-54	table#3
12	EQ Mid Gain	-12~+12dB (variation block)	52-76	
13	EQ Mid Width	1.0~12.0 (variation block)	10-120	
14				
15				
16				

2WAY ROTARY SPEAKER (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Rotor Speed	0.0Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	Drive Low	0~127	0-127	
3	Drive High	0~127	0-127	
4	Low/High	L63>H ~ L=H ~ L<H63	1-127	
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10				
11	Crossover Frequency	100Hz~10.0kHz	14-54	table#3
12	Mic L-R Angle	0deg~180deg (resolution=3deg.)	0-60	
13				
14				
15				
16				

TREMOLO (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	AM Depth	0~127	0-127	
3	PM Depth	0~127	0-127	
4				
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10				
11	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz (variation block)	14-54	table#3
12	EQ Mid Gain	-12~+12dB (variation block)	52-76	
13	EQ Mid Width	1.0~12.0 (variation block)	10-120	
14	LFO Phase Difference	-180~+180deg(resolution=3deg.)	4-124	
15	Input Mode	mono/stereo	0-1	
16				

AUTO PAN (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	L/R Depth	0~127	0-127	
3	F/R Depth	0~127	0-127	
4	PAN Direction	L<>R, L>R, L<R, Lturn, Rturn, L/R	0-5	
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10				
11	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz (variation block)	14-54	table#3
12	EQ Mid Gain	-12~+12dB (variation block)	52-76	
13	EQ Mid Width	1.0~12.0 (variation block)	10-120	
14				
15				
16				

PHASER 1 (chorus, variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	LFO Depth	0~127	0-127	
3	Phase Shift Offset	0~127	0-127	
4	Feedback Level	-63~+63	1-127	
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Stage	4,5,6 (chorus, insertion block)	4-6	
12	Diffusion	4-12 (variation block)	4-12	
13		mono/stereo	0-1	
14				
15				
16				

PHASER 2 (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	LFO Depth	0~127	0-127	
3	Phase Shift Offset	0~127	0-127	
4	Feedback Level	-63~+63	1-127	
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Stage	3,4,5,6	3-6	
12				
13	LFO Phase Difference	-180deg~+180deg(resolution=3deg.)	4-124	
14				
15				
16				

DISTORTION, OVERDRIVE (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Drive	0~127	0-127	
2	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
3	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
4	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3
5	Output Level	0~127	0-127	
6				
7	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz	14-54	table#3
8	EQ Mid Gain	-12~+12dB	52-76	
9	EQ Mid Width	1.0~12.0	10-120	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Edge(Clip Curve)	0~127	0-127	mild-sharp
12				
13				
14				
15				
16				

COMP+DIST (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Drive	0~127	0-127	
2	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
3	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
4	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3
5	Output Level	0~127	0-127	
6				
7	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz	14-54	table#3
8	EQ Mid Gain	-12~+12dB	52-76	
9	EQ Mid Width	1.0~12.0	10-120	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Edge(Clip Curve)	0~127	0-127	mild-sharp
12	Attack	1ms~40ms	0-19	table#8
13	Release	10ms~680ms	0-15	table#9
14	Threshold	-48dB~-6dB	79-121	
15	Ratio	1.0~20.0	0-7	table#10
16				

AMP SIMULATOR (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Drive	0-127		
2	AMP Type	Off, Stack, Combo, Tube		
3	LPF Cutoff	1.0k~Thru	table#3	
4	Output Level	0-127		
5				
6				
7				
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Edge(Clip Curve)	0-127	mild-sharp	
12				
13				
14				
15				
16				

3BAND EQ(MONO) (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
2	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz	14-54	table#3
3	EQ Mid Gain	-12~+12dB	52-76	
4	EQ Mid Width	1.0~12.0	10-120	
5	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3
7	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15	Input Mode	mono/stereo	0-1	
16				

2BAND EQ(STEREO) (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
2	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
3	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
4	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

AUTO WAH (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	LFO Depth	0-127	0-127	
3	Cutoff Frequency Offset	0-127	0-127	
4	Resonance	1.0~12.0	10-120	
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Drive	0-127	0-127	
12				
13				
14				
15				
16				

AUTO WAH+DIST, AUTO WHA+ODRV (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz~39.7Hz	0-127	table#1
2	LFO Depth	0-127	0-127	
3	Cutoff Frequency Offset	0-127	0-127	
4	Resonance	1.0~12.0	10-120	
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Drive	0-127	0-127	
12	EQ Low Gain(distortion)	-12~+12dB	52-76	
13	EQ Mid Gain(distortion)	-12~+12dB	52-76	
14	LPF Cutoff	1.0kHz~thru	34-60	table#3
15	Output Level	0-127	0-127	
16				

TOUCH WAH 1 (variation, insertion block), TOUCH WAH+DIST (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Sensitive	0-127		
2	Cutoff Frequency Offset	0-127	0-127	
3	Resonance	1.0~12.0	10-120	
4				
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Drive	0-127	0-127	
12				
13				
14				
15				
16				

TOUCH WAH 2 (variation, insertion block), TOUCH WAH+ODRV (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Sensitive	0-127		
2	Cutoff Frequency Offset	0-127	0-127	
3	Resonance	1.0~12.0	10-120	
4				
5				
6	EQ Low Frequency	32Hz~2.0kHz	4-40	table#3
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76	
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Drive	0-127	0-127	
12	EQ Low Gain(distortion)	-12~+12dB	52-76	
13	EQ Mid Gain(distortion)	-12~+12dB	52-76	
14	LPF Cutoff	1.0kHz~thru	34-60	table#3
15	Output Level	0-127	0-127	
16				

PITCH CHANGE 1 (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Pitch	-24~+24	40-88	
2	Initial Delay	0.1ms~400ms	0-127	table#7
3	Fine 1	-50Hz~+50Hz	14-114	
4	Fine 2	-50Hz~+50Hz	14-114	
5	Feedback Level	-99~+99%	1-127	
6				
7				
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Pan 1	L63~R63	1-127	
12	Output Level 1	0-127	0-127	
13	Pan 2	L63~R63	1-127	
14	Output Level 2	0-127	0-127	
15				
16				

PITCH CHANGE 2 (variation block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Pitch	-24~+24	40-88	
2	Initial Delay	0.1ms~400ms	0-127	table#7
3	Fine 1	-50~+50cent	14-114	
4	Fine 2	-50~+50cent	14-114	
5	Feedback Level	-99~+99%	1-127	
6				
7				
8				
9				
10	Dry/Wet	D63>W ~ D=W ~ D<W63	1-127	
11	Pan 1	L63~R63	1-127	
12	Output Level 1	0-127	0-127	
13	Pan 2	L63~R63	1-127	
14	Output Level 2	0-127	0-127	
15				
16				

COMPRESSOR (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Attack	1~40ms	0-19	table#8
2	Release	10~680ms	0-15	table#9
3	Threshold	-48~-6dB	79-121	
4	Ratio	1.0~20.0	0-7	table#10
5	Output Level	0-127	0-127	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

NOISE GATE (variation, insertion block)

No.	Parameter	Value	See Table	Control
1	Attack	1~40ms	0-19	table#8
2	Release	10~680ms	0-15	table#9
3	Threshold	-72~-30dB	55-97	
4	Output Level	0-127	0-127	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

< 付表 1-10 >

エフェクトデータサインテーブル

Table#1

LFO Frequency							
Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.00	32	1.35	64	2.69	96	8.41
1	0.04	33	1.39	65	2.78	97	8.75
2	0.08	34	1.43	66	2.86	98	9.08
3	0.13	35	1.47	67	2.94	99	9.42
4	0.17	36	1.51	68	3.03	100	9.76
5	0.21	37	1.56	69	3.11	101	10.1
6	0.25	38	1.60	70	3.20	102	10.8
7	0.29	39	1.64	71	3.28	103	11.4
8	0.34	40	1.68	72	3.37	104	12.1
9	0.38	41	1.72	73	3.45	105	12.8
10	0.42	42	1.77	74	3.53	106	13.5
11	0.46	43	1.81	75	3.62	107	14.1
12	0.51	44	1.85	76	3.70	108	14.8
13	0.55	45	1.89	77	3.87	109	15.5
14	0.59	46	1.94	78	4.04	110	16.2
15	0.63	47	1.98	79	4.21	111	16.8
16	0.67	48	2.02	80	4.37	112	17.5
17	0.72	49	2.06	81	4.54	113	18.2
18	0.76	50	2.10	82	4.71	114	19.5
19	0.80	51	2.15	83	4.88	115	20.9
20	0.84	52	2.19	84	5.05	116	22.2
21	0.88	53	2.23	85	5.22	117	23.6
22	0.93	54	2.27	86	5.38	118	24.9
23	0.97	55	2.31	87	5.55	119	26.2
24	1.01	56	2.36	88	5.72	120	27.6
25	1.05	57	2.40	89	6.06	121	28.9
26	1.09	58	2.44	90	6.39	122	30.3
27	1.14	59	2.48	91	6.73	123	31.6
28	1.18	60	2.52	92	7.07	124	33.0
29	1.22	61	2.57	93	7.40	125	34.3
30	1.26	62	2.61	94	7.74	126	37.0
31	1.30	63	2.65	95	8.08	127	39.7

Table#4

Reverb time					
Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.3	32	3.5	64	17.0
1	0.4	33	3.6	65	18.0
2	0.5	34	3.7	66	19.0
3	0.6	35	3.8	67	20.0
4	0.7	36	3.9	68	25.0
5	0.8	37	4.0	69	30.0
6	0.9	38	4.1		
7	1.0	39	4.2		
8	1.1	40	4.3		
9	1.2	41	4.4		
10	1.3	42	4.5		
11	1.4	43	4.6		
12	1.5	44	4.7		
13	1.6	45	4.8		
14	1.7	46	4.9		
15	1.8	47	5.0		
16	1.9	48	5.5		
17	2.0	49	6.0		
18	2.1	50	6.5		
19	2.2	51	7.0		
20	2.3	52	7.5		
21	2.4	53	8.0		
22	2.5	54	8.5		
23	2.6	55	9.0		
24	2.7	56	9.5		
25	2.8	57	10.0		
26	2.9	58	11.0		
27	3.0	59	12.0		
28	3.1	60	13.0		
29	3.2	61	14.0		
30	3.3	62	15.0		
31	3.4	63	16.0		

Table#7

Delay Time(400.0ms)							
Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.1	32	100.9	64	201.6	96	302.4
1	3.2	33	104.0	65	204.8	97	305.5
2	6.4	34	107.2	66	207.9	98	308.7
3	9.5	35	110.3	67	211.1	99	311.8
4	12.7	36	113.5	68	214.2	100	315.0
5	15.8	37	116.6	69	217.4	101	318.1
6	19.0	38	119.8	70	220.5	102	321.3
7	22.1	39	122.9	71	223.7	103	324.4
8	25.3	40	126.1	72	226.8	104	327.6
9	28.4	41	129.2	73	230.0	105	330.7
10	31.6	42	132.4	74	233.1	106	333.9
11	34.7	43	135.5	75	236.3	107	337.0
12	37.9	44	138.6	76	239.4	108	340.2
13	41.0	45	141.8	77	242.6	109	343.3
14	44.2	46	144.9	78	245.7	110	346.5
15	47.3	47	148.1	79	248.9	111	349.6
16	50.5	48	151.2	80	252.0	112	352.8
17	53.6	49	154.4	81	255.2	113	355.9
18	56.8	50	157.5	82	258.3	114	359.1
19	59.9	51	160.7	83	261.5	115	362.2
20	63.1	52	163.8	84	264.6	116	365.4
21	66.2	53	167.0	85	267.7	117	368.5
22	69.4	54	170.1	86	270.9	118	371.7
23	72.5	55	173.3	87	274.0	119	374.8
24	75.7	56	176.4	88	277.2	120	378.0
25	78.8	57	179.6	89	280.3	121	381.1
26	82.0	58	182.7	90	283.5	122	384.3
27	85.1	59	185.9	91	286.6	123	387.4
28	88.3	60	189.0	92	289.8	124	390.6
29	91.4	61	192.2	93	292.9	125	393.7
30	94.6	62	195.3	94	296.1	126	396.9
31	97.7	63	198.5	95	299.2	127	400.0

Table#2

Modulation Delay Offset							
Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.0	32	3.2	64	6.4	96	9.6
1	0.1	33	3.3	65	6.5	97	9.7
2	0.2	34	3.4	66	6.6	98	9.8
3	0.3	35	3.5	67	6.7	99	9.9
4	0.4	36	3.6	68	6.8	100	10.0
5	0.5	37	3.7	69	6.9	101	11.1
6	0.6	38	3.8	70	7.0	102	12.2
7	0.7	39	3.9	71	7.1	103	13.3
8	0.8	40	4.0	72	7.2	104	14.4
9	0.9	41	4.1	73	7.3	105	15.5
10	1.0	42	4.2	74	7.4	106	17.1
11	1.1	43	4.3	75	7.5	107	18.6
12	1.2	44	4.4	76	7.6	108	20.2
13	1.3	45	4.5	77	7.7	109	21.8
14	1.4	46	4.6	78	7.8	110	23.3
15	1.5	47	4.7	79	7.9	111	24.9
16	1.6	48	4.8	80	8.0	112	26.5
17	1.7	49	4.9	81	8.1	113	28.0
18	1.8	50	5.0	82	8.2	114	29.6
19	1.9	51	5.1	83	8.3	115	31.2
20	2.0	52	5.2	84	8.4	116	32.8
21	2.1	53	5.3	85	8.5	117	34.3
22	2.2	54	5.4	86	8.6	118	35.9
23	2.3	55	5.5	87	8.7	119	37.5
24	2.4	56	5.6	88	8.8	120	39.0
25	2.5	57	5.7	89	8.9	121	40.6
26	2.6	58	5.8	90	9.0	122	42.2
27	2.7	59	5.9	91	9.1	123	43.7
28	2.8	60	6.0	92	9.2	124	45.3
29	2.9	61	6.1	93	9.3	125	46.9
30	3.0	62	6.2	94	9.4	126	48.4
31	3.1	63	6.3	95	9.5	127	50.0

Table#5

Delay Time(200.0ms)							
Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.1	32	50.5	64	100.9	96	151.2
1	1.7	33	52.0	65	102.4	97	152.8
2	3.2	34	53.6	66	104.0	98	154.4
3	4.8	35	55.2	67	105.6	99	155.9
4	6.4	36	56.8	68	107.1	100	157.5
5	8.0	37	58.3	69	108.7	101	159.1
6	9.5	38	59.9	70	110.3	102	160.6
7	11.1	39	61.5	71	111.9	103	162.2
8	12.7	40	63.1	72	113.4	104	163.8
9	14.3	41	64.6	73	115.0	105	165.4
10	15.8	42	66.2	74	116.6	106	166.9
11	17.4	43	67.8	75	118.2	107	168.5
12	19.0	44	69.4	76	119.7	108	170.1
13	20.6	45	70.9	77	121.3	109	171.7
14	22.1	46	72.5	78	122.9	110	173.2
15	23.7	47	74.1	79	124.4	111	174.8
16	25.3	48	75.7	80	126.0	112	176.4
17	26.9	49	77.2	81	127.6	113	178.0
18	28.4	50	78.8	82	129.2	114	179.5
19	30.0	51	80.4	83	130.7	115	181.1
20	31.6	52	81.9	84	132.3	116	182.7
21	33.2	53	83.5	85	133.9	117	184.3
22	34.7	54	85.1	86	135.5	118	185.9
23	36.3	55	86.7	87	137.0	119	187.4
24	37.9	56	88.2	88	138.6	120	189.0
25	39.5	57	89.8	89	140.2	121	190.6
26	41.0	58	91.4	90	141.8	122	192.1
27	42.6	59	93.0	91	143.3	123	193.7
28	44.2	60	94.5	92	144.9	124	195.3
29	45.7	61	96.1	93	146.5	125	196.9
30	47.3	62	97.7	94	148.1	126	198.4
31	48.9	63	99.3	95	149.6	127	200.0

Table#8

Compressor Attack Time	
Data	Value
0	1
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
6	7
7	8
8	9
9	10
10	12
11	14
12	16
13	18
14	20
15	23
16	26
17	30
18	35
19	40

Table#9

Compressor Release Time	
Data	Value
0	10
1	15
2	25
3	35
4	45
5	55
6	65
7	75
8	85
9	100
10	115
11	140
12	170
13	230
14	340
15	680

Table#10

Compressor Ratio	
------------------	--

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks	
Basic Channel	Default Changed	1 1 - 16	1 - 16 1 - 16	
Mode	Default Messages Altered	3 X *****	1 X X	*1 Poly Mode Only
Note Number	: True voice	21 - 108 *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity	Note ON Note OFF	O 9nH, v=1-127 O 9nH, v=0	O v=1-127 O	
After Touch	Key's Ch's	X X	X O	
Pitch Bend		X	O 0-24 semi	
Control Change	0,32 1,5,7,10 11 6,38 64,66,67 65,84 71-74 91,94 93 96,97 98,99 100,101 120,121	O X O X O X X O X X X X O	O O O O O O O O O O O O O	Bank Select Expression Data Entry Portament Sound Controller Effect Depth RPN Inc,Dec NRPN LSB,MSB RPN LSB,MSB
Prog Change	: True #	O *****	O	
System Exclusive		O	O	
Common	: Song Pos. : Song Sel. : Tune	X X X	X X X	
System Real Time	: Clock : Commands	O O	O O	
Aux Messages	: Local ON/OFF : All Notes OFF : Active Sense : Reset	X O O X	O O (123 - 127) O X	

Notes: *1 = Receive Mode is always multi timbre and Poly mode.

Mode 1 : OMNI ON , POLY Mode 2 : OMNI ON , MONO o : Yes
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO x : No

別売品のご紹介

ヘッドフォン HPE-160

¥5,500(税別価格)



仕様

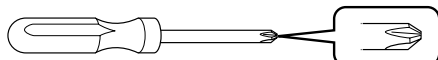
項目	CLP-870
鍵盤	88鍵(A-1~C7)
音源	AWMダイナミックステレオサンプリング
最大同時発音数	最大64音
音色	グランドピアノ、クラシカルピアノ、ジャズピアノ、ロックピアノ、エレクトリックピアノ1、エレクトリックピアノ2、ハーブシコード、ストリングス、パイプオルガン、ジャズオルガン、ベース、各音色バリエーション XG音色(480音色+12ドラムキット)
効果	リバーブ(ルーム/ホール1/ホール2/ステージ) エフェクト(コーラス/シンフォニック/トレモロ/エコー) プリリアンス(メロー/ノーマル/ブライツ)
コントロール	デュアル、スプリット、メトロノーム、トランスポーズ タッチ(ハード/ミディアム/ソフト/フィックス)、マイクボリューム、マイクエコー 各種ファンクション
表示器	大型液晶画面
レコーダー	3トラック録音/16トラック再生、巻戻し、早送り、テンポ
ディスクドライブ	3.5インチマイクロフロッピーディスクドライブ(2DD、2HD対応)
ペダル	ダンパー、ソステヌート、ソフト
デモ	デモ曲12曲、ピアノ曲50曲
付属端子	AUX出力端子(R、L/L+R):出力インピーダンス600 AUX入力端子(R、L/L+R):入力インピーダンス10k /入力感度-10dBm マイク端子、ヘッドフォン端子×2、TO HOST端子、MIDI端子(IN、OUT、THRU)、ペダル端子
メインアンプ	120W(60W×2)
スピーカー	14cm×2、5cm×2
定格電源	AC100V、50/60HZ
消費電力	65W
寸法 [間口×奥行×高さ] ()内は譜面立てを立えた場合	1414mm×512mm×887mm (1414mm×512mm×1051mm)
重量	58kg
装備	キーカバー、譜面立て
付属品	高低自在イスBC-15、ヘッドフォン、「ミュージックソフト・コレクション」ディスク、録音用ディスク、保証書、ご愛用者カード、取扱説明書(本書)

・仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

CLP-870の組み立て方

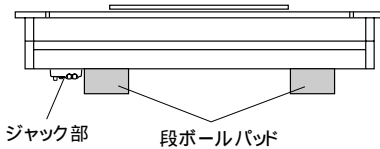
- ・ 部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- ・ 組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
- ・ ネジは指定のサイズ以外のもは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因となる場合があります。
- ・ ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないよう増し締めを行って確実に固定してください。
- ・ 解体するときは、組み立てと逆の手順で行ってください。

プラス(+)のドライバーを用意してください。



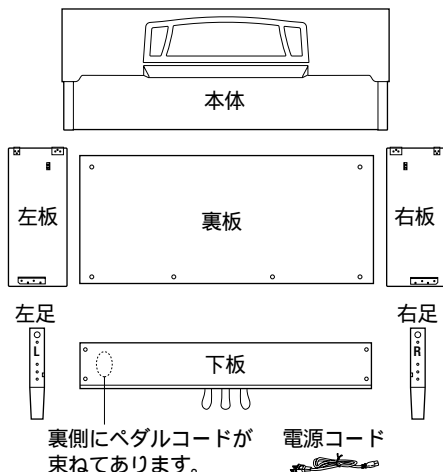
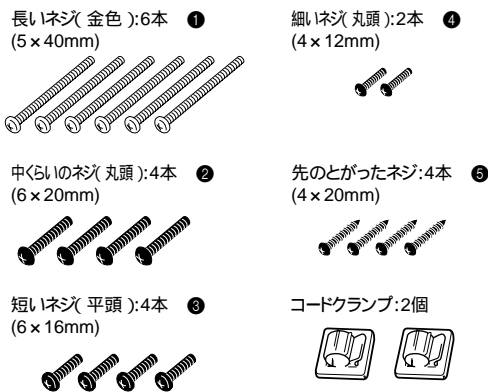
1 箱を開けて段ボールパッドを2個取り出し、その上に本体を置きます。

ノート 段ボールパッドは、本体下のジャック部を保護するように配置してください。

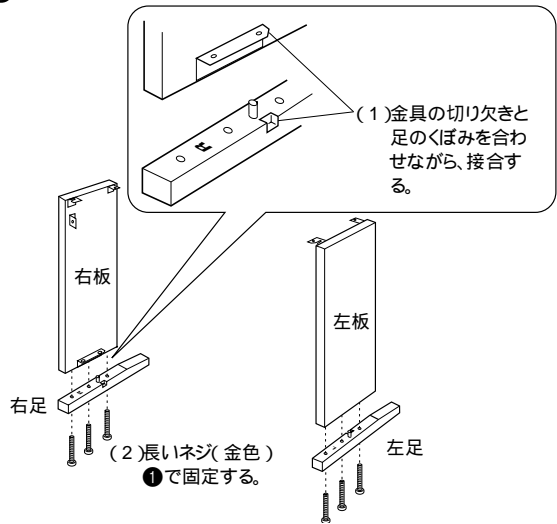


2 すべての部品を取り出します。部品がすべてそろっているか確かめます。

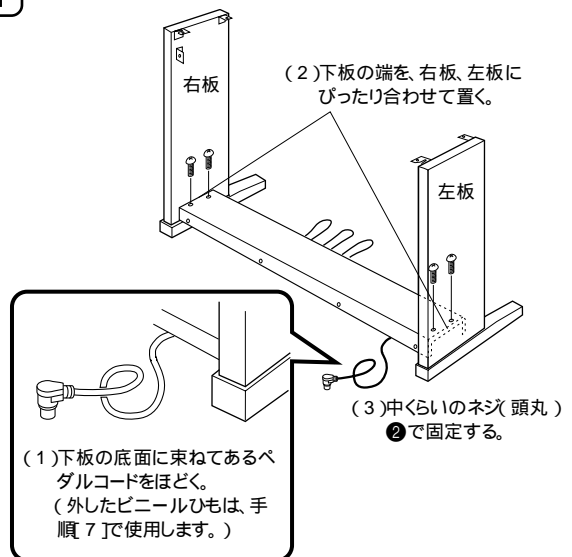
ネジセット



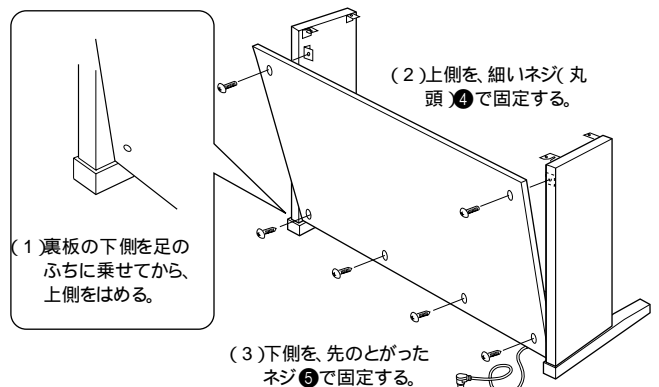
3 右板と右足、左板と左足を固定します。



4 下板を固定します。



5 裏板を固定します。



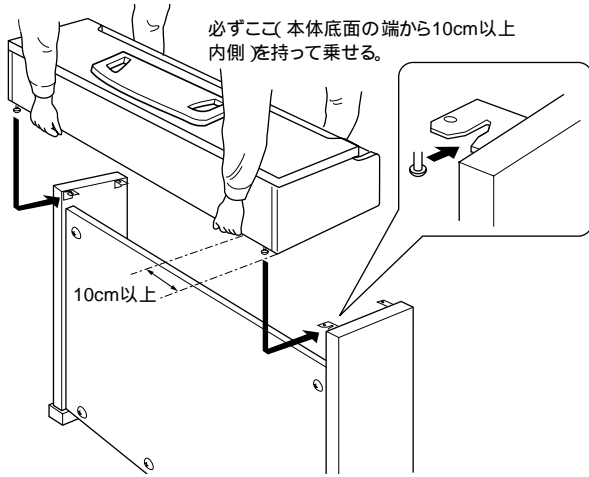
6 本体を乗せます。



指をはさんだり、本体を落としたりしないよう十分ご注意ください。



指定した位置以外を持たないでください。

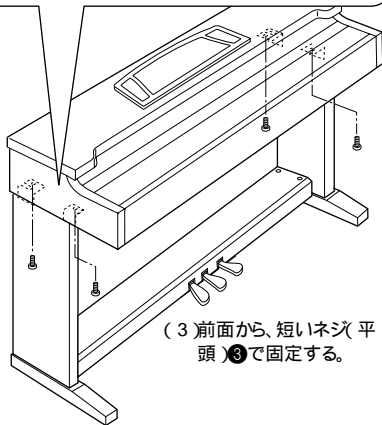


7 本体を固定します。

(1) 前面から見て、本体の張り出し部分が左右均等になるように調整する。

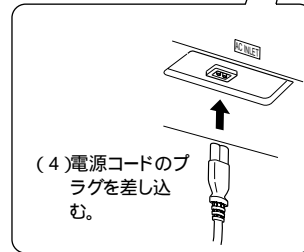
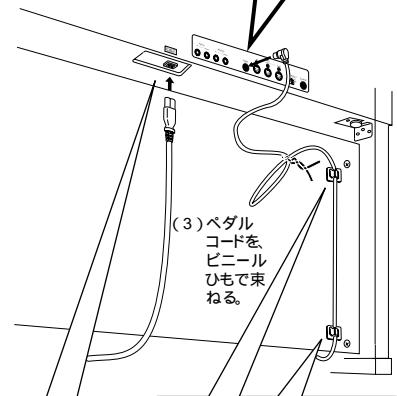


(2) 背面から、短いネジ(平頭)③で固定する。

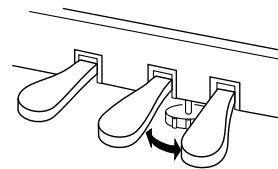


(3) 前面から、短いネジ(平頭)③で固定する。

8 コードを接続します。



9 アジャスターを回します。



アジャスターを回して、床にぴったりつける。

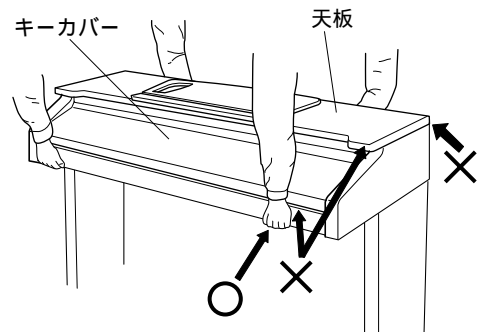
組み立て後、必ず以下のチェックをしてください。

- 部品が余っていませんか?
組み立て手順を再確認してください。
- 部屋のドア等がクラビノーバにあたりませんか?
クラビノーバを移動してください。
- クラビノーバをゆすると、ガタガタしませんか?
ネジを確実に締めてください。
- ペダルを踏むと、下板がガタガタしませんか?
アジャスターを回して床にぴったりつけてください。
- ペダルコード、電源コードのプラグが、確実に本体に差し込まれていますか?
確認してください。
- 使用中に本体がきしむ、横振れする、グラつく等の症状がでたら、組み立て図にしたがって各部のネジを締め直してください。

組み立て後、本体を移動するときは、必ず本体の底面を持ってください。



天板やキーカバーを持たないでください。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



索引

- ・ この取扱説明書の全体の流れを見たい場合は、P7「目次」をご覧ください。
- ・ ボタンの名前から説明を捜したい場合は、P50「各部の名前」をご利用ください。
- ・ ファンクション項目の説明を捜したい場合は、P75の「ファンクション一覧表」をご利用ください。

そのほかのキーワードから説明を捜したい場合に、この「索引」をご利用ください。

- ・ 「*」印はそのページの「欄外注」に説明があることを示しています。

ABC順	ページ
⇨ の意味	6
➡ の意味	6
ALL(ディスク再生モード)	66
ALL(ピアノ曲モード)	56
BC-15	4
DOC音色配列	99
ESEQ(イーシーク)	99
GMシステムレベル1音色配列	99
GMソフト(SMFフォーマット)	69
HPE-16(別売ヘッドフォン)	127
MIDI	86 ~ 87、98、111 ~ 126
RND(ディスク再生モード)	66
RND(ピアノ曲モード)	56
SMF(エスエムエフ)	99
XG音色配列	99
XGソングデータライブラリー	100

あいうえお順	ページ
音色配列フォーマット	99
音量調節	10
片手練習(ディスク再生)	67
片手練習(ピアノ50曲)	57
画面	52
歌楽	101
キーカバー	9
記憶残容量とは	72*
基本設定	53、88
曲ファイルとは	75*
月刊「Piano」	101
工場出荷時の設定	53、88
ご愛用者カード	4
再生音量(ディスク再生)	68
シーケンスフォーマット	99
小項目(ファンクション)	75
ショートカット([F3.DualFunc.])	79
ショートカット([F4.SplitFunc.])	80
ショートカット([F6.Metronome])	81
初期値(録音データ)とは	73*
シンクロススタート(ディスク再生)	68
シンクロススタート(ピアノ50曲)	57
スプリットポイント	64
セットアップファイルとは	75*
ソステヌートペダル	60
ソフトペダル	60
ソングとは	54*、66*
大項目(ファンクション)	75
端子	90 ~ 91
ダンパーペダル	60
ディスクのフォーマット	98
デモ曲	54、102
電源	10
電源ランプ	10
トラックのデータの削除	73*
トラックの再生ON/OFF(ディスク再生)	67、69

あいうえお順	ページ
パーソナルコンピューター	92
バックアップとは	53*
早送り(ディスク再生)	67
早送り(ピアノ50曲)	56*
ピアノ50曲	54
ピアノアソシエ	100
ピアノアンサンブル	100
ピアノソフト	101
ピアノソフトプラス	101
左のペダル	60
左ペダルスタート/ストップ	80
拍子	65
ファイルとは	75*
ファンクションとは	53
フォーマット(ディスクの)とは	70*
フォーマット(ディスクの)の種類	71*
フォーマット(ディスクの)の操作	70、81
深さ(エフェクト)	62
深さ(リバース)	61
付属品	4
部分練習(ディスク再生)	68
部分練習(ピアノ50曲)	58
譜面立て	9
フリーテンポの曲	67*、68*
フロッピーディスクの使用上の注意	8
ヘッドフォン	10、90
保証書	4
マイクエコー	90
巻戻し(ディスク再生)	67
巻戻し(ピアノ50曲)	56*
まん中のペダル	60
右のペダル	60
「ミュージックソフト・コレクション」ディスク	4、66、103
メモリーとは	53*
モードとは	54*
モードの相関	54*、63*、66*、70*、72*、77*
ライトプロテクトタブ	8
録音用ディスク	4

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から本体は1年間、ヘッドフォンは6カ月です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

修理のご依頼

まず本書の「故障かな? と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ修理をお申し付けください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50	ヤマハセンター内	TEL.(011)512-6108
仙台サービスステーション	〒983-0015	仙台市若林区卸町5-7	仙台卸商共同配送センター3F	TEL.(022)236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184		TEL.(044)434-3100
浜松サービスステーション	〒435-0048	浜松市上西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL.(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2	ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL.(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16	ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL.(06)6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7	(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL.(087)822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14		TEL.(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4		TEL.(092)472-2134
[本社]				
カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL.(053)465-1158

住所および電話番号は変更になる場合があります。

付

録


ヤマハ株式会社

北海道地区	〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	☎011-512-1550
東北地区	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル	☎022-222-6025
関東・甲信越地区	〒108-8568 東京都港区高輪2丁目17-11	☎03-5488-5464
中部・北陸・静岡地区	〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28	☎052-201-5145
大阪・近畿・四国・沖縄地区	〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館	☎06-6252-2390
中国地区	〒730-8628 広島市中区紙屋町1-1-18	☎082-244-3748
九州地区	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4	☎092-472-2152
電子楽器事業部 営業部 / 国内営業第二グループ	〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1	☎053-460-3275

住所および電話番号は変更になる場合があります。

クラビノーバ ポータブル楽器 インフォメーションセンター

受付日：月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)
受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00

フリーダイヤル  **0120-834808**

クラビノーバ インターネットホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/cl/>



この取扱説明書は
エコマーク認定の
再生紙を使用しています。

この取扱説明書は
エコバルブ(ECF:無塩素系漂白バルブ)
を使用しています。